

「お試しサテライトオフィス」モデル事業（平成 28 年度）

調査報告書

平成 29 年 10 月

総務省地域力創造グループ地域自立応援課



# 「お試しサテライトオフィス」モデル事業（平成 28 年度） 調査報告書

## 目次

|        |                      |     |
|--------|----------------------|-----|
| 1      | はじめに                 | 1   |
| 1.1    | 用語の定義                | 1   |
| 1.2    | 本書の目的・位置づけ           | 3   |
| 1.3    | 活用形態に基づくサテライトオフィスの類型 | 4   |
| 2      | 進捗調査・成果分析業務の実施内容     | 5   |
| 2.1    | 進捗調査・成果分析業務の全体像      | 5   |
| 2.1.1  | 実施手順                 | 5   |
| 2.1.2  | 進捗調査・成果分析業務の全体スケジュール | 6   |
| 2.2    | 進捗調査業務               | 7   |
| 2.2.1  | 実施概要                 | 7   |
| 2.2.2  | 中間報告会                | 7   |
| 2.2.3  | 進捗等調査                | 8   |
| 2.2.4  | 実態調査                 | 10  |
| 2.2.5  | 成果報告会                | 11  |
| 2.3    | 成果分析業務               | 12  |
| 2.3.1  | 実施概要                 | 12  |
| 2.3.2  | 各モデル団体の事業成果の整理       | 12  |
| 2.3.3  | マッチング調査結果の整理         | 13  |
| 2.3.4  | 分析・評価の手法             | 13  |
| 3      | 調査・分析結果              | 17  |
| 3.1    | 対象モデル団体              | 18  |
| 3.2    | モデル団体別の調査・分析結果       | 19  |
| 3.2.1  | 青森県弘前市               | 19  |
| 3.2.2  | 秋田県大館市               | 28  |
| 3.2.3  | 千葉県銚子市               | 40  |
| 3.2.4  | 新潟県南魚沼市              | 52  |
| 3.2.5  | 福井県鯖江市               | 59  |
| 3.2.6  | 京都府京丹後市              | 71  |
| 3.2.7  | 島根県松江市               | 80  |
| 3.2.8  | 山口県                  | 90  |
| 3.2.9  | 徳島県                  | 99  |
| 3.2.10 | 鹿児島県錦江町              | 119 |

|       |   |     |
|-------|---|-----|
| 3.3   | マッチング調査結果.....                          | 128 |
| 3.3.1 | マッチング調査の概要.....                         | 128 |
| 3.3.2 | マッチング調査結果.....                          | 129 |
| 3.3.3 | 都市部企業のニーズ分析.....                        | 134 |
| 3.4   | 成果報告会の開催結果.....                         | 136 |
| 3.4.1 | 成果報告会の内容.....                           | 136 |
| 3.4.2 | 各モデル団体に対する講評等.....                      | 136 |
| 3.4.3 | 外部有識者からの講評.....                         | 138 |
| 3.4.4 | 参加者へのアンケート調査.....                       | 140 |
| 3.4.5 | 成果報告会の様子.....                           | 141 |
| 4     | 進捗調査・成果分析業務の総括.....                     | 142 |
| 4.1   | サテライトオフィス誘致を推進するために共通的に取り組むべきプロセス等..... | 142 |
| 4.1.1 | お試し勤務を通じたサテライトオフィス誘致の基本プロセス.....        | 142 |
| 4.1.2 | 特徴的な取組事例.....                           | 145 |
| 4.1.3 | お試し勤務を通じたサテライトオフィス誘致のポイント.....          | 147 |
| 4.2   | 便益を最大化させるための取組の方向性.....                 | 148 |
| 4.3   | 全体総括と今後の課題.....                         | 150 |

<別紙>

|      |                          |
|------|--------------------------|
| 別紙1  | 進捗調査・成果分析業務の実施スケジュール     |
| 別紙2  | 中間報告会用資料一式               |
| 別紙3  | 中間報告書一式                  |
| 別紙4  | モデル事業スケジュール一覧表           |
| 別紙5  | 課題・リスク管理表（雛形）            |
| 別紙6  | モデル事業全体状況報告票（雛形）         |
| 別紙7  | 実態調査項目案（団体共通）            |
| 別紙8  | モデル団体別お試し勤務一覧表（モデル事業終了時） |
| 別紙9  | お試し勤務実績一覧（モデル事業終了時）      |
| 別紙10 | 課題・リスク管理表（モデル事業終了時）      |
| 別紙11 | モデル事業全体状況報告票             |
| 別紙12 | モデル団体の取組・成果              |
| 別紙13 | モデル事業の成果取りまとめ            |
| 別紙14 | 成果報告会アンケート票              |
| 別紙15 | 成果報告会アンケート回答内容           |

## 1 はじめに

### 1.1 用語の定義

「お試しサテライトオフィス」モデル事業（平成 28 年度）調査報告書（以下「本書」という。）における各用語の定義は、以下に示すとおりである。

図表 1-1 用語の定義

| 用語                  | 定義  |
|---------------------|---|
| テレワーク <sup>1</sup>  | ICT（情報通信技術）を活用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方の総称。その実施形態に応じて、「在宅勤務」「モバイルワーク」「サテライトオフィス勤務（施設利用型勤務）」に分類される。   |
| サテライトオフィス（SO）       | （オフィスの管理主体や活用形態を問わず）都市部の企業等が本拠から離れたところに設置する遠隔勤務のためのオフィスの総称。   |
| コワーキングスペース（シェアオフィス） | サテライトオフィスの一形態。複数の企業が共同で利用するオフィススペース。本書で用いる「シェアオフィス」も同義。   |
| 常駐型（利用）             | 常駐の要員を配してサテライトオフィスを利用する形態。  |
| 循環型（利用）             | 常駐の要員を配さずにサテライトオフィスを利用する形態。   |
| モデル事業               | 総務省と委託契約を締結した 10 の地方公共団体の実施する、お試し勤務等を通じて都市部企業等の実践的なニーズを把握し誘致戦略を策定することでサテライトオフィスの誘致を行う事業の総称。   |
| モデル団体               | モデル事業を実施する 10 の地方公共団体。各団体の具体的内容については、「0 対象モデル団体」を参照のこと。   |
| 企業基本ニーズ調査           | 総務省が実施した「サテライトオフィス等の活用状況・導入意向に関する調査」の略称。都市部企業 6 万社（有効回答数約 1 万社）を対象に、サテライトオフィス設置の関心・意向等を調査した。  |
| 都市部企業（等）            | 三大都市圏（国土利用計画（全国計画）（平成 27 年 8 月 14 日閣議決定）に基づく埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県及び奈良県の区域の全部）に所在する企業の総称（「等」を付す場合は個人事業主等を含むものとする。）。           |
| マッチング調査             | 総務省が実施した「お試しサテライトオフィスのニーズ調査」の略称。企業基本ニーズ調査結果を基に、各モデル団体でのお試し勤務を志向する都市部企業の情報（社名、業種、お試し勤務を希望するモデル団体（最大 3 団体）、お試し勤務に係る要望事項、サテライトオフィスの導入・検討状況等）を調査した。 |
| 広報業務                | 総務省が実施した、お試しサテライトオフィス事業の PR・プロモーションのための、特設サイトの整備、関連イベントでの企画展示等の業務の総称。   |

<sup>1</sup> 「テレワークではじめる働き方改革 テレワークの導入・運用ガイドブック」（厚生労働省）の定義を用いる。

## 1 はじめに

| 用語                 | 定義   |
|--------------------|--|
| お試しサテライトオフィス交流セミナー | 総務省が開催した、モデル事業に興味のある都市部企業担当者とモデル団体の関係者間の交流を図るための交流会（平成 29 年 4 月 24 日）。                 |
| 進捗調査・成果分析業務        | 「お試しサテライトオフィス」モデル事業の進捗調査及び成果分析等の請負事業者による、モデル事業全体の進捗状況等の把握及びモデル事業全体の成果を分析し、本書を取りまとめる業務。 |
| お試し勤務（等）企業         | モデル事業において、お試し勤務を実施した都市部企業（「等」を付す場合は視察ツアー等に参加した企業を含むものとする）。                             |
| 視察ツアー              | モデル事業の内容を知ってもらうこと、地域の魅力を体感してもらうこと等を目的として、各モデル団体が都市部企業等を自地域に集めて実施するツアー。                 |
| 都市部セミナー            | モデル事業の内容を知ってもらうこと、地域の魅力を知ってもらうこと等を目的として、都市部企業等を対象に、各モデル団体が都市部で実施する説明会。                 |
| 行政（側）              | 地方公共団体及び関係機関の総称。   |
| 民間（側）              | 民間事業者・民間団体、地域住民の総称。  |

※本文中の月日の表記について、特に年の記載がない場合は、「平成 29 年度」を示すものとする。

# 1 はじめに

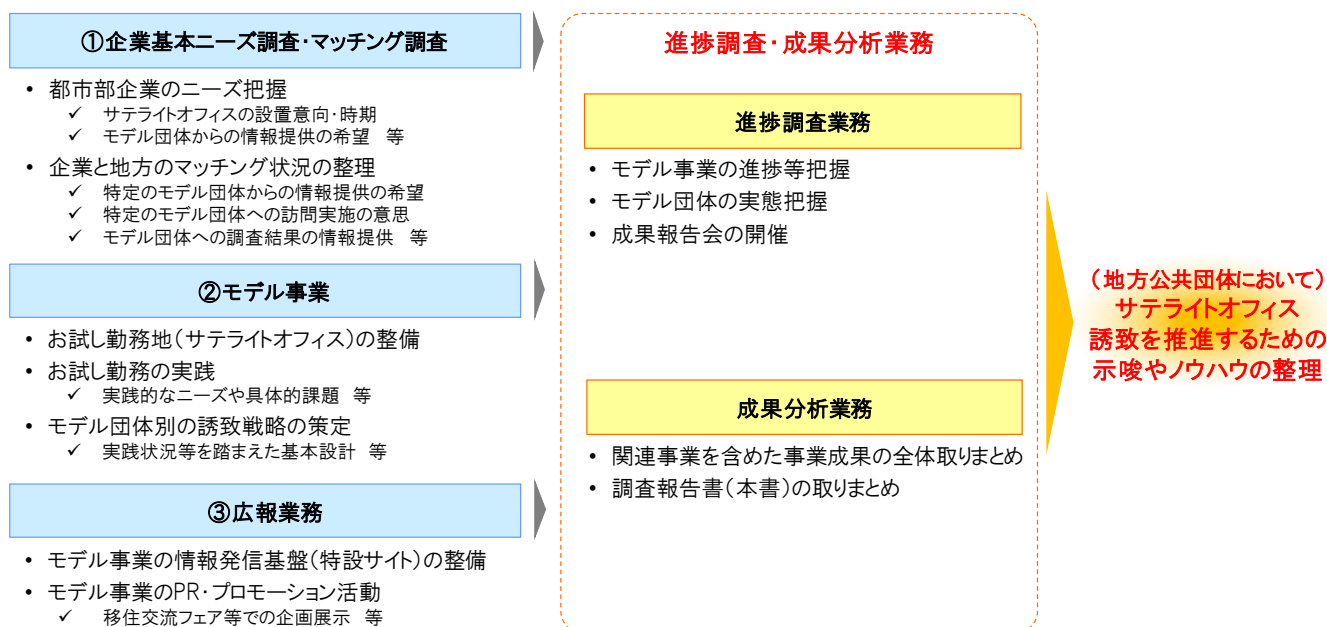
## 1.2 本書の目的・位置づけ

地方におけるサテライトオフィスの整備は、都市部から地方への「ヒト・情報」の流れの誘因となり、都市部人材の UJI ターンの促進、地元雇用の創出など、様々な形で地方創生に寄与することが期待されている。

総務省においては、サテライトオフィス誘致の上記特性を活かし、地方創生関連施策の一環としてサテライトオフィスの誘致促進を進めている。具体的には、①企業基本ニーズ調査・マッチング調査、②モデル事業、及びモデル事業の普及啓発に向けた③広報業務を実施してきた。

本書は、進捗調査・成果分析業務の内容を踏まえてこれらの成果を取りまとめ、今後全国の地方公共団体において、お試し勤務を通じてサテライトオフィス誘致を推進するための示唆やノウハウを整理するものである。

図表 1-2 本書の位置づけ

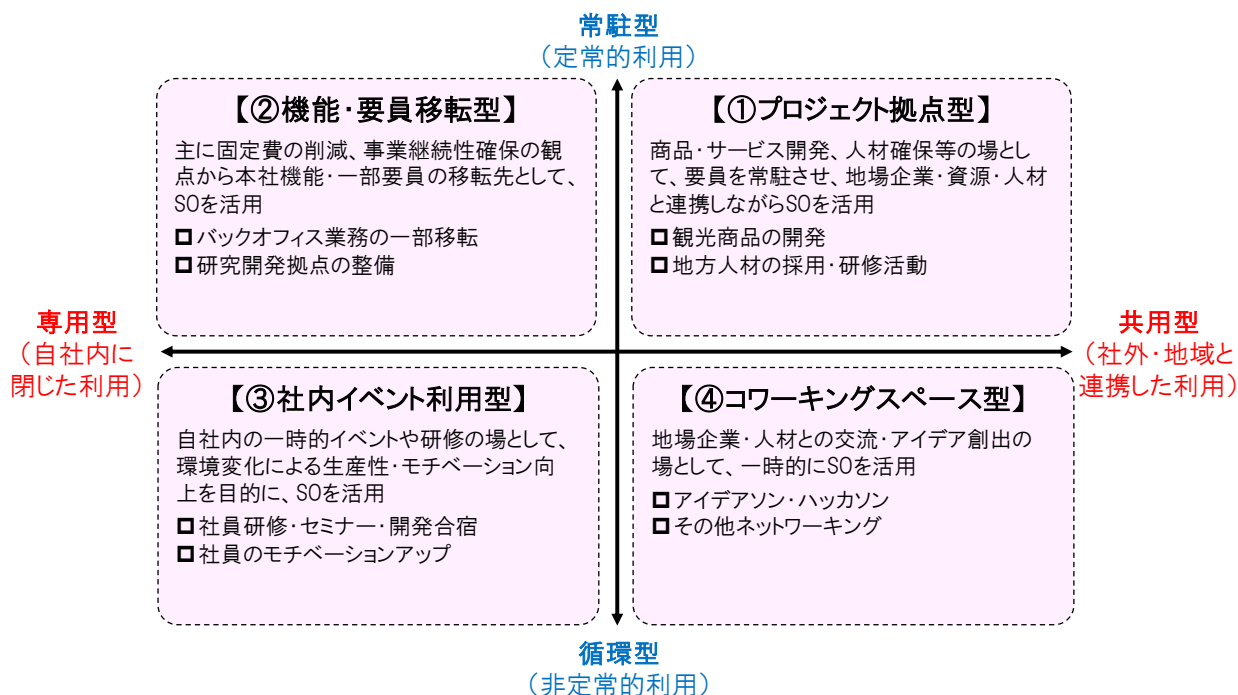


### 1.3 活用形態に基づくサテライトオフィスの類型

サテライトオフィスの誘致は、都市部企業等の活用形態により、地方創生に寄与する様々な効果を期待できる。サテライトオフィスが地方に与える効果を広く捉えるため、「図表 1-1 用語の定義」にも示すとおり、本書においては、社外・地域と連携した共用型／自社内の利用に閉じた専用品、また、都市部企業等が自社の要員を常駐させる常駐型／要員を常駐させず必要に応じて利用する循環型を問わず、「都市部の企業等が本拠から離れたところに設置する遠隔勤務のためのオフィス」をすべてサテライトオフィスと位置づける。

以下の「図表 1-3 サテライトオフィス (SO) の類型」に示すように、横軸に「共用型／専用品」、縦軸に「常駐型／循環型」を設け、都市部企業の活用形態に応じてサテライトオフィスを整理すると、「①プロジェクト拠点型」(共用型-常駐型)、「②機能・要員移転型」(専用品-常駐型)、「③社内イベント利用型」(専用品-循環型)、「④コワーキングスペース型」(共用型-循環型)の4類型に整理でき、いずれも異なる形で都市部企業等にとっての経営戦略や経営改革の実現のため手段となりうるものである。

図表 1-3 サテライトオフィス(SO)の類型





## 2 進捗調査・成果分析業務の実施内容

本章においては、進捗調査・成果分析業務として実施した内容を整理する。

### 2.1 進捗調査・成果分析業務の全体像

#### 2.1.1 実施手順

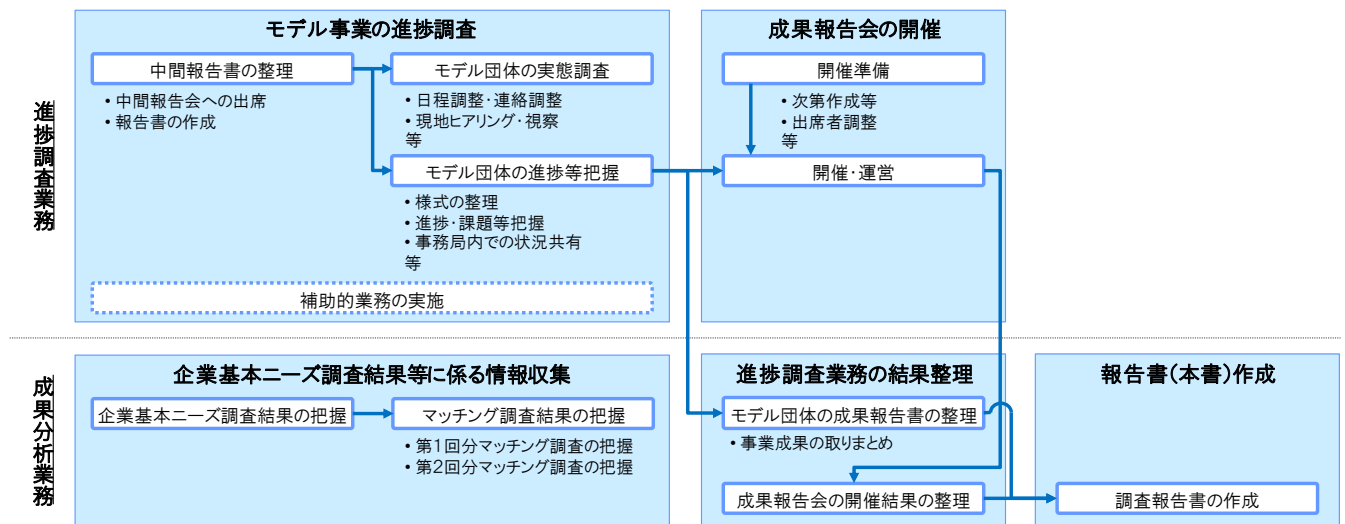
進捗調査・成果分析業務は大きく、

- ・ 中間報告会の取りまとめ、モデル事業の進捗状況の把握、各モデル団体の実態調査、モデル事業全体を対象とした成果報告会の運営等を実施する「進捗調査業務」
- ・ 企業基本ニーズ調査・マッチング調査や「進捗調査業務」の成果を分析し、調査報告書（本書）として整理する「成果分析業務」

より構成される。

以下に全体の実施手順を示す。

図表 2-1 進捗調査・成果分析業務の実実施手順概要



2 進捗調査・成果分析業務の実施内容

2.1.2 進捗調査・成果分析業務の全体スケジュール

前項の「図表 2-1 進捗調査・成果分析業務の実施手順概要」に基づく、当該業務の全体スケジュールは以下に示すとおりである。

図表 2-2 進捗調査・成果分析業務の実施スケジュール

【別紙1 進捗調査・成果分析業務の実施スケジュール】

|                  | 年  | 平成28年度 |                |                 | 平成29年度            |                  |    |    |    |     |                  |                     |
|------------------|--|--------|----------------|-----------------|-------------------|------------------|----|----|----|-----|------------------|---------------------|
|                  |  | 2月     | 3月             | 4月              | 5月                | 6月               | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月              |                     |
|                  | マイルストーン<br>赤字：本事業に係るマイルストーン<br>青字：関連事業に係るマイルストーン |        | 業務開始<br>(3月中旬) | 中間報告会<br>(3/28) | 中間報告書の完成<br>(4/7) | マッチング調査<br>の結果共有 |    |    |    |     | 成果報告会<br>(10/18) | 調査報告書の完成<br>(10/24) |
| 業務項目             | 内容   |        |                |                 |                   |                  |    |    |    |     |                  |                     |
| <b>1. 進捗調査業務</b> |  |        |                |                 |                   |                  |    |    |    |     |                  |                     |
| 1-1              | 中間報告会の開催   |        |                |                 |                   |                  |    |    |    |     |                  |                     |
| 1-2              | 中間報告書の取りまとめ                                      |        |                |                 |                   |                  |    |    |    |     |                  |                     |
| 1-3              | モデル事業の進捗調査<br>モデル団体の実態調査                         |        |                |                 |                   |                  |    |    |    |     |                  |                     |
|                  |  |        |                |                 |                   |                  |    |    |    |     |                  |                     |
| 1-4              | モデル団体の進捗等把握                                      |        |                |                 |                   |                  |    |    |    |     |                  |                     |
|                  |  |        |                |                 |                   |                  |    |    |    |     |                  |                     |
| 1-5              | 補助的業務の実施（情報収集・資料作成等）                             |        |                |                 |                   |                  |    |    |    |     |                  |                     |
|                  |  |        |                |                 |                   |                  |    |    |    |     |                  |                     |
| 1-6              | 成果報告会の開催<br>開催準備                                 |        |                |                 |                   |                  |    |    |    |     |                  |                     |
|                  |  |        |                |                 |                   |                  |    |    |    |     |                  |                     |
| 1-7              | 開催・運営  |        |                |                 |                   |                  |    |    |    |     |                  |                     |
| <b>2. 成果分析業務</b> |  |        |                |                 |                   |                  |    |    |    |     |                  |                     |
| 2-1              | 企業基本ニーズ調査結果に係る情報収集                               |        |                |                 |                   |                  |    |    |    |     |                  |                     |
| 2-2              | マッチング調査結果の把握                                     |        |                |                 |                   |                  |    |    |    |     |                  |                     |
| 2-3              | モデル団体の成果報告書の整理                                   |        |                |                 |                   |                  |    |    |    |     |                  |                     |
| 2-4              | 成果報告会の開催結果の整理                                    |        |                |                 |                   |                  |    |    |    |     |                  |                     |
| 2-5              | 調査報告書の作成   |        |                |                 |                   |                  |    |    |    |     |                  |                     |
| <b>3. 会議等</b>    |  |        |                |                 |                   |                  |    |    |    |     |                  |                     |
| 3-1              | 個別会議<br>モデル事業進捗等状況の共有・課題解決等に係る協議                 |        |                |                 |                   |                  |    |    |    |     |                  |                     |
|                  |  |        |                |                 |                   |                  |    |    |    |     |                  |                     |
| 3-2              | 最終会議<br>調査報告書の最終確認                               |        |                |                 |                   |                  |    |    |    |     |                  |                     |

## 2 進捗調査・成果分析業務の実施内容

### 2.2 進捗調査業務

#### 2.2.1 実施概要

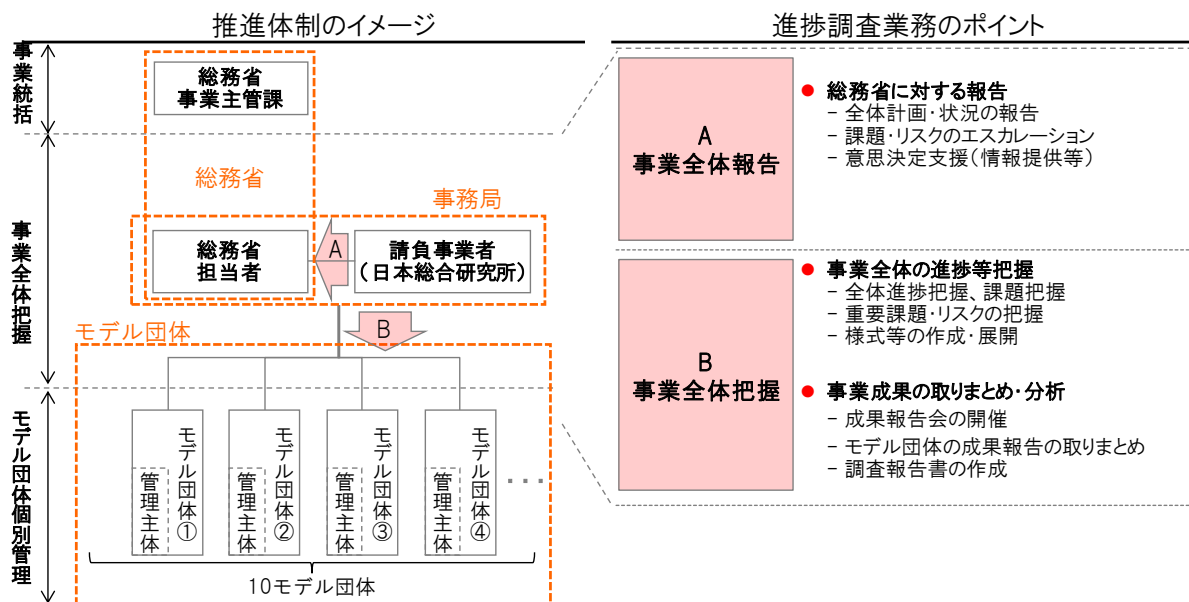
進捗調査業務においては、達成目標や実施体制等が異なる 10 のモデル団体の進捗状況を個別に把握しつつ、モデル事業全体の最適化を図った。

具体的には、総務省担当者と進捗調査・成果分析業務の請負事業者（以下「請負事業者」という。）からなる「事務局」を構成し、請負事業者にて、モデル事業の計画・状況等を最終意思決定機関（総務省事業主管課）に適切に報告するための「A：事業全体報告」、10 のプロジェクトを効率的かつ効果的に管理する「B：事業全体把握」を実施し、進捗調査業務を進めた。

なお、個々のモデル団体の進捗等管理については、基本的に各モデル団体に委ねることとし、必要に応じて、課題解決の支援等を行った。

進捗調査業務の具体的な手法・手順等については、「2.2.3 進捗等調査」を参照のこと。

図表 2-3 進捗調査・成果分析業務の概要



#### 2.2.2 中間報告会

進捗調査業務の一環として、平成 29 年 3 月 28 日に開催したモデル事業の中間報告会において、各モデル団体の事業概要、取組状況等を把握するとともに、請負事業者より、進捗調査業務の実施方針及び具体的手法並びに成果分析の考え方について説明があった。

中間報告会で請負事業者より提示された資料については「別紙 2 中間報告会用資料一式」を、また、中間報告会の結果を整理した資料については「別紙 3 中間報告書一式」を参照のこと。

以下に中間報告会の内容を示す。

## 2 進捗調査・成果分析業務の実施内容

図表 2-4 中間報告会の内容

| 項目   | 内容   |
|------|--|
| 開催主旨 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「お試しサテライトオフィス」事業の趣旨・今後の展開の共有</li> <li>・ 企業基本ニーズ調査結果の把握</li> <li>・ 各モデル団体の事業概要・取組状況の把握</li> <li>・ 進捗調査業務の実施方針・具体的手法、成果分析の考え方の共有</li> </ul>   |
| 開催時期 | 平成 29 年 3 月 28 日（火） 15:00-17:00  |
| 主催   | 総務省地域自立応援課   |
| 会場   | 総務省中央合同庁舎 2 号館 1002 会議室  |
| 議事次第 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会挨拶：総務省地域自立応援課長</li> <li>2. 平成 29 年度の「お試しサテライトオフィス」事業の展開について：総務省地域自立応援課               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「お試しサテライトオフィス」事業の今後の進め方：総務省地域自立応援課</li> <li>(2) 「サテライトオフィス」基本ニーズ調査結果：帝国データバンク</li> </ol> </li> <li>3. モデル事業採択団体からの中間報告：各モデル団体（10 団体）</li> <li>4. モデル事業採択団体の進捗調査及び成果分析に向けて：日本総合研究所（請負事業者）</li> <li>5. 閉会</li> </ol> |

### 2.2.3 進捗等調査

進捗調査業務として、請負事業者にて、まずは「B 事業全体把握」として主に「進捗把握」、「課題・リスク把握」を実施し、各モデル団体の状況を適宜把握した。また、「A 事業全体報告」としてモデル事業全体の状況を取りまとめたものを事務局内で共有した。

以下に、請負事業者が実施した各作業の具体的手順を示す。

#### (1) 進捗把握

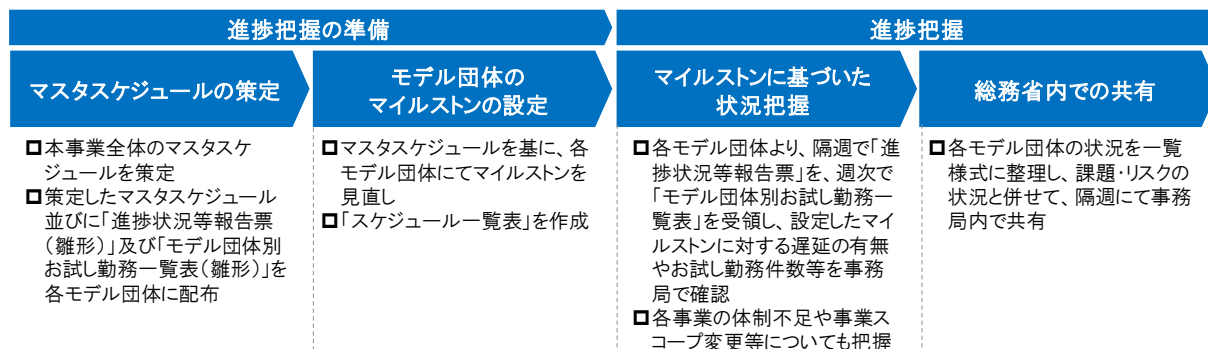
進捗把握として、「別紙 1 進捗調査・成果分析業務の実施スケジュール」をマスタスケジュールとして整理した。また、中間報告会の開催後、上記のマスタスケジュールに準じて各モデル団体にマイルストンの見直し等を依頼し、別途「別紙 4 モデル事業スケジュール一覧表」として整理した。

その後、各モデル団体より、隔週で「別紙 2-1 進捗状況等報告票（雛形）」による状況報告を、また週次で「別紙 2-2 モデル団体別お試し勤務一覧表（雛形）」による状況報告をメールにて受領し、適宜電話等で補足的にヒアリングを行いながら、設定したマイルストーンに対する進捗遅延がないか、お試し勤務企業数が順調に伸びているか等の状況を把握した。

なお、進捗状況のみの把握では、遅延が生じた場合のその要因の把握が困難になるため、「別紙 2-1 進捗状況等報告票（雛形）」においては、進捗状況と併せて、各モデル団体の実施体制に不足がないか、当初の事業スコープ（目標や成果指標等）に変更は無いのかも併せて把握できる構成とした。

以下に進捗把握の実施手順を示す。

図表 2-5 進捗把握の実施手順



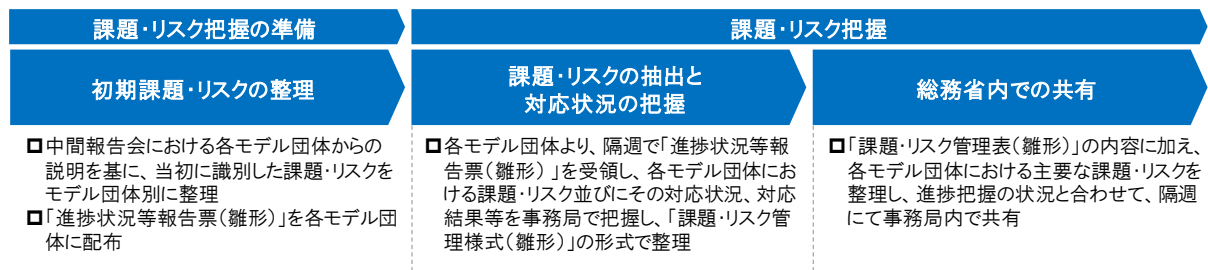
(2) 課題・リスク把握

課題・リスク把握として、まずは中間報告会における各モデル団体からの事業概要・取組状況等に係る説明を基に、各モデル団体の事業推進に係る課題・リスクを棚卸しした。

その後、隔週でモデル団体よりメールにて受領する「別紙2-1 進捗状況等報告票(雛形)」の記載内容を基に各モデル団体が抱える課題・リスクの内容を把握し、その内容や対応状況、対応結果等を「別紙5 課題・リスク管理表(雛形)」の形で整理した。

以下に課題・リスク把握の実施手順を示す。

図表 2-6 課題・リスク把握の実施手順



(3) 全体状況共有

上記の「進捗把握」及び「課題・リスク把握」を行い、モデル事業全体の状況把握を行った上で、週次で会議を設け、状況を事務局内で共有した。

原則として、「別紙2-2 モデル団体別お試し勤務一覧表(雛形)」及び「別紙5 課題・リスク管理表(雛形)」の内容については毎週共有を図った。

また、「別紙2-1 進捗状況等報告票(雛形)」の内容については、以下に示すように、「別紙6 モデル事業全体状況報告票(雛形)」を用い、モデル事業全体の概況が適切に把握できるよう、各モデル団体の状況を統一的基準で評価し、分かりやすく可視化した上で、隔週の頻度にて事務局内で共有した。

## 2 進捗調査・成果分析業務の実施内容

図表 2-7 モデル事業全体状況報告票のポイント

| モデル事業全体状況報告票(〇月〇日時点)   |   |   |                          |             |                            |   |  |
|--|---|---|--------------------------|-------------|----------------------------|---|--|
| 全体状況<br>サマリー   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● モデル団体〇〇にて大規模な進捗遅延が発生し、成果報告会に影響するリスクあり。対応要員を増加することで〇/〇</li> <li>● モデル団体□□とモデル団体△△の事業スコープが拡大。精査結果に応じてマスタスケジュールを見直す可能性あり</li> </ul> |   |                          |             |                            |   |  |
|  | <p>● 状況評価のすべてが「○」<br/>● 状況評価が「×」が1種<br/>● 状況評価が「×」が2種以上</p> <p>進捗 : スケジュールどおりに進捗しているか<br/>体制 : 各工程の実施に足る要員は確保されているか<br/>スコープ : スコープが確定しているか(大きな変動要素(課題/リスク)は残されていないか)</p> |   |                          |             |                            |   |  |
|  | プロジェクト/現工程  | 主要マイルストーン   | 総評                       | 進捗          | 体制                         | スコープ  | 状況への対処方法   |
|  | モデル団体 A   | 環境整備<br>整備完了 :2017/5<br>入居者受入 :2017/6<br>事業評価 :2017/8<br>戦略策定 :2017/9 | 未決事項により、 <b>差支の遅延が発生</b> | 設計要員が不足     | 重要評価項目の追加を、 <b>2つとして管理</b> | 未決事項の方針決定の遅延回復、評価項目の追加に備え、検討事項の優先順位を調整  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○業務の調整箇所・実施箇所を仮置きする。(6/28迄)</li> <li>○項目を管理・評価するための主管を決定する。(7/15迄)</li> </ul> |
| モデル団体 B  | 入居者募集<br>整備完了 :2017/4<br>入居者受入 :2017/5<br>事業評価 :2017/7<br>戦略策定 :2017/8  | 〇〇工程をスケジュール通り実施中  | 特になし                     | 同上          | 検討項目の優先順位を調整               | <ul style="list-style-type: none"> <li>●モデル事業A&amp;Bの運営主体が一部重複しており、今後要員不足のおそれあり。</li> </ul> |  |
| モデル団体 C  | 事業評価<br>整備完了 :2016/12<br>入居者受入 :2017/1<br>事業評価 :2017/5<br>戦略策定 :2017/6  | 〇〇工程をスケジュール通り実施中  | 要員増加により体制不足を解消           | 事業スコープは確定済み | -                          | -   |  |
| <p>【ポイント①】<br/>モデル事業全体にかかる共有事項を全体サマリーとして簡潔に記載</p> <p>【ポイント②】<br/>モデル団体別に現工程と今後の主要マイルストーンを明示</p> <p>【ポイント③】<br/>統一された基準に基づき、各モデル団体を、全体概況/進捗/体制/スコープ等の観点で評価し、その結果を分かりやすく(○/×等で)可視化</p> <p>【ポイント④】<br/>問題や課題・リスクに対するモデル団体側の方策を明示し、総務省事業主管課の合意・意思決定を仰ぐ</p> |   |   |                          |             |                            |   |  |

### 2.2.4 実態調査

各モデル団体の事業内容や取組状況等を仔細に把握するため、進捗調査業務の一環として、事務局にて各モデル団体を訪問し、お試し勤務地の視察やモデル団体の行政担当者、お試し勤務企業へのヒアリング等を行う「実態調査」を実施した。

モデル団体別の実態調査の実施日は以下のとおりである。

図表 2-8 実態調査の実施日等

| 団体名     | 実態調査実施日・期間        | 特記事項※             |
|---------|-------------------|-------------------|
| 青森県弘前市  | 7月13日(木)～14日(金)   | 請負事業者のみ(総務省は別途実施) |
| 秋田県大館市  | 6月6日(火)           |                   |
| 千葉県銚子市  | 7月24日(月)          | 請負事業者のみ(総務省は別途実施) |
| 新潟県南魚沼市 | 6月2日(金)           | 請負事業者のみ(総務省は別途実施) |
| 福井県鯖江市  | 7月5日(水)～7月6日(木)   |                   |
| 京都府京丹後市 | 7月27日(木)～7月28日(金) |                   |
| 島根県松江市  | 6月30日(金)          |                   |
| 山口県     | 7月25日(火)～7月26日(水) |                   |
| 徳島県     | 8月21日(月)～8月23日(水) | 請負事業者のみ(総務省は別途実施) |
| 鹿児島県錦江町 | 8月24日(木)～8月25日(水) |                   |

※ 特段の記載がない場合は事務局にて調査を実施

## 2 進捗調査・成果分析業務の実施内容

実態調査を円滑に進めるために、調査実施日時等の調整に際し、あらかじめ事務局より各モデル団体に対し、ヒアリングの対象者や調査項目等を取りまとめた「別紙7 実態調査項目案（団体共通）」を展開した。なお、当該資料に記載の内容は各モデル団体共通の項目であり、各モデル団体の取組状況やヒアリング対象者に応じて、適宜調査項目を変えて調査を行った。

実態調査の結果については、「3.2 モデル団体別の調査・分析結果」を参照のこと。

### 2.2.5 成果報告会

モデル事業の成果を取りまとめ、本事業関係者間での共有や今後のサテライトオフィス誘致に向けた意見交換等を実施するために、モデル事業の終了後、成果報告会を開催した。モデル団体の採択の際に提案書の評価委員となっていたいただいた外部有識者3名にもご参加いただき講評等していただいた。

成果報告会の内容や開催結果については、「3.4 成果報告会の開催結果」を参照のこと。

## 2.3 成果分析業務

### 2.3.1 実施概要

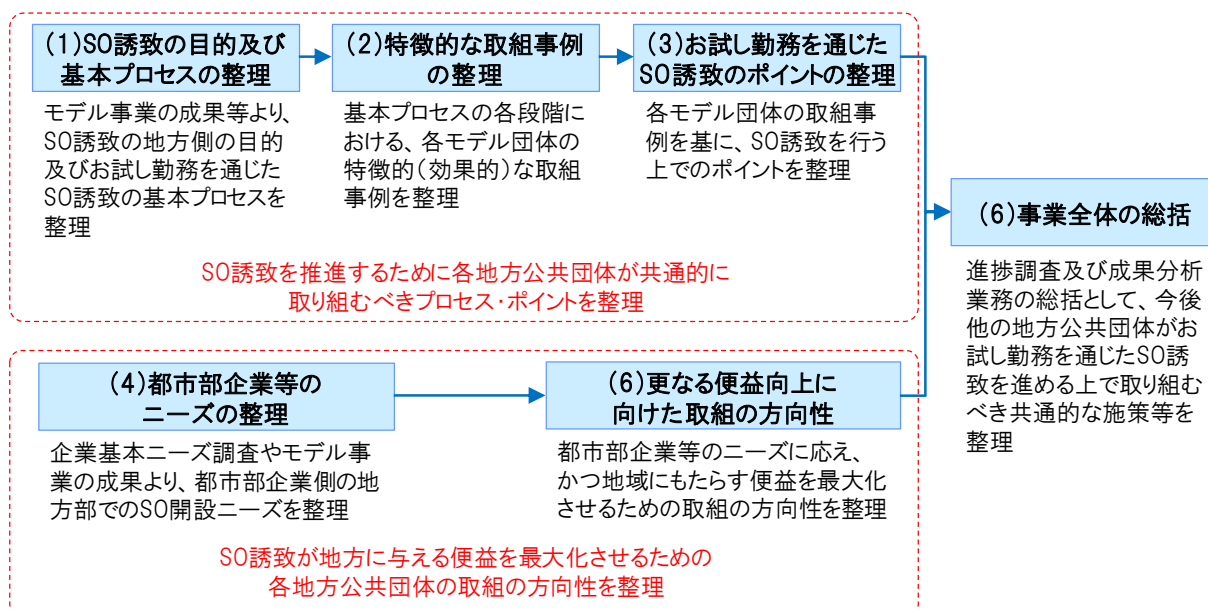
成果分析業務においては、「2.2 進捗調査業務」の成果を取りまとめて分析を行った上で、全国の地方公共団体が、今後地方創生関連施策の一環としてサテライトオフィス誘致を継続的に進めていくためのポイント等を導出した。

成果分析の考え方として、まずは「2.2 進捗調査業務」より得られる各モデル団体の事業成果を基に、お試し勤務を通じたサテライトオフィス誘致を円滑に進める上で、地方公共団体が共通的に実施すべき基本プロセス及び重点的取組並びにそのポイント等を「教科書的」に整理する。

その上で、地方創生の一ツールとしてのサテライトオフィス誘致の意義に焦点を当て、都市部企業等のニーズ等を基に、サテライトオフィス誘致が地方に与える便益を最大化するために地方公共団体が個別に取り組むべき方向性を整理する。

以下に、成果分析の考え方を示す。

図表 2-9 成果分析の考え方



### 2.3.2 各モデル団体の事業成果の整理

「2.2 進捗調査業務」に示す進捗調査、実態調査、成果報告会に加え、各モデル団体が事業終了後に取りまとめる成果報告書の内容を基に、各モデル団体の事業成果を整理する。この際、モデル事業全体の成果を統一的に把握するため、また、モデル団体間の相違点を明確にするために、以下のとおり、共通的な項目を設けて整理を試みる。

具体的な整理結果については、「3.2 モデル団体別の調査・分析結果」を参照のこと。



図表 2-10 モデル団体の事業成果の整理項目

| 整理項目 |           | 内容  |
|------|-----------|---|
| A    | 事業の概要     | モデル事業の一環として、各モデル団体が取り組む事業の概要、目的、実施方針、成果指標、実施体制等を整理。   |
| B    | お試し勤務地の概要 | 各モデル団体が整備するお試し勤務地の概要（名称、類型、受入容量、立地条件等）を整理。  |
| C    | 進捗状況等調査結果 | 「2.2.3 進捗等調査」の実施結果として、進捗、体制、スコープの3つの観点における経緯及び総評並びに主な課題・リスクへの対応状況等を整理。  |
| D    | 実態調査結果    | 「2.2.4 実態調査」の実施結果として、行政担当職員・お試し勤務企業等のヒアリング結果及び当該結果から得られる示唆・仮説等を整理。  |
| E    | 事業成果      | 各モデル団体の成果報告書の内容等に基づき、お試し勤務の実績、当初設定した事業目標（成果指標）の達成状況や重点的取組 <sup>*</sup> への対応状況等を整理。<br>※詳細については「2.3.4 分析・評価の手法」を参照のこと。 |
| F    | 事業全体の総評   | 上記「A」～「E」の内容を踏まえ、各モデル団体の事業成果を、地方創生に資する効果や、サテライトオフィス誘致を推進する上での他の地方公共団体への横展開性等の観点で評価。                                   |

### 2.3.3 マッチング調査結果の整理

マッチング調査の結果（各モデル団体でのお試し勤務を志向する都市部企業の情報）を基に、都市部の中小企業におけるサテライトオフィス導入に係る実態や志向を分析する。

具体的な調査・分析結果については、「3.3 マッチング調査結果」を参照のこと。

### 2.3.4 分析・評価の手法

「2.2 進捗調査業務」の結果及びマッチング調査結果の整理を行う上で、その分析・評価の前提となる考え方を以下に示す。

#### A) サテライトオフィスの活用類型と推定効果

都市部企業の活用形態により、サテライトオフィスが類型化できることは「図表 1-3 サテライトオフィス (S0) の類型」に示すとおりであるが、地方創生のツールとして地方に与える効果も、その類型に応じて異なる。

以下の「図表 2-11 サテライトオフィス (S0) の類型と推定効果」に示すように、類型問わず、共通的な効果（地方に与える便益）として、サテライトオフィスの利用者の往来による地方／都市間の交流人口の拡大や、地域の不良資産となっている空き家、空き公共施設等の有効活用等が上げられる。

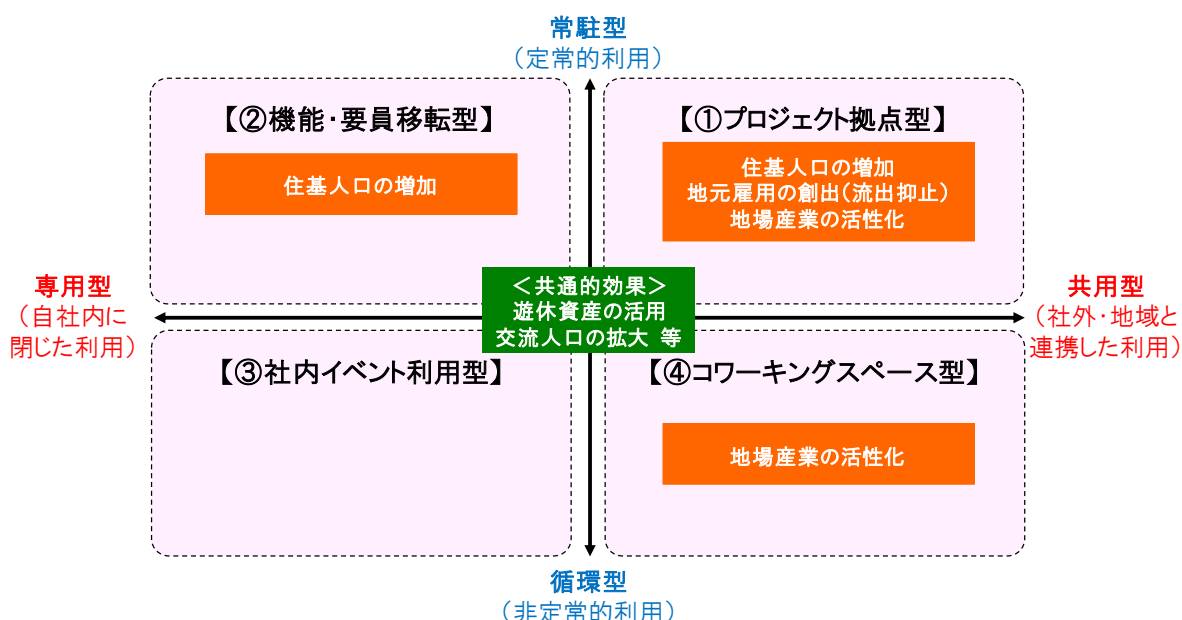
## 2 進捗調査・成果分析業務の実施内容

一方、各類型の特徴的な効果として、都市部企業が地方に要員を常駐させ、自社に閉じた業務を行う「②機能・要員移転型」においては、主に都市部からの実質的な人口流入（住基人口の増加）が、都市部企業の要員がアイデアソン・ハッカソン等のイベントに応じて地元企業・人材とサテライトオフィスを一時的に共用する「④コワーキングスペース型」においては、地場産業の活性化に向けたアイデアの創出等が見込まれる。

加えて、都市部企業が要員を常駐させ、地場の企業・資源・人材と連携しながらサテライトオフィスを活用する「①プロジェクト拠点型」は、上記2類型の効果に加え、都市部企業が新たな地元雇用を生み出す効果も見込め、地域に与える便益が特に大きい類型と位置づけられる。

すなわち、地方創生の観点からは、「①プロジェクト拠点型」のサテライトオフィス誘致を実現できるか、という点が肝要であり、本書においても当該類型の誘致を目標とするための取組を主に分析する。

図表 2-11 サテライトオフィス(SO)の類型と推定効果



### B) お試し勤務を通じたサテライトオフィス誘致の基本プロセスと重点的取組

「図表 2-9 成果分析の考え方」に示すとおり、各モデル団体の事業成果等を基に、まずはお試し勤務を通じたサテライトオフィス誘致を推進するために各地方公共団体が共通的に取り組むべきプロセス・取組・ポイントを整理する。

この際、以下に示すとおり、各モデル団体の事業成果等を基にサテライトオフィス誘致の主要目的を机上で整理した上で、当該目的の達成に向けて複数のモデル団体が共通的に実施している取組を、他の地方公共団体においても実施すべき「重点的取組」として位置づける。

各モデル団体の事業成果を評価する際には、この重点的取組をどの程度実施しているか、また、実施している場合に具体的にどのように創意工夫した取組を行っているか、その効果はどの程度か、等の観点から分析を試みる。

## 2 進捗調査・成果分析業務の実施内容

### (1) モデル事業におけるサテライトオフィス誘致の目的

モデル団体別の調査・分析結果の整理に先立ち、各モデル団体の成果報告書を横串に確認した結果、複数のモデル団体が掲げる事業目的を基に、サテライトオフィス誘致の主な目的を以下のとおり設定する。

図表 2-12 サテライトオフィス(SO)誘致の主要目的

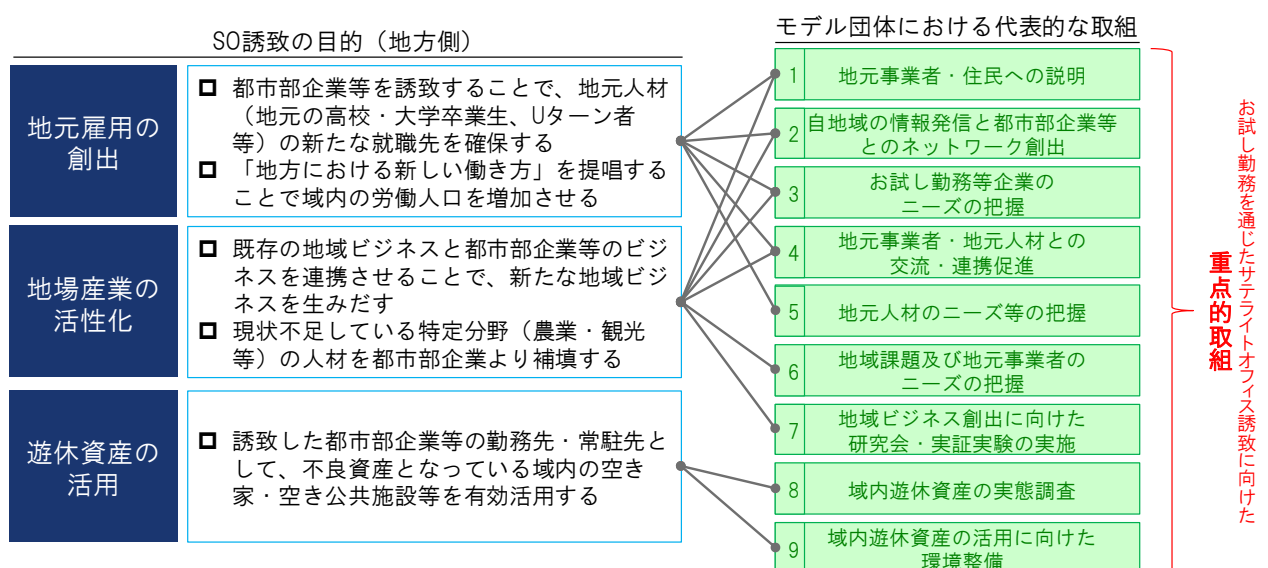
| SO誘致の目的(地方側) |  |
|--------------|--|
| 地元雇用の創出      | <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 都市部企業等を誘致することで、地元人材（地元の高校・大学卒業生、Uターン者等）の新たな就職先を確保する</li> <li>□ 「地方における新しい働き方」を提唱することで域内の労働人口を増加させる</li> </ul> |
| 地場産業の活性化     | <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 既存の地域ビジネスと都市部企業のビジネスを連携させることで、新たな地域ビジネスを生み出す</li> <li>□ 現状不足している特定分野（農業・観光等）の人材を都市部企業等より補填する</li> </ul>       |
| 遊休資産の活用      | <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 誘致した都市部企業等の勤務先・常駐先として、不良資産となっている域内の空き家・空き公共施設等を有効活用する</li> </ul>  |

※各モデル団体の成果報告書を基に整理

### (2) 重点的取組の設定

上記3種の目的達成に向けて複数のモデル団体が共通的に実施している代表的な取組を、各目的と関連付け、以下のとおり「重点的取組」として設定する。

図表 2-13 サテライトオフィス(SO)誘致の目的と重点的取組



※各モデル団体の成果報告書を基に整理

図表 2-14 重点的取組の概要

| 重点的取組                       | 概要   |
|-----------------------------|--|
| 1 地元事業者・住民への説明              | 地元事業者・住民に対する、都市部企業等のサテライトオフィス誘致の意義や効果等の説明  |
| 2 自地域の情報発信と都市部企業等とのネットワーク創出 | 自地域の認知度向上に向けた都市部企業等への広報・プロモーション活動及び都市部企業等との接触による関係性の構築                                   |
| 3 お試し勤務等企業のニーズの把握           | お試し勤務等企業のお試し勤務等の実態（お試し勤務の目的、お試し勤務期間中に実施した活動等）、お試し勤務の感想、サテライトオフィス開設意向及び開設のための隘路の具体的内容等の把握 |
| 4 地元事業者・地元人材との交流・連携促進       | サテライトオフィス開設を検討する、または開設した都市部企業等と、地元の事業者・人材との交流・連携の場の創出                                    |
| 5 地元人材のニーズ等の把握              | 地元教育機関（高校・大学等）の学生の就職動向及び就職ニーズ等の把握  |
| 6 地域課題及び地元事業者のニーズの把握        | 地域が抱える具体的課題及び地元事業者のニーズの把握  |
| 7 地域ビジネス創出に向けた研究会・実証実験の実施   | 地域の既存ビジネス等と都市部企業等のビジネスを掛け合わせた地域ビジネスの創出に向けた研究会・実証実験の実施                                    |
| 8 域内遊休資産の実態調査               | 空き家、空き公共施設等の域内の遊休資産の実態把握とサテライトオフィスへの活用可能性の調査   |
| 9 域内遊休資産の活用に向けた環境整備         | サテライトオフィス開設を検討する、または開設した都市部企業等のサテライトオフィス活用ニーズを踏まえた遊休資産の整備・改修等                            |

※各モデル団体の成果報告書を基に整理

### 3 調査・分析結果

## 3 調査・分析結果

「2.2 進捗調査業務」に基づいて実施したモデル事業全体の中間報告会、進捗調査業務、成果報告会及び各モデル団体の実態調査の結果について、調査項目別の参照先（記載箇所・資料等）は以下のとおり。

図表 3-1 調査項目別の参照先

| 調査項目                    |          | 参照先(記載箇所・資料等)   |
|-------------------------|----------|---|
| 中間報告会（モデル事業全体）          |          | 別紙3 中間報告書一式   |
| 進捗等調査<br>（モデル<br>事業全体*） | 進捗把握     | 別紙8 モデル団体別お試し勤務一覧表（モデル事業終了時）<br>別紙9 お試し勤務実績一覧（モデル事業終了時） |
|                         | 課題・リスク把握 | 別紙10 課題・リスク管理表（モデル事業終了時）                                |
|                         | 全体状況報告   | 別紙11 モデル事業全体状況報告票                                       |
| 実態調査（各モデル団体）            |          | 本書 0<br>モデル団体別の調査・分析結果                                  |
| 成果報告会（モデル事業全体）          |          | 本書 0<br>成果報告会の開催結果                                      |

※モデル団体個別の詳細情報については「3.2 モデル団体別の調査・分析結果」を参照のこと。

### 3 調査・分析結果

#### 3.1 対象モデル団体

モデル事業の対象となる10の地方公共団体(モデル団体)及び各団体の基礎情報を以下に示す。

図表 3-2 10のモデル団体

| 団体名     | 基礎情報      |                          |                    |             |      |                   |
|---------|-----------|--------------------------|--------------------|-------------|------|-------------------|
|         | 人口<br>(人) | 面積<br>(km <sup>2</sup> ) | 昼夜間<br>人口比率<br>(-) | 高齢化率<br>(%) | 備考   |                   |
| 青森県弘前市  | 177,411   | 524.2                    | 1.072              | 29.2        |      |                   |
| 秋田県大館市  | 74,175    | 913.2                    | 1.105              | 35.8        |      |                   |
| 千葉県銚子市  | 64,415    | 84.20                    | 0.987              | 33.6        |      |                   |
| 新潟県南魚沼市 | 58,568    | 584.55                   | 1.003              | 29.2        |      |                   |
| 福井県鯖江市  | 68,284    | 84.59                    | 0.925              | 26.1        |      |                   |
| 京都府京丹後市 | 55,054    | 501.43                   | 0.970              | 35.3        |      |                   |
| 島根県松江市  | 206,230   | 572.99                   | 1.036              | 27.3        |      |                   |
| 山口県     | 下関市       | 268,517                  | 715.89             | 0.987       | 32.8 | お試し勤務地が設置された4市を対象 |
|         | 山口市       | 197,422                  | 1023.23            | 1.015       | 27.0 |                   |
|         | 萩市        | 49,560                   | 698.31             | 0.985       | 39.5 |                   |
|         | 周南市       | 144,842                  | 656.29             | 1.032       | 30.5 |                   |
| 徳島県     | 美馬市       | 30,501                   | 367.14             | 0.976       | 35.4 | にし阿波エリアの2市2町を対象   |
|         | 三好市       | 26,836                   | 721.42             | 1.031       | 41.0 |                   |
|         | つるぎ町      | 8,927                    | 194.84             | 1.050       | 43.3 |                   |
|         | 東みよし町     | 14,638                   | 122.48             | 0.859       | 32.6 |                   |
| 鹿児島県錦江町 | 7,923     | 163.19                   | 0.987              | 42.9        |      |                   |

出典：平成27年国勢調査等より抜粋

### 3 調査・分析結果

#### 3.2 モデル団体別の調査・分析結果

##### 3.2.1 青森県弘前市


###### A) 事業の概要

|           |   |  |            |
|-----------|---|--|------------|
| モデル団体     | 青森県弘前市  | 行政担当部課   | 商工振興部産業育成課 |
| 事業名       | ひろさきお試しサテライトオフィス事業  |  |            |
| 事業のポイント   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市街地と郊外にSOを設置した幅広い受け入れ</li> <li>・ 県内唯一の国立大学「弘前大学」を中心とした若年層の人材や研究シーズとのマッチング</li> <li>・ 産学官連携の可能性の模索</li> </ul> |  |            |
| 目的・方針     | 目的の概要   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若年層の地元定着</li> <li>・ 大都市圏からの人口流入</li> </ul>  |            |
|           | 実施方針  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 弘前大学学生のニーズを踏まえ、事務系・IT系の業種をターゲットに都市部企業を誘致</li> <li>・ その他弘前大学の研究シーズにマッチする企業をターゲットに誘致</li> </ul>   |            |
|           | 成果指標  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お試し勤務企業数：12社</li> <li>・ 視察ツアー参加企業：4社</li> <li>・ 正式進出決定企業：1社</li> <li>・ 地元雇用創出（地元大学2名、UJIターン3名）：5名</li> <li>・ 地元企業コラボレーション：1社</li> </ul>   |            |
| 事業のスケジュール | 主なマイルストーン   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お試し勤務地環境整備：～ 2月28日</li> <li>・ 入居者募集：3月1日～ 8月31日</li> <li>・ お試し勤務受入期間：3月1日～ 8月31日</li> <li>・ 都市部セミナー：5月</li> <li>・ 視察ツアー：4月～ 8月</li> <li>・ 誘致戦略検討：5月～ 8月</li> <li>・ 成果報告書作成：9月</li> </ul>  |            |
| 事業の実施体制   | 弘前市   | <p>&lt;産業育成課&gt;<br/>委託事業の管理、誘致戦略策定適地調査、企業への広報活動等</p> <p>&lt;商工政策課&gt;<br/>中心市街地空き店舗の紹介</p> <p>&lt;広聴広報課&gt;<br/>弘前市の魅力情報発信</p> <p>&lt;ひろさき未来戦略研究センター&gt;<br/>移住者の生活環境等支援メニューの検討・戦略への反映等</p> <p>&lt;東京事務所&gt;<br/>首都圏における情報発信・移住相談等の総合窓口</p> <p>&lt;建築指導課&gt;<br/>市内空き家物件の紹介</p> |            |
|           | 弘前大学  | <p>&lt;研究推進課&gt;<br/>共同研究開発支援、お試し勤務地の提供</p>  |            |
|           | その他   | <p>&lt;ひろさき産学官連携フォーラム&gt;<br/>産学官連携による新産業創造に向けた支援</p>  |            |

### 3 調査・分析結果

|  |        |  |
|--|--------|--|
|  | 再委託事業者 | <p>&lt;ポート株式会社&gt;</p> <p>S0 意向調査及びお試し勤務体験事業の実施、企業へのプロモーション、視察ツアー、都市部セミナー、誘致戦略案の策定</p> |
|--|--------|--|

#### B) お試し勤務地の概要

|         |      |  |
|---------|------|--|
| 各勤務地の概要 | 拠点名称 | コラボ弘大レンタルラボ (弘前大学)   |
|         | 受入容量 | 2社、10名   |
|         | 特記事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>市街地に立地し、公共交通機関等からのアクセス性に優れる</li> <li>弘前大学との連携（人材交流、研究連携等）が容易</li> </ul>   |
|         | 写真   |   <p>※当該モデル団体成果報告時の資料より抜粋（以下同。）</p> |
|         | 拠点名称 | 満天ハウス (星と森のロマンピア)  |
|         | 受入容量 | 1社、5名  |
|         | 特記事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>市内から車で約20分の郊外に立地</li> <li>自然環境に囲まれて執務可能</li> </ul>  |
|         | 写真   |                                |



### 3 調査・分析結果

#### C) 進捗状況等調査結果

##### <進捗・体制・スコープ>

|      |      |  |
|------|------|--|
| 進捗   | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3月の入居受け入れ開始後、4月下旬時点で3社の受け入れを達成</li> <li>・ 4/24にお試しサテライトオフィス交流セミナーに参加し、訪問企業16社と名刺交換</li> <li>・ ポートとの再委託契約手続の遅延等に伴い、当初5月中の開催を予定していた東京での都市部セミナーの開催が遅延。→6/26に開催。(約1ヶ月の遅延)</li> <li>・ 都市部セミナーの開催効果により、7月～8月の間に多数のお試し勤務企業を確保</li> </ul> |
|      | 総評   | 都市部セミナーの開催遅延に伴い、お試し勤務企業の誘引に影響が出るのが想定されたが、最終的に成果指標として設定したお試し勤務企業、視察ツアー参加企業数を達成した。   |
| 体制   | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5/26にポートとの再委託契約締結</li> </ul>  |
|      | 総評   | 早期に庁内体制を確立した。また事業者との再委託契約締結が遅延したものの、事業進捗に影響を及ぼすことはなかった。  |
| スコープ | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月中に2回開催した視察ツアーにて、成果指標として設定した「視察ツアー参加企業：4社」を達成</li> <li>・ 8月下旬時点で成果指標として設定した「お試し勤務企業数：12社」を達成</li> </ul>  |
|      | 総評   | 事業期間を通じて成果指標の変更はなかったが、最終的に5項目中3項目が未達成という結果となった。<br>※達成状況の詳細については「E)事業成果」を参照のこと。  |

##### <主な課題・リスクとその対応経緯>

- ・ ポートとの再委託契約締結の遅延等により、当該事業者が実施する都市部セミナーの開催が1ヶ月程度遅延し、お試し勤務企業の誘致活動に影響が出るのが懸念されたが、マッチング調査の結果を踏まえた都市部企業へのコンタクト、7月開催の視察ツアー等により、成果指標として設定した12社を超えるお試し勤務企業を確保した。

### 3 調査・分析結果

#### D) 実態調査結果

<実施日時>

平成 29 年 7 月 14 日（水）

<行政担当職員・お試し勤務事業者等ヒアリング結果>

|  |   |
|--|---|
| <p style="text-align: center;"><b>弘前市<br/>担当職員</b></p> | <p style="text-align: center;">弘前市商工振興部産業育成課 尾崎 健一氏</p> <p>&lt;行政のお試し勤務企業の誘致方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お試しサテライトオフィス交流セミナーや都市部セミナーの参加企業、マッチング調査結果の対象企業を中心に、行政担当職員（弘前市担当課、東京事務所）が各企業へ個別に連絡を取り、お試し勤務企業を確保している。</li> <li>・ 移住促進よりも企業誘致と雇用創出に重きを置いて事業を推進している。そのため、お試し勤務についても企業単位での入居を前提としている。</li> <li>・ その他、地元大学（弘前大学）との共同研究・人材マッチング等の産学官連携を他団体との差別化要素としてお試し勤務企業を誘引している。特に弘前大学学生の能力や地元就職志向を積極的に PR している。</li> <li>・ 事業終了後も、市独自で市内の有効なオフィス（まちなかオフィス等）を活用したサテライトオフィス環境を整備し、継続して企業誘致を進めていく方針。</li> </ul>  |
| <p style="text-align: center;"><b>弘前大学</b></p>         | <p style="text-align: center;">弘前大学教育推進機構キャリアセンター 担当職員</p> <p>&lt;地元高校生・大学生の進学・就職動向等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内高校生は大学進学時に宮城県や東京都等の県外に進学する者が多い。</li> <li>・ 弘前大学卒業生の 30%弱が青森県内に就職している。また、「県内に留まりたい」と望む者は約 50%を超えるものの、それに応えうる仕事が市内では限られている。</li> <li>・ 市内の就職希望先としては、市役所、地方銀行、その他公務員が根強い。</li> <li>・ 市内の各企業は資力に乏しく、就職関連メディアにも自社情報を載せることが困難。また、賃金面でも都市部企業の 6 割程度の水準である。</li> </ul>  |
| <p style="text-align: center;"><b>お試し勤務<br/>企業</b></p> | <p style="text-align: center;">株式会社 SI エージェンシー 代表取締役社長</p> <p>主な業務内容：iOS アプリ、業務・管理システムの開発等</p> <p>&lt;利用契機・地域の選定要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マッチング調査の結果を受け、弘前市より連絡があった。</li> <li>・ 社長家族が弘前市出身という地縁もあり、お試し勤務を決定した。</li> <li>・ 地方進出の主目的は、現地人材の確保（親の介護や子育て等の面で「その土地で仕事をするニーズがある人材」の確保）とコスト（社員の通勤費等）の軽減。</li> </ul> <p>&lt;オフィス利用状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コラボ弘大レンタルラボ、満天ハウス（郊外コテージ型）の両環境を体験。</li> <li>・ お試し勤務環境でのアプリ開発や、弘前市内の事業者等への営業活動を実施。</li> <li>・ 社長、プロジェクトリーダー 4 名、営業 1 名の計 6 名が参加。</li> <li>・ 東京本社スタッフとは、チャット・電話でコミュニケーション。</li> <li>・ クラウド・サーバーを介して作業用データを取得しており、通常作業を行う上での支障は特になし。</li> </ul> <p>&lt;今後の拠点展開方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京では IT 系人材の獲得競争が激しく、地方で人材を確保したいという思いあり。地元大学との連携を重要視。</li> </ul> |

### 3 調査・分析結果

|   |   |
|---|---|
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現地人材の雇用のみならず、東京本社の社員の U ターン先を確保するという狙いもある。</li> </ul>  |
|   | <p>有限会社アフロディレクターズ 代表取締役</p> <p>主な業務：Web 制作</p> <p>&lt;利用契機・地域の選定要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 20 年に弘前市商工会主催のセミナー講師を請け負って以来、弘前市と継続的なつながりがある。</li> <li>・ 地方ローカル線の復興プロジェクトなど、かねてより弘前市内に仕事や人的ネットワークがあったことがお試し勤務の契機。</li> </ul> <p>&lt;オフィス利用状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コラボ弘大レンタルラボ、満天ハウス（郊外コテージ型）の両環境を体験。</li> <li>・ お試し勤務環境では Web ページ作成の他、弘南鉄道大鰐線復興に向けた地域サイト・チラシ作成等のプロジェクトも手がける。</li> <li>・ お試し勤務は代表者 1 名のみが実施。</li> </ul> <p>&lt;今後の拠点展開方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お試し勤務時点で地方に S0 を開設する予定はない。</li> <li>・ 中小企業にとって、地方に S0 を開設すること、当該拠点に要員を常駐させることはコスト面で大きなリスクを伴う。そのため、オフィスの開設に先立ち、まずその土地で継続的な仕事があることが大前提となる（まず仕事があり、その内容・規模等に応じて S0 開設や人材雇用を検討する方針）。</li> </ul> |
| <b>ヒアリングから得られた主な示唆・仮説</b>   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>□ IT 業界においては、数年前、企業がアジア圏（中国、インド等）に拠点を構え、人件費の安い現地人材を登用してシステム開発等を行う「オフショア開発」が流行したが、アジア圏の人件費が高騰した現在においては、高等教育機関を有する国内の地方都市が、安価で優良な人材の獲得先として都市部企業から注目を集めている。</li> <li>□ 社員の U ターン先を確保する、また、リラックスして仕事できる環境を設ける等の目的で、地方にサテライトオフィスを開設することは、多様な働き方の提供や生産性向上等の面で一定の効果が見込める。</li> <li>□ 他のモデル団体の調査結果も踏まえると、(1)現地人材の獲得が見込めること、また、(2)既に仕事を通じた人的ネットワークがあり、進出後も継続的な仕事が見込めることが、サテライトオフィス開設の大きな要因となることが示唆される。</li> </ul> |   |

### 3 調査・分析結果

#### E) 事業成果

＜お試し勤務の実績＞

事業期間中における弘前市のお試し勤務の実績は以下のとおり。計 21 件のお試し勤務があり、入居期間は概ね 2 泊 3 日程度である。また、Web 制作、ゲーム企画・開発、システム・ソフトウェア開発等の IT 系企業が多数を占める。

| No | お試し勤務<br>企業名            | 業種・<br>主な事業                    | お試し<br>勤務地                | 入居期間                                  | 入居<br>者数 | 当該モデル団体における<br>お試し勤務の契機   |
|----|-------------------------|--------------------------------|---------------------------|---------------------------------------|----------|---------------------------|
| 1  | 有限会社アフロ<br>ディレクターズ<br>① | Web 制作                         | コラボ弘大レ<br>ンタルラボ           | 平成 29 年 3 月 22 日～<br>平成 29 年 3 月 25 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等            |
| 2  | 株式会社デザイ<br>ンアクト         | ゲーム企<br>画・開発                   | コラボ弘大レ<br>ンタルラボ・<br>満天ハウス | 平成 29 年 4 月 22 日～<br>平成 29 年 4 月 25 日 | 8        | 市職員が会社代表へ情報提<br>供         |
| 3  | D R e S S               | ゲームシナ<br>リオ制作                  | コラボ弘大レ<br>ンタルラボ・<br>満天ハウス | 平成 29 年 4 月 22 日～<br>平成 29 年 4 月 25 日 | 1        | お試し勤務企業（デザイ<br>ンアクト）からの紹介 |
| 4  | 有限会社キャリ<br>アサポート        | 社員研修サ<br>ービス                   | 満天ハウス                     | 平成 29 年 6 月 30 日～<br>平成 29 年 7 月 1 日  | 2        | モデル団体 Web サイト等            |
| 5  | 有限会社アフロ<br>ディレクターズ<br>② | -                              | 満天ハウス                     | 平成 29 年 7 月 12 日～<br>平成 29 年 7 月 19 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等            |
| 6  | 株式会社 SI エ<br>ージェンシー     | iOS アプリ<br>開発                  | コラボ弘大レ<br>ンタルラボ・<br>満天ハウス | 平成 29 年 7 月 12 日～<br>平成 29 年 7 月 14 日 | 6        | マッチング調査                   |
| 7  | シスコシステム<br>ズ合同会社        | ネットワー<br>クシステ<br>ム、ソリュ<br>ーション | コラボ弘大レ<br>ンタルラボ           | 平成 29 年 7 月 24 日～<br>平成 29 年 7 月 24 日 | 2        | モデル団体 Web サイト等            |
| 8  | 株式会社エクシ<br>ード           | 広告、販売<br>促進、マー<br>ケティング        | コラボ弘大レ<br>ンタルラボ           | 平成 29 年 7 月 27 日～<br>平成 29 年 7 月 28 日 | 3        | コラボ弘大レンタルラボ入<br>居企業からの紹介  |
| 9  | 五右衛門株式会<br>社            | 不用品買取<br>業                     | コラボ弘大レ<br>ンタルラボ・<br>満天ハウス | 平成 29 年 8 月 2 日～<br>平成 29 年 8 月 4 日   | 2        | 都市部セミナー参加                 |
| 10 | シビレ株式会社                 | 地域活性化事<br>業                    | コラボ弘大レ<br>ンタルラボ・<br>満天ハウス | 平成 29 年 8 月 4 日～<br>平成 29 年 8 月 6 日   | 3        | 再委託事業者からの紹介               |
| 11 | リンテアライン<br>株式会社         | 終活・葬儀<br>業界専門コ<br>ンサルティ<br>ング  | コラボ弘大レ<br>ンタルラボ・<br>満天ハウス | 平成 29 年 8 月 14 日～<br>平成 29 年 8 月 16 日 | 2        | マッチング調査                   |
| 12 | 株式会社エーア<br>イスクエア        | A I 活用自<br>然言語処理               | コラボ弘大レ<br>ンタルラボ           | 平成 29 年 8 月 21 日～<br>平成 29 年 8 月 22 日 | 2        | 弘前大学からの紹介                 |

### 3 調査・分析結果

| No | お試し勤務<br>企業名              | 業種・<br>主な事業                  | お試し<br>勤務地                | 入居期間                                  | 入居<br>者数 | 当該モデル団体における<br>お試し勤務の契機  |
|----|---------------------------|------------------------------|---------------------------|---------------------------------------|----------|--------------------------|
| 13 | シームレスサー<br>ビス株式会社         | 電子機器の<br>検査・保守<br>サービス       | コラボ弘大レ<br>ンタルラボ           | 平成 29 年 8 月 21 日～<br>平成 29 年 8 月 23 日 | 1        | 都市部セミナー参加                |
| 14 | 株式会社東北電<br>力              | 電力                           | コラボ弘大レ<br>ンタルラボ           | 平成 29 年 8 月 22 日～<br>平成 29 年 8 月 22 日 | 2        | 弘前大学からの紹介                |
| 15 | 株式会社コミッ<br>ト              | 仮想デスク<br>トップサー<br>ビス等        | コラボ弘大レ<br>ンタルラボ・<br>満天ハウス | 平成 29 年 8 月 23 日～<br>平成 29 年 8 月 24 日 | 2        | 都市部セミナー参加                |
| 16 | 株式会社アンコ<br>ール・アン          | 化粧品のO<br>EM企画・<br>製造         | コラボ弘大レ<br>ンタルラボ           | 平成 29 年 8 月 24 日～<br>平成 29 年 8 月 25 日 | 2        | コラボ弘大レンタルラボ入<br>居企業からの紹介 |
| 17 | 有限会社イント<br>ロン             | 化粧品原料<br>の開発                 | コラボ弘大レ<br>ンタルラボ           | 平成 29 年 8 月 24 日～<br>平成 29 年 8 月 25 日 | 2        | コラボ弘大レンタルラボ入<br>居企業からの紹介 |
| 18 | 株式会社Y A Z                 | WE Bサー<br>ビス業                | 満天ハウス                     | 平成 29 年 8 月 24 日～<br>平成 29 年 8 月 26 日 | 5        | コラボ弘大レンタルラボ入<br>居企業からの紹介 |
| 19 | 株式会社エグゼ<br>ック             | 写真販売の<br>プラットフ<br>ォーム開発<br>等 | コラボ弘大レ<br>ンタルラボ           | 平成 29 年 8 月 26 日～<br>平成 29 年 8 月 31 日 | 3        | お試し勤務企業からの紹介             |
| 20 | 株式会社テクニ<br>カル・ソリュー<br>ション | ソフトウェ<br>ア開発事業               | コラボ弘大レ<br>ンタルラボ           | 平成 29 年 8 月 28 日～<br>平成 29 年 8 月 29 日 | 1        | マッチング調査                  |
| 21 | 関西総合コンサル<br>タント株式会<br>社   | 測量・技術<br>者派遣業                | コラボ弘大レ<br>ンタルラボ           | 平成 29 年 8 月 30 日～<br>平成 29 年 8 月 30 日 | 1        | マッチング調査                  |

#### < 成果指標の達成状況 >

当初設定した成果指標の達成状況は以下のとおりであり、お試し勤務企業数や視察ツアー参加企業数は目標値を達成したものの、正式進出企業や地元雇用創出、地域企業コラボレーションといったサテライトオフィス誘致の本来目的に即した指標は目標値を未達成であった。

この要因として、弘前市においては、都市部企業が求める市街地の拠点やコワーキングスペースが無かったこと等を挙げている。

| No | 成果指標      | 目標値  | 実績値  | 備考                                 |
|----|-----------|------|------|------------------------------------|
| 1  | お試し勤務企業数  | 12 社 | 21 件 | 同一企業による複数回のお試し勤務<br>は個別にカウント（1 社分） |
| 2  | 視察ツアー参加企業 | 4 社  | 4 社  |                                    |
| 3  | 正式進出決定企業  | 1 社  | 0 社  |                                    |

### 3 調査・分析結果

| No | 成果指標         | 目標値 | 実績値 | 備考 |
|----|--------------|-----|-----|----|
| 4  | 地元雇用創出       | 5名  | 0名  |    |
| 5  | 地元企業コラボレーション | 1社  | 0件  |    |

#### < 重点的取組への対応状況 >

「2.3.4 分析・評価の手法」に示す重点的取組への弘前市の対応状況は以下のとおりとなる。

○：対応      △：部分的に対応      -：対応なし

|   | 重点的取組                     | 評価 | 対応状況概要  |
|---|---------------------------|----|---|
| 1 | 地元事業者・住民への説明              | -  | 特筆すべき対応なし。  |
| 2 | 自地域の情報発信と都市部企業等とのネットワーク創出 | ○  | 都市部企業の経営者に対するアプローチを実施したほか、都市部にて地方進出セミナーを開催。                       |
| 3 | お試し勤務等企業のニーズの把握           | ○  | お試し勤務企業へのアンケート調査を行い、地方進出の目的、現地採用のターゲット、地方進出時に求める立地環境や行政の支援施策等を聴取。 |
| 4 | 地元事業者・地元人材との交流・連携促進       | ○  | お試し勤務企業と地元事業者、弘前大学の職員・学生との意見交換の場を設定。（⇒総評にて詳細記載。）                  |
| 5 | 地元人材のニーズ等の把握              | ○  | 誘致戦略策定に向けて、弘前大学の学生に対する就職意向等の調査を実施。                                |
| 6 | 地域課題及び地元事業者のニーズの把握        | -  | 特筆すべき対応なし。  |
| 7 | 地域ビジネス創出に向けた研究会・実証実験の実施   | -  | 特筆すべき対応なし。  |
| 8 | 域内遊休資産の実態調査               | △  | 誘致戦略策定に向けて、市内施設の適地調査を実施。  |
| 9 | 域内遊休資産の活用に向けた環境整備         | -  | 特筆すべき対応なし。  |

### 3 調査・分析結果

#### F) 事業全体の総評

上記の整理内容を踏まえ、弘前市におけるモデル事業全体の総評を以下に整理する。

##### ―お試し勤務企業が志向するサテライトオフィスの類型―

弘前市が整備した2種のお試し勤務地（コラボ弘大レンタルラボ、満天ハウス）は、いずれも特定の企業が個室を占有するタイプであった。特に郊外に立地する「満天ハウス」は、市街地の喧騒を離れ、静かな環境でリラックスして作業する上では適地であり、お試し勤務という短期間ながらも「図表 1-3 サテライトオフィス (SO) の類型」に示す「③社内イベント利用型」として利用者の生産性向上に資する環境であることがうかがえる。

また、スペースそのものは特定の企業が専用する形態であったものの、事業期間中に行政担当職員が弘前大学職員との意見交換（主に就職や共同研究について）や地元事業者との交流の場を積極的に設けたことにより、お試し勤務企業が社外・地域と連携する「①プロジェクト拠点型」、「④コワーキングスペース型」の志向が伺える場面も見られた。

なお、「③社内イベント利用型」として、郊外に立地する「満天ハウス」のみを利用し、自社内の業務に専念するお試し企業が見られた一方で、「①プロジェクト拠点型」及び「④コワーキングスペース型」として社外・地域と連携した活動を行ったお試し勤務企業は、皆市街地に立地する「コラボ弘大レンタルラボ」を利用していることから、連携に際しては、地元事業者の事業所との距離が近い拠点があることが重要であることがうかがえる。

##### ―地元人材の実態・ニーズの把握―

弘前市では、お試し勤務の受入に先立ち、あらかじめ地元人材のニーズを把握するために、弘前大学学生 400 人を対象に希望勤務地や職種等を問うアンケートを実施し、その結果を踏まえ、事務系・IT系の業種にターゲットを絞った（※）誘引活動を実施した。また、来訪したお試し勤務企業に対しては、弘前大学の就職担当職員との意見交換の場を設け、弘前大学学生の就職実態等を伝えている。

前述のとおり、特に大都市圏所在のIT系企業は都市部での人材獲得が困難という問題に直面している背景を踏まえると、上記のような取組は「地元に残って仕事をしたい人材／地方の優秀な人材を求める都市部企業」のマッチングを図る上で有効な手法と言える。

（※）「事務系・IT系」とのターゲットでは、該当する企業が数多く存在する。マッチングの精度をより高めるためには、より細かな区分（例えば、ソフトウェア業、情報処理サービス業、情報提供サービス業等）でのアンケートを実施することも考慮に値する。

##### ―事業の進め方・成果―

「C)進捗状況等調査結果」に示すとおり、概ね進捗遅延なく順調に事業を執行したが、「E)事業成果」に示すように正式進出企業の確保や地元雇用の創出等の目標達成には至らなかった。

限られた期間内で行政担当職員が主となり、お試し勤務企業と弘前大学、地元事業者との交流の場を創出することで地元人材の実態・ニーズに係る情報交換が進み、将来的な地元雇用の創出に向けた道筋が見えてきたが、今後都市部企業の進出に向けた具体的な検討を促すためには、市街地での勤務環境の整備と合わせ、既に都市部から弘前市に進出している事業者等が媒介となり、ビジネス・生活面で全面的にサポートするような民／民での誘引活動が重要と考える。

### 3 調査・分析結果

#### 3.2.2 秋田県大館市

##### A) 事業の概要

|           |  |  |        |
|-----------|--|--|--------|
| モデル団体     | 秋田県大館市   | 行政担当部課   | 産業部商工課 |
| 事業名       | 「星と緑と温泉の360° パノラマ」サテライトオフィス体験事業  |  |        |
| 事業のポイント   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大都市圏では体験できない自然に囲まれた非日常的空間の執務環境の提供</li> <li>・コテージの活用による24時間執務可能な職住一体型の執務環境</li> <li>・豊富な温泉による心身のリフレッシュ</li> </ul> |  |        |
| 目的・方針     | 目的の概要  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致のための仕組みづくり</li> <li>・都市部のIT企業等における大館市の認知度向上</li> </ul>   |        |
|           | 実施方針   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・IT企業等を中心とした都市部企業等へのアプローチ</li> <li>・お試し勤務の主な誘致対象を以下に設定             <ol style="list-style-type: none"> <li>① テレワークに向く業種（IT、デザイン、出版、ソフト開発、サービス等）</li> <li>② 原則として三大都市圏に所在する企業等</li> <li>③ 地域の課題解決に関する事業提案を持つ企業等</li> <li>④ 個人事業主（フリーランス、エンジニア・ライター・デザイナー・エディター等）</li> </ol> </li> </ul> |        |
|           | 成果指標   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・（マッチング調査の結果）同市のお試し勤務に「関心がある」と回答した企業への企業訪問やダイレクトメール発信の積極的プロモーション活動</li> <li>・お試し勤務企業数：10社程度</li> <li>・お試し勤務後の企業の定着又は当該企業従事者の移住：1事例以上</li> </ul>   |        |
| 事業のスケジュール | 主なマイルストーン  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・S0環境整備：～ 4月14日</li> <li>・お試し勤務企業等募集：2月11日 ～ 9月15日</li> <li>・お試し勤務受入期間：4月1日 ～ 9月29日</li> <li>・都市部セミナー：6月9日</li> <li>・お試しツアー：6月16日 ～ 7月31日</li> <li>・誘致戦略検討：（平成28年）12月21日 ～ 9月29日</li> <li>・成果報告書作成：8月11日 ～ 9月29日</li> </ul>   |        |
| 事業の実施体制   | 大館市  | <p>&lt;産業部商工課&gt;<br/>委託事業全体管理、お試し勤務企業のアテンド・ケア、S0候補適地調査</p> <p>&lt;産業部移住交流課&gt;<br/>移住者とのマッチング、移住に対する相談・ケア、お試し勤務企業と移住者の交流</p> <p>&lt;産業部観光課&gt;<br/>地域資源の紹介、代表的な観光スポットの紹介、観光等における企業提案の窓口</p> <p>&lt;教育委員会&gt;<br/>小中学校におけるワークショップ企画</p>  |        |



### 3 調査・分析結果

|  |            |  |
|--|------------|--|
|  | 再委託<br>事業者 | <p>&lt;株式会社あわせ&gt;<br/>誘致戦略策定、誘致戦略作成ワークショップ、先進地事例や<br/>自社ノウハウの組入提案、マッチングイベント、お試し勤務<br/>アンケート作成・分析、S0 候補適地調査</p> <p>&lt;石山デザイン事務所&gt;<br/>お試し勤務企業の情報配信、お試し勤務企業のアテンド、お<br/>試し勤務企業の要望対応</p> |
|--|------------|--|

#### B) お試し勤務地の概要

|             |      |   |
|-------------|------|---|
| 各勤務地の<br>概要 | 拠点名称 | ベニヤマ自然パーク（コテージ）   |
|             | 受入容量 | 6 社、36 名  |
|             | 特記事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然豊かな環境に立地するコテージ風オフィス</li> <li>・ 無線 LAN 環境、執務環境、生活用品等を完備</li> </ul>  |
|             | 写真   |   <p>※当該モデル団体成果報告時の資料より抜粋（以下同。）</p> |
|             | 拠点名称 | ゼロダテ・アート・センター（ZAC）  |
|             | 受入容量 | 10 名  |
|             | 特記事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市街地中心部に立地</li> <li>・ 秋田犬が常駐</li> </ul>   |
|             | 写真   |                                   |

### 3 調査・分析結果

#### C) 進捗状況等調査結果

##### <進捗・体制・スコープ>

|      |      |  |
|------|------|--|
| 進捗   | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4/14 にコテージの整備完了</li> <li>・ 4/24 にお試しサテライトオフィス交流セミナーに参加し、訪問企業 16 社と名刺交換</li> <li>・ 5/16 にマッチングイベントを東京にて実施</li> <li>・ 6/9 に松江市と共同で都市部セミナーを実施</li> <li>・ 6/10 に「地方創生プロジェクト移住・交流フェア in Tokyo」（以下「移住交流フェア」という。）に参加し、事業説明</li> </ul>  |
|      | 総評   | <p>お試し勤務地の環境整備、都市部セミナー等をマイルストーンに準じて執行し、大きな進捗遅延は見られなかった。また、4月中旬のお試し勤務企業の初回受入後、約1ヶ月で当初設定していた成果指標「お試し勤務企業数：10社程度」を達成するなど、件数を順調に伸ばした。</p>  |
| 体制   | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月下旬より、お試し勤務企業のアテンド・ケアに伴う受入体制不足に陥る</li> <li>・ 6月よりお試し勤務の受入サポート業務を石山デザイン事務所に発注</li> <li>・ 誘致戦略策定に向け、地元事業者・住民等からなる協議会を立ち上げ、ワークショップを開催</li> </ul>  |
|      | 総評   | <p>お試し勤務受入後すぐに体制不足に陥ったが、地元事業者への受入サポート業務の発注等により、モデル団体中最多のお試し勤務の受入に対応した。</p>   |
| スコープ | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Web 広告や上記のマッチングイベントの反響により、5月下旬時点で当初想定を上回る企業からの問合せが発生</li> <li>・ 想定以上のお試し勤務が発生したため、5月下旬に総務省と協議の上、当初想定していたお試しツアーの開催を中止（お試し勤務の交通費に当該ツアーの開催費用を流用）</li> <li>・ 5月下旬時点で、成果指標の「お試し勤務企業数：10社程度」を達成</li> <li>・ 6月より想定以上のお試し勤務の受入に伴う予算調整を総務省と協議</li> <li>・ 上記協議の結果、6月下旬より総務省との変更契約手続を開始し7月初旬に変更契約締結（委託契約額の増額）</li> <li>・ 企業基本ニーズ調査の結果を踏まえ、7月初旬にお試し勤務企業と地元事業者の交流等を目的として、市街地に新たなお試し勤務地としてコワーキングスペース（ZAC）を設置</li> </ul> |
|      | 総評   | <p>想定を上回るお試し勤務企業数への対応として、体制の増強やお試しツアーの中止等の必要に迫られたが、都度総務省に状況を報告し、予算調整に係る変更契約等の対応を採ることで柔軟に対応した。</p>  |

##### <主な課題・リスクとその対応経緯>

- ・ 上記のとおり、想定を上回るお試し勤務の申込があり受入体制や事業費の不足等の事態に陥ったが、適宜、地元事業者へのサポート業務の発注や予算調整による事業費の確保等を行い、柔軟に対応した。
- ・ マッチング調査の結果共有が大館市の事業当初想定より遅くなったが、これまで接点のない新たな企業の開拓手法として、都市部セミナー、関連イベントへの積極的な出展等を行い、都市部企業等とのネットワークを早期に構築した。

### 3 調査・分析結果

#### D) 実態調査結果

<実施日時>

平成 29 年 6 月 6 日（火）

<行政担当職員・お試し勤務事業者等ヒアリング結果>

|  |  |
|--|--|
| <p style="text-align: center;"><b>大館市<br/>担当職員</b></p> | <p style="text-align: center;">大館市産業部商工課企業集積係 北林 裕氏</p> <p>&lt;行政のお試し勤務企業の誘致方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都市部でのセミナー開催や再委託事業者を活用した事業 PR 活動に加え、行政担当職員のネットワークを活かした都市部企業への営業活動を徹底することで、多数の企業をお試し勤務に誘致できている。</li> <li>・ 勤務環境のみならず、宿泊環境まで一体的に提供していることもお試し企業を確保できている大きな要因。</li> <li>・ 都市部企業のニーズを踏まえ、既存の郊外型勤務環境（コテージ）とは別に、街中の勤務環境（ZAC）の整備を検討中（コア・定常業務を街中、合宿・ハッカソン等の非常業務を郊外型環境で行うなどの機能分界を検討）。</li> </ul>  |
| <p style="text-align: center;"><b>お試し勤務<br/>企業</b></p> | <p style="text-align: center;">株式会社購買 Design 代表取締役社長 他</p> <p>主な業務：経営コンサルティング（購買コストの可視化、コスト削減に向けた分析・提言等）</p> <p>&lt;利用契機・地域の選定要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域課題の解決を目的としているため、特に行政担当職員の積極性が高い（都市部企業への営業活動を頻繁に行っている、随時地元事業者を紹介してくれる等）地域を選定</li> <li>・ 都会の喧騒から離れ、自然に囲まれ、リラックスしながら仕事に集中できる勤務環境の確保するため。</li> <li>・ 生産性向上に向けた新たな勤務形態を試行するため。</li> </ul> <p>&lt;オフィス利用状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お試し勤務期間中（6 月 6 日～8 日）、社員 8 名が 2 棟のコテージに分かれて常駐勤務・宿泊。</li> <li>・ 役員、セールス担当、デザイナー等、通常業務において顧客と接する機会の多い部門のスタッフを中心とした勤務体制。</li> <li>・ クラウドを介し、顧客とのデータ授受をオンラインで行うサービスを、S0 においても継続して実施（通信環境さえあれば場所を問わずに顧客へサービスを提供可能）。</li> <li>・ 顧客との打合わせ、本社との連絡など、リモートコミュニケーションは全て、「Google ハングアウト」を用いてシームレスに実施しており、コミュニケーションにおいて特段の支障はない。</li> </ul> <p>&lt;利用に伴う課題・改善要望等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的にペーパーレスで通常業務を行っているため、お試し勤務地においても、文書紛失等による情報漏えいのリスクはない。</li> <li>・ 「Google ハングアウト」やテレビ会議システムを用いて、常時本社スタッフと連絡が取れる状態にあるため、コミュニケーション上の問題は無い</li> </ul> <p>&lt;その他（工夫点・利用効果等）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回のモデル事業を含め、会社として「新しい働き方」を実践するために、プロジェクト単位で一時的に、地方で勤務する試みを行っている。</li> <li>・ その際、役員、セールス担当等の人員を地方に配することで、当該地域の</li> </ul> |

### 3 調査・分析結果

|  |   |
|--|---|
|  | <p>事業者等と連携し、仕事を創出することを強く意識している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地方拠点で業務を行う際に、顧客との打合わせはTV 会議システム等を用いて遠隔で行うことになるが、会議準備や会議場所までの移動等に係る余分な時間が削減でき、顧客側からも高い評価を得ている。</li> <li>・ 自然に囲まれた環境にすることで、心身共にリラックスし集中力も高まる。結果的に個々人の作業の効率化に繋がっている。</li> </ul> |
| <b>ヒアリングから得られた主な示唆・仮説</b>  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 「都市部の人材を地方に移動させる」という従来の S0 の考え方とは別に、若手人材にとって魅力的な仕事環境を地方に設けることで、「地方の若手人材の都市部流出を防ぐ」という新たな潮流が生まれうる。</li> <li>□ 都市部の中小企業は、都市圏での若手人材獲得に苦慮しているが、「新しい働き方」に対応していること（具体的には様々な勤務地で様々な働き方ができること）は、若手人材に対する訴求力も高く、人材獲得の上での一つの武器となる。また、行政としてもこのような人材獲得を志向する都市部の中小企業を誘引する上で、「新しい働き方」を実践する環境を有していることを積極的にPR すべきである。</li> <li>□ 都市部企業のニーズを踏まえると、一つの地域において、コア・定常業務を行う市街地（まちなか）の勤務環境と、非定常業務を行う郊外型勤務環境の双方を併設していることが重要である。なお、郊外型勤務環境は、開発・プロジェクト合宿等、特定のチームが市街地の喧騒を離れ、短期集中的に作業を行うニーズが高いことから、宿泊一体型の環境が望ましい。</li> </ul> |   |

### 3 調査・分析結果

#### E) 事業成果

##### <お試し勤務の実績>

事業期間中における大館市のお試し勤務の実績は以下のとおり。計 71 件のお試し勤務があり、全てのモデル団体で最多の件数であった。また、フリーランス、ブロガー、ライター等の個人事業主が多いのも大館市の特徴である。

| No | お試し勤務<br>企業名        | 業種<br>・主な事業   | お試し<br>勤務地 | 入居期間                                  | 入居<br>者数 | 当該モデル団体におけ<br>るお試し勤務の契機      |
|----|---------------------|---|------------|---------------------------------------|----------|------------------------------|
| 1  | 株式会社L I G           | Web   | コテージ       | 平成 29 年 4 月 18 日～<br>平成 29 年 4 月 20 日 | 5        | 職員の直接訪問                      |
| 2  | 株式会社シーティ<br>ーイー①    | コンテンツ作<br>成による東京<br>と秋田の媒介                            | コテージ       | 平成 29 年 5 月 6 日～<br>平成 29 年 5 月 9 日   | 1        | 職員の直接訪問                      |
| 3  | 株式会社ぴーぷる            | Web システム<br>開発  | コテージ       | 平成 29 年 5 月 7 日～<br>平成 29 年 5 月 8 日   | 1        | 職員の直接訪問                      |
| 4  | 株式会社スマイル<br>ラボ      | オンラインエン<br>ターテインメ<br>ント、ヘルス<br>ケア（ライフ<br>ログ）          | コテージ       | 平成 29 年 5 月 11 日～<br>平成 29 年 5 月 12 日 | 2        | 同郷人からの紹介                     |
| 5  | ミチナル株式会社            | 農産品の端材<br>の有効活用事<br>業等                                | コテージ       | 平成 29 年 5 月 14 日～<br>平成 29 年 5 月 16 日 | 2        | モデル事業 Web サイト（総<br>務省）       |
| 6  | 田尻広告デザイン<br>①       | 広告・デザイ<br>ン制作（オー<br>プンシェアオ<br>フィスを利用<br>した個人事業<br>主。） | コテージ       | 平成 29 年 5 月 17 日～<br>平成 29 年 5 月 19 日 | 1        | 職員の直接訪問                      |
| 7  | 株式会社プロペラ            | デザイン制作  | コテージ       | 平成 29 年 5 月 17 日～<br>平成 29 年 5 月 19 日 | 1        | 職員の直接訪問                      |
| 8  | G F 株式会社            | 野菜加工卸売  | コテージ       | 平成 29 年 5 月 19 日～<br>平成 29 年 5 月 21 日 | 2        | モデル事業 Web サイト（総<br>務省）       |
| 9  | 田尻広告デザイン<br>②       | —   | コテージ       | 平成 29 年 5 月 22 日～<br>平成 29 年 5 月 24 日 | 2        | モデル事業 Web サイト（総<br>務省）       |
| 10 | CreateA 合同会社        | IT 人材派遣業  | コテージ       | 平成 29 年 5 月 26 日～<br>平成 29 年 5 月 28 日 | 5        | 金融機関の紹介                      |
| 11 | 田園社会イニシア<br>ティブ株式会社 | 農業経営情報<br>サイト運営等                                      | コテージ       | 平成 29 年 6 月 1 日～<br>平成 29 年 6 月 3 日   | 4        | 再委託先事業者（あわせ）<br>のマッチングイベント参加 |
| 12 | 株式会社シーティ<br>ーイー②    | —   | コテージ       | 平成 29 年 6 月 3 日～<br>平成 29 年 6 月 4 日   | 1        | 職員の直接訪問                      |
| 13 | 株式会社購買<br>Design    | 購買コストの<br>可視化、コス<br>ト削減に向け<br>た分析・提言<br>等             | コテージ       | 平成 29 年 6 月 6 日～<br>平成 29 年 6 月 8 日   | 8        | お試しサテライトオフィス<br>交流セミナー参加     |

### 3 調査・分析結果

| No | お試し勤務<br>企業名            | 業種<br>・主な事業  | お試し<br>勤務地   | 入居期間                                  | 入居<br>者数 | 当該モデル団体におけ<br>るお試し勤務の契機             |
|----|-------------------------|--|--------------|---------------------------------------|----------|-------------------------------------|
| 14 | 株式会社ピー・ダ<br>ブリュー        | 印刷物編集、<br>HP 作成等   | コテージ         | 平成 29 年 6 月 9 日～<br>平成 29 年 6 月 11 日  | 8        | お試しサテライトオフィス<br>交流セミナー参加            |
| 15 | 株式会社オフィス<br>バンズ         | 広告・デザイ<br>ン制作  | コテージ         | 平成 29 年 6 月 9 日～<br>平成 29 年 6 月 11 日  | 1        | お試しサテライトオフィス<br>交流セミナー参加            |
| 16 | 株式会社セットイ<br>ンターナショナル    | 和のコンテン<br>ツ・和のデザ<br>インに関する<br>広告制作プロ<br>ダクション等               | コテージ         | 平成 29 年 6 月 9 日～<br>平成 29 年 6 月 11 日  | 1        | お試しサテライトオフィス<br>交流セミナー参加            |
| 17 | 有限会社ブレイン<br>カフェ         | 広告・デザイ<br>ン制作  | コテージ         | 平成 29 年 6 月 9 日～<br>平成 29 年 6 月 11 日  | 1        | お試しサテライトオフィス<br>交流セミナー参加            |
| 18 | サン・クリエイテ<br>ィブ株式会社      | ビジネスデザ<br>イン・コミュ<br>ニケーション<br>デザイン                           | コテージ         | 平成 29 年 6 月 10 日～<br>平成 29 年 6 月 11 日 | 1        | お試しサテライトオフィス<br>交流セミナー参加            |
| 19 | 株式会社テイ・デ<br>イ・エス        | 広告代理店  | コテージ         | 平成 29 年 6 月 10 日～<br>平成 29 年 6 月 11 日 | 1        | お試しサテライトオフィス<br>交流セミナー参加            |
| 20 | 株式会社電通                  | マップコレク<br>ションアプリ<br>「Digground」                              | コテージ         | 平成 29 年 6 月 16 日～<br>平成 29 年 6 月 18 日 | 1        | 職員の直接訪問                             |
| 21 | ディグランド株式<br>会社          | コンテンツ<br>(スマホアプリ)<br>配信サポ<br>ート、コンテ<br>ンツ・ポータ<br>ィングサービ<br>ス | コテージ         | 平成 29 年 6 月 16 日～<br>平成 29 年 6 月 19 日 | 2        | 再委託先事業者(あわせ)の<br>マッチングイベント参加        |
| 22 | 株式会社ワーカ<br>ビー           | Web 広告制作   | コテージ         | 平成 29 年 6 月 17 日～<br>平成 29 年 6 月 30 日 | 3        | 再委託先事業者(あわせ)の<br>マッチングイベント参加        |
| 23 | 有限会社テトルク<br>リエイティブ      | Web ライター<br>(個人事業<br>主)                                      | コテー<br>ジ・ZAC | 平成 29 年 6 月 30 日～<br>平成 29 年 7 月 13 日 | 4        | 再委託先事業者(あわせ)の<br>マッチングイベント参加        |
| 24 | Cibesuna. Lab           | Web プロデュ<br>ース   | コテー<br>ジ・ZAC | 平成 29 年 7 月 2 日～<br>平成 29 年 7 月 6 日   | 3        | インターネット広告 (SNS<br>拡散)・都市部セミナー参<br>加 |
| 25 | 株式会社<br>BrightLogg. Inc | Web ライター<br>(個人事業<br>主)                                      | コテー<br>ジ・ZAC | 平成 29 年 7 月 2 日～<br>平成 29 年 7 月 6 日   | 2        | インターネット広告 (SNS<br>拡散)・都市部セミナー参<br>加 |
| 26 | 堀 可奈                    | ソーシャルメ<br>ディア分析  | コテー<br>ジ・ZAC | 平成 29 年 7 月 3 日～<br>平成 29 年 7 月 9 日   | 4        | インターネット広告 (SNS<br>拡散)               |
| 27 | Net Base Japan 株<br>式会社 | I T 市場専門<br>調査会社   | コテー<br>ジ・ZAC | 平成 29 年 7 月 5 日～<br>平成 29 年 7 月 6 日   | 2        | 職員の直接訪問                             |
| 28 | 株式会社ノークリ<br>サーチ         | スマホ写真売<br>買サービス  | コテー<br>ジ・ZAC | 平成 29 年 7 月 6 日～<br>平成 29 年 7 月 10 日  | 2        | モデル事業 Web サイト (総<br>務省)             |

### 3 調査・分析結果

| No | お試し勤務<br>企業名           | 業種<br>・主な事業                      | お試し<br>勤務地 | 入居期間                      | 入居<br>者数 | 当該モデル団体におけ<br>るお試し勤務の契機              |
|----|------------------------|----------------------------------|------------|---------------------------|----------|--------------------------------------|
| 29 | スナップマート株式会社            | 印刷物編集、<br>HP作成等                  | コテージ・ZAC   | 平成29年7月12日～<br>平成29年7月14日 | 6        | インターネット広告（SNS<br>拡散）                 |
| 30 | TRUNK株式会社              | 学生向けビジ<br>ネススキル訓<br>練サービス        | コテージ・ZAC   | 平成29年7月14日～<br>平成29年7月20日 | 6        | SNS（ツイッター）                           |
| 31 | 小倉望未                   | コピーライタ<br>ー（個人事業<br>主）           | コテージ・ZAC   | 平成29年7月15日～<br>平成29年7月21日 | 6        | インターネット広告（SNS<br>拡散）                 |
| 32 | まほし                    | Web制作                            | コテージ・ZAC   | 平成29年7月22日～<br>平成29年8月4日  | 2        | インターネット広告（SNS<br>拡散）                 |
| 33 | シスコシステムズ<br>合同会社       | システム開発                           | コテージ・ZAC   | 平成29年7月23日～<br>平成29年7月24日 | 3        | モデル団体Webサイト等                         |
| 34 | ホリデー株式会社<br>①          | おでかけ情報<br>アプリ<br>「Holiday」開<br>発 | コテージ・ZAC   | 平成29年7月26日～<br>平成29年7月30日 | 1        | お試しサテライトオフィス<br>交流セミナー・都市部セミ<br>ナー参加 |
| 35 | スリーピース・コ<br>ンセプトデザイン   | 内装デザイン                           | コテージ・ZAC   | 平成29年8月3日～<br>平成29年8月10日  | 4        | インターネット広告（SNS<br>拡散）                 |
| 36 | 株式会社アビラ                | 設計・建設業                           | コテージ・ZAC   | 平成29年8月3日～<br>平成29年8月4日   | 1        | 職員友人からの紹介                            |
| 37 | 株式会社デンソー               | 自動車部品メ<br>ーカー                    | コテージ・ZAC   | 平成29年8月8日～<br>平成29年8月9日   | 3        | モデル事業Webサイト（総<br>務省）                 |
| 38 | 株式会社ヨハクデ<br>ザイン        | デザイン制作                           | コテージ・ZAC   | 平成29年8月20日～<br>平成29年8月25日 | 1        | SNS（FACEBOOK）                        |
| 39 | 株式会社誠信商事               | 中古PC卸売・<br>貿易                    | コテージ・ZAC   | 平成29年8月23日～<br>平成29年8月25日 | 2        | SNS（FACEBOOK）                        |
| 40 | 株式会社東京クラ<br>フトビールマニア   | クラフトビー<br>ル関連イベン<br>ト事業          | コテージ・ZAC   | 平成29年8月24日～<br>平成29年8月26日 | 3        | SNS（FACEBOOK）                        |
| 41 | 株式会社 SAGOJO            | 旅人求人サイ<br>ト「SAGOJO」<br>の企画・運営    | コテージ・ZAC   | 平成29年8月26日～<br>平成29年9月5日  | 13       | 職員の直接訪問                              |
| 42 | 株式会社プロシー<br>ド          | ソフトウェア<br>開発・販売                  | コテージ・ZAC   | 平成29年8月27日～<br>平成29年8月30日 | 2        | 職員の直接訪問                              |
| 43 | T D I システムサ<br>ービス株式会社 | 情報処理サー<br>ビス                     | コテージ・ZAC   | 平成29年8月27日～<br>平成29年8月29日 | 1        | お試し勤務企業（プロシー<br>ド）からの紹介              |
| 44 | 株式会社N i サイ<br>バーセキュリティ | サイバーセキ<br>ュリティサー<br>ビス           | コテージ・ZAC   | 平成29年8月27日～<br>平成29年8月29日 | 2        | お試し勤務企業（プロシー<br>ド）からの紹介              |
| 45 | 日本たばこ産業株<br>式会社        | たばこ・医<br>薬・加工事業                  | コテージ・ZAC   | 平成29年8月27日～<br>平成29年8月28日 | 1        | お試し勤務企業（プロシー<br>ド）からの紹介              |
| 46 | 株式会社ハイツリ<br>ー          | フードプロデ<br>ュース                    | コテージ・ZAC   | 平成29年8月27日～<br>平成29年8月28日 | 1        | お試し勤務企業（プロシー<br>ド）からの紹介              |

### 3 調査・分析結果

| No | お試し勤務<br>企業名     | 業種<br>・主な事業                             | お試し<br>勤務地 | 入居期間                      | 入居<br>者数 | 当該モデル団体におけ<br>るお試し勤務の契機            |
|----|------------------|---|------------|---------------------------|----------|------------------------------------|
| 47 | 真崎睦美             | コピーライター（個人事業主）                          | コテージ・ZAC   | 平成29年8月28日～<br>平成29年9月1日  | 6        | インターネット広告（SNS<br>拡散）               |
| 48 | 河崎呈              | 映像制作（個人事業主）                             | コテージ・ZAC   | 平成29年8月30日～<br>平成29年9月1日  | 2        | SNS（FACEBOOK）                      |
| 49 | コネクト株式会社         | ソフトウェア開発、スポーツ<br>ツマネジメン<br>ト            | コテージ・ZAC   | 平成29年9月1日～<br>平成29年9月3日   | 6        | 職員の直接訪問                            |
| 50 | 株式会社ファスト<br>コム   | ITソリューション・メディア<br>事業（ニッ<br>ポン手仕事図<br>鑑） | コテージ・ZAC   | 平成29年9月1日～<br>平成29年9月3日   | 6        | お試し勤務企業（シーティ<br>ーイー）からの紹介          |
| 51 | 株式会社モンスター・ラボ     | ソフトウェア<br>開発                            | コテージ・ZAC   | 平成29年9月3日～<br>平成29年9月10日  | 5        | 松江市からの紹介                           |
| 52 | 株式会社 Retty       | 実名制グルメ<br>サービス<br>「Retty」の運<br>営        | コテージ・ZAC   | 平成29年9月3日～<br>平成29年9月10日  | 6        | SNS（FACEBOOK）                      |
| 53 | 佐藤英太             | ライター（個人事業主）                             | コテージ・ZAC   | 平成29年9月4日～<br>平成29年9月18日  | 1        | インターネット広告（SNS<br>拡散）・都市部セミナー参<br>加 |
| 54 | リコージャパン株<br>式会社  | 複合機製造販<br>売、保守等                         | コテージ・ZAC   | 平成29年9月6日～<br>平成29年9月8日   | 3        | お試しサテライトオフィス<br>交流セミナー参加           |
| 55 | 株式会社ソニック<br>ガーデン | ソフトウェア<br>企画開発・運<br>用一括請負               | コテージ・ZAC   | 平成29年9月7日～<br>平成29年9月9日   | 5        | 松江市からの紹介                           |
| 56 | 中原和樹             | 舞台演出家・<br>脚本家                           | コテージ・ZAC   | 平成29年9月7日～<br>平成29年9月9日   | 1        | SNS（FACEBOOK）                      |
| 57 | S-DREAM 株式会社     | 映像制作                                    | コテージ・ZAC   | 平成29年9月10日～<br>平成29年9月13日 | 2        | SNS（FACEBOOK）                      |
| 58 | カクテルメイク株<br>式会社  | 映像制作、コ<br>ワーキングス<br>ペース運営               | コテージ・ZAC   | 平成29年9月11日～<br>平成29年9月13日 | 5        | 職員の直接訪問                            |
| 59 | 株式会社 TABIPPO     | 旅の魅力を伝<br>えるイベント<br>メディア事業<br>等         | コテージ・ZAC   | 平成29年9月11日～<br>平成29年9月17日 | 5        | SNS（FACEBOOK）                      |
| 60 | 株式会社 Campsis     | ご当地レトル<br>トカレー専門<br>カレーランド<br>運営        | コテージ・ZAC   | 平成29年9月12日～<br>平成29年9月15日 | 3        | インターネット広告（SNS<br>拡散）               |
| 61 | 株式会社シーティ<br>ーイー③ | —                                       | コテージ・ZAC   | 平成29年9月13日～<br>平成29年9月14日 | 2        | 職員の直接訪問                            |



### 3 調査・分析結果

| No | お試し勤務<br>企業名            | 業種<br>・主な事業   | お試し<br>勤務地       | 入居期間                                  | 入居<br>者数 | 当該モデル団体におけ<br>るお試し勤務の契機              |
|----|-------------------------|---|------------------|---------------------------------------|----------|--------------------------------------|
| 62 | 株式会社ディジ<br>ィ・ミニミ        | Web サイト制<br>作   | コテ<br>ー<br>ジ・ZAC | 平成 29 年 9 月 13 日～<br>平成 29 年 9 月 16 日 | 2        | マッチング調査                              |
| 63 | コワーキングコ<br>ミュニティ hinode | フリーランス<br>(個人事業<br>主。千葉県い<br>すみ市大原の<br>コワーキング<br>コミュニテ<br>ィ。) | コテ<br>ー<br>ジ・ZAC | 平成 29 年 9 月 18 日～<br>平成 29 年 9 月 22 日 | 5        | SNS (FACEBOOK)                       |
| 64 | ブロガー団体                  | ブロガー・ラ<br>イター (個人<br>事業主)                                     | コテ<br>ー<br>ジ・ZAC | 平成 29 年 9 月 19 日～<br>平成 29 年 9 月 22 日 | 4        | SNS (FACEBOOK)                       |
| 65 | オンロ株式会社                 | 作家・アーテ<br>ィスト等向け<br>オウンドプラ<br>ットホーム開<br>発                     | コテ<br>ー<br>ジ・ZAC | 平成 29 年 9 月 20 日～<br>平成 29 年 9 月 24 日 | 10       | モデル団体 Web サイト                        |
| 66 | luna-design             | IT エンジニア<br>(個人事業<br>主)                                       | コテ<br>ー<br>ジ・ZAC | 平成 29 年 9 月 21 日～<br>平成 29 年 9 月 29 日 | 1        | SNS (FACEBOOK)                       |
| 67 | 株式会社うさぎ                 | アイデア・ゲ<br>ーム開発  | コテ<br>ー<br>ジ・ZAC | 平成 29 年 9 月 22 日～<br>平成 29 年 9 月 27 日 | 1        | 職員の直接訪問                              |
| 68 | 株式会社<br>DesignCat       | お米専用 E C<br>サイト「こめ<br>のま」の運営<br>等                             | コテ<br>ー<br>ジ・ZAC | 平成 29 年 9 月 23 日～<br>平成 29 年 9 月 25 日 | 2        | SNS (FACEBOOK)                       |
| 69 | ホリデー株式<br>会社<br>②       | —   | コテ<br>ー<br>ジ・ZAC | 平成 29 年 9 月 24 日～<br>平成 29 年 9 月 26 日 | 8        | お試しサテライトオフィス<br>交流セミナー・都市部セ<br>ミナー参加 |
| 70 | 廣瀬奈緒                    | Web ライター<br>(個人事業<br>主)                                       | コテ<br>ー<br>ジ・ZAC | 平成 29 年 9 月 26 日～<br>平成 29 年 9 月 29 日 | 6        | SNS (FACEBOOK)                       |
| 71 | 株式会社 CHU                | Web 制作・ア<br>プリ開発  | コテ<br>ー<br>ジ・ZAC | 平成 29 年 9 月 27 日～<br>平成 29 年 9 月 29 日 | 2        | 都市部セミナー参加                            |

#### < 成果指標の達成状況 >

当初設定した成果指標の達成状況は以下のとおりであり、特に企業へのプロモーション活動を積極的に行うことで、お試し勤務企業数は目標値を大幅に上回る結果となっている。

| No | 成果指標   | 目標値 | 実績値                 | 備考                 |
|----|--|-----|---------------------|--------------------|
| 1  | (マッチング調査の結果) 同市のお試し勤務に「関心がある」と回答した企業への企業訪問やダイレクトメール発信の積極的プロモーション活動 | -   | 1,200 社以上の企業へのアプローチ | 企業訪問やダイレクトメール発信の件数 |

### 3 調査・分析結果

| No | 成果指標                     | 目標値   | 実績値      | 備考                         |
|----|--------------------------|-------|----------|----------------------------|
| 2  | お試し勤務企業数                 | 10社程度 | 71社 227名 | 同一企業による複数回の勤務は個別にカウント（3社分） |
| 3  | お試し勤務後の企業の定着又は当該企業従事者の移住 | 1事例以上 | 5事例      | いずれも確定ではなく進行中              |

#### < 重点的取組への対応状況 >

「2.3.4 分析・評価の手法」に示す重点的取組への大館市の対応状況は以下のとおりとなる。

○：対応      △：部分的に対応      －：対応なし

|   | 重点的取組                     | 評価 | 対応状況概要  |
|---|---------------------------|----|---|
| 1 | 地元事業者・住民への説明              | －  | 特筆すべき対応なし。  |
| 2 | 自地域の情報発信と都市部企業等とのネットワーク創出 | ○  | 都市部企業への訪問やセミナー開催に加え、SNSを用いたリアルタイムでの情報発信やデザイン性の高いホームページ・パンフレットの作成等に注力。（⇒総評において詳細記載。） |
| 3 | お試し勤務等企業のニーズの把握           | ○  | お試し勤務企業等に対するアンケート調査を行い、お試し勤務の契機や目的、行政に求める支援、モデル事業に対する満足度、地方進出（SO開設）の可能性等を聴取。        |
| 4 | 地元事業者・地元人材との交流・連携促進       | ○  | 地元事業者、職能短大、移住者等の情報提供や連携に関する企画提案・マッチングを実施。   |
| 5 | 地元人材のニーズ等の把握              | －  | 特筆すべき対応なし。  |
| 6 | 地域課題及び地元事業者のニーズの把握        | △  | 「まちづくりワークショップ」を開催し、お試し勤務企業と地域住民間で、地域課題とその解決に向けた方策等について意見交換を実施。                      |
| 7 | 地域ビジネス創出に向けた研究会・実証実験の実施   | △  | 地元のドローンメーカーとお試し勤務企業間で、IT技術を活用したビジネスマッチングを実施。  |
| 8 | 域内遊休資産の実態調査               | －  | 特筆すべき対応なし。  |
| 9 | 域内遊休資産の活用に向けた環境整備         | ○  | 企業基本ニーズ調査の結果を踏まえ、事業期間中に新たにまちなか拠点を開設。（⇒総評において詳細記載。）                                  |

### 3 調査・分析結果

#### F) 事業全体の総評

上記の整理内容を踏まえ、大館市におけるモデル事業全体の総評を以下に整理する。

##### ーお試し勤務企業が志向するサテライトオフィスの類型ー

大館市が整備したお試し勤務地は、当初郊外に立地する「コテージ」のみであり、特定の企業が占有するスペースとして、主に「図表 1-3 サテライトオフィス (SO) の類型」に示す「③社内イベント利用型」として利用されていた。自然に囲まれた環境下で市街地の喧騒を離れ、集中して作業を行うために、多くの個人事業主がお試し勤務を行ったことから、「生産性向上の場」として当該コテージが適地であったことがうかがえる。

また、その後、お試し勤務企業や都市部企業のニーズ<sup>2</sup>を踏まえて、まちなか拠点としての「ZAC」を整備し、当該拠点をまちなかの視察や地元事業者との交流、短時間作業等の場として活用することで「①プロジェクト拠点型」、「④コワーキングスペース型」としての性質も帯びていった。このように大館市のモデル事業を通して、地方進出をうかがう都市部企業のニーズとして、少なからず、社外・地域との連携の場が必要であるとの示唆も得られた。

##### ー都市部企業への積極的なプロモーション活動ー

大館市は、行政担当職員による都市部企業への訪問、他のモデル団体と連携した都市部セミナーの開催といったアナログ的なアプローチに加え、SNS が人口に膾炙した社会における口コミの効果等を最大限に活用したデジタル的なアプローチに注力することで、結果的にモデル団体中最多のお試し勤務の受入を達成した。

特に行政担当職員は「地方の行政担当職員では都市部企業の感性・関心が分からない」という問題意識を抱えており、専用ホームページやパンフレットの作成に際しては、都市部での活動実績を有する地元のデザイン事務所と協業しながら、都市部企業の耳目を惹くようなデザインとなるよう注力した。このような姿勢・手法が、SNS を活用したリアルタイムでの勤務体験情報の配信等の手法と相まって、IT 系企業やブロガー・ライターを数多く呼び込んだものとする。(※)

モデル事業を通して、具体的には大館市に定着する（サテライトオフィスを開設する）企業は確保できなかったものの、まずはその入口となる地域の認知度向上や都市部企業との関係性構築といった目的は十分に達成したものとする。

(※) お試し勤務受入期間の後半にお試し勤務を行った企業等において、SNS をお試し勤務の契機に挙げたものが多いことも注目すべき点である。

##### 事業の進め方・成果

「C) 進捗状況等調査結果」に示すとおり、受入開始後直ぐに当初の想定を上回るお試し勤務が発生し、行政側の受入体制が逼迫したが、適宜総務省と予算調整に係る協議等を進め、臨機応変に受入プログラムの変更、民間を含めた体制増強等を行った。

また、モデル事業を「企業誘致の仕組みづくり」、「地域の認知度向上」と位置づけており、行政が表に立って信頼性の高い情報を発信することで、お試し勤務を通じた認知度向上を実現した。

次なる段階として、実際に大館市への進出に興味を有する都市部企業を如何に誘致するかという点が重要であり、そのためには、ビジネス・生活面での全面的なサポートをするべく、民間（主に既存の進出企業や地元事業者）を巻き込んだ受入体制の確立が重要と考える。

<sup>2</sup> 企業基本ニーズ調査において、回答企業の約 35%が市街地の勤務環境を希望したことによる。

### 3 調査・分析結果

#### 3.2.3 千葉県銚子市

##### A) 事業の概要

|           |  |  |            |
|-----------|--|--|------------|
| モデル団体     | 千葉県銚子市   | 行政担当部課   | 産業観光部観光商工課 |
| 事業名       | 銚子市お試しサテライトオフィス  |  |            |
| 事業のポイント   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊富な観光資源、食資源、地場産業と都心からのアクセス利便性を活かしたSO環境の整備</li> <li>・勤務形態に係る多様なニーズに応えるための多種多様なお試し勤務地の整備</li> <li>・地域事業者・人材との交流や観光・開発合宿による地域の魅力体験</li> </ul> |  |            |
| 目的・方針     | 目的の概要  | 産業・経済の活性化と若者のための「しごとづくり」   |            |
|           | 実施方針   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源（食・観光・歴史・地場産業等）や空き物件（空き家・空き公共施設等）を活用したビジネス創出を促進</li> <li>・地場産業及び地元事業者との連携を望む企業を積極的に誘致対象としてアプローチ</li> </ul>   |            |
|           | 成果指標   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お試し勤務企業数：5社</li> <li>・視察ツアー参加企業数及び個別視察企業数：20社</li> </ul>   |            |
| 事業のスケジュール | 主なマイルストーン  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お試しサテライトオフィス環境整備：～ 2月28日</li> <li>・入居者募集：3月1日～ 8月31日</li> <li>・お試し勤務受入期間：3月1日～ 8月31日</li> <li>・都市部セミナー：4月26日</li> <li>・視察ツアー：5月、6月に各1回</li> <li>・誘致戦略検討：4月1日～ 9月11日</li> <li>・成果報告書作成：9月1日～ 9月11日</li> </ul> |            |
| 事業の実施体制   | 銚子市  | <p>&lt;産業観光部観光商工課&gt;<br/>事業の統括、企業・起業家誘致、空き物件情報管理、異業種交流、観光、商店街、空き店舗・空き公共施設対策</p> <p>&lt;政策企画部企画課地方創生室&gt;<br/>生活関係のワンストップ窓口、移住定住施策・空き家対策、シティプロモーション</p>  |            |
|           | 再委託事業者   | <p>&lt;株式会社パームデザイン&gt;<br/>サテライトオフィス誘致PR動画制作業務</p> <p>&lt;株式会社ちばぎん総合研究所&gt;<br/>サテライトオフィス誘致推進事業（銚子市の魅力発信、事業PR・企業アプローチ・視察対応、個別相談、SO利用及びSO立地に係るコーディネート）</p> <p>&lt;株式会社銚子インターネット&gt;<br/>企業・人材マッチングサイト構築業務</p>   |            |

### 3 調査・分析結果

#### B) お試し勤務地の概要

|         |      |  |
|---------|------|--|
| 各勤務地の概要 | 拠点名称 | 銚子セレクト市場   |
|         | 受入容量 | 1社、6名  |
|         | 特記事項 | 道の駅のような商業施設内にあり、江戸の長屋を思わせる外観。デスク、ベンチ、床材には施設外壁と同じ杉材で統一し、寛ぎや癒しの機能を持たせている。  |
|         | 写真   |  <p>※当該モデル団体成果報告時の資料より抜粋（以下同。）</p> |
|         | 拠点名称 | 大橋町ホームオフィス   |
|         | 受入容量 | 1社、6名  |
|         | 特記事項 | 目の前には銚子大橋（川に架かる橋で日本最長）を望み、「海の街」を感じることができる職住近接オフィス。   |
|         | 写真   |                                  |
|         | 拠点名称 | 銚子ポートタワー   |
|         | 受入容量 | 6名   |
|         | 特記事項 | 観光施設の一部を活用したワークスペース。眼下には日本一の水揚げ量を誇る銚子漁港が位置する。  |
|         | 写真   |                                  |

3 調査・分析結果

|  |      |   |
|--|------|---|
|  | 拠点名称 | 銚子マリーナ  |
|  | 受入容量 | 8名  |
|  | 特記事項 | 観光施設の一部を活用したワークスペース。市内でも屈指のロケーション。“アウトドアオフィス”の利用も可。   |
|  | 写真   |    |
|  | 拠点名称 | 地球の丸く見える丘展望館  |
|  | 受入容量 | 6名  |
|  | 特記事項 | 観光施設の一部を活用したワークスペース。国の名勝・天然記念物の屏風ヶ浦を見下ろし、視界の330度が海。   |
|  | 写真   |   |
|  | 拠点名称 | コワーキングスペース Trip's   |
|  | 受入容量 | 3名  |
|  | 特記事項 | 市内唯一の民間コワーキングスペース。JR銚子駅から徒歩5分の好立地。  |
|  | 写真   |   |
|  | 拠点名称 | 喫茶 gris   |
|  | 受入容量 | 3名  |
|  | 特記事項 | カフェの一部を、モデル事業のためにコワーキングスペースとして利用。地元のデザイナーが運営。   |
|  | 写真   |   |

### 3 調査・分析結果

#### C) 進捗状況等調査結果

##### <進捗・体制・スコープ>

|      |      |   |
|------|------|---|
| 進捗   | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>4/24 にお試しサテライトオフィス交流セミナーに参加し、訪問企業 11 社と名刺交換</li> <li>6/15, 16 に視察ツアー（1 回目）を実施（11 社参加）</li> <li>7/12 に都市部セミナーを開催（28 社参加）</li> <li>8/26, 27 に視察ツアー（2 回目）を実施（16 社参加）</li> <li>8 月下旬にお試し勤務地「銚子マリーナ」にテント等の設備を追加し、「アウトドアオフィス」として再整備</li> </ul> |
|      | 総評   | 都市部セミナー、視察ツアー共に、当初想定していたマイルストーンより遅延したが、ネットワークを有する都市部企業への個別アプローチにより早期に、成果指標（お試し勤務企業数、視察ツアー等参加企業数）を達成した。  |
| 体制   | 主な経緯 | 4/1 にお試し勤務に係るコーディネート業務をちばぎん総合研究所に再委託  |
|      | 総評   | 想定を上回るお試し勤務企業数であったが、早期に上記事業者との協業体制を構築したことにより、当初予定の体制を増強することなく対応した。  |
| スコープ | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>4 月下旬時点で成果指標として設定した「お試し勤務企業：5 社」を達成</li> <li>8 月に実施した 2 回目の視察ツアーで成果指標として設定した「視察ツアー参加及び個別視察企業 20 社以上」を達成</li> </ul>   |
|      | 総評   | 早い段階で成果指標は達成したものの、当初想定していた開発合宿の開催には至らなかった。また、お試し勤務地について、市街地に位置する拠点に利用が集中し、郊外拠点の活用はあまり進まなかった。<br>※達成状況の詳細については「E) 事業成果」を参照のこと。   |

##### <主な課題・リスクとその対応経緯>

- 地域の観光資源めぐりや地元事業者との交流等を通して銚子市の魅力を知ってもらう契機として、複数の都市部企業等を対象とした開発合宿を企画していたが、都市部企業等からの希望がなく、開催に至らなかった。これに対し、ほぼ全てのお試し勤務企業に対して、当該企業間の交流会や地元事業者との交流会を個別に開催することで、交流の場を創出した。
- お試し勤務の実績が市街地の拠点に偏重し、郊外（主に沿岸部）拠点の利用が進まなかった。これに対し、今後「海のまち」としての魅力をもっと一層体感してもらうために、海沿いのお試し勤務地「銚子マリーナ」を、アウトドアオフィスとするべく設備（テント等）を増強した。（※）

※お試し勤務期間終盤（8 月中旬）に増強し、お試し勤務企業 1 社が利用。今後も銚子市個別に進めるサテライトオフィス誘致活動において継続して当該オフィスを用いる方針。

### 3 調査・分析結果

#### D) 実態調査結果

<実施日時>

平成 29 年 7 月 24 日 (月)

<行政担当職員・お試し勤務事業者等ヒアリング結果>

|                            |   |
|----------------------------|---|
| <p><b>銚子市<br/>担当職員</b></p> | <p>銚子市産業観光部観光商工課商工労政班 池田 紀之氏<br/>株式会社ちばぎん総合研究所調査部 担当者</p> <p>&lt;行政のお試し勤務企業の誘致方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内に 7 つのお試し勤務拠点を整備して、お試し勤務企業等を募集。これまでに 20 社以上の企業等がお試し勤務をしており、その殆どが、お試し勤務企業等や市内事業者からの紹介・ロコミによるもの。</li> <li>・ お試し勤務の実績は市街地の「セレクト市場」、「大橋町ホームオフィス」に偏重。郊外の公共施設（銚子マリーナ、銚子ポートタワー等）等は市街地から離れていることもあり、利用するお試し勤務企業等は殆ど見られない。</li> <li>・ IT 系に限らず、経営コンサル、コンテンツ制作、観光事業者など、多種多様な企業等がお試し勤務を実施。いずれも、拠点で作業に没頭するというよりも、地元の漁協、信金等の業者と積極的に交流している（地元事業者と連携するという明確な意志をもって入居している）。</li> <li>・ お試し勤務については予想以上の引き合いがあり、成果指標は達成。今後は実際の S0 誘致に重きを置いた受入態勢を整備する方針。また、S0 誘致企業と地元の求職者、都市部からの U ターン者をマッチングさせるためのサイト構築や、お試し勤務実態を PR するための都市部セミナーを実施する想定。</li> <li>・ 事業終了後の拠点の運営方針は未定。今後早急に継続運営の可否を判断する想定。</li> </ul>  |
| <p><b>お試し勤務<br/>企業</b></p> | <p>シスコシステムズ合同会社地方創生推進 担当部長 他</p> <p>主な業務：ネットワークシステム・ソリューション</p> <p>&lt;利用契機・地域の選定要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同社として 10 年ほど前から日常的に在宅勤務（テレワーク）を実施しており、対外的にも働き方改革に向けた普及活動を実施中（テレワークを進める要素、進まない場合の理由等について常々社内ディスカッションを実施）。</li> <li>・ 今回は、自社ソリューションのビジネス展開を目的に、テレワークそのものの普及啓発活動の一環として、7/24 のテレワーク・デイに合わせてモデル団体 9 拠点に社員をお試し勤務させ、遠隔会議・勤務等の様子をメディア、SNS 等でリリースしている。</li> </ul> <p>&lt;オフィス利用状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 泊 2 日の行程で、セレクト市場内のお試し勤務環境を利用している（他拠点でも同様の行程）。</li> <li>・ 社長含めたマネージャーミーティングを、9 拠点+社員自宅間で試験的に実施し、その様子をメディア・SNS 等で配信している。</li> <li>・ TV 会議用のネットワーク機器（Wi-Fi ルータを除く）は全て自社製品を持ち込み。</li> </ul> <p>&lt;利用に伴う課題・改善要望等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既に地方大都市部にオフィス設置。更なる拠点拡大の意識はあるものの、現時点で具体的な計画はなし。</li> </ul> |



### 3 調査・分析結果

|   |   |
|---|---|
|   | <p>&lt;その他（工夫点・利用効果等）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT を活用した働き方改革、リモートワークのリーディング企業として、地方公共団体や民間企業を対象としたセミナーを実施している。</li> <li>・ 特に地方では「サテライトオフィス」と「コワーキングスペース」が混用されている感がある。施設としてのセキュリティ要件も大きく異なる。</li> <li>・ 地方のコワーキングスペースで地元事業者との交流を図っても、企業規模やスピード感等が大きく異なるため、なかなか実質的なビジネスには繋がりがづらい。</li> </ul> |
| <p><b>ヒアリングから得られた主な示唆・仮説</b></p>  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>□ お試し勤務の誘引材料として、勤務環境や観光資源・自然環境は重要な要素。しかし、実際の企業進出においては、そのような地域資源を活かせるような人的ネットワーク（特に民間）が地元で構築されていることが重要となる。</li> <li>□ 「都市部の仕事を地方に持っていく+地元の雇用を産む」という流れのモデルとして、都市部の大規模システム案件におけるニアショア開発が挙げられる。都市部の IT 人材難やオフィス賃料の高騰が背景にあり、IT 業界全体で地方部企業等に仕事をアウトソースする流れが起きている。</li> <li>□ 都市部の大企業が地方に進出する契機としては、ビジネス上のパートナーとなる研究機関、医療機関等があるか、また、人材確保先となる高等教育機関があるかどうかのポイント。</li> <li>□ 「コワーキングスペース」と「サテライトオフィス」は趣旨や機能要件が大きく異なるものであり、企業誘致に際しては、両者を明確に分けて整備し、情報発信することが重要。</li> </ul> |   |

### 3 調査・分析結果

#### E) 事業成果

##### <お試し勤務の実績>

事業期間中における銚子市のお試し勤務の実績は以下のとおり。計 48 件のお試し勤務があり、大館市、徳島県に次ぐ件数であった。IT 系やコンサルティング系の企業が多いが、その他にもシェアオフィス運営、流通業、製造業、音楽・アニメ制作など、その業種は多岐にわたっている。

| No | お試し勤務<br>企業名         | 業種・<br>主な事業                         | お試し<br>勤務地 | 入居期間                                  | 入居<br>者数 | 当該モデル団体における<br>お試し勤務の契機 |
|----|----------------------|-------------------------------------|------------|---------------------------------------|----------|-------------------------|
| 1  | 株式会社スマートデザインアソシエーション | シェアオフィスの企画運営、福岡移住応援サイト「福岡移住計画」の運営など | 銚子セレクト市場   | 平成 29 年 3 月 16 日～<br>平成 29 年 3 月 16 日 | 2        | 総務省からの紹介                |
| 2  | 株式会社アントレラボコーポレーション   | 企業向け研修                              | 銚子セレクト市場 他 | 平成 29 年 3 月 29 日～<br>平成 29 年 3 月 31 日 | 2        | 再委託事業者からの紹介             |
| 3  | HAPON新宿              | シェアオフィス運営                           | 銚子セレクト市場 他 | 平成 29 年 4 月 14 日～<br>平成 29 年 4 月 16 日 | 4        | 前年度事業で関係                |
| 4  | 株式会社 budori          | アートディレクション・ブランディング                  | 銚子セレクト市場 他 | 平成 29 年 4 月 14 日～<br>平成 29 年 4 月 16 日 | 1        | お試し勤務企業からの紹介            |
| 5  | 株式会社ベジスタンス           | 青果の仕入れ・販売、商品開発、パッケージデザイン、ツール制作      | 銚子セレクト市場 他 | 平成 29 年 4 月 14 日～<br>平成 29 年 4 月 16 日 | 1        | お試し勤務企業からの紹介            |
| 6  | 一般社団法人ウイズスポ①         | スポーツツーリズム推進                         | 銚子セレクト市場   | 平成 29 年 4 月 25 日～<br>平成 29 年 4 月 26 日 | 5        | 市内イベント主催者の紹介            |
| 7  | ネオス株式会社①             | ICT サービス                            | 銚子セレクト市場   | 平成 29 年 4 月 27 日～<br>平成 29 年 4 月 28 日 | 3        | 他の企業からの紹介               |
| 8  | 日本電気株式会社①            | 電機メーカー                              | 銚子セレクト市場 他 | 平成 29 年 4 月 27 日～<br>平成 29 年 4 月 28 日 | 3        | 前年度千葉県事業で関係             |
| 9  | 株式会社ミストソリューション       | 情報処理サービス                            | 銚子セレクト市場   | 平成 29 年 5 月 9 日～<br>平成 29 年 5 月 12 日  | 5        | 銚子電鉄<br>ネーミングライツ企業      |
| 10 | 江戸しおり                | フリーライター（個人事業主）                      | 銚子セレクト市場   | 平成 29 年 5 月 15 日                      | 1        | 鯖江市からの紹介                |

### 3 調査・分析結果

| No | お試し勤務<br>企業名                 | 業種・<br>主な事業                           | お試し<br>勤務地     | 入居期間                                  | 入居<br>者数 | 当該モデル団体における<br>お試し勤務の契機 |
|----|------------------------------|---------------------------------------|----------------|---------------------------------------|----------|-------------------------|
| 11 | ネオス株式会社<br>②                 | —                                     | 銚子セレクト<br>市場 他 | 平成 29 年 5 月 19 日                      | 3        | 他の企業からの紹介               |
| 12 | 日本電気株式会<br>社②                | —                                     | 銚子セレクト<br>市場 他 | 平成 29 年 5 月 19 日                      | 3        | 前年度千葉県事業で関係             |
| 13 | 一般社団法人ウ<br>ィズスポ②             | —                                     | 銚子セレクト<br>市場   | 平成 29 年 5 月 31 日～<br>平成 29 年 6 月 5 日  | 6        | 市内イベント主催者からの<br>紹介      |
| 14 | 株式会社アーチ<br>ヒーロー北海道           | インバウン<br>ド向けサイ<br>クルツーリ<br>ズム事業       | 銚子セレクト<br>市場   | 平成 29 年 6 月 2 日                       | 1        | 市内イベント主催者からの<br>紹介      |
| 15 | 株式会社和エン<br>タープライズ①           | レコーディ<br>ングエンジ<br>ニア                  | 銚子セレクト<br>市場 他 | 平成 29 年 6 月 3 日～<br>平成 29 年 6 月 4 日   | 1        | 銚子出身                    |
| 16 | 絵夢株式会社①                      | アニメ制作                                 | 銚子セレクト<br>市場 他 | 平成 29 年 6 月 3 日～<br>平成 29 年 6 月 4 日   | 1        | お試し勤務企業からの紹介            |
| 17 | 株式会社ただい<br>ま                 | 地域活性<br>化、商品開<br>発、販売拡<br>大戦略立案<br>支援 | 銚子セレクト<br>市場   | 平成 29 年 6 月 21 日                      | 1        | 再委託事業者からの紹介             |
| 18 | 東興株式會社①                      | コンサルテ<br>ィング                          | 銚子セレクト<br>市場   | 平成 29 年 6 月 28 日～<br>平成 29 年 6 月 29 日 | 1        | 地元事業者からの紹介              |
| 19 | 在瀋陽日本地方<br>自治体交流プラ<br>ットフォーム | 在瀋陽日本<br>総領事館外<br>郭団体                 | 大橋町ホーム<br>オフィス | 平成 29 年 6 月 28 日～<br>平成 29 年 6 月 29 日 | 1        | お試し勤務企業からの紹介            |
| 20 | N L I 株式会社                   | インバウン<br>ド関係                          | 大橋町ホーム<br>オフィス | 平成 29 年 6 月 28 日～<br>平成 29 年 6 月 29 日 | 2        | お試し勤務企業からの紹介            |
| 21 | 株式会社和エン<br>タープライズ②           | —                                     | 銚子セレクト<br>市場 他 | 平成 29 年 6 月 30 日～<br>平成 29 年 7 月 2 日  | 1        | 銚子出身                    |
| 22 | comvision                    | 経営コンサ<br>ル                            | 銚子セレクト<br>市場   | 平成 29 年 7 月 3 日～<br>平成 29 年 7 月 4 日   | 1        | お試し勤務企業からの紹介            |
| 23 | 株式会社 Round<br>table          | アーティ<br>スト・音楽プ<br>ロデュース               | 銚子セレクト<br>市場   | 平成 29 年 7 月 3 日～<br>平成 29 年 7 月 4 日   | 1        | お試し勤務企業からの紹介            |
| 24 | 東興株式會社②                      | —                                     | 銚子セレクト<br>市場   | 平成 29 年 7 月 19 日～<br>平成 29 年 7 月 21 日 | 1        | 地元事業者からの紹介              |

### 3 調査・分析結果

| No | お試し勤務<br>企業名       | 業種・<br>主な事業  | お試し<br>勤務地     | 入居期間                                  | 入居<br>者数 | 当該モデル団体における<br>お試し勤務の契機            |
|----|--------------------|--|----------------|---------------------------------------|----------|------------------------------------|
| 25 | 中日産学投資促進センター       | インバウンド、旅行業   | 大橋町ホーム<br>オフィス | 平成 29 年 7 月 19 日～<br>平成 29 年 7 月 21 日 | 4        | お試し勤務企業からの紹介                       |
| 26 | シンエイプラウド株式会社       | デジタルイ<br>メージ、総合食<br>品卸し                            | 銚子セレクト<br>市場   | 平成 29 年 7 月 21 日                      | 1        | お試しサテライトオフィス<br>交流セミナー参加企業との<br>同行 |
| 27 | 株式会社オフィ<br>スエム     | テレワーク<br>導入コンサル<br>ティング、クラウ<br>ドソーシン<br>グ          | 銚子セレクト<br>市場 他 | 平成 29 年 7 月 21 日                      | 1        | お試しサテライトオフィス<br>交流セミナー             |
| 28 | シスコシステムズ合同会社       | ネットワー<br>クシステム、ソリュ<br>ーション                         | 銚子セレクト<br>市場   | 平成 29 年 7 月 23 日～<br>平成 29 年 7 月 24 日 | 3        | モデル団体 Web サイト等                     |
| 29 | zanroo ジャ<br>パン    | ソーシャル<br>ビッグデー<br>タを活用し<br>たマーケテ<br>ィング            | 銚子セレクト<br>市場   | 平成 29 年 7 月 26 日                      | 1        | 地元事業者からの紹介                         |
| 30 | 株式会社イン<br>フォネクスト   | システム・<br>アプリ開発                                     | 銚子マリーナ         | 平成 29 年 7 月 27 日                      | 1        | 都市部セミナー参加                          |
| 31 | 株式会社AMD<br>WOWTTO  | 戦略立案・<br>プランニン<br>グ、デザイ<br>ン・クリエ<br>イティブ、<br>UI・UX | 銚子セレクト<br>市場 他 | 平成 29 年 7 月 28 日                      | 5        | 問い合わせあり                            |
| 32 | ジェイコーディ<br>株式会社    | 商品企画&<br>販売促進支<br>援、新規事<br>業立ち上げ<br>支援             | 銚子マリーナ<br>他    | 平成 29 年 7 月 29 日～<br>平成 29 年 7 月 30 日 | 1        | 前年度誘致事業参加                          |
| 33 | 株式会社日興エ<br>ボナイト製造所 | エボナイト<br>製造業                                       | 銚子マリーナ<br>他    | 平成 29 年 7 月 29 日～<br>平成 29 年 7 月 30 日 | 1        | 前年度誘致事業参加者から<br>の紹介                |
| 34 | 株式会社タカハ<br>シ       | ゴムスポン<br>ジ加工業                                      | 銚子マリーナ<br>他    | 平成 29 年 7 月 29 日～<br>平成 29 年 7 月 30 日 | 1        | 前年度誘致事業参加者から<br>の紹介                |
| 35 | 株式会社イセノ<br>ート      | 各種製品の<br>評価・試験<br>及び認証に<br>関する事業                   | 銚子マリーナ<br>他    | 平成 29 年 7 月 29 日～<br>平成 29 年 7 月 30 日 | 1        | 前年度誘致事業参加者から<br>の紹介                |

### 3 調査・分析結果

| No | お試し勤務<br>企業名         | 業種・<br>主な事業               | お試し<br>勤務地              | 入居期間                                  | 入居<br>者数 | 当該モデル団体における<br>お試し勤務の契機 |
|----|----------------------|---------------------------|-------------------------|---------------------------------------|----------|-------------------------|
| 36 | ケミコラボラト<br>リー合同会社    | 商社                        | 銚子マリーナ<br>他             | 平成 29 年 7 月 29 日～<br>平成 29 年 7 月 30 日 | 1        | 前年度誘致事業参加者から<br>の紹介     |
| 37 | PC-Boh               | アニメ制作                     | 銚子セレクト<br>市             | 平成 29 年 7 月 31 日～<br>平 29 年 8 月 1 日   | 1        | お試し勤務企業からの紹介            |
| 38 | 株式会社和エン<br>タープライズ③   | —                         | 銚子セレクト<br>市場 他          | 平成 29 年 7 月 31 日～<br>平 29 年 8 月 1 日   | 1        | 銚子出身                    |
| 39 | 株式会社ダンク<br>ソフト①      | IT を活用し<br>た働き方改<br>革の提案等 | 銚子セレクト<br>市場            | 平成 29 年 8 月 8 日                       | 3        | 視察ツアー参加                 |
| 40 | 株式会社 Round<br>table② | —                         | 銚子セレクト<br>市場            | 平成 29 年 8 月 11 日～<br>平成 29 年 8 月 12 日 | 4        | リピートのお試し勤務              |
| 41 | 絵夢株式会社②              | —                         | 銚子セレクト<br>市場 他          | 平成 29 年 8 月 15 日～<br>平成 29 年 8 月 17 日 | 3        | リピートのお試し勤務              |
| 42 | 株式会社 十文<br>字         | アニメ制作                     | 銚子セレクト<br>市場 他          | 平成 29 年 8 月 15 日～<br>平成 29 年 8 月 17 日 | 1        | お試し勤務企業からの紹介            |
| 43 | 株式会社和エン<br>タープライズ④   | —                         | 銚子セレクト<br>市場 他          | 平成 29 年 8 月 15 日～<br>平成 29 年 8 月 17 日 | 1        | 銚子出身                    |
| 44 | 株式会社 A r i<br>n o s  | コンサルテ<br>ィング、物<br>流       | 銚子セレクト<br>市場、gris       | 平成 29 年 8 月 28 日～<br>平成 29 年 8 月 31 日 | 2        | 企業から市への連絡               |
| 45 | 築地魚市場株式<br>会社        | 水産物卸売                     | 銚子セレクト<br>市場            | 平成 29 年 9 月 6 日                       | 1        | 地元事業者からの紹介              |
| 46 | 株式会社一意鮮<br>心         | 水産物販売                     | 銚子セレクト<br>市場            | 平成 29 年 9 月 6 日                       | 1        | 地元事業者からの紹介              |
| 47 | 株式会社ダンク<br>ソフト②      | —                         | 銚子セレクト<br>市場            | 平成 29 年 9 月 7 日                       | 2        | リピートのお試し勤務              |
| 48 | スピークジム               | 英会話レッ<br>スン               | 銚子セレクト<br>市場、銚子マ<br>リーナ | 平成 29 年 9 月 12 日                      | 1        | 視察ツアー参加                 |

#### <成果指標の達成状況>

当初設定した成果指標の達成状況は以下のとおりであり、行政担当職員、地元事業者（※）、再委託事業者が個別に有する都市部企業とのネットワーク等を活用することで、お試し勤務企業数は目標値を大幅に上回る結果となっている。

（※）地元事業者自ら、関係のある都市部企業等のお試し勤務を積極的に誘引している点は、他のモデル団体においてはあまり見られず、特筆すべきポイントである。

### 3 調査・分析結果

| No | 成果指標                | 目標値   | 実績値 | 備考                          |
|----|---------------------|-------|-----|-----------------------------|
| 1  | お試し勤務企業数            | 5社以上  | 48社 | 同一企業による複数回の勤務は個別にカウント（10社分） |
| 2  | 視察ツアー参加企業数及び個別視察企業数 | 20社以上 | 30社 | 同一企業による複数回の勤務は個別にカウント（6社分）  |

#### < 重点的取組への対応状況 >

「2.3.4 分析・評価の手法」に示す重点的取組への銚子市の対応状況は以下のとおりとなる。

○：対応      △：部分的に対応      －：対応なし

|   | 重点的取組                     | 評価 | 対応状況概要  |
|---|---------------------------|----|---|
| 1 | 地元事業者・住民への説明              | －  | 特筆すべき対応なし。  |
| 2 | 自地域の情報発信と都市部企業等とのネットワーク創出 | ○  | 都市部セミナー、視察ツアーに加えて、自然、ワークライフ・文化等を発信する事業告知用の動画を作成。                                    |
| 3 | お試し勤務等企業のニーズの把握           | ○  | お試し勤務企業等に対するアンケート調査（有効回答35件）を行い、銚子市でのお試し勤務に対する評価や今後地方進出（S0開設）する際の課題及び行政に求める支援策等を聴取。 |
| 4 | 地元事業者・地元人材との交流・連携促進       | ○  | 地元事業者とのビジネスマッチング、交流会の開催、企業・人材マッチングサイト（11月公開予定）の構築等を実施。                              |
| 5 | 地元人材のニーズ等の把握              | －  | 特筆すべき対応なし。  |
| 6 | 地域課題及び地元事業者のニーズの把握        | －  | 特筆すべき対応なし。  |
| 7 | 地域ビジネス創出に向けた研究会・実証実験の実施   | －  | 特筆すべき対応なし。  |
| 8 | 域内遊休資産の実態調査               | ○  | 適地調査の一環として、千葉県宅地建物取引業協会へのオフィス向け物件照会を実施。   |
| 9 | 域内遊休資産の活用に向けた環境整備         | ○  | お試し勤務地「銚子マリーナ」のロケーションを活かし、事業期間中にアウトドアオフィスとして設備増強。（⇒総評において詳細記載。）                     |

### 3 調査・分析結果

#### F) 事業全体の総評

上記の整理内容を踏まえ、銚子市におけるモデル事業全体の総評を以下に整理する。

##### —お試し勤務企業が志向するサテライトオフィスの類型—

銚子市では7つのお試し勤務地を提供しており、特に観光地としての魅力を肌で感じてもらうために観光施設内のスペースを活用したコワーキングスペースを提供していることが特徴的である。お試し勤務の状況を概観すると、全体的に「銚子セレクト市場」や「ホームオフィス」といった特定の企業が占有するお試し勤務地の活用が多かったが、多くの企業が行政担当職員の下で地元事業者・団体との交流の場を設けており、「図表 1-3 サテライトオフィス (S0) の類型」に示す「①プロジェクト拠点型」、「④コワーキングスペース型」としての側面が強かった。

なお、モデル期間中においては、自然・海等の観光資源に立地する（あるいは隣接する）郊外のお試し勤務地の利用がなかなか進まなかったが、お試し勤務の場として市全体の質をさらに高めるために、これら勤務地を交流・連携の拠点等として活用を促進し、勤務体験に合わせて観光地としての銚子市の魅力を実感してもらうような工夫が必要と考える。

そのような点で、今回のモデル事業で実施したように、観光地としての魅力を活かすために、一部のお試し勤務地をアウトドアオフィスとして改修するような取組は有意義と考える。

##### —独自性の高い地域資源の発掘と情報発信—

銚子市ではお試し勤務企業を通じて、2社のS0進出企業を確保した。東京から電車で1本というアクセス利便性に加え、銚子市が有する独自の地域資源（銚子電鉄等）、さらにはそれを運営・管理する地元団体を巻き込んでお試し勤務の誘引を行ったことがこれらの企業確保の大きな要因になったものと考えられる。

銚子市は自然・風景、産品など豊富な観光資源を有しているが、より独自性の強い地域資源に焦点を当てて、都市部企業に情報発信することで、他所にはない新たなビジネス・サービス創出を志向する積極性の高い企業誘致の確度が高まるものとする。

##### —事業の進め方・成果—

「C)進捗状況等調査結果」に示すとおり、これまでの企業誘致活動及び当該活動で培った行政と都市部企業の個別ネットワーク等を最大限に活かし、順調にお試し勤務企業数を伸ばしていった。

また、大館市や徳島県と同様にSNSを駆使してお試し勤務の状況をリアルタイムに配信するほか、地元事業者とUJIターン者のマッチングを促す特設サイトを構築するなど、モデル団体の中でもデジタル的なアプローチが特に充実しており、このような取組が多くのお試し勤務企業の確保に繋がったものとする。

### 3 調査・分析結果

#### 3.2.4 新潟県南魚沼市

##### A) 事業の概要

|           |   |   |            |
|-----------|---|---|------------|
| モデル団体     | 新潟県南魚沼市   | 行政担当部課  | 産業振興部商工観光課 |
| 事業名       | Business Satellite Academy IUJ Minamiuonuma   |   |            |
| 事業のポイント   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際色豊かな高度な学術機関「国際大学」内に SO を設置</li> <li>・ 国際大学グローバル・コミュニケーションセンター (GLOCOM) と連携して「サテライトオフィス誘致戦略策定研究会」を開催</li> </ul> |   |            |
| 目的・方針     | 目的の概要   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者が Uターンできるような雇用の場の創出につながる SO の開設</li> <li>・ 国際大学在学学生・卒業生のネットワークを活用した事業のグローバル展開</li> </ul>   |            |
|           | 実施方針  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者の関心の強い IT 系を中心とした知的産業系の職種の雇用創出につながる企業をターゲットに設定</li> <li>・ 既存の「グローバル IT パーク南魚沼構想推進事業」<sup>3</sup>を通じて関係を構築した企業を中心に営業活動を行い、数ヵ月単位のお試し勤務を実施</li> </ul> |            |
|           | 成果指標  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者の雇用の場の創出という観点に適合する都市部企業 4 社のお試し勤務の実施</li> </ul>  |            |
| 事業のスケジュール | 主なマイルストーン   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お試しサテライトオフィス環境整備：～ 3月31日</li> <li>・ 入居者募集：～ 5月31日</li> <li>・ お試し勤務受入期間：4月1日 ～ 9月29日</li> <li>・ 成果報告書作成：9月1日 ～ 9月29日</li> </ul>                       |            |
| 事業の実施体制   | 南魚沼市  | <ul style="list-style-type: none"> <li>＜産業振興部商工観光課＞</li> <li>委託事業の管理、企業への広報活動、国際大学との連携</li> <li>＜総務部 U&amp;I ときめき課＞</li> <li>移住者の生活環境等支援メニューの検討・戦略への反映</li> </ul>                             |            |
|           | 再委託事業者  | <ul style="list-style-type: none"> <li>＜GLOCOM＞</li> <li>サテライトオフィス誘致戦略策定研究会の開催、誘致戦略の策定、お試し勤務企業との連携</li> </ul>   |            |
|           | その他   | <ul style="list-style-type: none"> <li>＜お試し勤務企業＞</li> <li>国際大学との連携</li> </ul>   |            |

##### B) お試し勤務地の概要

|                      |      |   |  |
|----------------------|------|---|--|
| 各勤務地の概要              | 拠点名称 | Business Satellite Academy IUJ Minamiuonuma (国際大学)  |  |
|                      | 受入容量 | 4 社、8 名   |  |
|                      | 特記事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際大学内のオープンスペースをパーティションで区切り、お試し勤務企業に提供</li> <li>・ 休憩スペース、ミーティングスペースを併設</li> </ul> |  |
|                      | 写真   |                                       |  |
| ※当該モデル団体成果報告時の資料より抜粋 |      |   |  |

<sup>3</sup> 平成 27 年 10 月に施行した「南魚沼市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、日本企業の生産性の向上と若者の雇用の場の創出を目指し、南魚沼市において海外の IT 企業誘致を行う事業。平成 28 年度より開始。



### 3 調査・分析結果

#### C) 進捗状況等調査結果

##### <進捗・体制・スコープ>

|      |      |  |
|------|------|--|
| 進捗   | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4/13 より 1 企業 2 名でのお試し勤務が開始</li> <li>・ 4/24 にお試しサテライトオフィス交流セミナーに参加し、訪問企業 11 社と名刺交換</li> <li>・ 6/1, 2 に、第 1 回サテライトオフィス誘致戦略研究会を開催</li> <li>・ 7/10～12 に、先進地視察として徳島県上勝町、神山町を訪問</li> <li>・ 7/20 に、第 2 回サテライトオフィス誘致戦略研究会を開催</li> <li>・ 8/31～9/2 に、先進地視察として福島県会津若松市を訪問</li> <li>・ 9/7 に、第 3 回サテライトオフィス誘致戦略研究会を開催</li> </ul> |
|      | 総評   | 概ねマイルストーンに準じて、順調に 4 社のお試し勤務企業を確保した。また、誘致戦略研究会についても特段の進捗遅延は見られなかった。   |
| 体制   | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5 月下旬にサテライトオフィス誘致戦略策定業務を、GLOCOM に外部委託</li> </ul>  |
|      | 総評   | 既存の「グローバル IT パーク南魚沼構想推進事業」のノウハウ・ネットワークを活かし、早期に実施体制を確立した。   |
| スコープ | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6/1 に、成果指標として設定した「若者の雇用の場の創出という観点に適合する都市部企業 4 社」の確保を達成</li> <li>・ 6/1 より、上記 4 社のうち 1 社について、南魚沼市での人材確保に向けて、行政担当部課より情報提供等の支援を実施</li> </ul>  |
|      | 総評   | 成果指標である都市部企業 4 社の定量目標は早々に達成。ただし、「若者の雇用の場の創出」の観点にて南魚沼市内での人材雇用を想定していたお試し勤務企業 1 社については、事業期間中に人材を確保することはできなかった。  |

##### <主な課題・リスクとその対応経緯>

- ・ 6/1 に入居したお試し勤務企業 1 社については、南魚沼市での人材確保と当該人材のお試し勤務地での常駐を目指していた。行政担当課においても、当該企業に対する人材候補の情報提供や、市民に対して専用サイト等を通じた採用案内等を行ったが、最終的に事業期間内での人材確保には至らなかった。(※)
- (※) 当該企業の求める人材が、現時点で仮に地元に住居していないとするならば、IUJ 卒業生をはじめとする U ターン期待できる人材にアプローチするなどの更なる積極的な取組を期待したい。

### 3 調査・分析結果

#### D) 実態調査結果

<実施日時>

平成 29 年 6 月 2 日（金）

<行政担当職員・お試し勤務事業者等ヒアリング結果>

|   |  |
|---|--|
| 南魚沼市<br>担当職員  | <p>南魚沼市産業振興部商工観光課商工振興班<br/>塩原 裕一氏、小林 亮平氏、山崎 春佳氏</p>  |
|   | <p>&lt;行政のお試し勤務企業の誘致方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 28 年度から開始した、海外の IT 企業誘致を行う「グローバル IT パーク南魚沼構想推進事業」に興味関心をもった国内の IT 企業を対象に、モデル事業でのお試し勤務を誘引した。</li> <li>お試し勤務の受入可能容量に限りがあるため、上記方針で選定・調整した 4 社のみ限定し、大々的な募集活動は行っていない（あえてお試し勤務企業を限定し、当該企業に対し行政から提供するサービスの質を高め、かつ、当該企業から得られる実践的なニーズの質を高める方針）。</li> <li>モデル事業終了後の SO 開設の可能性を高めるために、お試し勤務企業に対しては、国際大学やグローバル IT パーク南魚沼構想推進事業と連携した研究会を通してビジネスマッチングの場を提供するなど、決め細やかなサービスを徹底する方針。</li> </ul>   |
| お試し勤務<br>企業   | <p>株式会社エム・ビー・エー 東京事業所長</p>   |
|   | <p>主な業務：図書館情報管理システム開発</p>  |
|   | <p>&lt;利用契機・地域の選定要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>南魚沼市出身の都市部スタッフを U ターン従事させることにより多様な勤務環境を提供する。</li> </ul> <p>&lt;オフィス利用状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2 名が実家より通勤し、常駐している。</li> <li>当該要員の主な業務はシステム保守・運用業務。</li> </ul> <p>&lt;利用に伴う課題・改善要望等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上記業務実施において電話対応時に声が漏れてしまうことがセキュリティ面で気になる。</li> </ul> <p>&lt;その他（工夫点・利用効果等）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>要員が実家から勤務することで、都市部勤務と比べて交通費・家賃等の経費が削減できている。</li> </ul> |
|   | <p>ヌームジャパン株式会社 ライフスタイルコーチ 他</p>  |
| <p>主な業務：ヘルスケアシステム開発</p>   |  |
| <p>&lt;利用契機・地域の選定要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地場大学（北里大学等）との研究連携や管理栄養士としての特殊技能を有する人材を確保するため。</li> </ul> <p>&lt;オフィス利用状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新潟出身者の 2 名が常駐しており、主に上記の大学連携、人材確保のための営業拠点として活用。</li> </ul> <p>&lt;利用に伴う課題・改善要望等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上記業務実施において電話対応時に声が漏れてしまうことがセキュリティ面で気になる。また、機密文書の保管場所が無いことも問題。</li> </ul> <p>&lt;その他（工夫点・利用効果等）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Skype、メール等により通常行におけるコミュニケーションに支障なし（自己管理できる人材をお試し勤務地に配している）。</li> </ul> |  |

### 3 調査・分析結果

|  |   |
|--|---|
|  | 株式会社プライムスタイル 代表取締役社長  |
|  | 主な業務：Web システム開発   |
|  | <p>&lt;利用契機・地域の選定要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地方人材の新規発掘・雇用の場の確保のため（都市部 IT 人材が枯渇しており、都市部での人材獲得が困難であるため）。</li> </ul> <p>&lt;オフィス利用状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在常駐はしておらず（地元人材の雇用を検討）、サテライトオフィス誘致戦略研究会開催時の一時的な作業スペースとして利用している。</li> </ul> |
|  | 株式会社 ICO Japan 代表取締役社長  |
|  | 主な業務：留学斡旋、技能実習生受け入れ先開拓  |
|  | <p>&lt;利用契機・地域の選定要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自社人材の就労場所を確保するため（自社の農業系人材を提供する場として南魚沼市が適地と認識）。</li> </ul> <p>&lt;オフィス利用状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在常駐はしておらず、今後地元企業と調整のための事務管理の環境を整備する予定。</li> </ul>                                    |
| <b>ヒアリングから得られた主な示唆・仮説</b>  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 都市部では近年特に IT 系人材が枯渇している傾向にある。情報処理系に関する高等教育機関があるなど、当該人材を一定規模で輩出できる地域であれば、都市部企業（特に IT 系ベンチャー企業）のサテライトオフィス進出の適地となりうる。</li> <li>□ 現状の「お試し勤務」から実際の企業進出につなげるためには、その地域固有のビジネスを創出することに加え、地域に密接に関わる人材（都市部からの U ターン人材、地元で雇用された人材等）を確保することが重要である。</li> <li>□ 「②機能・要員移転型」として特定の企業が長期間常駐して自社業務を行う場合、サテライトオフィスとして、声漏れの対策（壁の設置等）や機密文書の保管場所等のセキュリティ対策が施す必要がある。</li> <li>□ お試し勤務期間を長期間（数ヶ月程度）設けることにより、新たなビジネス創出や地元人材の雇用等に向けて積極的に地域と連携するような都市部企業の誘引に繋がる。</li> </ul> |   |

### 3 調査・分析結果

#### E) 事業成果

##### <お試し勤務の実績>

事業期間中における南魚沼市のお試し勤務の実績は以下のとおり。「A) 事業の概要」に示すとおり、既存の「グローバル IT パーク南魚沼構想推進事業」を通じて関係を構築した都市部企業 4 社が、事業期間中継続して入居する形態となっている。

| No | お試し勤務<br>企業名   | 業種・<br>主な事業            | お試し<br>勤務地 | 入居期間                                  | 入居<br>者数 | 当該モデル団体における<br>お試し勤務の契機          |
|----|----------------|------------------------|------------|---------------------------------------|----------|----------------------------------|
| 1  | 株式会社エム・ビー・エー   | 図書館情報管理システム開発          | 国際大学       | 平成 29 年 4 月 13 日～<br>平成 29 年 9 月 29 日 | 2        | グローバル IT パークへの入居希望を受けたモデル事業の情報提供 |
| 2  | ヌームジャパン株式会社    | ヘルスケアシステム開発            | 国際大学       | 平成 29 年 5 月 26 日～<br>平成 29 年 9 月 29 日 | 1        | 市と付き合いのある社会保険労務士からの紹介            |
| 3  | 株式会社プライムスタイル   | Web システム開発             | 国際大学       | 平成 29 年 5 月 26 日～<br>平成 29 年 9 月 29 日 | 1        | 市と付き合いのある大学教授からの紹介               |
| 4  | 株式会社 ICO Japan | 留学斡旋、技能実習生受け入れ先開拓      | 国際大学       | 平成 29 年 6 月 1 日～<br>平成 29 年 9 月 29 日  | 1        | 市と付き合いのある社会保険労務士からの紹介            |
| 5  | シスコシステムズ合同会社   | ネットワークシステム、ソリューションの販売等 | 国際大学       | 平成 29 年 7 月 24 日                      | 3        | モデル団体 Web サイト等                   |

##### <成果指標の達成状況>

当初設定した成果指標の達成状況は以下のとおりであり、既存の「グローバル IT パーク南魚沼構想推進事業」を通じて培ったノウハウ・ネットワークを活用することで、事業開始後早々に目標を達成している。

| No | 成果指標                                   | 目標値 | 実績値 | 備考  |
|----|--|-----|-----|---|
| 1  | 若者の雇用の場の創出という観点に適合する都市部企業 4 社のお試し勤務の実施 | 4 社 | 5 社 | 「雇用の場の創出」を討議するサテライトオフィス誘致戦略研究会に企画したのは以下の 4 社<br>・株式会社エム・ビー・エー<br>・ヌームジャパン株式会社<br>・株式会社プライムスタイル<br>・株式会社 ICO Japan |

### 3 調査・分析結果

#### <重点的取組への対応状況>

「2.3.4 分析・評価の手法」に示す重点的取組への南魚沼市の対応状況は以下のとおりとなる。

○：対応      △：部分的に対応      －：対応なし

|   | 重点的取組                     | 評価 | 対応状況概要  |
|---|---------------------------|----|---|
| 1 | 地元事業者・住民への説明              | －  | 特筆すべき対応なし。  |
| 2 | 自地域の情報発信と都市部企業等とのネットワーク創出 | △  | 受入開始前に、企業訪問やフェア出展等を行ったが、最終的には既存のグローバルITパーク南魚沼構想推進事業で縁のあった企業を特定して誘致。                       |
| 3 | お試し勤務等企業のニーズの把握           | ○  | お試し勤務企業（4社）に対するアンケート調査を行い、お試し勤務に係る感想や求める支援内容、国際大学との交流に係る感想や今後の課題、サテライトオフィス誘致戦略研究会の感想等を聴取。 |
| 4 | 地元事業者・地元人材との交流・連携促進       | ○  | お試し勤務企業、国際大学およびGLOCOM、地元関係者等によるサテライトオフィス誘致戦略研究会を設置し、継続的にS0誘致やその発展に向けた戦略立案に資する議論を実施。       |
| 5 | 地元人材のニーズ等の把握              | △  | サテライトオフィス誘致戦略研究会の一部として地元出身人材の就職ニーズ等について議論。  |
| 6 | 地域課題及び地元事業者のニーズの把握        | △  | サテライトオフィス誘致戦略研究会の一部として、他地域の事例を基に、地域との連携方法、役割分担等について議論。                                    |
| 7 | 地域ビジネス創出に向けた研究会・実証実験の実施   | ○  | サテライトオフィス誘致戦略研究会を設置し、継続的なS0誘致やその発展に向けた戦略立案に資する議論を実施。（⇒総評において詳細記載。）                        |
| 8 | 域内遊休資産の実態調査               | －  | 特筆すべき対応なし。  |
| 9 | 域内遊休資産の活用に向けた環境整備         | －  | 特筆すべき対応なし。  |

### 3 調査・分析結果

#### F) 事業全体の総評

上記の整理内容を踏まえ、南魚沼市におけるモデル事業全体の総評を以下に整理する。

##### —お試し勤務企業が志向するサテライトオフィスの類型—

南魚沼市では、国際大学の1室を利用し、パーティションにより分割された4室をお試し勤務スペースとして提供した。各々、空間構成としては特定の企業が占有する個室であるが、お試し勤務企業の活用形態として、都市部のシステム運用・保守業務を一部移管するというように、「図表1-3 サテライトオフィス(SO)の類型」に示す「②機能・要員移転型」として活用する企業もあれば、地域と連携したビジネス創出などの営業活動の拠点、又はお試し勤務企業が、国際大学内で開かれる「サテライトオフィス誘致戦略策定研究会」に参画する際の拠点として、「①プロジェクト拠点型」、「④コワーキングスペース型」の形態で活用する企業も見られた。

なお、「D)実態調査結果」に示すとおり、当該勤務地については、主に他企業との交流促進やセキュリティ対策に係る改善・要望事項が挙げられており、モデル事業を通じて、テレワークを実施する場合に重視すべき具体的なポイントに係る示唆が得られた。

##### —研究会を通じた都市部企業の継続的な巻き込み—

お試し勤務企業を大々的に募集せず、既存の「グローバルITパーク南魚沼構想推進事業」を通じて関係性を有する少数の企業に絞り込み、長期的にお試し勤務地を提供したこと、国際大学、GLOCOM、地元関係者からなる「サテライトオフィス誘致戦略策定研究会」にお試し勤務企業にも参加してもらい、共にサテライトオフィス誘致や新規ビジネスの発展に向けた戦略立案に係る議論を重ねたことが南魚沼市での特徴的な取組である。

これらの取組が奏功し、南魚沼市の地域活動の一環として「南魚沼市地域産業支援連絡協議会(ICLOVE)」が進めるイベントの講師・審査員にお試し勤務企業の代表者が任命されるなど、モデル事業を通じて、お試し勤務企業と南魚沼市との密な関係が構築された。

中小企業にとって、地方部にSOを開設することはビジネス・コスト面での障壁が高く、一朝一夕に決断できるものではないが、上記のように同じテーマ(地域課題の解決等)に向かって、お試し勤務企業と行政・地元事業者等が、綿密かつ長期的に議論を重ねることで、やがて都市部企業にとって地域の課題が「ジブンゴト」となり、地方での新たなビジネス創出の契機になるものとする。

##### —事業の進め方・成果—

「C)進捗状況等調査結果」に示すとおり、南魚沼市では、既存の「グローバルITパーク南魚沼構想推進事業」で培ったネットワークを活用してお試し勤務企業を誘引したことにより、特段進捗上の大きな問題は見られなかった。

また、企業誘致の面で先進地である福島県会津若松市、徳島県神山町への視察調査も実施することで、相対的にSO誘致等に向けた自地域の取組の熟度や具体的課題を整理したことが特徴的取組として挙げられる。

### 3 調査・分析結果

#### 3.2.5 福井県鯖江市

##### A) 事業の概要

|           |  |  |            |
|-----------|--|--|------------|
| モデル団体     | 福井県鯖江市   | 行政担当部課   | 産業観光部商工政策課 |
| 事業名       | 空き家活用によるサテライトオフィス誘致事業  |  |            |
| 事業のポイント   | 平成 28 年度より着手している「空き家利活用マッチングプロジェクト」の一環として、S0 としての市内の空き家の活用可能性を検証 |  |            |
| 目的・方針     | 目的の概要  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地場産業の活性化とイメージアップ</li> <li>・ 若者や女性にとって魅力ある雇用の場の創出</li> <li>・ ワークライフバランスの推進</li> <li>・ UJI ターン者の定住促進</li> <li>・ 交流人口の増加</li> <li>・ 空き家有効活用の推進</li> <li>・ 市民主役の推進</li> <li>・ IT 教育の推進</li> </ul>                                       |            |
|           | 実施方針   | 地域の課題解決に資する実証事業を希望する幅広い職種の企業をターゲットに、市内空き家の活用を前提として事業を実施  |            |
|           | 成果指標   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業基本ニーズ調査（鯖江市独自実施）件数：30 社</li> <li>・ お試し勤務企業数：15 社</li> <li>・ 都市部セミナー：2 回</li> <li>・ オフィススペース適地調査軒数：15 軒</li> <li>・ 誘致企業数：2 社</li> </ul>  |            |
| 事業のスケジュール | 主なマイルストーン  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お試し勤務地環境整備：～ 4 月 30 日</li> <li>・ 入居者募集：4 月 1 日 ～ 8 月 31 日</li> <li>・ お試し勤務受入期間：4 月 1 日 ～ 8 月 31 日</li> <li>・ 都市部セミナー：6 月</li> <li>・ 視察ツアー：7 月</li> <li>・ 誘致戦略検討：8 月 1 日 ～ 9 月 15 日</li> <li>・ 成果報告書作成：9 月 1 日 ～ 9 月 30 日</li> </ul> |            |
| 事業の実施体制   | 鯖江市  | <p>&lt;産業環境部商工政策課&gt;<br/>事業の全体管理、都市部企業の事前調査、広報活動、市内の魅力に関するデータ等の提供、視察ツアーの内容検討・実行・結果検証、S0 の誘致・雇用創出・新ビジネス創出に向けた戦略策定</p> <p>&lt;都市整備部建築営繕課&gt;<br/>市内の物件調査、都市部企業のニーズに合う物件の紹介、空き家所有者との調整</p> <p>&lt;政策経営部めがねのまちさばえ戦略室&gt;<br/>S0 誘致に伴う移住者の受入れに際して必要となる生活環境の支援内容の検討</p>           |            |
|           | その他  | <p>&lt;都市部協力企業&gt;<br/>事業の推進支援、都市部企業の事前調査や広報活動への協力</p> <p>&lt;福井県建築士会鯖江支部&gt;<br/>市内の物件調査、不動産の賃貸、売買に関する契約支援</p>  |            |

3 調査・分析結果

|  |                    |   |
|--|--------------------|---|
|  | <b>再委託<br/>事業者</b> | <p>&lt;一般社団法人 日本建築設計学会&gt;<br/>                 企業基本ニーズ調査（鯖江市独自実施）及びお試し勤務体験事業の実施、都市部セミナー、都市部企業へのプロモーション（Web サイト制作、広告宣伝等）、誘致戦略策定</p> |
|--|--------------------|---|

B) お試し勤務地の概要

|             |             |  |
|-------------|-------------|--|
| 各勤務地の<br>概要 | <b>拠点名称</b> | お試しサテライトオフィス1（オフィス1）   |
|             | <b>受入容量</b> | 10名  |
|             | <b>特記事項</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心市街地の商店街に立地</li> <li>・ 和室3室が連なった開放的な間取り</li> </ul>   |
|             | <b>写真</b>   | <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">※当該モデル団体成果報告時の資料より抜粋（以下同。）</p> |
|             | <b>拠点名称</b> | お試しサテライトオフィス2（オフィス2）   |
|             | <b>受入容量</b> | 4名   |
|             | <b>特記事項</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心市街地の商店街近接の住宅地に立地</li> <li>・ 設備面に優れた現代的な住宅</li> </ul>  |
|             | <b>写真</b>   | <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>  |
|             | <b>拠点名称</b> | お試しサテライトオフィス3（オフィス3）   |
|             | <b>受入容量</b> | 4名   |
|             | <b>特記事項</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中山間部に立地</li> <li>・ 古民家風の空き家</li> </ul>  |



3 調査・分析結果

|  |      |   |
|--|------|---|
|  | 写真   |     |
|  | 拠点名称 | お試しサテライトオフィス4（オフィス4）  |
|  | 受入容量 | 4名  |
|  | 特記事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中山間部に立地</li> <li>・ 設備面に優れた現代的な住宅</li> </ul>  |
|  | 写真   |   |

### 3 調査・分析結果

#### C) 進捗状況等調査結果

##### <進捗・体制・スコープ>

|      |      |  |
|------|------|--|
| 進捗   | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4/24 にお試しサテライトオフィス交流セミナーに参加し、訪問企業 11 社と名刺交換</li> <li>・ 6 月初旬に全 4 拠点のお試し勤務地の整備が完了（1 ヶ月強の遅延）</li> <li>・ 6/5 に大阪で、6/7 に東京で都市部セミナーを実施</li> <li>・ 7/5, 6 に視察ツアーを開催（1 ヶ月強の遅延）</li> <li>・ 8/1～8/31 の間で、都市部企業に対する企業基本ニーズ調査（鯖江市独自実施）を Web 上で実施</li> <li>・ 都市部セミナー、視察ツアーの開催効果により、7 月～8 月の間に多数のお試し勤務企業を確保</li> </ul> |
|      | 総評   | <p>お試し勤務地の整備や視察ツアーの開催遅延に伴い、5、6 月中はお試し勤務企業の確保が進まなかったが、7 月初旬の視察ツアー開催以降は、順調に件数を伸ばしていった。</p>   |
| 体制   | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5 月下旬より事業全体の支援業務を日本建築設計学会に再委託</li> </ul>  |
|      | 総評   | <p>日本建築設計学会を含めた実施体制の構築が遅延したものの、構築後、即時に都市部セミナーや視察ツアーを実施しており、特段事業への影響は見られなかった。</p>   |
| スコープ | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6/5, 7 の都市部セミナーにて、成果指標として設定した「都市部セミナー：2 回」を達成</li> <li>・ 7/5, 6 の視察ツアー開催以降、お試し勤務企業数を順調に伸ばし、8 月中旬時点で成果指標として設定した 15 社を達成</li> </ul>   |
|      | 総評   | <p>受入開始当初のお試し勤務企業数が伸びず、目標達成が懸念されたものの、都市部セミナーや視察ツアーが奏功し、最終的に全ての成果指標を達成した。</p> <p>※達成状況の詳細については「E) 事業成果」を参照のこと。</p>  |

##### <主な課題・リスクとその対応経緯>

- ・ お試し勤務地の環境整備や実施体制構築の遅延等により、受入開始当初（5～6 月）はお試し勤務企業数が伸び悩んだ。また、これに伴い事務局より都市部企業への訪問活動の強化を指示した。また、その後、6 月初旬の都市部セミナー、また、7 月初旬の視察ツアーにより飛躍的にお試し勤務企業数を伸ばし、当初の遅延をリカバリーすることに成功した。

### 3 調査・分析結果

#### D) 実態調査結果

<実施日時>

平成 29 年 7 月 5 日（水）～6 日（木）

<行政担当職員・お試し勤務事業者等ヒアリング結果>

|  |   |
|--|---|
| <p style="text-align: center;"><b>鯖江市<br/>担当職員</b></p> | <p style="text-align: center;">鯖江市産業環境部商工政策課 酒井 智行氏</p> <p>&lt;行政のお試し勤務企業の誘致方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援事業全般（情報発信、ツアー開催、適地調査、誘致戦略策定等）を日本建築設計学会に再委託して事業を円滑に進めている。</li> <li>・ 7 月 5 日、6 日開催の視察ツアーには、主に東京からの企業を中心に 19 社が参加した。</li> <li>・ 都市部企業からの問合せの他、マッチング調査で鯖江市での勤務を希望する都市部企業へのアプローチ、都市部セミナーの開催、また、地元事業者や福井県庁からの紹介により、お試し勤務企業や視察ツアー参加企業を確保している。</li> <li>・ 全庁的な受入体制に加え、民間事業者・団体（建築系、伝統工芸系）との連携により、市全体で強固な受入体制を構築し、お試し勤務企業、お試し勤務ツアー参加企業へのサポートを実施している。</li> <li>・ お試し勤務地の 4 拠点は全て空き家物件である。市内の空き家について、S0 としての活用可能性（地理的条件や類型別の適用性等）や活用に向けた課題・問題点を整理し、誘致戦略の肝とする方針である。</li> <li>・ モデル事業を通し、1 社の進出が確定。また、追加で 2 社（1 グループ）の進出がほぼ決定している。</li> </ul>   |
| <p style="text-align: center;"><b>お試し勤務<br/>企業</b></p> | <p style="text-align: center;">株式会社 LIFULLL Marketing Partners 代表取締役</p> <p style="text-align: center;">主な業務内容：不動産業界の集客、Web プロモーションサービス</p> <p>&lt;利用契機・地域の選定要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鯖江市とプロジェクトを進めていた Yahoo 社を介して、モデル事業の存在を知り、鯖江市にお試し勤務を申し入れた。</li> <li>・ 企業戦略として空き家活用等の地方創生事業に乗り出しており、課題解決に向けた行政の積極性が高い（地域課題解決に向けてこれまでも先駆的な取組を実施している）鯖江市を選定した。</li> <li>・ 自社の OB が既に鯖江市で起業しており、お試し勤務実施の橋渡し役となった。</li> </ul> <p>&lt;オフィス利用状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お試し勤務期間中は、市街地のお試しサテライトオフィス 2、中山間部のお試しサテライトオフィス 3 を活用（2 チーム計 6 名が利用）。</li> <li>・ 執行役員に加え、事業プロデューサーやクリエイティブ・デザイナー等がお試し勤務を実施。</li> <li>・ 会社として「働くママ向け」のオフィス環境構築を目指しており、その示唆を得るために子連れの女性社員が帯同している。</li> <li>・ 札幌市、京都市にも地方拠点を開設している。今回のお試し勤務を含め、地方拠点では物件のリスティング、Web デザイン、分析・レポート等の「場所を問わない仕事」を実施する想定である。</li> <li>・ 東京/鯖江市間で Skype を用いたりリモートコミュニケーションを行う想定である（勤務時間はログ等を用いて管理する方針）。</li> </ul> <p>&lt;今後の拠点展開方針&gt;</p> |

### 3 調査・分析結果

|  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 鯖江市においては、市街地への進出（サテライトオフィス開設）がほぼ確定しており、今回は最終意思決定のため執行役員が参画している。</li><li>・ グループ企業全体で、「地方に進出してリモートワークを行う」という大きな戦略がある。地方進出の目的は、地方創生事業（空き家の活用等）の強化や現地人材（主に「働くママ」）の獲得である。</li><li>・ ただし、一足飛びに、現地人材の獲得は困難であるため、当面は東京本社の要員が地方拠点に移動し、ある程度軌道に乗った段階で、現地人材の確保に着手する考えである。</li></ul> |
| <b>ヒアリングから得られた主な示唆・仮説</b>  |   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>□ 中山間部の勤務環境は数日間のお試し勤務や開発合宿等の一時的な利用には魅力的である。一方で、鯖江市への進出企業2社はいずれも市街地にSOを設ける方針であることから、地方のサテライトオフィスとして都市部企業が長期間定常的に利用する場合は、アクセス場所が好まれる傾向にある。</li><li>□ CSRの面から、地方創生事業や新しい働き方の実現を志向する都市部企業は多い。その場合、観光資源や地理的利便性よりも、行政側の積極性や受入体制の成熟度といった点が進出判断に大きく影響を与える。特に受入体制として、広域自治体（都道府県）との連携及び行政と都市部企業の仲介となる民間事業者の存在が重要である。</li></ul> |   |

### 3 調査・分析結果

#### E) 事業成果

<お試し勤務の実績>

事業期間中における鯖江市のお試し勤務の実績は以下のとおり。計 36 件のお試し勤務があり、入居期間は概ね 2 泊 3 日程度である。お試し勤務の契機として、視察ツアーが多く、その効果の高さがうかがえる。

| No | お試し勤務<br>企業名                            | 業種・<br>主な事業                                  | お試し<br>勤務地   | 入居期間                                  | 入居<br>者数 | 当該モデル団体における<br>お試し勤務の契機 |
|----|---|--|--------------|---------------------------------------|----------|-------------------------|
| 1  | 株式会社<br>Ridilover                       | スタディツ<br>アー・社会<br>問題発信メ<br>ディア運営<br>等        | オフィス 2       | 平成 29 年 5 月 23 日～<br>平成 29 年 5 月 27 日 | 1        | 移住者からの紹介                |
| 2  | 株式会社 L I F<br>U L L                     | 不動産情報<br>サービス、<br>家具・イン<br>テリア EC サ<br>イト運営等 | オフィス 1       | 平成 29 年 7 月 5 日～<br>平成 29 年 7 月 8 日   | 2        | 企業から市に連絡                |
| 3  | 株式会社<br>LIFULL<br>Marketing<br>Partners | 不動産業界<br>の集客 Web<br>プロモーションサー<br>ビス          | オフィス 3       | 平成 29 年 7 月 5 日～<br>平成 29 年 7 月 8 日   | 5        | 企業から市に連絡                |
| 4  | 北恵株式会社                                  | 建材商社   | オフィス 4       | 平成 29 年 7 月 13 日～<br>平成 29 年 7 月 15 日 | 1        | 都市部セミナー参加               |
| 5  | シスコシステム<br>ズ合同会社                        | ネットワー<br>クシステ<br>ム、ソリュ<br>ーションの<br>販売等       | オフィス 2       | 平成 29 年 7 月 23 日～<br>平成 29 年 7 月 24 日 | 2        | 企業から市に連絡                |
| 6  | 株式会社葵パー<br>ル                            | コンサル   | オフィス 4       | 平成 29 年 7 月 29 日～<br>平成 29 年 7 月 30 日 | 3        | 企業から市に連絡                |
| 7  | 株式会社<br>Arions                          | コンサルテ<br>ィング、物<br>流                          | オフィス 1、<br>4 | 平成 29 年 7 月 31 日～<br>平成 29 年 8 月 11 日 | 3        | 視察ツアー参加                 |
| 8  | 株式会社バディ<br>ィング                          | Web サイト<br>の企画・開<br>発・運営                     | オフィス 2       | 平成 29 年 8 月 2 日～<br>平成 29 年 8 月 3 日   | 1        | 市関係者からの紹介               |
| 9  | 合同会社シェル<br>パ                            | リアルタイ<br>ム OS のサポ<br>ート、コン<br>サルティン<br>グ等    | オフィス 3       | 平成 29 年 8 月 3 日～<br>平成 29 年 8 月 5 日   | 1        | 視察ツアー参加                 |
| 10 | 株式会社ディレ<br>クターズ                         | 広告企画   | オフィス 4       | 平成 29 年 8 月 7 日～<br>平成 29 年 8 月 8 日   | 1        | 市関係企業からの紹介              |

### 3 調査・分析結果

| No | お試し勤務<br>企業名                  | 業種・<br>主な事業  | お試し<br>勤務地  | 入居期間                      | 入居<br>者数 | 当該モデル団体における<br>お試し勤務の契機 |
|----|-------------------------------|--|-------------|---------------------------|----------|-------------------------|
| 11 | 花田茂建築設計<br>事務所                | 建築設計   | オフィス1,<br>2 | 平成29年8月7日～<br>平成29年8月21日  | 2        | 視察ツアー参加                 |
| 12 | 株式会社アルタ<br>イル                 | 広告物の企<br>画、編集、<br>制作                               | オフィス3       | 平成29年8月9日～<br>平成29年8月11日  | 2        | 視察ツアー参加                 |
| 13 | 株式会社リトル<br>クラウド               | AI活用ビジ<br>ネスデベロ<br>ッパー                             | オフィス4       | 平成29年8月14日～<br>平成29年8月16日 | 1        | 市職員からの紹介                |
| 14 | みこしジャパン<br>株式会社               | 伝統産業PR<br>プロジェクト                                   | オフィス3       | 平成29年8月14日～<br>平成29年8月18日 | 2        | 視察ツアー参加                 |
| 15 | 株式会社 mgn                      | IT コンサル  | オフィス3       | 平成29年8月14日～<br>平成29年8月18日 | 3        | 企業から市に連絡・視察ツ<br>アー参加    |
| 16 | 株式会社DeN<br>A                  | ゲーム、エ<br>ンターテイ<br>メント等                             | オフィス4       | 平成29年8月17日                | 1        | 視察ツアー参加                 |
| 17 | 株式会社コウェ<br>ル                  | オブショア<br>開発コンサル<br>ティング                            | オフィス2       | 平成29年8月17日～<br>平成29年8月18日 | 9        | 福井県庁からの紹介               |
| 18 | 有限会社 Prime<br>Consulting      | IT コンサル<br>ティングシ<br>ステム設計                          | オフィス2、<br>4 | 平成29年8月18日                | 1        | 市関係企業からの紹介              |
| 19 | 株式会社ピハナ<br>コンサルティング           | ブランド戦<br>略・創業ア<br>ドバイザリ<br>ー、EC・WEB<br>サイト構築<br>事業 | オフィス2       | 平成29年8月19日～<br>平成29年8月20日 | 1        | 市関係企業からの紹介・視<br>察ツアー参加  |
| 20 | 株式会社<br>GLOBAL WORKS          | パソコンオ<br>ンラインサ<br>ポート業務<br>等                       | オフィス2       | 平成29年8月19日～<br>平成29年8月20日 | 1        | 視察ツアー参加                 |
| 21 | リコージャパン<br>株式会社               | 複合機製造<br>販売、保守<br>等                                | オフィス2       | 平成29年8月21日～<br>平成29年8月23日 | 2        | 移住交流フェア参加               |
| 22 | 株式会社アルフ<br>ァヴィール一級建<br>築士事務所  | 建築設計   | オフィス3       | 平成29年8月19日～<br>平成29年8月27日 | 3        | 企業から市に連絡                |
| 23 | UMearchitects<br>一級建築士事務<br>所 | 建築設計   | オフィス4       | 平成29年8月19日～<br>平成29年8月27日 | 3        | 企業から市に連絡                |
| 24 | 一般社団法人中<br>小企業情報化支<br>援協議会    | 中小企業等<br>の情報化推<br>進の支援                             | オフィス1       | 平成29年8月22日～<br>平成29年8月26日 | 1        | 企業から市に連絡                |

### 3 調査・分析結果

| No | お試し勤務<br>企業名                     | 業種・<br>主な事業                                   | お試し<br>勤務地 | 入居期間                      | 入居<br>者数 | 当該モデル団体における<br>お試し勤務の契機 |
|----|----------------------------------|---|------------|---------------------------|----------|-------------------------|
| 25 | アーキテク<br>ツ・スタジオ・<br>ジャパン株式会<br>社 | 建築家ネッ<br>トワーク構<br>築等                          | オフィス2      | 平成29年8月22日～<br>平成29年8月28日 | 3        | 企業から市に連絡                |
| 26 | 株式会社インデ<br>ペンデンス                 | 証券業務サ<br>ポート                                  | オフィス4      | 平成29年8月27日～<br>平成29年8月29日 | 3        | 都市部セミナー参加               |
| 27 | GMO ペパボ株式<br>会社                  | 個人向けイ<br>ンターネッ<br>トサービス<br>等                  | オフィス4      | 平成29年8月29日～<br>平成29年8月30日 | 2        | 企業から市に連絡                |
| 28 | 株式会社エンジ<br>ョイワークス                | 建築デザイ<br>ン等                                   | オフィス1      | 平成29年8月29日～<br>平成29年8月30日 | 2        | 企業から市に連絡                |
| 29 | 株式会社オメガ<br>クリエイティブ<br>デザイン       | 内装・ディ<br>スプレイデ<br>ザイン                         | オフィス3      | 平成29年8月27日～<br>平成29年8月31日 | 1        | 企業から市に連絡                |
| 30 | 有限会社コロコ<br>ロエンタープラ<br>イズ         | 建築設計  | オフィス2      | 平成29年8月29日～<br>平成29年8月31日 | 2        | 視察ツアー参加                 |
| 31 | ジェイコーディ<br>株式会社                  | 商品企画&<br>販売促進支<br>援、新規事<br>業立ち上げ<br>支援        | オフィス4      | 平成29年8月30日～<br>平成29年8月31日 | 1        | 都市部セミナー参加               |
| 32 | ケミコラボラト<br>リー合同会社                | 商社  | オフィス4      | 平成29年8月30日～<br>平成29年8月31日 | 1        | 視察ツアー参加企業からの<br>紹介      |
| 33 | 株式会社日興エ<br>ボナイト製造所               | エボナイト<br>製造業                                  | オフィス4      | 平成29年8月30日～<br>平成29年8月31日 | 1        | 視察ツアー参加企業からの<br>紹介      |
| 34 | 株式会社 Jint                        | マーケティ<br>ング・コン<br>サル                          | オフィス4      | 平成29年8月30日～<br>平成29年8月31日 | 1        | 視察ツアー参加企業からの<br>紹介      |
| 35 | 株式会社<br>Branding<br>Engineer     | HR 関連 IT<br>サービス                              | オフィス2      | 平成29年9月8日～<br>平成29年9月10日  | 2        | お試し勤務企業からの紹介            |
| 36 | 株式会社メンバ<br>ーズエッジ                 | チーム型ニ<br>アショアシ<br>ステム開<br>発、改善型<br>保守サービ<br>ス | オフィス2      | 平成29年9月13日                | 2        | 企業から市に連絡                |

### 3 調査・分析結果

#### < 成果指標の達成状況 >

当初設定した成果指標の達成状況は以下のとおりであり、全ての目標値を達成している。特に限られた期間において、2社のサテライトオフィス開設を達成したことは特筆すべき成果と言える。

| No | 成果指標                 | 目標値 | 実績値 | 備考 |
|----|----------------------|-----|-----|----|
| 1  | 企業基本ニーズ調査（鯖江市独自実施）件数 | 30社 | 30社 |    |
| 2  | お試し勤務企業数             | 15社 | 36社 |    |
| 3  | 都市部セミナー              | 2回  | 2回  |    |
| 4  | オフィススペース適地調査軒数       | 15軒 | 15軒 |    |
| 5  | 誘致企業数                | 2社  | 3社  |    |

#### < 重点的取組への対応状況 >

「2.3.4 分析・評価の手法」に示す重点的取組への鯖江市の対応状況は以下のとおりとなる。

○：対応      △：部分的に対応      -：対応なし

|   | 重点的取組                     | 評価 | 対応状況概要  |
|---|---------------------------|----|---|
| 1 | 地元事業者・住民への説明              | -  | 特筆すべき対応なし。  |
| 2 | 自地域の情報発信と都市部企業等とのネットワーク創出 | ○  | 東京・大阪での都市部セミナーに加え、事業専用のWebサイトやPR動画の作成等を実施。  |
| 3 | お試し勤務等企業のニーズの把握           | ○  | お試し勤務企業等に対するアンケート調査を行い、地方進出（SO開設）時に重視する立地条件、各お試し勤務地の評価を聴取。また、事前にお試し勤務候補企業に対するWebでのニーズ調査を踏まえて、お試し勤務地を整備。 |
| 4 | 地元事業者・地元人材との交流・連携促進       | ○  | 視察ツアーを通じて、お試し勤務に関心を有する企業と、地元事業者との交流の場を一体的に創出。（⇒総評において詳細記載。）   |
| 5 | 地元人材のニーズ等の把握              | -  | 特筆すべき対応なし。  |
| 6 | 地域課題及び地元事業者のニーズの把握        | -  | 特筆すべき対応なし。  |
| 7 | 地域ビジネス創出に向けた研究会・実証実験の実施   | -  | 特筆すべき対応なし。  |



### 3 調査・分析結果

| 重点的取組                      | 評価 | 対応状況概要   |
|----------------------------|----|--|
| 8<br>域内遊休資産の<br>実態調査       | ○  | 市内の空き家に対してS0への適合性診断を行い、<br>1) 建物の状況、2) 設備の状況、3) 周辺環境、<br>4) 所有者の意思、の各視点に基づいて、勤務地とする<br>空き家を選定。 |
| 9<br>域内遊休資産の活用<br>に向けた環境整備 | △  | お試し勤務企業へのアンケート結果等を踏まえ、S0<br>への適合性について、オフィス環境の立地条件のほか、<br>施設類型や建物構造や空間構成等の仔細な項目で<br>評価。         |

### 3 調査・分析結果

#### F) 事業全体の総評

上記の整理内容を踏まえ、鯖江市におけるモデル事業全体の総評を以下に整理する。

##### ーお試し勤務企業が志向するサテライトオフィスの類型ー

鯖江市においてはお試し勤務地の整備に先立ち、独自に都市部企業に対するニーズ調査を実施し、都市部企業が勤務環境に求める立地条件や設備、移動手段、その他生活支援サービス等の情報を整理し、それに基づいて4種のお試し勤務地を整備している。

これらはいずれも空き家を活用した、特定の企業が個室を占有する形態であり、「図表 1-3 サテライトオフィス (S0) の類型」に示す「③社内イベント利用型」の性質が強い。また、立地・室内環境の異なるお試し勤務地を設け、お試し勤務企業へのアンケート調査を介して比較調査を行うことで、アクセス利便性に加えて「地方（鯖江）ならではのゆとりある空間」に対するニーズが強いとの示唆を得ている。オフィススペース適地調査を通じて、サテライトオフィスとして空き家を活用する上での具体的な課題（所有者との調整、近隣住民への配慮等）が整理されたことも鯖江市における特徴的な示唆と言える。

なお、お試し勤務企業に対しては、行政からの支援メニューとして、地場産業の紹介・視察、NPO 法人の拠点紹介、移住者・移住起業家との交流、お試し勤務企業間の交流等が設けられ、お試し勤務地そのものは「③社内イベント利用型」でも、地域全体として、社外・地域と連携する「①プロジェクト拠点型」、「④コワーキングスペース型」の性質を有していたといえる。

##### ー地域の魅力やコミュニティを活かした地域一体の企業誘致ー

鯖江市は、眼鏡、漆器等、伝統産業分野において世界最高峰のものづくり技術を有するほか、提案型市民主役事業化制度を制定して市民主役のまちづくりを進める、若者による地域活性化推進事業として地域活性化プランコンテストを開催する、全国に先駆けてオープンデータに取り組むなど、「内発的なイノベーションの場」として全国に認知されている。また、「Forbes JAPAN」(2017. 6月号)では、「イノベティブシティ」として全国4位に位置づけられるなど、地方でビジネス創出を目指す都市部企業等の間では既に大きな魅力を有していると言える。

視察ツアーに際しても、多数の都市部企業等に対し、行政担当課の案内に留まらず、市長によるトップセールスや多数の移住者・移住起業家を巻き込んだ交流の場が設けられ、これまでの関連事業で培ったノウハウやコミュニティを最大限に活用した地域包括的な「おもてなし」が行われた。このような取組は、都市部企業等に対し、鯖江市への進出に際して「地域の全面的な支援が受けられる」、「コミュニティに属することで地元事業者・住民との交流・連携が臨める」との印象を抱かせるものであり、今回の2社の企業進出にも大きく寄与したものと考えられる。

##### ー事業の進め方・成果ー

「C) 進捗状況等調査結果」に示すとおり、受入開始当初は成果指標の未達成が懸念されたが、都市部セミナーや視察ツアーを通じて都市部企業と地域での直接的な関係ができてからは飛躍的にお試し勤務企業数を伸ばした。行政担当課の尽力に加え、まちぐるみでの全面的バックアップがその成功要因と考えられる。

### 3 調査・分析結果



#### 3.2.6 京都府京丹後市

##### A) 事業の概要

|           |  |  |            |
|-----------|--|--|------------|
| モデル団体     | 京都府京丹後市  | 行政担当部課   | 商工観光部商工観光課 |
| 事業名       | 農業と観光業を軸とした、都市と地方のデュアルワークモデルを創出するためのお試しサテライトオフィス事業       |  |            |
| 事業のポイント   | 農業や観光業等の地方で人材を必要とする産業分野の就労機会の増加を図る「デュアルワーク」を促進する就労モデルの構築 |  |            |
| 目的・方針     | 目的の概要  | デュアルワークによる農業、観光分野の人材確保と地場産業の活性化（就労機会・所得の増加）、移住・定住促進、地域の若者人材の育成   |            |
|           | 実施方針   | 以下の条件に合致する企業を優先的に誘引<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 副業等に理解を示す柔軟な働き方を模索する企業</li> <li>・ ワークライフバランスを重視する企業</li> <li>・ 地元の優秀な人材確保（雇用）を望む企業</li> <li>・ ワークシェアリングを推進する企業</li> <li>・ リスク分散を進める企業</li> </ul> |            |
|           | 成果指標   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ S0 設置希望企業の獲得：1 社</li> <li>・ お試し勤務企業数：10 社</li> <li>・ オフィススペースの適地のリスト化・活用可能な遊休公共施設のリスト化</li> <li>・ 移住者の満足度の向上</li> <li>・ 地元雇用創出：1 名</li> <li>・ 地元事業者との連携：1 件</li> </ul>  |            |
| 事業のスケジュール | 主なマイルストーン  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お試し勤務受入期間：5月8日～8月25日</li> <li>・ 都市部セミナー・ニーズ調査：5月～6月</li> <li>・ 視察ツアー：4月中旬～6月</li> <li>・ 誘致戦略検討：4月～8月</li> <li>・ 成果報告書作成：8月～9月</li> </ul>                                |            |
| 事業の実施体制   | 京丹後市   | <p>&lt;商工観光部商工振興課&gt;<br/>           委託事業の管理、S0 適地調査実施、誘致戦略策定<br/>           &lt;企画総務部企画政策課、医療部医療政策課、健康長寿福祉部、教育委員会&gt;<br/>           移住者の生活環境等支援</p>  |            |
|           | その他  | <p>&lt;丹後農業実践型学舎&gt;<br/>           ※運営は京都府農林水産技術センター農林センター丹後農業研究所<br/>           農業体験における技術指導</p>   |            |
|           | 再委託事業者   | <p>&lt;公益財団法人 丹後地域地場産業振興センター&gt;<br/>           お試し勤務の実施、地元事業者との交流会等開催<br/>           &lt;株式会社丹後王国&gt;<br/>           都市部セミナー等実施（三大都市圏対象）、市民及び地元事業者向け講演会の開催、農業及び観光業体験</p>  |            |

### 3 調査・分析結果

#### B) お試し勤務地の概要

|             |  |   |
|-------------|--|---|
| 各勤務地の<br>概要 | 拠点名称   | 京丹後市テレワークセンター   |
|             | 受入容量   | 2社  |
|             | 特記事項   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2部屋の個室とコワーキングスペースを併設</li> <li>・ 平成 27 年度ふるさとテレワーク推進のための地域実証事業において整備</li> <li>・ セキュリティ対策として、暗証番号キーによる入退室管理と監視カメラによる記録を実施</li> <li>・ 自然環境の中でテレワークするイメージを醸出するため、床に人工芝を敷設。</li> <li>・ 利用者の健康管理を促すため体組成計や血圧計等を設置</li> </ul> |
| 写真          | <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">※当該モデル団体成果報告時の資料より抜粋</p> |   |

### 3 調査・分析結果

#### C) 進捗状況等調査結果

##### <進捗・体制・スコープ>

|      |      |   |
|------|------|---|
| 進捗   | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4/24 にお試しサテライトオフィス交流セミナーに参加し、訪問企業6社と名刺交換</li> <li>・ 5月中旬より視察ツアーの受入を開始</li> <li>・ 5/17に京都市、5/18に大阪市で、都市部セミナーを実施</li> <li>・ 6/14に東京都、6/15に名古屋市で、都市部セミナーを実施</li> <li>・ 上記4回の都市部セミナーにて43社60人が参加</li> <li>・ 6月中旬よりオフィススペース適地調査を開始（約半月の遅延）</li> <li>・ 6月末に視察ツアーの実施を完了（6社8人が参加）</li> <li>・ 7月初旬よりお試し勤務初回の受入</li> <li>・ 7/27に市民向けの「新しい働き方」講演会を開催</li> <li>・ 7月下旬にオフィススペース適地調査を完了</li> <li>・ 8/10に地元事業者向けの「新しい働き方」講演会を開催</li> </ul> |
|      | 総評   | 設定したマイルストーンに対する大きな遅延が見られなかったが、都市部企業へのアプローチ不足等により、初回のお試し勤務の受入（7月初旬）までかなりの時間を費やした。  |
| 体制   | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5月上旬に、大学教授、地元事業者、地元関係団体、行政関係機関からなる誘致戦略策定委員会を発足</li> <li>・ 6月中旬に、オフィススペース適地調査について設計会社に委託</li> </ul>   |
|      | 総評   | オフィススペース適地調査に関する再委託手続きが遅延したものの、成果報告書作成の進捗に与える影響はなかった。また、誘致戦略策定委員会についても、特段の遅延なく、委員会発足、戦略検討を行った。  |
| スコープ | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月初旬、施設の一部老朽化等に伴い、オフィススペース適地調査の対象施設を当初想定より縮減</li> <li>・ 8月末までお試し勤務を受け入れ、最終的に成果指標として設定した「お試し勤務企業数：10社」を概ね達成</li> <li>・ 成果指標として設定した「S0設置企業の獲得：1社」を達成</li> </ul>  |
|      | 総評   | 初回の受入開始が遅延したものの、行政担当職員による個別のアプローチや丹後王国からの紹介等により、お試し勤務企業数やS0設置希望企業に係る成果指標を概ね達成した。<br>※達成状況の詳細については「E)事業成果」を参照のこと。  |

##### <主な課題・リスクとその対応経緯>

- ・ 事業開始当初より、誘引活動、体制構築等、全般的に進捗が遅れていたが、行政担当職員による都市部企業への訪問や都市部セミナー等による都市部企業との接触を強化することで、最終的に成果指標として設定したお試し勤務企業数を概ね達成した。
- ・ 新しい働き方として、お試し勤務企業に対して「デュアルワーク」を提唱したが、事業期間中に実践する企業はそれほど見られなかった。これを受け、お試し勤務企業に対するアンケート調査等を介して、「デュアルワーク」に対する詳細ニーズや実践に伴う具体的課題を把握し、成果報告書として整理した。

### 3 調査・分析結果

#### D) 実態調査結果

<実施日時>

平成 29 年 7 月 27 日（木）～28 日（金）

<行政担当職員・お試し勤務事業者等ヒアリング結果>

|   |   |
|---|---|
| 京丹後市<br>担当職員  | 京丹後市商工観光部商工振興課 高橋 尚義氏 他   |
|   | <p>&lt;行政のお試し勤務企業の誘致方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 25 年度から商工業振興施策の一環として、都市部企業等の一部機能の誘致と、それに資するテレワークやコワーキングの可能性調査を開始している。平成 27 年度にはふるさとテレワーク事業に参画。</li> <li>・人材不足に悩む市内の農業事業者と観光事業者の間で、繁忙期に違いがある事を利用して人の融通を行っている事例があったことから、都市部企業誘致の選択肢の一つとして「デュアルワーク」の可能性を検証。</li> <li>・お試しサテライトオフィス交流セミナーの参加企業や、マッチング調査結果の対象企業への個別アプローチ（全社に電話）に加え、東京、大阪、京都、名古屋での都市部セミナーや各種メルマガを活用してモデル事業を周知。</li> <li>・お試し勤務地として、丹後地域地場産業振興センター内にテレワークセンターを設置（事業終了後の運用は未定）。</li> <li>・ふるさとテレワーク事業などを通じて把握した都市部企業のニーズを踏まえ、各種支援制度の予算化を実施済（社員の生活拠点確保に係る費用や地元の企業、大学等との連携にかかる費用など）。</li> </ul>   |
| お試し勤務<br>企業   | 株式会社オフィス 703 代表取締役  |
|   | 主な業務内容：HP 制作  |
|   | <p>&lt;利用契機・地域の選定要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Web 制作の仕事で京丹後市を取り扱った経験有り。</li> <li>・DM をきっかけに移住交流フェアに参加し、お試し勤務を決定。</li> <li>・別途自社で「富士山サテライトオフィス」を保有（循環型）。宿泊施設の予約サイト運営が本業であり、京丹後市への進出目的は新規顧客の獲得。</li> </ul> <p>&lt;オフィス利用状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お試し勤務地に株式会社オーエイチと同居。</li> <li>・京丹後市観光協会の協力で、地元宿泊事業者との交流会を実施した。</li> <li>・デュアル「ライフ」として、農業体験を実施。</li> <li>・社長 1 名で参加（その他要員はアルバイト 2 名のみ）。</li> <li>・要員とは、日常的にチャット・電話でコミュニケーションを実施。</li> <li>・社長 1 名の会社であり、どこにいても働き方に違いは無い。</li> </ul> <p>&lt;今後の拠点展開方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京丹後市は観光資源に恵まれており、観光商材としてのポテンシャルは高く、S0 開設により、地元事業者への訴求力も高まると考える。</li> <li>・一方で顧客獲得に至るまでは、S0 を構えるリスクが大きく、観光協会や行政のサポートが必要。</li> </ul> |
|   | 株式会社オーエイチ 代表取締役   |
| <p>主な業務内容：交通・ホテル専門インバウンドマーケティング</p> <p>&lt;利用契機・地域の選定要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記のオフィス 703 と協業関係があり、進出経緯は同社と同様。</li> </ul> |   |

### 3 調査・分析結果

|  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 中小企業では限られた要員でやりくりする必要がある、業務効率向上や地方人材の確保に向けて、テレワークを推進中。</li><li>・ 進出目的はエリア（京丹後市）の業務獲得に向けた拠点作り。</li></ul> <p>&lt;オフィス利用状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ お試し勤務地に株式会社オフィス 703 と同居。</li><li>・ 株式会社オフィス 703 同様、地元宿泊事業者との交流会や農業体験を実施。</li><li>・ 社長 1 名、社員 1 名（外国人）の計 2 名で参加。</li><li>・ 要員とは、日常的にチャット・電話でコミュニケーションを実施。</li><li>・ 社内で定常的にテレワークを推奨しており、お試し勤務においても特に働き方に変わりは無い。</li></ul> <p>&lt;今後の拠点展開方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 東京勤務の要員における SO での勤務ニーズは低い。SO を開設する場合、要員は地元で雇用することになる。また、地元向けの仕事と、東京の仕事を半分ずつ担うような働き方になると考える。</li></ul> |
| <b>ヒアリングから得られた主な示唆・仮説</b>  |   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>□ 中小の IT 系企業は日常的にテレワークに近い勤務形態をとっているケースが多く、その場合、必ずしもサテライトオフィスのような施設は必要とならない。</li><li>□ サテライトオフィス開設の意義の一つは、地方公共団体や地元事業者からの信頼を得ることである。ただし、顧客獲得前にサテライトオフィスを開設するのはリスクが大きく、中小企業が独自に実施するのは難しい（第二創業に近い感覚）。行政が当該企業の誘致に取り組むのであれば、地元事業者とのマッチングへの積極的な関与、サテライトオフィス設置にかかる一部費用などの負担を負う覚悟が重要となる。</li><li>□ 中小企業は少人数で業務を回しているため、デュアルワークという形で、業務時間の半分を他業務（農業、観光など）に割くのは実質的に難しい。ただし、農業体験自体は魅力的であり、余暇の時間を農業体験に充てるようなデュアル「ライフ」であればニーズはある。</li></ul> |   |

### 3 調査・分析結果

#### E) 事業成果

##### <お試し勤務の実績>

事業期間中における京丹後市のお試し勤務の実績は以下のとおり。お試し勤務は計9件と少数ながらも多様な業種の企業が参画していることが特徴的である。

| No | お試し勤務<br>企業名                 | 業種・<br>主な事業   | お試し<br>勤務地            | 入居期間                      | 入居<br>者数 | 当該モデル団体における<br>お試し勤務の契機                       |
|----|------------------------------|---|-----------------------|---------------------------|----------|---|
| 1  | 有限会社ビジュ<br>アルアンドエコ<br>ー・ジャパン | Web・映像<br>制作  | 京丹後市テレ<br>ワークセンタ<br>ー | 平成29年7月3日～<br>平成29年7月5日   | 2        | 移住交流フェア参加                                     |
| 2  | 株式会社パソナ                      | 人材派遣サ<br>ービス  | 京丹後市テレ<br>ワークセンタ<br>ー | 平成29年7月5日～<br>平成29年7月6日   | 7        | 再委託事業者（丹後王国）<br>からの紹介                         |
| 3  | 有限会社アドバ<br>ンク                | 食品スーパ<br>ーマーケッ<br>ト新聞折り<br>込みチラシ<br>印刷業                 | 京丹後市テレ<br>ワークセンタ<br>ー | 平成29年7月11日～<br>平成29年7月12日 | 1        | 市からのDM送付                                      |
| 4  | 株式会社クロイ<br>ワ電設運輸             | 一般貨物自<br>動車運送   | 京丹後市テレ<br>ワークセンタ<br>ー | 平成29年7月12日～<br>平成29年7月14日 | 2        | 市と別事業での関わり                                    |
| 5  | 株式会社オフィ<br>ス703              | HP制作  | 京丹後市テレ<br>ワークセンタ<br>ー | 平成29年7月26日～<br>平成29年7月28日 | 1        | モデル事業Webサイト（総<br>務省）                          |
| 6  | 株式会社オーエ<br>イチ                | 交通・ホテ<br>ル専門イン<br>バウンドマ<br>ーケティング                       | 京丹後市テレ<br>ワークセンタ<br>ー | 平成29年7月26日～<br>平成29年7月28日 | 2        | モデル事業Webサイト（総<br>務省）・お試しサテライト<br>オフィス交流セミナー参加 |
| 7  | シームレスサー<br>ビス株式会社            | 基板修理・<br>コールセン<br>ター運営                                  | 京丹後市テレ<br>ワークセンタ<br>ー | 平成29年8月7日～<br>平成29年8月9日   | 1        | 市からのDM送付                                      |
| 8  | ChatWork株式<br>会社             | ビジネスチ<br>ャットサー<br>ビスの開<br>発・運営                          | 京丹後市テレ<br>ワークセンタ<br>ー | 平成29年8月8日～<br>平成29年8月10日  | 5        | モデル事業Webサイト（総<br>務省）                          |
| 9  | 株式会社カンブ<br>ライト               | 生産者と消<br>費者の情報<br>ブリッジ、<br>開発・製造<br>マネジメント、販路プ<br>ロデュース | 京丹後市テレ<br>ワークセンタ<br>ー | 平成29年8月22日～<br>平成29年8月24日 | 4        | 再委託事業者（丹後王国）<br>からの紹介                         |



### 3 調査・分析結果

#### < 成果指標の達成状況 >

当初設定した成果指標の達成状況は以下のとおりである。サテライトオフィス設置希望企業やお試し参加企業数は達成したものの、地元雇用創出や地元事業者との連携など、事業の目的である人材確保や地場産業の活性化に繋がる成果指標については未達成であった。

| No | 成果指標                              | 目標値  | 実績値                               | 備考                          |
|----|-----------------------------------|------|-----------------------------------|-----------------------------|
| 1  | S0 設置希望企業の獲得                      | 1 社  | 1 社                               |                             |
| 2  | お試し勤務企業数                          | 10 社 | 9 社                               | お試し勤務確定企業 1 社が都合により直前でキャンセル |
| 3  | オフィススペースの適地のリスト化・活用可能な遊休公共施設のリスト化 | -    | 遊休公共施設に特化し、廃校となった学校施設をリスト化        |                             |
| 4  | 移住者の満足度の向上                        | -    | 生活環境に関する課題はお試し勤務企業へのアンケート等では確認できず |                             |
| 5  | 地元雇用創出                            | 1 名  | 0 名                               |                             |
| 6  | 地元事業者との連携                         | 1 件  | 0 件                               |                             |

#### < 重点的取組への対応状況 >

「2.3.4 分析・評価の手法」に示す重点的取組への京丹後市の対応状況は以下のとおりとなる。

○：対応      △：部分的に対応      -：対応なし

|   | 重点的取組                     | 評価 | 対応状況概要   |
|---|---------------------------|----|--|
| 1 | 地元事業者・住民への説明              | ○  | 市民や地元事業者に対し、新しい働き方として「テレワーク」が注目されていること、また、「テレワーク」により都市部企業が地方で仕事を行うことが可能になること等について周知するための講演会を実施。（⇒総評において詳細記載。）        |
| 2 | 自地域の情報発信と都市部企業等とのネットワーク創出 | ○  | 三大都市圏において4回にわたる都市部セミナーを行い、市が提案する「デュアルワーク」を説明。  |
| 3 | お試し勤務等企業のニーズの把握           | ○  | 都市部セミナー、視察ツアーへの参加者に対するアンケートを行い、モデル事業への参加意向等を聴取。また、お試し勤務企業（9社）に対するアンケート調査を行い、地方進出（S0 開設）の移行や条件の他、「デュアルワーク」に対するニーズを聴取。 |
| 4 | 地元事業者・地元人材との交流・連携促進       | ○  | お試し勤務の申込受付時に、地元事業者との交流希望を確認し、それを基に商工会及び観光協会等の関係団体の参加事業者等を募り、交流機会をセッティング。   |

### 3 調査・分析結果

|   | 重点的取組                           | 評価 | 対応状況概要   |
|---|---------------------------------|----|--|
| 5 | 地元人材の<br>ニーズ等の把握                | —  | 特筆すべき対応なし。   |
| 6 | 地域課題及び地元事業者の<br>ニーズの把握          | ○  | 地域課題解決に向けた独自の施策として、「デュアルワーク」を設定し、お試し勤務企業に対する農業・観光体験プログラムを提供。（⇒総評において詳細記載。） |
| 7 | 地域ビジネス創出に<br>向けた研究会・<br>実証実験の実施 | —  | 特筆すべき対応なし。   |
| 8 | 域内遊休資産の<br>実態調査                 | ○  | 地域再編による空き公共施設（学校、保育所等）について、SO（集合オフィス）としての活用可能性を調査。                         |
| 9 | 域内遊休資産の活用<br>に向けた環境整備           | —  | 特筆すべき対応なし。   |

### 3 調査・分析結果

#### F) 事業全体の総評

上記の整理内容を踏まえ、京丹後市におけるモデル事業全体の総評を以下に整理する。

##### ーお試し勤務企業が志向するサテライトオフィスの類型ー

京丹後市においては、平成 27 年度ふるさとテレワーク推進のための地域実証事業への参画により整備した「京丹後市テレワークセンター」を唯一のお試し勤務地として、お試し勤務企業に提供した。当該拠点は、特定の企業が占有する「個室」部分と、利用者間の交流が可能な「コワーキングスペース」部分を併設しており、「図表 1-3 サテライトオフィス (S0) の類型」に示す「③社内イベント利用型」と「④コワーキングスペース型」の性質を兼ね備えている。また、暗証番号による入退室管理や監視カメラの導入など、他のモデル団体のお試し勤務地と比べても、高度なセキュリティ対策が施されているが、一方で個室間は簡易的な間仕切り（パーティション）であるために、プライバシー確保の面でお試し勤務企業からの改善が求められている。

その他、サテライトオフィス適地調査を介し、都市部企業が S0 に求める条件として「広さは 100 m<sup>2</sup>未満」、「高速通信環境が重要」との示唆を得ている他、市内の廃校を S0（集合オフィス）として改修する場合の概算費用まで算出している。

##### ー具体的な地域課題に根ざした都市部企業の誘引ー

京丹後市においては、「農業・観光分野における地域人材の不足」という地域の課題解決に向けた具体的施策として、都市部企業が京丹後市にサテライトオフィスを開設し、その要員が本来業務と合わせて農業や観光業に従事する「デュアルワーク」を設定し、モデル事業を通して実現性の検証を試みた。このように、観光資源や地域資源の PR といった「地域自慢」ではなく、自地域の課題（弱み）を全面に出し、それを解決するための具体的施策を、お試し勤務のプログラムに組み込むという点で特徴的な試みであった。

なお、今回のモデル事業においては、お試し勤務企業より、本来業務に与える影響（時間・要員の捻出等）から「デュアルワーク」の実践を懸念する声が多く上げられた。

これを踏まえ、まずは企業を対象とするのではなく、地域の課題解決に積極的な個人事業主等を対象に「デュアルワーク」の実践を求めるようなアプローチが有効と考える。併せて「デュアルワーク」とは別に、移住・二地域居住施策の一環として、余暇の時間を農業・観光業に充てるデュアル「ライフ」を打ち出し、その成功・実例をショーケースとして全国に広く発信することで、「新たな働き方」を志向する都市部企業等をより効率的に誘引することができるものとする。

##### ー事業の進め方・成果ー

「C) 進捗状況等調査結果」に示すとおり、事業開始当初は企業誘引、体制構築の点で全般的に進捗遅延が見られたが、行政担当職員にて、マッチング調査の結果等を基に、丁寧に都市部企業へのアプローチを進めることで、成果指標として設定したお試し企業参加数を概ね確保した。また、地域課題解決の一方策として設定した「デュアルワーク」について、地元事業者との意見交換を通して実践に向けての具体的手順等を早期に把握することで、今後の実現に向けた課題を成果報告書にて仔細に整理した。

### 3 調査・分析結果

#### 3.2.7 島根県松江市

##### A) 事業の概要

|           |   |  |                |
|-----------|---|--|----------------|
| モデル団体     | 島根県松江市  | 行政担当部課   | 産業経済部定住企業立地推進課 |
| 事業名       | Ruby City MATSUE が取組む「お試しサテライトオフィス」モデル事業  |  |                |
| 事業のポイント   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松江市の地域資源であるプログラミング言語「Ruby」を軸に、IT 企業等をターゲットとした誘引活動を実施</li> <li>・ 島根県と連携し UJI ターン志向のエンジニアのニーズ調査を行うとともに、地元大学・高専・情報系専門学校と連携して地元人材のニーズ調査を行い、人材確保支援策を検討</li> </ul> |  |                |
| 目的・方針     | 目的の概要   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元人材と都市部企業 mismatches の解消</li> <li>・ SO 誘致により、「人が人を呼ぶ」好循環モデルの創出</li> </ul>  |                |
|           | 実施方針  | <p>これまでに行政として取り組んできた「Ruby City MATSUE プロジェクト」<sup>4</sup>の知見を基に、地元雇用の創出や地場産業の活性化に向けて誘引すべきターゲットを以下に設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Ruby を主たるテクノロジーに据える IT 企業（Ruby 企業）</li> <li>・ 自社サービスを開発・提供する IT 企業（自社サービス開発型企業）</li> <li>・ 地域課題解決・地域資源活用型のサービスを開発する IT 企業（地域課題解決・資源活用型企業）</li> </ul> |                |
|           | 成果指標  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ニーズを直接調査する都市部企業数：50 社</li> <li>・ 都市部セミナー・視察ツアー・開発合宿参加企業数：延べ 42 社</li> <li>・ お試し勤務企業数：延べ 12 件</li> </ul>   |                |
| 事業のスケジュール | 主なマイルストーン   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お試し勤務地整備：～ 4月7日</li> <li>・ 入居者募集：2月11日～8月31日</li> <li>・ お試し勤務受入期間：4月1日～9月29日</li> <li>・ 都市部セミナー：5月下旬</li> <li>・ 視察ツアー：6月下旬</li> <li>・ 誘致戦略検討：9月1日～9月15日</li> <li>・ 成果報告書作成：9月15日～9月28日</li> </ul>   |                |
| 事業の実施体制   | 松江市   | <p>&lt;産業経済部定住企業立地推進課&gt;<br/>委託事業の管理、地元人材ニーズ調査、適地調査、都市部企業の調査・広報活動等、開発合宿の実施、お試し勤務サポート、誘致戦略策定</p> <p>&lt;産業経済部まつえ産業支援センター&gt;<br/>ターゲットに係る仮説設定協議、都市部企業情報の共有</p> <p>&lt;産業経済部観光文化課&gt;<br/>合宿実施企業との意見交換・情報提供（観光関係）、視察ツアー企画・サポート</p>  |                |
|           | 再委託事業者  | <p>&lt;株式会社 LIG&gt;<br/>Web メディア作成・掲載、都市部セミナー開催</p> <p>&lt;株式会社 インテリジェンス&gt;<br/>Web メディア作成・掲載</p> <p>&lt;株式会社 アテナ&gt;<br/>地元人材ニーズ調査実査・集計、分析、SO 適地調査</p>   |                |

<sup>4</sup> <http://www1.city.matsue.shimane.jp/jigyousha/sangyou/ruby/>（松江市 HP より）

### 3 調査・分析結果

#### B) お試し勤務地の概要

|         |      |   |
|---------|------|---|
| 各勤務地の概要 | 拠点名称 | 松江テルサ別館（テルサ別館）  |
|         | 受入容量 | 5～8名程度  |
|         | 特記事項 | ・ JR 松江駅前に近接し、中心市街地に立地する都市型サテライトオフィス  |
|         | 写真   |   <p>※当該モデル団体成果報告時の資料より抜粋（以下同。）</p> |
|         | 拠点名称 | 殿町古民家風オフィス「松江城下」（松江城下）  |
|         | 受入容量 | 8～10名程度   |
|         | 特記事項 | ・ 観光地の国宝松江城に隣接<br>・ 城下町の古民家風の雰囲気  |
|         | 写真   |                                   |
|         | 拠点名称 | ゆめつくす北陵   |
|         | 受入容量 | 3名程度  |
|         | 特記事項 | ・ IT企業が集積するソフト系工業団地内に立地<br>・ 自然環境に囲まれオン/オフの切替に適した環境   |
|         | 写真   |                                 |

### 3 調査・分析結果

#### C) 進捗状況等調査結果

##### <進捗・体制・スコープ>

|      |      |   |
|------|------|---|
| 進捗   | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月上旬にお試し勤務地（3拠点）の整備完了</li> <li>・ 4月上旬よりお試し勤務の受入開始</li> <li>・ 4/24にお試しサテライトオフィス交流セミナーに参加し、訪問企業3社と名刺交換</li> <li>・ 6/9に東京で都市部セミナーを実施（大館市と共同開催）</li> <li>・ 6月初旬より7月末にかけて、地元人材（学生）アンケートを実施</li> </ul> |
|      | 総評   | <p>お試し勤務地の整備、都市部セミナーの実施等、概ねマイルストーンに則って順調にスケジュールを消化した。また、受入開始当初より順調にお試し勤務企業数を伸ばし、当初想定を上回り受入を実施した。</p>  |
| 体制   | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月上旬より、島根県との連携開始</li> <li>・ 6月初旬に、地元人材（学生）アンケートをアテナに委託</li> </ul>  |
|      | 総評   | <p>早期に実施体制を確立することで、お試し勤務への誘引活動や企業基本ニーズ調査（松江市独自実施）、地元人材（学生）ニーズ調査も順調に実施した。</p>  |
| スコープ | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月中旬時点で成果指標として設定した「お試し勤務企業数：延べ12件」を達成</li> <li>・ 都市部セミナー参加企業へのニーズ調査、直接アプローチした都市部企業へのニーズ調査により、成果指標として設定した「ニーズを直接調査する都市部企業数：50社」を達成（59社からのニーズを聴取）</li> </ul>                                       |
|      | 総評   | <p>事業開始後、早い段階でお試し勤務企業数に係る成果指標を達成した。なお、当初想定していた視察ツアーについては、想定を上回るお試し勤務の受入が生じたこと、開発合宿はお試し勤務企業からの要望がなかったことから、共に開催中止となり、「都市部セミナー・視察ツアー・開発合宿参加企業数：延べ42社」の達成には至らなかった。</p> <p>※達成状況の詳細については「E)事業成果」を参照のこと。</p>                                    |

##### <主な課題・リスクとその対応経緯>

- ・ 当初想定を上回るお試し勤務の受入が生じたが、直接事業費の費目を調整する等の対応により、体制・コスト面で大きな問題は生じなかった。その他、事業期間を通じて特段大きな課題・リスクは生じなかった。

### 3 調査・分析結果

#### D) 実態調査結果

<実施日時>

平成 29 年 6 月 30 日（金）

<行政担当職員・お試し勤務事業者等ヒアリング結果>

|                     |  |
|---------------------|--|
| <b>松江市<br/>担当職員</b> | 松江市産業経済部定住企業立地推進課 玉木 一男氏   |
|                     | <行政のお試し勤務企業の誘致方針><br>・平成 17 年国勢調査で初めて市内人口が減少に転じた危機感の高まりを背景に、「Ruby City MATUSE プロジェクト」をスタート。<br>・平成 18 年には「松江オープンソースラボ」（松江テルサ別館）を設立し、IT エンジニア等を対象に無料でスペースを解放した。<br>・上記のプロジェクトを背景に、これまでも特に IT 企業をターゲットとした企業誘致や移住促進等に係る様々な試みを実施しており、今回のモデル事業も企業誘致や交流拡大に活用できると考え、応募した。<br>・SO というハコモノだけではなく、いかに人を呼んでコミュニティを拡張するか、という点に傾注している。<br>・本事業では松江市が有する Ruby ブランドを活用し、IT 系企業に絞ったお試し勤務を推奨している。また、3 拠点毎の SO としての適正も比較検証する方針。  |
| <b>進出企業</b>         | 株式会社モンスター・ラボ 担当者   |
|                     | 主な業務内容：アプリ・Web サービスの開発<br><利用契機・地域の選定要因><br>・同社社長が出雲市出身であり、地縁を有していた。<br>・Ruby コミュニティがあり、ビジネス面でのシナジーが期待できた。<br>・物件紹介等、東京在住要員が松江市に移住する際の行政のサポートが手厚かった。<br><オフィス利用状況> ※同社は松江市内に既に SO を開設<br>・3 年前に松江市の市街地に自社拠点を開設した。<br>・4 名の開発要員が常駐しているが、企画・営業機能は有さない。<br>・勤怠管理は専用 IC カードを用いてシステム上で管理している。<br>・TV 会議システムを用いて、東京本社や顧客とコミュニケーションをとっている。<br><利用に伴う課題・改善要望等><br>・顧客も IT 系企業が多く、IT リテラシーが高いこともあり、今のところリモートコミュニケーションに伴う問題は生じていない。<br><その他><br>・地方勤務により労働時間そのものが変わることはないが、通勤時間が削減される分、ワークライフバランスが改善できるというメリットがある。 |

### 3 調査・分析結果

|   |   |
|---|---|
| お試し勤務<br>企業   | ヤフー株式会社 マーケティング & コミュニケーション本部 担当者   |
|   | <p>主な業務：広告・eサービス事業</p> <p>&lt;利用契機・地域の選定要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・別のプロジェクトを通じて、従来から松江市担当職員との個別ネットワークを有していた。</li> <li>・同社内の勤務制度の改革（月5日のリモートワーク、週休3日制、副業可等）も今回のお試し勤務実践の後押しとなっている。</li> </ul> <p>&lt;オフィス利用状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケティング・デザイン系の4名の要員がSOを活用している。</li> <li>・TV会議システムにより、適宜本社とコミュニケーション（会議、個別連絡等）をとっている。</li> <li>・お試し勤務期間中、地元の小学校にてHPサイトの作成方法等に関する出前授業を開催している。</li> </ul> <p>&lt;利用に伴う課題・改善要望等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リモートワークに伴う勤怠管理やセキュリティ管理を、本社同等のレベルで完全に実施することは難しい。そのため、企業としては性善説に立った寛容な管理を行うことが前提となる。</li> </ul> <p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全社的にリモートワークに関する理解やシステムが定着していることが、（今回のお試し勤務を含む）地方進出の契機となっている。</li> </ul> |
| <b>ヒアリングから得られた主な示唆・仮説</b>   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 地元での就職を望む若手人材は多数いる<sup>5</sup>ものの、地方部企業と都市部企業間には大きな賃金格差があるため、都市部への若手人材流出を止めることは困難である。一方で、一度都市部に出た人材を受け入れるようなビジネス面でのコミュニティを構築しておくことで、当該人材のUターン促進及び地元への定着化が期待できる。</li> <li>□ 地方にサテライトオフィスを開設した都市部企業と、地元人材のマッチング（雇用）を推進するためには、まず都市部企業の要員を一定数地方部に呼び込み、当該企業と地元大学・高校等との密な関係性を構築することが重要である。</li> <li>□ 都市部企業の地方進出を普及するうえで、リモートワークに関する文化・制度・システムが整備されており、かつ情報発信力の高い大手企業を優先的なターゲットとすること、また、当該企業の進出事例を「ショーケース」として発信することが有効（ただし、実現に至るまでは大手ならではの社内調整の難しさがある）。</li> </ul> |   |

<sup>5</sup> 地元人材アンケート調査より、調査対象とした市内学生の4割が「希望する勤務地」として、山陰地方あるいは出身地近くを選択したことによる（東京・大阪・名古屋など都市部を選択した約2割の回答を上回る）。



### 3 調査・分析結果

#### E) 事業成果

##### <お試し勤務の実績>

事業期間中における松江市のお試し勤務の実績は以下のとおり。お試し勤務は計 20 件であり、16 社が参画した。また、利用したお試し勤務地は、市街地に立地する「松江テルサ別館」、「松江城下」が多く、それに比べ、市街地から離れた「ゆめつくす北陵」の利用は少なかった。

| No | お試し勤務<br>企業名                            | 業種・<br>主な事業                                     | お試し<br>勤務地     | 入居期間                                  | 入居<br>者数 | 当該モデル団体における<br>お試し勤務の契機 |
|----|---|---|----------------|---------------------------------------|----------|-------------------------|
| 1  | 株式会社 LIG                                | Web 制作  | 松江城下他<br>2 拠点  | 平成 29 年 4 月 10 日～<br>平成 29 年 4 月 13 日 | 10       | 島根県庁からの紹介               |
| 2  | クックパッド株<br>式会社①                         | レシピサイ<br>ト運営他                                   | 松江城下他<br>2 拠点  | 平成 29 年 4 月 26 日～<br>平成 29 年 4 月 28 日 | 4        | 松江市職員とのつながり             |
| 3  | 株式会社メドレ<br>ー                            | 医療 Web サ<br>ービス他                                | 松江城下他<br>2 拠点  | 平成 29 年 5 月 10 日～<br>平成 29 年 5 月 13 日 | 3        | 島根県主催 Ruby イベント参<br>加   |
| 4  | 株式会社パーソ<br>ルキャリア (旧<br>社名：インテリ<br>ジェンス) | 人材サービ<br>ス他                                     | 松江城下           | 平成 29 年 5 月 12 日～<br>平成 29 年 5 月 13 日 | 6        | 他の企業からの紹介               |
| 5  | GMO ペパボ株式<br>会社①                        | 個人向けイ<br>ンターネッ<br>トサービス<br>等                    | 松江城下、<br>テルサ別館 | 平成 29 年 6 月 13 日～<br>平成 29 年 6 月 15 日 | 5        | 松江市職員とのつながり             |
| 6  | 株式会社ソニッ<br>クガーデン                        | ソフトウェ<br>ア企画開<br>発・運用一<br>括請負                   | 松江城下他<br>2 拠点  | 平成 29 年 6 月 15 日～<br>平成 29 年 6 月 21 日 | 4        | 松江市職員とのつながり             |
| 7  | ヤフー株式会社<br>①                            | Web 検索他   | 松江城下、<br>テルサ別館 | 平成 29 年 6 月 28 日～<br>平成 29 年 7 月 5 日  | 4        | 松江市職員とのつながり             |
| 8  | アソビュー株式<br>会社                           | レジャー予<br>約サイト開<br>発                             | 松江城下、<br>テルサ別館 | 平成 29 年 7 月 3 日～<br>平成 29 年 7 月 7 日   | 4        | 島根県庁からの紹介               |
| 9  | 株式会社ウイル<br>ド                            | IT コンサル<br>ティング、<br>WEB システ<br>ム開発              | テルサ別館          | 平成 29 年 7 月 19 日～<br>平成 29 年 7 月 21 日 | 5        | 都市部セミナー参加               |
| 10 | 株式会社キッチ<br>ハイク                          | 料理を作る<br>人と食べる<br>人が集まる<br>コミュニテ<br>ィサイトの<br>運営 | 松江城下           | 平成 29 年 7 月 23 日～<br>平成 29 年 7 月 27 日 | 8        | 松江市職員とのつながり             |
| 11 | シスコシステム<br>ズ合同会社                        | ネットワー<br>クシステ<br>ム、ソリュ                          | テルサ別館          | 平成 29 年 7 月 23 日～<br>平成 29 年 7 月 24 日 | 3        | 都市部セミナー参加               |

### 3 調査・分析結果

| No | お試し勤務<br>企業名       | 業種・<br>主な事業                                      | お試し<br>勤務地     | 入居期間                                  | 入居<br>者数 | 当該モデル団体における<br>お試し勤務の契機   |
|----|--------------------|--|----------------|---------------------------------------|----------|---------------------------|
|    |                    | ーシヨンの<br>販売等                                     |                |                                       |          |                           |
| 12 | GMO ペパボ株式<br>会社②   | ー  | 松江城下、<br>テルサ別館 | 平成 29 年 8 月 21 日～<br>平成 29 年 8 月 24 日 | 8        | リピートのお試し勤務                |
| 13 | GMO ペパボ株式<br>会社③   | ー  | 松江城下、<br>テルサ別館 | 平成 29 年 8 月 21 日～<br>平成 29 年 8 月 24 日 | 5        | リピートのお試し勤務                |
| 14 | ホリデー株式会<br>社       | おでかけ情<br>報アプリ<br>「Holiday」<br>開発                 | 松江城下           | 平成 29 年 8 月 28 日～<br>平成 29 年 8 月 29 日 | 5        | 都市部セミナー参加                 |
| 15 | クックパッド株<br>式会社②    | ー  | 松江城下、<br>テルサ別館 | 平成 29 年 8 月 1 日～<br>平成 29 年 8 月 3 日   | 4        | リピートのお試し勤務                |
| 16 | ヤフー株式会社<br>②       | ー  | 松江城下、<br>テルサ別館 | 平成 29 年 8 月 31 日～<br>平成 29 年 9 月 6 日  | 5        | 企業から市への連絡                 |
| 17 | リコージャパン<br>株式会社    | 複合機製造<br>販売、保守<br>等                              | テルサ別館          | 平成 29 年 9 月 7 日～<br>平成 29 年 9 月 8 日   | 2        | 移住交流フェア参加                 |
| 18 | ポート株式会社            | メディア事<br>業・コンサル<br>ティング<br>事業                    | 松江城下           | 平成 29 年 9 月 7 日～<br>平成 29 年 9 月 11 日  | 9        | 移住交流フェア参加、島根県<br>庁からの紹介   |
| 19 | 株式会社A r i<br>n o s | コンサルテ<br>ィング、物<br>流                              | テルサ別館          | 平成 29 年 9 月 11 日～<br>平成 29 年 9 月 12 日 | 3        | モデル団体 Web サイト等            |
| 20 | ユアマイスター<br>株式会社    | サービス総<br>合プラット<br>フォーム<br>「あなたの<br>マイスター<br>の運営」 | 松江城下           | 平成 29 年 9 月 15 日～<br>平成 29 年 9 月 16 日 | 5        | お試し勤務企業(GMO ペパボ)<br>からの紹介 |

### 3 調査・分析結果

#### < 成果指標の達成状況 >

当初設定した成果指標の達成状況は以下のとおりである。お試し勤務企業数、ニーズを調査する都市部企業数に係る目標値は達成したものの、当初予定していた視察ツアー、開発合宿の開催を取りやめたこともあり、都市部セミナー・視察ツアー・開発合宿参加企業数に係る目標値は未達成であった。

| No | 成果指標                    | 目標値     | 実績値   | 備考              |
|----|-------------------------|---------|---|-----------------|
| 1  | ニーズを直接調査する都市部企業数        | 50 社    | 59 社<br>直接アプローチ：29 社<br>都市部セミナー経由：30 社（名）           |                 |
| 2  | 都市部セミナー・視察ツアー・開発合宿参加企業数 | 延べ 42 社 | 30 社<br>イベント参加：30 社（名）<br>視察ツアー：0 社<br>開発合宿参加企業：0 社 | 視察ツアー、開発合宿は開催中止 |
| 3  | お試し勤務企業数                | 延べ 12 件 | 延べ 35 件（延べ 20 社）                                    |                 |

#### < 重点的取組への対応状況 >

「2.3.4 分析・評価の手法」に示す重点的取組への松江市の対応状況は以下のとおりとなる。

○：対応      △：部分的に対応      -：対応なし

|   | 重点的取組                     | 評価 | 対応状況概要  |
|---|---------------------------|----|---|
| 1 | 地元事業者・住民への説明              | -  | 特筆すべき対応なし。  |
| 2 | 自地域の情報発信と都市部企業等とのネットワーク創出 | ○  | 東京での都市部セミナーの開催に加え、専用ホームページ、Web メディア。SNS 等を駆使してモデル事業を積極的に PR。  |
| 3 | お試し勤務等企業のニーズの把握           | ○  | 都市部セミナーへの参加者（30 名）に対するアンケート調査によりお試し勤務や開発合宿等に係るニーズを、また、お試し勤務企業（20 社）に対するアンケート調査により自団体の選定理由やお試し勤務地の評価、地方進出（S0 開設）の目的や可能性等を聴取。 |
| 4 | 地元事業者・地元人材との交流・連携促進       | -  | 特筆すべき対応なし。  |
| 5 | 地元人材のニーズ等の把握              | ○  | 誘致戦略策定に向けて、地元人材（学生）及び UI ターン希望者に対するニーズ調査を実施。（⇒総評において詳細を記載。）   |
| 6 | 地域課題及び地元事業者のニーズの把握        | △  | 地域課題解決に資する企業として、「地域課題・資源型企業」を設定したうえで、都市部企業の S0 誘致を実施。（⇒総評において詳細を記載。）  |

### 3 調査・分析結果

|   | 重点的取組                   | 評価 | 対応状況概要   |
|---|-------------------------|----|--|
| 7 | 地域ビジネス創出に向けた研究会・実証実験の実施 | —  | 特筆すべき対応なし。   |
| 8 | 域内遊休資産の実態調査             | ○  | モデル事業で利用したお試し勤務地以外にも、都市部のIT企業のSOとして利用できる物件について調査を実施。 |
| 9 | 域内遊休資産の活用に向けた環境整備       | —  | 特筆すべき対応なし。   |

### 3 調査・分析結果

#### F) 事業全体の総評

上記の整理内容を踏まえ、松江市におけるモデル事業全体の総評を以下に整理する。

##### －お試し勤務企業が志向するサテライトオフィスの類型－

松江市においては、立地条件や空間構成等の異なる3拠点をお試し勤務地としてお試し勤務企業に提供した。いずれも特定の企業が占有する環境であり、「図表 1-3 サテライトオフィス (S0) の類型」に示す「③社内イベント利用型」に分類されるが、「松江テルサ別館」については、同建物内にコワーキングスペースが設けられ、「④コワーキングスペース型」の性質も有している。

なお、活用実態としては開発合宿や研修、チームビルディング等、全般的に社内に閉じた「専用品型」としての活用が多かったが、地元小学校での特別講義や地域ビジネス創出に向けた営業活動等、社外・地域と連携し、「共用型」としてサテライトオフィスを活用する事例も見られた。また、市街地に立地する「松江テルサ別館」、「松江城下」が、郊外の「ゆめつくす北陵」と比べて利用が多く、評価も高いことから、専用品型/共用型を問わず、ある程度のアクセス利便性・周辺施設（コンビニ・飲食店）が求められるとの示唆が得られた。

##### －地域課題を踏まえた効率的な企業誘引－

松江市においては、これまでの「Ruby City MATSUE プロジェクト」や地域課題の検討で培った知見を活かし、都市部企業の継続的な定着や地元雇用の創出を目指し、業種に加え、その活動形態（自社サービス開発型等）にまで焦点を当てて、行政担当職員の個別ネットワークなどを用いて「狭く深い」誘引活動を行ったことが特徴的である。

加えて、アンケート調査を介して就職に係る地元人材（学生）のニーズも把握しており、特に「東京・大阪・名古屋などの都市部」を希望するのが2割であるのに対し、島根県出身の学生の約4割が「地元での就職」を希望している」との結果は、学生における地元志向の強さがうかがえる貴重な指標と考える。

全般的に、今後都市部企業と地元人材のマッチングを効率化するために、今回のモデル事業を最大限有効に活用しており、地場産業の活性化や地元雇用の創出など、将来的にサテライトオフィス誘致の本来目的を達成する確度も高いものと捉えている。

##### －事業の進め方・成果－

「C) 進捗状況等調査結果」に示すとおり、事業開始当初より行政担当職員が個別ネットワークを活かして積極的に誘引活動を進めるとともに、島根県との連携、東京での都市部セミナーを有効に活用し、早々に当初想定を上回るお試し勤務企業を確保した。

前述のとおり、松江市側が対象業種・活動形態を特定し「狭く深い」誘引活動を行うことで、都市部企業にとっても、松江市側が求める企業像が明確となり、自社の戦略に適合しているか否かの判断が比較的容易であったことがその背景にあるものとする。

### 3 調査・分析結果

#### 3.2.8 山口県

##### A) 事業の概要

|           |   |  |                  |
|-----------|---|--|------------------|
| モデル団体     | 山口県   | 行政担当部課   | 総合企画部中山間地域づくり推進課 |
| 事業名       | 山口県お試しサテライトオフィス事業   |  |                  |
| 事業のポイント   | 県内全域における快適な通信環境を活かし、県内市町と連携して、廃校や空き店舗などの遊休施設を活用し、ICT 関連企業を中心とした企業の S0 を誘致 |  |                  |
| 目的・方針     | 目的の概要   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遊休資産（廃校、空き店舗等）の有効活用</li> <li>・ 雇用の場づくり</li> <li>・ 移住の促進</li> </ul>  |                  |
|           | 実施方針  | ICT 関連事業を行う企業を中心に、法人・個人、事業規模等を問わず、山口県での S0 開設の実証実験を希望する企業・将来的に山口県での S0 開設を検討する企業を対象に誘引   |                  |
|           | 成果指標  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お試し勤務終了後の誘致成功企業数：2 件</li> <li>・ お試し勤務企業数：5 件</li> </ul>   |                  |
| 事業のスケジュール | 主なマイルストーン   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お試し勤務地整備：4 月 ～ 9 月 10 日</li> <li>・ 入居者募集：5 月上旬 ～ 9 月 10 日</li> <li>・ お試し勤務受入期間：5 月 1 日 ～ 9 月 29 日</li> <li>・ 視察ツアー：4 月上旬 ～ 9 月 28 日</li> <li>・ 誘致戦略検討：7 月 1 日 ～ 9 月中旬</li> <li>・ 成果報告書作成：9 月 1 日 ～ 9 月 30 日</li> </ul>                            |                  |
| 事業の実施体制   | 山口県   | <p>■山口県サテライトオフィス誘致協議会<br/>（県・県内全市町・関係事業者・アドバイザー企業で構成）<br/>＜総合企画部中山間地域づくり推進課＞<br/>委託事業の管理、誘致戦略策定、適地調査、都市部企業への広報活動、ICT 関連展示会等出展、お試し勤務地の整備<br/>＜総合企画部情報企画課＞<br/>通信環境調査、データ提供<br/>＜商工労働部企業立地推進課＞<br/>企業誘引に係る広報活動、ICT 関連展示会・イベント等への出展<br/>＜県内 19 市町＞<br/>候補施設・市町の魅力に関するデータ等の提供、お試し勤務地の整備・運営</p> |                  |
|           | その他   | <p>＜アドバイザー＞<br/>誘致戦略策定のアドバイス、関係企業への PR<br/>＜通信事業者・オブザーバー＞<br/>通信環境調査、データ提供<br/>＜S0 進出事業者＞<br/>進出地域の魅力発信</p>  |                  |
|           | 再委託事業者  | <p>＜株式会社中国四国博報堂＞<br/>インターネット広告、ICT 関連展示会出展</p>   |                  |

3 調査・分析結果

B) お試し勤務地の概要

|         |      |  |
|---------|------|--|
| 各勤務地の概要 | 拠点名称 | 海峡メッセ下関（国際貿易ビル）：下関市  |
|         | 受入容量 | —  |
|         | 特記事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般財団法人運営の多目的施設内のオフィスビル</li> <li>・ JR 下関駅より徒歩5分の市街地に立地</li> </ul>  |
|         | 写真   |   <p>※当該モデル団体成果報告時の資料より抜粋（以下同。）</p> |
|         | 拠点名称 | mirai365：山口市   |
|         | 受入容量 | —  |
|         | 特記事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民営のビジネスインキュベーション施設</li> <li>・ JR 山口駅より徒歩7分の商店街に立地</li> </ul>  |
|         | 写真   |                                |
|         | 拠点名称 | カラム：周南市  |
|         | 受入容量 | —  |
|         | 特記事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民営のコワーキング、シェアオフィス、デジタル Fab 施設</li> <li>・ JR 徳山駅より徒歩6分の市街地に立地</li> </ul>   |
|         | 写真   |                                 |

3 調査・分析結果

|      |   |   |
|------|---|---|
|      | 拠点名称  | 愛ちゃん家：周南市   |
|      | 受入容量  | —   |
|      | 特記事項  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民営の移住体験用お試し暮らし住宅（宿泊可）</li> <li>・ 市街地から車で40分の郊外に立地</li> </ul>   |
|      | 写真  |       |
|      | 拠点名称  | So-Say Lab：萩市   |
|      | 受入容量  | —   |
|      | 特記事項  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般社団法人運営のコワーキングスペース、シェアオフィス</li> <li>・ 萩バスセンター徒歩3分の商店街中心に立地</li> <li>・ 敷地内に宿泊施設併設</li> </ul>                                     |
|      | 写真  |   |
|      | 拠点名称  | 萩テクニカルセンター：萩市   |
| 受入容量 | —   |   |
| 特記事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民営のレンタルオフィス</li> <li>・ 観光地の「松蔭神社」近傍に立地</li> </ul>  |   |
| 写真   |   |   |



### 3 調査・分析結果

#### C) 進捗状況等調査結果

##### <進捗・体制・スコープ>

|      |      |   |
|------|------|---|
| 進捗   | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4/24 にお試しサテライトオフィス交流セミナーに参加し、訪問企業 20 社と名刺交換</li> <li>・ 4 月下旬に「やまぐちサテライトオフィスサポートセンター」<sup>6</sup>の HP 内にモデル事業に関する特別ページを追加</li> <li>・ 5/10～12 に首都圏で開催された「EXP02017」にて、山口県ブースを出展し、来場企業にモデル事業の内容を説明</li> <li>・ 5/25, 26 にて、初回の視察ツアーを受入。</li> <li>・ 6/7～9 に東京都で開催された「InteropTokyo2017」にて、山口県ブースを出展し、来場企業にモデル事業の内容を説明</li> <li>・ 7 月初旬より、お試し勤務の受入開始。</li> </ul> |
|      | 総評   | 当初 4 月中を目処としていたお試し勤務の初回受入について、対象企業との調整が難航し、7 月初旬にずれ込んだ。また、モデル事業の周知が遅れたことで、初回の視察ツアーも 5 月下旬となるなど、全般的に初動が遅れた。  |
| 体制   | 主な経緯 | —   |
|      | 総評   | 中国四国博報堂と連携し、インターネットを活用した PR や ICT 関連展示会への出展・誘引活動を実施した。その他、既存の組織である「やまぐちサテライトオフィスサポートセンター」と連携して、視察ツアー等を実施した。   |
| スコープ | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8 月下旬時点で成果指標として設定した「お試し勤務企業数：5 社」を達成</li> </ul>  |
|      | 総評   | 視察ツアーやお試し勤務の初回受入が遅れたものの、行政関係者の個別アプローチに加え、ICT 展示会来場企業への誘引活動、アドバイザーからの紹介等により、お試し勤務企業数に係る目標値を達成した。なお、お試し勤務終了後の誘致成功企業は見られず、目標値の達成には至らなかった。<br>※達成状況の詳細については「E) 事業成果」を参照のこと。   |

##### <主な課題・リスクとその対応経緯>

- ・ 事業（入居者募集）開始当初は専用ホームページ等を通じたモデル事業の周知が不足していたため、既存の「やまぐちサテライトオフィスサポートセンター」のホームページ上に専用サイトを設ける等により、掲載情報の充実化を図った。
- ・ 4～6 月の間はお試し勤務企業の申込受入が伸び悩んだため、ICT 関連展示会の来場企業に対する個別アプローチ（専用サイトの紹介、後続の展示会の優待券送付等）や、アドバイザーなどを介した企業紹介の強化に取り組んだ。

<sup>6</sup> 市町や関係機関と連携し、事務所や社員の住宅探しからオフィス開設・生活支援まで、企業に寄り添った「一貫したサポート体制」により進出企業を支援する既存の組織。

### 3 調査・分析結果

#### D) 実態調査結果

<実施日時>

平成 29 年 7 月 25 日（火）～26 日（水）

<行政担当職員・お試し勤務事業者等ヒアリング結果>

|  |   |
|--|---|
| <p style="text-align: center;"><b>山口県<br/>担当職員</b></p> | <p style="text-align: center;">山口県総合企画部中山間地域づくり推進課 深見 康利氏</p> <p>&lt;行政のお試し勤務企業の誘致方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度に山口県サテライトオフィス誘致協議会を設立し、地方創生に関する交付金なども活用して S0 誘致事業を開始した。</li> <li>・S0 誘致事業の狙いは中山間地域での雇用の創出や移住の促進。瀬戸内海側をはじめとした工業都市や企業団地向けの大規模企業誘致とは別に、中山間地域に ICT 関連を中心とした中小規模の企業を誘致することを目指している。</li> <li>・誘引活動として、お試しサテライトオフィス交流セミナーの参加企業や、マッチング調査結果の対象企業へのアプローチに加え、ICT 関連展示会に出展している。中山間地域でも勤務可能な IT 関連の中小規模企業が主なターゲットである。</li> <li>・お試し勤務地は、地域ごとに候補施設を確保し、勤務を希望する企業が活用形態に応じて選択できるように準備している。施設も、創業支援施設、空き家、コワーキングスペースなど様々なバリエーションを提供している。</li> <li>・現在、周防大島町にお試し事業を利用せず S0 開設を決めた企業及び山口市内に S0 開設を検討中の企業が各 1 社あり。</li> <li>・中山間地域に S0 を開設する企業向けの補助金を準備している。</li> </ul>  |
| <p style="text-align: center;"><b>お試し勤務<br/>企業</b></p> | <p style="text-align: center;">リコージャパン株式会社 公共事業担当者</p> <p style="text-align: center;">主な業務内容： OA 機器及びソリューション販売、保守等</p> <p>&lt;利用契機・地域の選定要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社内での働き方改革の推進に向けた S0 の活用可能性の検証と、地域での S0 関連機器の販売展開を進めるための情報収集がお試し勤務の主目的である。</li> <li>・お試し勤務参加の直接のきっかけは移住交流フェアへの参加。</li> <li>・今回の勤務は、上記のとおり、検証や情報収集が主目的であるため、様々なバリエーションの施設を体験可能な山口県を選定した。また、(モデル事業のアドバイザーとして参画している) S0 運営団体と取引関係があったこと、担当者が周南市出身などの地縁があったことも選定理由である。</li> </ul> <p>&lt;オフィス利用状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・萩市の「So-say Lab」で 2 日間勤務した後、周南市に移り、「カラム」で 2 日、お試し暮らし住宅「愛ちゃん家」で 1 日勤務する予定である。カラムでの勤務時には地元事業者との交流会への参加も予定している。</li> <li>・リーダー 1 名、担当者 1 名の計 2 名が参加。(周南市でのお試し勤務は担当者 1 名で参加。)</li> <li>・東京の本社要員とは、電話やテレビ会議システム等でコミュニケーションをとっている。対面でのコミュニケーションができないことの不便さはあるものの、通常業務を行う上での支障は特にない (So-say Lab での勤務について)。ただし、周辺環境や OA 環境の確認、利用に伴う社内規定確認など事前準備が大変であった。</li> </ul> |

### 3 調査・分析結果

|  |  |
|--|--|
|  | <p>&lt;今後の拠点展開方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 全社で進めている働き方改革の取り組みに「地方 S0 の更なる活用可能性」をテーマアップすることで、組織的な動きを創っていくことが当面の目標で、ビジネス面については、お試し勤務の結果を踏まえて事業計画を作成し、自治体、企業への具体的な提案へとつなげていくことが狙いである。</li><li>・ 社内でも、具体的な利用シーン（職種や勤務形態など）について今後の検討が必要。また、新たな働き方に対する中間管理層を中心とした意識改革も必要である。</li></ul> |
| <p style="text-align: center;"><b>ヒアリングから得られた主な示唆・仮説</b></p>   |  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>□ 国内大企業のサテライトオフィス利用促進に向けては中間管理層以上の意識改革も含め、障壁が高い。裁量労働で、業績主体で評価されるような職種はともかく、時間給で定量的な業績を測りにくい職種の社員には S0 を活用した勤務形態は適応しにくいのが実情。当面は特定地域向けの仕事が一定期間発生したときの臨時の事業所という使い方が現実的である。</li><li>□ サテライトオフィスの活用推進に必要と思われるのは「標準化」と「多様な選択肢」。お試し勤務の前に様々な準備や機材等の確認が必要との事例もあり、標準的な勤務環境が定義され、かつ、わかりやすく公表されていると利用可能性が高まる。その上で、様々な選択肢があることも必要。利用シーンごとに必要とされるオフィスの形態も異なる。企業ごとに S0 を一つずつということではなく、様々な形態のオフィスから、利用シーンに応じて柔軟に選べるような形式が望ましい。</li></ul> |  |

### 3 調査・分析結果

#### E) 事業成果

##### <お試し勤務の実績>

事業期間中における山口県のお試し勤務の実績は以下のとおり。4市6拠点にわたり、計9件のお試し勤務が見られた。なお、複数の市町をまたがり、お試し勤務を実施したのは、1社のみであった。

| No | お試し勤務<br>企業名      | 業種・<br>主な事業          | お試し<br>勤務地          | 入居期間                                  | 入居<br>者数 | 当該モデル団体におけ<br>るお試し勤務の契機 |
|----|-------------------|----------------------|---------------------|---------------------------------------|----------|-------------------------|
| 1  | ネオス株式会社           | ICT サービス             | So-SayLab           | 平成 29 年 7 月 6 日～<br>平成 29 年 7 月 21 日  | 1～4      | 県から企業への連絡               |
| 2  | シスコシステムズ合同会社      | ネットワークシステム、ソリューション   | 萩テクニカルセンター          | 平成 29 年 7 月 24 日                      | 1        | モデル団体 Web サイト等          |
| 3  | リコージャパン株式会社       | 複合機製造販売、保守等          | So-SayLab、カラム、愛ちゃん家 | 平成 29 年 7 月 24 日～<br>平成 29 年 7 月 28 日 | 1        | アドバイザー企業から企業への連絡        |
| 4  | モダーノテクノロジーズ       | IT コンサル              | mirai365            | 平成 29 年 7 月 29 日～<br>平成 29 年 7 月 30 日 | 1        | ICT 関連展示会参加             |
| 5  | doughnut creative | 企画・デザイン              | 海峡メッセ下関             | 平成 29 年 8 月 18 日～<br>平成 29 年 8 月 21 日 | 2        | モデル団体 Web サイト等          |
| 6  | 株式会社 F L A M A    | クラウド・サーバー構築運用        | 海峡メッセ下関             | 平成 29 年 9 月 19 日～<br>平成 29 年 9 月 22 日 | 3～4      | ICT 関連展示会参加             |
| 7  | BOLSTER 株式会社      | 孫、子の近況を定期的に郵送するサービス等 | mirai365            | 平成 29 年 9 月 16 日～<br>平成 29 年 9 月 18 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等          |
| 8  | リブアップワークス         | 介護業務従事者向けマガジンの制作     | So-SayLab           | 平成 29 年 7 月 3 日～<br>平成 29 年 7 月 7 日   | 1        | アドバイザー企業から企業への連絡        |
| 9  | ブレインケア株式会社        | 認知症予防関連サービス開発運営      | So-SayLab           | 平成 29 年 9 月 22 日～<br>平成 29 年 9 月 23 日 | 1        | アドバイザー企業から企業への連絡        |

##### <成果指標の達成状況>

当初設定した成果指標の達成状況は以下のとおりであり、お試し勤務企業数は目標値を達成したものの、誘致成功企業の獲得には至らなかった。

なお、お試し勤務及び視察ツアーに参加した企業のうち5社については、継続して山口県でのサテライトオフィス開設の検討を進めている。

### 3 調査・分析結果

| No | 成果指標             | 目標値 | 実績値 | 備考                   |
|----|------------------|-----|-----|----------------------|
| 1  | お試し勤務終了後の誘致成功企業数 | 2件  | 0件  |                      |
| 2  | お試し勤務企業数         | 5件  | 9件  | 複数勤務地を活用した場合も1件とカウント |

#### < 重点的取組への対応状況 >

「2.3.4 分析・評価の手法」に示す重点的取組への山口県の対応状況は以下のとおりとなる。

○：対応      △：部分的に対応      ー：対応なし

|   | 重点的取組                     | 評価 | 対応状況概要   |
|---|---------------------------|----|--|
| 1 | 地元事業者・住民への説明              | ー  | 特筆すべき対応なし。   |
| 2 | 自地域の情報発信と都市部企業等とのネットワーク創出 | ○  | 都市部の ICT 関連展示会への出展や専用ホームページ、SNS 等を駆使した事業 PR を実施。   |
| 3 | お試し勤務等企業のニーズの把握           | ○  | お試し勤務企業（6社）に対するアンケート調査を行い、お試し勤務の契機や目的の他、地方進出（S0 開設）の目的、課題、行政に求める支援等を聴取。また、ICT 関連展示会への参加者に対して、S0 の導入状況や目的を問い、その結果を基に視察ツアーに誘導。 |
| 4 | 地元事業者・地元人材との交流・連携促進       | △  | お試し勤務企業と、県事業担当課、市町事業担当課、業界団体、教育機関就職担当者、UJI ターン就職支援組織との意見交換を実施。   |
| 5 | 地元人材のニーズ等の把握              | ー  | 特筆すべき対応なし。   |
| 6 | 地域課題及び地元事業者のニーズの把握        | ー  | 特筆すべき対応なし。   |
| 7 | 地域ビジネス創出に向けた研究会・実証実験の実施   | ー  | 特筆すべき対応なし。   |
| 8 | 域内遊休資産の実態調査               | ○  | お試し勤務候補施設の掘り起こしのため、市町からの提案を受けた施設の適地調査（9件）を実施。  |
| 9 | 域内遊休資産の活用に向けた環境整備         | ー  | 特筆すべき対応なし。   |

### 3 調査・分析結果

#### F) 事業全体の総評

上記の整理内容を踏まえ山口県におけるモデル事業全体の総評を以下に整理する。

##### －お試し勤務企業が志向するサテライトオフィスの類型－

山口県では、県下4市にバリエーションのある6つのお試し勤務地を設け、活用形態によっては、「図表1-3 サテライトオフィス(SO)の類型」に示す4類型全てに対応可能な環境が提供された。これにより、お試し勤務企業は自社の行動様式に応じて任意のお試し勤務地を選定し、テレワークの実現可能性を検証した。

また、お試し勤務企業の実際の活用形態は、数日程度の滞在を経て、当該地域での事業展開性を検証する、行政のUJIターン就職支援組織や大学等の就職支援担当等と意見交換するなど、積極的に社外・地域と連携し、「①プロジェクト拠点型」、「④コワーキングスペース型」として活用する企業が多かった。

##### －県主導による豊富な選択肢の提供－

山口県では、「山口まち・ひと・しごと総合戦略」の施策の一つとして、サテライトオフィスの誘致を掲げており、モデル事業開始時点で「山口県サテライトオフィス誘致協議会」、「やまぐちサテライトオフィスサポートセンター」といった誘致・支援体制が整備されていた他、「やまぐちサテライトオフィス誘致推進補助金」のようにサテライトオフィス開設の費用負担を軽減する実効的な支援策が設けられていた。

また、前述のとおり、多様なお試し勤務地が提供されており、他のモデル団体と比較しても、お試し勤務やサテライトオフィス開設を検討する上での選択肢が豊富である。一方で、選択肢が豊富であるがゆえに、「(専用ホームページ上で)自身が求める情報がどこにあるか分かりづらい」など情報が分散してしまったこと、山口県の地域課題や求めるターゲット像が却って不明瞭になってしまったことが、入居者募集開始直後のお試し勤務企業の誘引に苦慮したことの主要因であると考えられる。

##### －事業の進め方・成果－

サテライトオフィス候補地の適地調査において、県内の複数市町村を対象に広域的に候補物件の掘り起こしを行う、市町単独では提供し得ない多様なお試し勤務地を提供する、それらの情報を県が一括して配信するなど、県主導のもとでモデル事業を進めることのメリットを活かした取組が特徴的であった。

一方で、実際にお試し勤務企業を獲得する上での個別の調整・折衝においては、間に市町を介するようなケースも多く、調整や各種手続が煩雑になってしまったこと、また、都市部企業から見ても、お試し勤務の実施に当たって県と市町のどちらが主体となるのか分かりづらかったことと史料する。

上記のように、山口県のモデル事業を通して、県が進めることのメリット／デメリットに係る示唆を得ることができた。

### 3 調査・分析結果

#### 3.2.9 徳島県

##### A) 事業の概要

|           |  |  |              |
|-----------|--|--|--------------|
| モデル団体     | 徳島県  | 行政担当部課   | 西部総合県民局企画振興部 |
| 事業名       | にし阿波・サテライトオフィス誘致促進事業   |  |              |
| 事業のポイント   | <ul style="list-style-type: none"> <li>自治体間の広域連携によるプロモーション活動の展開</li> <li>官民連携での地域の受入体制の構築、そのノウハウの蓄積</li> <li>地元事業者・人材とのマッチング機会を創出</li> </ul> |  |              |
| 目的・方針     | 目的の概要  | <p>以下の2点を推進して、S0の誘致に取り組み、地元雇用の創出と地域のビジネス機会の創出を実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住民、地元事業者、移住者、S0進出企業など、多様な主体との交流や連携ができる環境の整備</li> <li>都市部企業が自由かつスムーズに地域を行き来でき、楽しみながらお試し勤務ができる環境づくり</li> </ul>   |              |
|           | 実施方針   | <p>地元（市町村、移住者、地元事業者等）の全面的な連携協力の下、地域経済の好循環に資する活動に取り組む企業や、地域の課題解決に関する実証事業への協力を希望する企業を誘致のターゲットとする。</p>  |              |
|           | 成果指標   | <ul style="list-style-type: none"> <li>お試し勤務地の整備：6箇所</li> <li>お試し勤務企業数：12社</li> <li>モデル事業期間中にS0を開設する企業数：1社以上</li> <li>S0進出市町の拡大：2市町以上</li> <li>企業と地元事業者をはじめとする多様なビジネス主体の連携による新ビジネス創出の件数：3件以上</li> <li>モデル事業期間中におけるS0開設企業の地元雇用：5人以上</li> </ul>  |              |
| 事業のスケジュール | 主なマイルストーン  | <ul style="list-style-type: none"> <li>お試し勤務地整備：～ 9月中</li> <li>入居者募集：2月1日～9月中</li> <li>お試し勤務受入期間：3月1日～9月29日</li> <li>視察ツアー：2月1日～9月中</li> <li>誘致戦略検討：8月～9月29日</li> <li>成果報告書作成：8月～9月29日</li> </ul>  |              |
| 事業の実施体制   | 徳島県  | <p>&lt;西部総合県民局&gt;<br/>委託事業の管理、誘致戦略の策定及び企業とのマッチングイベント、都市部セミナーの開催、関係市町への支援政策の検討</p> <p>&lt;美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町&gt;<br/>自治体内連絡調整、地元調整、地域情報の発信、独自施策の検討</p> <p>&lt;S0進出事業者&gt;<br/>にし阿波の魅力発信やS0開設時のサポート、事例紹介、視察先としての受入対応</p> <p>&lt;にし阿波・地域連携ビジネス創出支援事業運営協議会&gt;<br/>新ビジネス創出や新商品開発支援</p> <p>&lt;移住支援団体、NPO等&gt;<br/>移住者の受入や生活環境面のサポート、フリーランス誘致、その他サポート</p> <p>&lt;阿波銀行池田支店&gt;<br/>S0相談デスク、地域相談窓口</p> |              |

### 3 調査・分析結果

|  |                    |   |
|--|--------------------|---|
|  | <p>再委託<br/>事業者</p> | <p>&lt;一般社団法人ハンモサーフィン協会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民間ならではの視点で、コワーカーやノマドワーカーが集まる地方の空き家、空き店舗、休廃校等の活用事例、コワーケーションの取組みの全国調査・分析、</li> <li>・ S0 開設の候補物件やスペースの発掘・実態調査</li> </ul> <p>&lt;G&amp;C コンサルティング株式会社&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お試し勤務・視察ツアー参加企業への個別ニーズ調査票の調製、回収・分析、とりまとめ</li> <li>・ 中山間地域におけるテレワークの実証実験、及び山間部でテレワーク普及に向けた課題抽出と働き方モデルの検討</li> </ul> <p>&lt;有限会社データプロ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロモーションイベントの開催や、お試し勤務地情報やにし阿波の地域情報、問合せフォームを盛り込んだ平成29年度用の公式専用 Web サイト等 SNS の制作、管理運用</li> <li>・ お試し勤務地をはじめとするテレワーク拠点の素材収集・整理、執務環境等の記事作成、パンフレット等情報媒体の制作</li> </ul> <p>&lt;株式会社あしたのチーム&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生以下の若い世代を対象にしたワークショップ・セミナー、出前講座等の開催</li> </ul> <p>&lt;特定非営利活動法人チルドリン徳島&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育てママ等を対象にした新しい働き方の普及啓発を目的にしたワークショップ、ICT 未経験者向けにスキル向上のための研修の実施</li> </ul> <p>&lt;一般社団法人美馬青年会議所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然、観光、歴史、伝統文化、伝説等を切り口とする「にし阿波」の魅力発信イベントの開催及び参加者へのアンケート調査の実施や自治体と連携した S0 プロモーション活動の展開</li> </ul> <p>&lt;株式会社ナカガワ・アド&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ にし阿波で開催されるイベント情報の収集・整理及び関係者との連携によるイベント情報収集網の整備</li> </ul> <p>&lt;株式会社東亜トーアトラベル&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ にし阿波の観光資源や新たなビジネスの可能性について情報収集、関係者へのヒアリングと観光ビジネスベンチャー企業へのプロモーション活動</li> </ul> |
|--|--------------------|---|



3 調査・分析結果

B) お試し勤務地の概要

|         |      |  |
|---------|------|--|
| 各勤務地の概要 | 拠点名称 | 美馬市サテライトオフィス体験施設 創：美馬市   |
|         | 受入容量 | —  |
|         | 特記事項 | S0 進出や創業を希望する企業や個人に、実際に美馬市で滞在してお試しテレワーク勤務体験・空き家探し等をしていただくために開設した施設   |
|         | 写真   |  <p>※当該モデル団体成果報告時の資料より抜粋（以下同。）</p> |
|         | 拠点名称 | ゲストハウス&バー のどけや：美馬市   |
|         | 受入容量 | —  |
|         | 特記事項 | 企業、スモールカンパニー、フリーランスなど個人事業者向けにコワーキングスペースと滞在スペース、BAR スペースを完備した施設   |
|         | 写真   |                                  |
|         | 拠点名称 | 交流促進宿泊施設 美村が丘：美馬市  |
|         | 受入容量 | —  |
|         | 特記事項 | 標高 520m の山頂にそびえる施設であり、別荘風のコテージで野鳥のさえずりや木々の香りにつつまれながら心地よいテレワークが可能   |
|         | 写真   |                                  |

3 調査・分析結果

|  |      |  |
|--|------|--|
|  | 拠点名称 | ナカガワ・アド株式会社コワーキングスペース：美馬市  |
|  | 受入容量 | —  |
|  | 特記事項 | 広告業を営みつつ、「人と人をつなぐ」ことをモットーに、移住支援等にも取り組む企業が保有する施設であり、ワークショップやコワーキングスペースとして利用可能   |
|  | 写真   |       |
|  | 拠点名称 | テレワーク拠点施設「森邸」：美馬市  |
|  | 受入容量 | —  |
|  | 特記事項 | 地元企業と都市部の企業とのビジネス連携交流の場、ビジネスマッチングの拠点として2月にオープンした、シェアオフィス、テレワーク用オフィス  |
|  | 写真   |   |
|  | 拠点名称 | heso camp コワーキングスペース：三好市   |
|  | 受入容量 | —  |
|  | 特記事項 | 自然豊かな環境で企画・経営ミーティングなどのビジネス合宿や、サテライトオフィスの実証実験として貸切で滞在も可能な施設   |
|  | 写真   |    |

3 調査・分析結果

|         |      |  |
|---------|------|--|
| 各勤務地の概要 | 拠点名称 | 旧政海旅館コワーキングスペース：三好市  |
|         | 受入容量 | —  |
|         | 特記事項 | 昭和天皇も宿泊された旅館であり、地域のシンボルとして大切に残されており、都市部企業のSO誘致の拠点として、活用されている                         |
|         | 写真   |    |
|         | 拠点名称 | trip 四国の川の案内人コワーキングスペース：つるぎ町   |
|         | 受入容量 | —  |
|         | 特記事項 | ツーリングカヤックを使った川旅を中心に、夏は川遊び、冬は山歩きなどアウトドアツアーを提供する拠点                                     |
|         | 写真   |  |
|         | 拠点名称 | 岩戸温泉つるぎの宿岩戸のコワーキングスペース：つるぎ町  |
|         | 受入容量 | —  |
|         | 特記事項 | 剣山の麓に立地し豊かな自然の中でリフレッシュしながらテレワークが可能   |
|         | 写真   |  |

3 調査・分析結果

|  |      |  |
|--|------|--|
|  | 拠点名称 | コワーキングスペース「璃宮」：東みよし町   |
|  | 受入容量 | —  |
|  | 特記事項 | 町の中心部から少し離れた場所での隠れ家的なスペースであり、食＋コワーキング＋住まいをトータルで実現する環境整備に向けて準備中                           |
|  | 写真   |        |
|  | 拠点名称 | 交流スペース「遊食や」：東みよし町  |
|  | 受入容量 | —  |
|  | 特記事項 | 地元の人が集まり、地域を元気にする活動を展開する拠点として整備したスペースであり、地域との密着度が高く、この土地を知りたい方や、地元の歴史・風土に興味がある方にお勧めのスポット |
|  | 写真   |      |

### 3 調査・分析結果

#### C) 進捗状況等調査結果

##### <進捗・体制・スコープ>

|      |      |  |
|------|------|--|
| 進捗   | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3/7～10 にかけて都市部で開催された「FOODEX JAPAN2017」に参画し、PR 活動を実施</li> <li>・ 3/20, 21 にかけてドイツで開催された「Cebit2017」に参画し、にし阿波地区の PR 活動を実施</li> <li>・ 4/24 にお試しサテライトオフィス交流セミナーに参加し、訪問企業 18 社と名刺交換</li> <li>・ 5 月中旬から 8 月末にかけ、「都市部と地方の連携ビジネス創出」調査研究の一環として、4 回にわたるセミナー・ワークショップを開催</li> <li>・ 7/5 に、東京で「にし阿波サテライトオフィス誘致セミナー」を開催し、参加企業 40 社(参加者 50 名)に PR 活動を実施</li> </ul> |
|      | 総評   | 3 月より、都市部/海外で関連イベントへの出展を進めるとともに、都市部企業への積極的なアプローチを行い、お試し勤務受入開始後早々に、想定を上回るお試し勤務企業、視察ツアー参加企業を確保した。その他、進捗遅延なくビジネス創出やマッチング促進に向けて多様な取組を行った。  |
| 体制   | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 月に、県や 2 市 2 町ほか関係団体の実務担当者で構成する「にし阿波・サテライトオフィス誘致推進部会」を設立。</li> <li>・ 4 月より、お試し勤務・視察ツアー参加企業へのニーズ調査、Web 構築プロモーション事業、都市部と地方の連携ビジネス調査研究事業を G&amp;C コンサルティング等に委託</li> </ul>   |
|      | 総評   | 実施体制の構築に掛かる初動が早く、プロモーション活動の早期実施やお試し勤務の受入推進に繋がった。   |
| スコープ | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5 月中旬時点で成果指標として設定した「お試し勤務企業数：12 社」を達成</li> <li>・ 6 月初旬に成果指標として設定した「モデル事業期間中に S0 を開設する企業数：1 社以上」を達成</li> </ul>   |
|      | 総評   | 当初設定した成果指標を変更することなく、全ての成果指標を順調に達成した。<br>※達成状況の詳細については「E) 事業成果」を参照のこと。  |

##### <主な課題・リスクとその対応経緯>

- ・ 当初想定を上回るお試し勤務・視察ツアーの受入が生じ、実施体制の逼迫が懸念されたが、行政担当職員及び S0 推進員が臨機応変に対応することで事なきを得た。その他、大きな課題・リスクは生じなかった。

### 3 調査・分析結果

#### D) 実態調査結果

<実施日時>

平成 29 年 8 月 21 日（月）～23 日（水）

<行政担当職員・お試し勤務事業者等ヒアリング結果>

|               |   |
|---------------|---|
| 徳島県<br>担当職員   | 徳島県西部総合県民局企画振興部 藤川 忠大氏 他<br>※美馬市、三好市の行政担当職員へのヒアリング内容を含む。  |
|               | <p>&lt;モデル事業に至る経緯&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従前から徳島県や美馬市・三好市は独自に S0 誘致事業を実施していたため、行政担当職員の誘致ノウハウが蓄積している他、民間のコワーキングスペースを活用した地元事業者間の連携、都市部企業と地元事業者の間を取り持つ企業・人材の進出など、本事業の前提となる素地があった。</li> <li>・ 以前から広域観光圏などに関連して 2 市 2 町（美馬市・三好市・つるぎ町・東みよし町）が連携してきた経緯あり。上記の素地や経緯を踏まえ、さらなるオフィス・企業誘致の促進を目的として、モデル事業に参画した。</li> </ul> <p>&lt;行政のお試し勤務企業の誘致方針&gt;※徳島県他 2 市 2 町の内容を含む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 徳島県西部総合県民局 3 名、2 市 2 町から各 2 名の体制をとるほか、誘引企業のアテンド等では地元企業の社員や商工会からなる「S0 推進員」（7 名）が協力。広域連携体制をとることで、誘引企業に多様な選択肢を提供。</li> <li>・ 「人が人を呼ぶ」仕掛け作りをしたいと考えている。都市部企業の誘引に際しては、行政担当職員による訪問・営業とともに地元事業者のコンネクションを生かすこと、またお試し勤務地において改めて企業が訪れたいくなるようなコト起こし（交流会・イベント等）をすることを重視している。</li> <li>・ 都市部企業と地元事業者の連携によって新たなビジネス・ヒトの流れが生まれ、地域の活性化や地域課題の解決に寄与することを目的とする。S0 誘致はそのための手段である。こうした連携の意義を広く住民に理解していただくための普及・広報活動は行政の重要な役割であると認識している（徳島県、美馬市）。</li> <li>・ S0 は「人口減少対策」であると位置づけている。市内高校生や U ターン希望者に対して「良質な」雇用の受け皿を用意することにより、主として若年層の流出を防止したい（三好市）。</li> </ul> <p>&lt;本事業の効果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「モデル事業によって市の取り組みが周知され、より進出の確度が高い企業がお試し勤務を実施するようになった（美馬市）」、「トライアルスペースがあることがサテライトオフィスを誘致する上で非常に重要である（三好市）」といった声が聞かれた。</li> <li>・ モデル事業を通じて現在までに 4 社（※）の進出が決定（㈱ヘループ、G&amp;C コンサルティング㈱、㈱ピウラ、アプリコットシステム㈱）。<br/>※その後、(株)ジェニオも進出し、計 5 社の進出が決定。</li> <li>・ S0 誘致の仕組みとして、民間ではほぼ自走できる段階に近付きつつある。</li> </ul> |
| お試し勤務地<br>運営者 | ナカガワ・アド株式会社コワーキングスペース   |
|               | <p style="background-color: #ffffcc;">ナカガワ・アド株式会社 代表取締役</p> <p style="background-color: #ffffcc;">主な業務内容：広告業</p> <p>&lt;モデル事業に至る経緯&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本業の広告業は約 60 年前に池田町で創業し、約 15 年前に現在の社屋（美馬市）に移転した。行政から業務を請け負うことが多く、今回も行政担当職員より声をかけられて参画。</li> </ul>  |

|  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部企業の進出は脅威ではなく、むしろ協業の好機であると認識。こうした考えに至るにあたっては、一般社団法人ハンモサーフィン協会の移住者等に影響を受けた面もある。</li> </ul> <p>&lt;オフィス提供状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社屋の2階部分の一部をS0として貸し出している。これまで4～5社を受け入れてきたが、主として会議スペースとして利用され、部屋に籠って作業するというパターンが多かったように思う。</li> <li>・利用するお試し勤務企業の業種は幅広い。</li> <li>・お試し勤務を契機に都市部企業との協業も検討中。</li> </ul> <p>&lt;事業終了後の展望&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在と同様の形でスペースの提供を継続するのは難しいだろうが、今後もオフィススペースの一部を地元事業者・住民の交流の場としたいと考えている。具体的には中小企業同友会の会合の開催等を想定している。</li> <li>・現在ものどけややG&amp;Cと事業・イベント等で連携することがある。今後も三好市や他のお試し勤務地拠点と連携し、コト起こしをしていきたい。ナカガワ・アドは印刷機やキッチンカーを有するため、ものづくりができる拠点として特徴を出していきたいと考えている。</li> </ul>                                 |
|  | <p>ゲストハウス&amp;バーのどけや</p>   |
|  | <p>一般社団法人ハンモサーフィン協会 担当者</p>  |
|  | <p>主な業務内容：ゲストハウス運営</p>   |
|  | <p>&lt;モデル事業に至る経緯&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本拠点は3年半前に開業した、主としてインバウンド観光客を顧客とするゲストハウスである。</li> <li>・以前からビジネス利用は行われていたが、1～2年前から利用者が急増した。現在は利用者の6割程度が滞在中に仕事をしている。そうした利用形態を見てリモートワークへの需要が高まっていると感じ、現在ワーキングスペースとしての環境整備を進めている。</li> </ul> <p>&lt;オフィス提供状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お試し勤務企業に対しては会議スペースと宿泊場所を提供している。コンビニ・スーパーも近隣に所在。</li> <li>・利用者は居住地としては東京、業種としてはITベンチャーが多いという傾向がある。</li> <li>・滞在期間中は飲み会などを通じて自然と地元事業者と都市部企業との交流が行われている。</li> </ul> <p>&lt;事業終了後の展望&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在モバイルワーカーとコワーキングスペース・体験メニューを結びつけるWebプラットフォーム「zontaghouse」を整備中である。</li> <li>・近隣の結婚式場を利用したコワーキングスペースを9月に開業する。また、埼玉県企業と連携し、キャンピングカーを利用したモバイルワークの実証実験を行う。</li> </ul> |
|  | <p>heso camp コワーキングスペース</p>  |
|  | <p>オウライ株式会社 担当者</p>  |
|  | <p>主な業務内容：ゲストハウス運営</p>   |
|  | <p>&lt;モデル事業に至る経緯&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年半前に廃校活用事業を契機として徳島に移住。本拠点以外に飲食店や映画館の運営を行うほか、市の創業セミナーにも協力している。行政職員とよい関係を築くことができたのも移住の契機となった。</li> </ul>  |

3 調査・分析結果

|                                      |   |
|--------------------------------------|---|
|                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以前は宿泊施設の一部をコワーキングスペースとして開放していたが、隣接する倉庫をオフィスに改装する構想を持っていた。モデル事業を契機に改装に踏み切る。</li> </ul> <p>&lt;オフィス提供状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お試し勤務として、最大で 10 数名程度まで受け入れたことがある。</li> <li>・ 現在オフィスを利用している映画監督は、撮影から編集作業までオフィススペースを行っている。書籍デザイナーからは「プリンターがあればなお良いが、特に業務に支障はない」とのコメントあり。</li> <li>・ 進出企業は IT ベンチャーが多く、大企業は少ない印象。</li> </ul> <p>&lt;事業終了後の展望&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9 月から半年間、神戸の設計事務所に貸し出しを行うことが決定している。</li> <li>・ 今後も特定の企業に長期間貸し出すのではなく、あくまでレンタルスペースとして運用する予定である。徳島県への本格進出を検討する上でのトライアルの場・入り口として活用してほしい。</li> </ul>  |
| <p><b>SO 開設企業</b></p>                | <p>あしたのチーム株式会社 営業本部 担当者</p> <p>主な業務内容：人事評価システムの提供</p> <p>&lt;進出契機・地域の決定要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 25 年に徳島県主催の視察ツアーに参加したことが契機となり、「旧政海旅館コワーキングスペース」での SO 開設を決定。</li> <li>・ 三好市はある程度の経済規模を維持しているため地元雇用ができると感じたこと、自治体職員や地元事業者と良い関係が築けたことが決定の要因。</li> </ul> <p>&lt;オフィス利用状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在 7 名の社員が常駐。全員が地元で雇用されている。高校生の新卒採用には特に注力しており、学校・保護者の信頼を得るため訪問授業や職場見学を実施。入社した社員が成長した姿が見えることにより翌年も生徒を推薦してもらえると、という好循環ができてきた。</li> <li>・ 本拠点は営業拠点ではなく、全国の顧客からの問い合わせ対応、資料作成、リモートでの会議出席・議事録作成等が主たる業務である。</li> <li>・ 東京本社や他の拠点とは毎日 1 回以上テレビ電話での会議を実施。</li> <li>・ 政海旅館は 1 社ごとにスペースが仕切られており、あしたのチームは勤務スペースと会議室の計 2 室を賃貸。</li> </ul> <p>&lt;今後の拠点展開方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後も地元での雇用を拡大したい。</li> <li>・ 現在三好市の SO 誘致事業に協力しており、年間 30 回程度の視察を受け入れている。</li> </ul> |
| <p><b>お試し勤務企業</b><br/>※SO 開設決定企業</p> | <p>G&amp;C コンサルティング株式会社 美馬サテライト事業部 担当者</p> <p>主な業務内容：地方創生コンサルティング</p> <p>&lt;進出契機・地域の決定要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自社が主催する「地方創生スタディツアー」の一環として徳島県を視察した際、美馬市職員に誘われ「うだつの街並み」を訪問。</li> <li>・ 市職員等との意見交換を行う中で行政の熱意を感じ取り、「ここなら事業展開が可能である」と確信し、「テレワーク拠点施設「森邸」」での SO 開設を決定（開設済）。</li> </ul> <p>&lt;オフィス利用状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 名の社員が常駐。1 名は今年 4 月に入社した新入社員、もう 1 名は G&amp;C からの依頼を受けて美馬市職員が紹介した元行政職員である。</li> <li>・ 現在は本事業に関連するマッチング、セミナー運営等が主たる業務である。</li> </ul>  |



### 3 調査・分析結果

|   |   |
|---|---|
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京本社とはテレビ会議やチャットアプリを通じて連絡。勤怠管理はメールにて実施。</li> <li>・ 現在関連企業のみの入居のため、セキュリティについては懸念せず。いずれは防音性やセキュリティ等についても考慮する必要があると認識。</li> </ul> <p>&lt;今後の拠点展開方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本拠点について、9月に第2期の改装工事を実施予定。その後は飲食業やリモートワーカー向けの宿泊サービス提供等も展開したい。</li> <li>・ 本事業終了後もコワーキングスペースの提供は継続したいが、有償での提供にせざるを得ないだろう。</li> </ul> |
| <b>ヒアリングから得られた主な示唆・仮説</b>   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>□ サテライトオフィスはあくまで地域活性化の一手法であり、その後いかに進出企業を定着させ、地域にポジティブな効果がもたらされるかが重要である。新規事業創出や地元雇用による新たなヒト・カネの流れが生み出されるよう、促すことが求められる。</li> <li>□ 上記を達成する上では地元事業者・住民が主体的に事業に参画し、いずれは行政の介入なく自走する仕組みを作ることが望ましい。また、都市部企業と地元事業者・行政の間で信頼関係（人間関係）を築くことがきわめて重要である。</li> <li>□ 行政にはサテライトオフィス誘致事業の初期段階において、住民に広くサテライトオフィス開設企業との連携の意義を普及させること、都市部企業と地元事業者・住民の交流の窓口になることが求められる。また、先行進出した地方創生関連プレイヤーとの関係性を維持し、誘致活動に巻き込んでいくことでさらに効果的な誘致活動を行うことができる。</li> <li>□ 即戦力に限定しなければサテライトオフィス設置企業が現地で雇用を行うことは可能である。ただし、新卒採用を行う際には学校からの信頼を獲得することが必須である。</li> <li>□ 一つの地域の中で、進出のトライアル（入り口）となる拠点、本格進出する際に長期利用する拠点など、ステージに応じた多様な拠点を提供することが重要である。また、近隣地域と広域連携体制を構築し、拠点や人材の不足や交通アクセスの不備など、地域別の弱点を補いあうような方策も有効である。</li> </ul> |   |

### 3 調査・分析結果

#### E) 事業成果

##### <お試し勤務の実績>

事業期間中における徳島県のお試し勤務の実績は以下のとおり。2市2町、11拠点にわたり、計65件のお試し勤務が見られ、大館市に次ぐ件数であった。また、この他、視察ツアーにも多数の企業（50社）が参加している。

| No | お試し勤務<br>企業名             | 業種・<br>主な事業                         | お試し<br>勤務地 | 入居期間                                  | 入居<br>者数 | 当該モデル団体におけ<br>るお試し勤務の契機                 |
|----|--------------------------|-------------------------------------|------------|---------------------------------------|----------|---|
| 1  | 株式会社ジェニ<br>オ①            | Web システ<br>ム・アプリ開<br>発              | heso camp  | 平成 29 年 3 月 1 日～<br>平成 29 年 3 月 3 日   | 3        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等から<br>の連絡 |
| 2  | 株式会社三耀①                  | 居宅介護支<br>援事業                        | 森邸         | 平成 29 年 3 月 8 日～<br>平成 29 年 3 月 19 日  | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等から<br>の連絡 |
| 3  | G&C コンサル<br>ティング株式会<br>社 | 自治体と民<br>間をつなぐ<br>コンサルテ<br>ィング      | 森邸         | 平成 29 年 3 月 20 日～<br>平成 29 年 3 月 29 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等から<br>の連絡 |
| 4  | 株式会社ナベッ<br>クス            | 映像制作                                | 森邸         | 平成 29 年 3 月 21 日～<br>平成 29 年 3 月 24 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等から<br>の連絡 |
| 5  | 株式会社ユニッ<br>ト             | 動画コンテ<br>ンツ発信・制<br>作                | 森邸         | 平成 29 年 3 月 22 日～<br>平成 29 年 4 月 20 日 | 2        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等から<br>の連絡 |
| 6  | 株式会社GOJ<br>Oチャレンジ        | コンサルテ<br>ィング、物品<br>販売、不動産<br>賃貸、塾経営 | 森邸         | 平成 29 年 4 月 9 日～<br>平成 29 年 4 月 11 日  | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等から<br>の連絡 |
| 7  | 株式会社青山商<br>事             | 紳士服の企<br>画・販売                       | 森邸         | 平成 29 年 4 月 9 日～<br>平成 29 年 4 月 11 日  | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等から<br>の連絡 |
| 8  | 行政書士 林優<br>輝法務事務所        | 行政書士事<br>務所                         | 森邸         | 平成 29 年 4 月 9 日～<br>平成 29 年 4 月 11 日  | 3        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等から<br>の連絡 |
| 9  | データ&ストー<br>リー合同会社        | 経営コンサル<br>ティング、<br>執筆業              | 森邸         | 平成 29 年 5 月 7 日～<br>平成 29 年 5 月 12 日  | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等から<br>の連絡 |
| 10 | 株式会社ジェニ<br>オ②            | —                                   | heso camp  | 平成 29 年 5 月 15 日～<br>平成 29 年 5 月 17 日 | 3        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等から<br>の連絡 |
| 11 | 一般社団法人<br>癒愛道①           | 禅、整体サー<br>ビス                        | 森邸         | 平成 29 年 5 月 17 日                      | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等から<br>の連絡 |
| 12 | 株式会社タチバ<br>ナ産業           | ダンボール<br>製造                         | 森邸         | 平成 29 年 5 月 19 日                      | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等から<br>の連絡 |

### 3 調査・分析結果

| No | お試し勤務<br>企業名                       | 業種・<br>主な事業   | お試し<br>勤務地         | 入居期間                                  | 入居<br>者数 | 当該モデル団体におけ<br>るお試し勤務の契機                 |
|----|------------------------------------|---|--------------------|---------------------------------------|----------|---|
| 13 | 株式会社タスク<br>ール Plus                 | レンタルオ<br>フィス提供、<br>起業支援コ<br>ンサルティ<br>ング                         | ナカガワ・ア<br>ド、創、trip | 平成 29 年 5 月 22 日～<br>平成 29 年 5 月 24 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 14 | サポートワーク<br>ス株式会社                   | WEB 集客・マ<br>ーケティング<br>コンサルテ<br>ィング                              | ナカガワ・ア<br>ド、創、trip | 平成 29 年 5 月 22 日～<br>平成 29 年 5 月 24 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 15 | 自分デザイン株<br>式会社                     | 起業支援コ<br>ンサルティ<br>ング  | ナカガワ・ア<br>ド、創、trip | 平成 29 年 5 月 22 日～<br>平成 29 年 5 月 24 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 16 | ニャンパス株式<br>会社                      | 寺子屋機能<br>付コワーキ<br>ングスパー<br>ス運営                                  | のどけや               | 平成 29 年 6 月 14 日～<br>平成 29 年 6 月 17 日 | 3        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 17 | メットライフ生<br>命保険株式会社                 | 保険販売  | heso camp          | 平成 29 年 6 月 23 日～<br>平成 29 年 6 月 24 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 18 | 株式会社三耀②                            | —   | heso camp          | 平成 29 年 6 月 23 日～<br>平成 29 年 6 月 24 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 19 | マブチメディカ<br>ルクリニック・<br>学校法人食糧学<br>院 | アンチエイ<br>ジング医療、<br>分子整合栄<br>養学                                  | 森邸                 | 平成 29 年 6 月 24 日                      | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 20 | エクサート株式<br>会社                      | IT システム<br>販売支援   | 森邸                 | 平成 29 年 7 月 1 日～<br>平成 29 年 7 月 4 日   | 3        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 21 | Princess<br>Hiromi 株式会<br>社        | アパレルデ<br>ザイン、企画<br>制作   | 森邸                 | 平成 29 年 7 月 6 日                       | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 22 | オッシア株式会<br>社                       | IT システム<br>の受託開発、<br>Web サービ<br>スの開発運<br>用                      | のどけや<br>他          | 平成 29 年 7 月 16 日～<br>平成 29 年 7 月 17 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 23 | アシアル株式会<br>社                       | モバイルア<br>プリ開発、デ<br>ザイン・UI<br>設計、web シ<br>ステム構築、<br>コンサルテ<br>ィング | のどけや<br>他          | 平成 29 年 7 月 16 日～<br>平成 29 年 7 月 17 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |

### 3 調査・分析結果

| No | お試し勤務<br>企業名                        | 業種・<br>主な事業  | お試し<br>勤務地 | 入居期間                                  | 入居<br>者数 | 当該モデル団体におけ<br>るお試し勤務の契機                 |
|----|-------------------------------------|--|------------|---------------------------------------|----------|---|
| 24 | 株式会社 IMAKE                          | DTP/Web デ<br>ザイン制作、<br>スタートア<br>ップ支援、<br>コワーキン<br>グスペース<br>活性化 | のどげや<br>他  | 平成 29 年 7 月 16 日～<br>平成 29 年 7 月 17 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 25 | (個人事業主)                             | ドローン空<br>撮、映像編集  | ナカガワ・アド    | 平成 29 年 7 月 16 日                      | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 26 | 株 式 会 社<br>Fudokinesis①             | 建設設計監<br>理、プロダク<br>トデザイン、<br>Web アプリ<br>ケーション<br>デザイン          | Trip       | 平成 29 年 7 月 17 日～<br>平成 29 年 7 月 19 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 27 | KF Strategic<br>Consulting          | 経営コンサル<br>ティング   | 森邸         | 平成 29 年 7 月 18 日                      | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 28 | 株式会社コンテ<br>ント                       | 飲食プロデ<br>ュース、地方<br>創生、飲食店<br>プロデュース、商品開発                       | 森邸         | 平成 29 年 7 月 22 日～<br>平成 29 年 7 月 25 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 29 | 株式会社スリ<br>ー・イー                      | IT 人材の教<br>育、派遣  | 森邸         | 平成 29 年 7 月 22 日～<br>平成 29 年 7 月 26 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 30 | 千手フォトオフ<br>イス/エスピー<br>オープロダクシ<br>ョン | 映像制作   | 森邸         | 平成 29 年 7 月 22 日～<br>平成 29 年 7 月 27 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 31 | 山喜ロジテック<br>株式会社                     | 物流センタ<br>ーの管理運<br>営・物流情報<br>の収集処理                              | 森邸         | 平成 29 年 7 月 22 日～<br>平成 29 年 7 月 23 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 32 | 株式会社ネット<br>ショップスタジオ                 | E C コンサ<br>ルティング   | 森邸         | 平成 29 年 7 月 22 日～<br>平成 29 年 7 月 23 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 33 | 一般社団法人<br>癒愛道②                      | —  | 森邸         | 平成 29 年 7 月 22 日～<br>平成 29 年 7 月 23 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 34 | 株式会社 ジャ<br>パンヘナ                     | ヘナ（ハー<br>ブ）の輸入・<br>販売  | 森邸         | 平成 29 年 7 月 23 日～<br>平成 29 年 7 月 24 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |

3 調査・分析結果

| No | お試し勤務<br>企業名                              | 業種・<br>主な事業  | お試し<br>勤務地 | 入居期間                                  | 入居<br>者数 | 当該モデル団体におけ<br>るお試し勤務の契機                 |
|----|---|--|------------|---------------------------------------|----------|---|
| 35 | 株式会社ランプ                                   | コンテンツ<br>マーケティング、訪日イ<br>ンバウンド、<br>オウンドメ<br>ディア、WEB<br>アプリケー<br>ション | 森邸         | 平成 29 年 7 月 23 日～<br>平成 29 年 7 月 24 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 36 | 株式会社 CH グ<br>ループ                          | セールスサ<br>ポート、セー<br>ルスコンサル<br>ティング、<br>セールスエ<br>デュケーシ<br>ョン         | 森邸         | 平成 29 年 7 月 23 日～<br>平成 29 年 7 月 24 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 37 | 株式会社 OiC<br>Factory                       | 農作物の販<br>売及び卸売、<br>農作物の加<br>工食品に関<br>する企画、開<br>発及び製造               | 森邸         | 平成 29 年 7 月 23 日～<br>平成 29 年 7 月 24 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 38 | 株式会社ピウラ<br>①/モーデアジ<br>ャパン合同会社             | 製品・起業の<br>PR、ライフス<br>タイル製品<br>の企画・製<br>造・販売                        | 森邸         | 平成 29 年 7 月 23 日～<br>平成 29 年 7 月 24 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 39 | シスコシステム<br>ズ合同会社                          | ネットワー<br>クシステム、<br>ソリューション<br>の販売<br>等                             | heso camp  | 平成 29 年 7 月 23 日～<br>平成 29 年 7 月 24 日 | 2        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 40 | 株式会社<br>Surfrider①                        | 映像プロダ<br>クション  | のどげや       | 平成 29 年 7 月 27 日～<br>平成 29 年 7 月 28 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 41 | Creators Night<br>Extreme 株式<br>会社 Cerevo | 自社ブラン<br>ドでの、コネ<br>クテッド・ハ<br>ードウェア<br>(IoT) の企<br>画、開発、販<br>売      | のどげや       | 平成 29 年 7 月 29 日～<br>平成 29 年 7 月 31 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |

### 3 調査・分析結果

| No | お試し勤務<br>企業名                                    | 業種・<br>主な事業  | お試し<br>勤務地         | 入居期間                                  | 入居<br>者数 | 当該モデル団体におけ<br>るお試し勤務の契機                 |
|----|---|--|--------------------|---------------------------------------|----------|---|
| 42 | Creators Night<br>Extreme 株式<br>会社スピリテッ<br>ク    | システムコ<br>ンサルティ<br>ング、ソフト<br>ウェア開発                                | のどけや               | 平成 29 年 7 月 29 日～<br>平成 29 年 7 月 31 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 43 | Creators Night<br>Extreme アス<br>ラテック株式会<br>社    | ロボット制<br>御システム<br>「V-Sido」関<br>連商品の企<br>画・開発・販<br>売・コンサル<br>ティング | のどけや               | 平成 29 年 7 月 29 日～<br>平成 29 年 7 月 31 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 44 | Creators Night<br>Extreme 株式<br>会社アベリオシ<br>ステムズ | スマートフ<br>ォンアプリ<br>開発、ウェブ<br>アプリケー<br>ション開発                       | のどけや               | 平成 29 年 7 月 29 日～<br>平成 29 年 7 月 31 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 45 | 株式会社ワーク<br>スワン                                  | 建設総合、リ<br>フォーム、住<br>宅建築業コ<br>ンサルティ<br>ング                         | heso camp          | 平成 29 年 8 月 1 日                       | 2        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 46 | 株式会社 日経<br>エージェンシー                              | 日本経済新<br>聞専属代理<br>業務、印刷物<br>の企画・制作                               | heso camp、<br>政海旅館 | 平成 29 年 8 月 2 日～<br>平成 29 年 8 月 3 日   | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 47 | 株式会社ダイヤ<br>モンド社                                 | 雑誌・書籍・<br>デジタルメ<br>ディアの発<br>行・販売、人<br>材開発サポ<br>ート                | heso camp、<br>政海旅館 | 平成 29 年 8 月 2 日～<br>平成 29 年 8 月 3 日   | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 48 | 株式会社イン・<br>ザ・ゾーン                                | スポーツに<br>関する広告・<br>企画代理  | heso camp、<br>政海旅館 | 平成 29 年 8 月 2 日～<br>平成 29 年 8 月 3 日   | 2        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 49 | 株式会社東和薬<br>品沖縄販売                                | 医薬品、医薬<br>部外品、衛生<br>用品の卸売  | heso camp、<br>政海旅館 | 平成 29 年 8 月 2 日～<br>平成 29 年 8 月 3 日   | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 50 | 株式会社<br>SAMBAR                                  | ゲームメデ<br>ィア運営、ゲ<br>ーム企画・開<br>発                                   | heso camp、<br>政海旅館 | 平成 29 年 8 月 2 日～<br>平成 29 年 8 月 3 日   | 2        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 51 | 株式会社マッチ<br>ポイント                                 | 映像制作、動<br>画制作  | heso camp          | 平成 29 年 8 月 2 日～<br>平成 29 年 8 月 6 日   | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |

### 3 調査・分析結果

| No | お試し勤務<br>企業名                  | 業種・<br>主な事業   | お試し<br>勤務地       | 入居期間                                  | 入居<br>者数 | 当該モデル団体におけ<br>るお試し勤務の契機                 |
|----|-------------------------------|---|------------------|---------------------------------------|----------|---|
| 52 | 映画監督                          | 映像制作、動<br>画制作   | heso camp        | 平成 29 年 8 月 12 日～<br>平成 29 年 8 月 24 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 53 | ブックデザイナー                      | 映像制作、動<br>画制作   | heso camp        | 平成 29 年 8 月 12 日～<br>平成 29 年 8 月 24 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 54 | 三井不動産レジ<br>デンシャル株式<br>会社      | 分譲住宅、販<br>売受託、賃貸<br>住宅事業  | 創、森邸、ナカ<br>ガワ・アド | 平成 29 年 8 月 14 日                      | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 55 | 株式会社ジェニ<br>オ③                 | —   | heso camp        | 平成 29 年 8 月 21 日～<br>平成 29 年 8 月 26 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 56 | 株式会社ピウラ<br>②                  | 古民家 PR ビ<br>ジネス   | 創、森邸、ナカ<br>ガワ・アド | 平成 29 年 8 月 27 日～<br>平成 29 年 8 月 28 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 57 | アプリコットシ<br>ステム株式会社            | オリジナル<br>紅茶の販売  | 創、森邸、ナカ<br>ガワ・アド | 平成 29 年 8 月 27 日～<br>平成 29 年 8 月 28 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 58 | 株式会社イーエ<br>イジェンシー             | データアナ<br>リティクス、<br>カイゼンソ<br>リユース、E コマ<br>ース支援、プロ<br>ダクトサー<br>ビス | のどけや             | 平成 29 年 8 月 30 日～<br>平成 29 年 8 月 31 日 | 2        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 59 | Targus Japan<br>Co, Ltd (外資系) | ノート PC 用キ<br>ャリングケ<br>ース開発                                      | 森邸               | 平成 29 年 9 月 2 日～<br>平成 29 年 9 月 3 日   | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 60 | 株式会社ノーテ<br>ィーズ                | 企業の経営<br>改革、コンサ<br>ルティング  | 森邸、<br>のどけや      | 平成 29 年 9 月 7 日～<br>平成 29 年 9 月 8 日   | 3        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 61 | 株式会社モンブ<br>レジア                | 企業の経営<br>改革、コンサ<br>ルティング  | 森邸、<br>のどけや      | 平成 29 年 9 月 7 日～<br>平成 29 年 9 月 8 日   | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 62 | 株式会社<br>Fudokinesis②          | —   | Trip             | 平成 29 年 8 月 13 日～<br>平成 29 年 8 月 20 日 | 4        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 63 | 濱田晋事務所                        | 映像プロダ<br>クション   | のどけや             | 平成 29 年 9 月 8 日～<br>平成 29 年 9 月 13 日  | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |
| 64 | 株式会社<br>DA VISION             | 映像制作  | heso camp        | 平成 29 年 9 月 11 日～<br>平成 29 年 9 月 14 日 | 2        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |

### 3 調査・分析結果

| No | お試し勤務<br>企業名 | 業種・<br>主な事業 | お試し<br>勤務地 | 入居期間                                  | 入居<br>者数 | 当該モデル団体におけ<br>るお試し勤務の契機                 |
|----|--------------|-------------|------------|---------------------------------------|----------|---|
| 65 | 株式会社トーン      | 映像制作        | heso camp  | 平成 29 年 9 月 11 日～<br>平成 29 年 9 月 14 日 | 1        | モデル団体 Web サイト等・<br>市町村、S0 推進員等からの<br>連絡 |

#### < 成果指標の達成状況 >

当初設定した成果指標の達成状況は以下のとおりであり、全ての指標を達成している。特に短期間において、S0 開設の企業を 5 社確保したこと、S0 開設企業による地元雇用を生み出したことは S0 誘致に伴う地方創生の実質的な効果であり、特筆すべき成果と言える。

| No | 成果指標   | 目標値    | 実績値  | 備考                                 |
|----|--|--------|------|------------------------------------|
| 1  | お試し勤務地の整備  | 6 件    | 11 件 |                                    |
| 2  | お試し勤務企業数   | 12 件   | 65 件 | 同一企業による複数回のお試し勤務<br>は個別にカウント（5 社分） |
| 3  | モデル事業期間中に S0 を開設<br>する企業数                            | 1 社以上  | 5 社  |                                    |
| 4  | S0 進出市町の拡大   | 2 市町以上 | 2 市  | 美馬市、三好市に新たに S0 進出                  |
| 5  | 企業と地元事業者をはじめと<br>する多様なビジネス主体の連<br>携による新ビジネス創出の件<br>数 | 3 件以上  | 6 件  |                                    |
| 6  | モデル事業期間中における S0<br>開設企業の地元雇用                         | 5 人以上  | 12 人 | モデル事業開始前に S0 開設してい<br>た企業の雇用分も含む   |

#### < 重点的取組への対応状況 >

「2.3.4 分析・評価の手法」に示す重点的取組への徳島県の対応状況は以下のとおりとなる。

○：対応      △：部分的に対応      -：対応なし

|   | 重点的取組                             | 評価 | 対応状況概要  |
|---|-----------------------------------|----|---|
| 1 | 地元事業者・住民への<br>説明                  | ○  | S0 進出企業の人材確保や人材育成支援の一環とし<br>て、潜在的な産業人材としての「中学生・高校生」ま<br>た「社会進出を希望している子育てママ等」に着目<br>し、彼らを対象にした普及啓発・機運醸成を図る事業<br>を実施。 |
| 2 | 自地域の情報発信と<br>都市部企業等との<br>ネットワーク創出 | ○  | 情報発信ツール（専用 Web サイト、パンフレット、<br>SNS）を整備し、「にし阿波地区」が一体となった PR<br>活動を実施。また、都市部に留まらず、海外展示会に                               |



### 3 調査・分析結果

| 重点的取組                     | 評価 | 対応状況概要   |
|---------------------------|----|--|
|                           |    | も出展し、幅広く PR 活動を実施。（⇒総評において詳細を記載。）  |
| 3 お試し勤務等企業のニーズの把握         | ○  | 地元民間事業者・団体等からなる S0 推進員のノウハウやネットワークを活かし、お試し勤務企業に対する生活サポートや地元事業者との連携促進を実施。   |
| 4 地元事業者・地元人材との交流・連携促進     | ○  | お試し勤務企業等や視察ツアーへの参加者（計 71 社）に対するアンケート調査を行い、お試し勤務の感想、地方進出（S0 開設）に求める立地条件、課題、行政に求める支援等のニーズを聴取。また、その結果を基に必要なに応じて個別ヒアリングを実施。（⇒総評において詳細を記載。） |
| 5 地元人材のニーズ等の把握            | △  | 地元人材に対する普及啓発・機運醸成を図る事業の一環として、ワークショップ等で、地元人材のニーズを聴取。  |
| 6 地域課題及び地元事業者のニーズの把握      | △  | 「都市部企業と地域とのマッチング」の一環として、ワークショップ等で、地元事業者のニーズを聴取。  |
| 7 地域ビジネス創出に向けた研究会・実証実験の実施 | ○  | 地元の関係事業者・団体と、お試し勤務企業が連携し、人・モノ・情報のマッチングが図られるようなイベント（ワークショップ、IT 講座等）を開催。   |
| 8 域内遊休資産の実態調査             | △  | 再委託先により、サテライトオフィス開設の候補物件やスペースの発掘・実態調査を実施。  |
| 9 域内遊休資産の活用に向けた環境整備       | —  | 特筆すべき対応なし。   |

### 3 調査・分析結果

#### F) 事業全体の総評

上記の整理内容を踏まえ徳島県におけるモデル事業全体の総評を以下に整理する。

##### －お試し勤務企業が志向するサテライトオフィスの類型－

モデル事業に際し、徳島県では、2市2町にわたる11のお試し勤務拠点を提供し、全モデル団体でも最多のオフィス件数であった。オフィスの類型（シェアオフィス／コワーキングスペース／レンタルオフィス／旅館等）や立地環境（市街地／中山間部等）も多岐に亘り、都市部企業がお試し勤務をする上でも非常に多くの選択肢が設けられていた。また、「徳島県（にし阿波地区）にゆかりのない人に魅力を感じてもらうこと」がお試し勤務地を整備する際の大前提であり、豊富な地域資源を最大限に活用し、他のモデル団体ではあまり見られないような特徴的なお試し勤務地が提供された。お試し勤務企業は概ね2泊～3泊程度の短期利用であったが、行政担当職員やS0推進員などにより、地域一体となった交流・連携の場が多々設けられ、「図表1-3 サテライトオフィス（S0）の類型」に示す「①プロジェクト拠点型」、「④コワーキングスペース型」として活用する企業が多かったものとする。

##### －先行事例を活かした企業誘引－

「E) 事業成果」の＜成果指標の達成状況＞にも示すとおり、徳島県においては多数のお試し勤務企業・視察ツアー参加企業を確保するのみならず、S0開設企業を5社確保するなど、地方創生に向けた実質的な成果を挙げている。その要因として、広域連携体制による多様な選択肢の提供、積極的かつ効率的なプロモーション活動、地元事業者・住民の巻き込み等が挙げられるが、何よりも既に徳島県でS0を開設している企業が地方進出の先達として、お試し勤務企業と密に接したことが大きいものと捉えている。いかに充実した環境や支援プログラム等が用意されていても、都市部から地方に移動し、ビジネスや生活を行うことの心理的障壁は大きいものとするが、モデル期間中にS0を開設した企業は具体的な先行事例（ショーケース）を目の当たりにすることでその障壁が取り除かれたのではないかと考える。

その点で、そのような「先達」をS0推進員として、行政とお試し勤務企業の間をつなぐ仲介役として配するような体制づくりは、S0誘致を進める上で（特に「イノベーター」に次ぐ「アーリーアダプター」を獲得する手段として）他のモデル団体も参考にすべき取組と考える。

##### －事業の進め方・成果－

徳島県では、従前よりにし阿波地域の2市2町での連携協力体制が築かれており、今回もその体制を最大限に活用することで、広域連携体制のプロモーション活動やお試し勤務の受入、マッチングイベント等を効率的に推進した。

また、行政側は（あまり前面には出ずに）情報発信や人材マッチング・ビジネス創出の場づくりに注力し、お試し勤務企業との直接的なコンタクトは民間事業者（主に地元事業者）に一任している。このように行政／民間の役割分担が明確に整理されていたことが、お試し勤務企業の安心感・動きやすさにつながり、多数のお試し勤務の受入、S0開設企業の獲得に繋がったものとする。

### 3 調査・分析結果

#### 3.2.10 鹿児島県錦江町



##### A) 事業の概要

|           |  |   |       |
|-----------|--|---|-------|
| モデル団体     | 鹿児島県錦江町  | 行政担当部課  | 政策企画課 |
| 事業名       | 錦江町『MIRAI』づくりプロジェクト  |   |       |
| 事業のポイント   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・メンタルヘルス等の科学的調査を行い、地方勤務の有用性のエビデンス獲得</li> <li>・町の課題解決のための実証実験等を行う企業を優先的に誘致</li> <li>・広報誘致活動に町出身者を活用し、課題解決のための企業マッチングや町の魅力のPRを実施</li> <li>・移住経験者であるまち・ひと・『MIRAI』創生協議会事務局による勤務・生活両面にわたるサポート</li> </ul> |   |       |
| 目的・方針     | 目的の概要  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共遊休施設の利活用促進</li> <li>・空き家流通推進</li> <li>・子供達のICTリテラシー向上への寄与</li> <li>・農林水産事業者の経営効率の向上</li> <li>・IT×〇〇のような組み合わせ型ビジネスの創造</li> <li>・町内消費への貢献</li> </ul>  |       |
|           | 実施方針   | 本町の課題解決に関する実証実験を希望するIT等先端技術を駆使する企業、またメンタルヘルスの科学的検証に協力できる企業を優先的に誘引   |       |
|           | 成果指標   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お試し勤務企業数：10社（40人）</li> <li>・首都圏企業の下見・視察対応：10回</li> <li>・町出身者のIT系企業誘致アンバサダー任命：3名</li> <li>・ICTリテラシー向上型公営塾試験運用回数：5回</li> <li>・お試し勤務体験からの正式進出決定：2社</li> <li>・大手IT系企業Webビジネスマガジンと提携した首都圏でのPR活動と進出意向調査：3回</li> <li>・台湾シリコンバレーでのPR活動と進出意向調査：1回</li> </ul> |       |
| 事業のスケジュール | 主なマイルストーン  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お試し勤務地環境整備：～ 5月20日</li> <li>・入居者募集：2月～5月</li> <li>・お試し勤務受入期間：6月1日～9月29日</li> <li>・視察ツアー：4月～8月</li> <li>・誘致戦略検討：7月～8月</li> <li>・成果報告書作成：8月～9月</li> </ul>   |       |
| 事業の実施体制   | 錦江町  | <p>&lt;錦江町地方創生推進委員会&gt;</p> <p>※外部有識者・住民代表による総合戦略の効果検証機関</p> <p>モデル事業の効果検証</p> <p>&lt;地方創生推進本部&gt;</p> <p>※政策企画課が事務局を担当</p> <p>モデル事業の実行、管理、調整</p>   |       |
|           | その他  | <p>&lt;住民・地元団体&gt;</p> <p>お試し勤務のための空き家の提供、農業IoTに必要な情報の提供、移住定住のPR、モデル事業参加の募集、モデル事業への助言・協力、お試し勤務企業との交流</p>  |       |

### 3 調査・分析結果

|  |   |  |
|--|---|--|
|  | <p style="text-align: center;"><b>再委託<br/>事業者</b></p> | <p>&lt;SB クリエイティブ株式会社&gt;<br/>首都圏を中心とした企業等へリモートワーク等に対する意向調査、誘引候補となる都市部企業に対する広報活動、IT 企業等の従事者に対する意向調査</p> <p>&lt;広島大学（広島大学大学院医歯薬保健学研究院）&gt;<br/>転地勤務による生理・心理的变化やストレス低減効果などの測定・評価</p> <p>&lt;ドローンワークス株式会社&gt;<br/>本町の農業課題解決に貢献できる可能性を持つ業種・業態の企業等の調査、首都圏に SO 誘致のための PR 活動</p> <p>&lt;錦江町まち・ひと・『MIRAI』創生協議会&gt;<br/>誘致戦略案の策定業務、SO の管理業務、お試し勤務企業の就業・生活支援サポート</p> |
|--|---|--|

#### B) お試し勤務地の概要

|                           |                    |  |
|---------------------------|--------------------|--|
| <p><b>勤務地の<br/>概要</b></p> | <p><b>拠点名称</b></p> | <p>地域活性化センター神川（旧神川中学校）</p>   |
|                           | <p><b>受入容量</b></p> | <p>2 社、8 名</p>   |
|                           | <p><b>特記事項</b></p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 20 年 4 月に閉校した中学校の校舎を活用し、地域活性化の拠点として平成 28 年 4 月に設置</li> <li>・鹿児島湾に面し、桜島と開聞岳が眺望できる自然豊かな環境に立地</li> <li>・個室 2 部屋と交流スペース（コワーキングスペース）より構成</li> </ul>  |
|                           | <p><b>写真</b></p>   | <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">※当該モデル団体成果報告時の資料より抜粋</p> |

### 3 調査・分析結果

#### C) 進捗状況等調査結果

##### <進捗・体制・スコープ>

|      |      |  |
|------|------|--|
| 進捗   | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月下旬時点で、当初想定していたお試し勤務の受入容量10社のうち、7社の企業を確保</li> <li>・ 4/24にお試しサテライトオフィス交流セミナーに参加し、訪問企業7社と名刺交換</li> <li>・ 4月下旬より、都市部企業や下見・視察の受入開始</li> <li>・ 6月初旬より、お試し勤務の受入開始</li> <li>・ 7月から9月にかけて、5回にわたり錦江町「MIRAI」塾と称した、町内事業者向けのセミナーを開催</li> <li>・ 7月に台湾のIT企業を訪問し、S0誘致の可能性を調査</li> <li>・ 8月に町内児童・生徒に向けたICTリテラシー向上実証実験を開催</li> <li>・ 9/22に、東京都で今後のS0誘致に向けた都市部セミナーを開催</li> </ul> |
|      | 総評   | <p>お試し勤務地のスペース等の都合上、モデル事業期間中におけるお試し勤務の受入容量が概ね10社に制限されていたが、6月下旬時点でお試し勤務企業を確保（予定を含む）した。また、お試し勤務地の環境整備が一部（什器）遅延したが、問題なく受入対応した。加えて、台湾のIT企業のS0誘致開始が遅れたものの、9月までお試し勤務の受入を延長することで対応した。</p>   |
| 体制   | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月初旬に地方勤務に伴うストレスチェックに係る共同研究について、広島大学との再委託契約締結</li> </ul>  |
|      | 総評   | <p>早期に実施体制を確立し、体制不足が事業進捗に悪影響を及ぼすことは見られなかった。</p>  |
| スコープ | 主な経緯 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月下旬時点で成果指標として設定した「お試し勤務企業数：10社」を達成</li> </ul>  |
|      | 総評   | <p>事業期間を通じて成果指標の変更はなかったが、最終的に7項目中3項目が未達成という結果となった。<br/>※達成状況の詳細については「E)事業成果」を参照のこと。</p>  |

##### <主な課題・リスクとその対応経緯>

- ・ お試し勤務地の環境整備や台湾のIT企業へのアプローチなど、部分的に進捗遅延は生じたが、全体的には順調にお試し勤務の受入、下見・視察への対応、その他実証事業等を執行した。その他、特段大きな課題・リスクは見られなかった。

### 3 調査・分析結果

#### D) 実態調査結果

<実施日時>

平成 29 年 8 月 24 日（木）～25 日（金）

<行政担当職員・お試し勤務事業者等ヒアリング結果>

|                     |   |
|---------------------|---|
| <b>錦江町<br/>担当職員</b> | 錦江町政策企画課 池之上 和隆氏<br>錦江町地方創生担当統括官 吉田 秀政氏   |
|                     | <行政のお試し勤務企業の誘致方針><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状、地域の基幹産業が農業、医療・介護分野等に偏っている。域外からの人材の受け皿として新たなビジネス・雇用の場を発掘するために IT 企業を誘致したい、というのがモデル事業参加の契機である。</li> <li>・ 事業広報活動等を SB クリエイティブに、企業誘致・誘致戦略策定等を「錦江町まち・ひと・『MIRAI』創生協議会」（以下「協議会」という。）に委託。昨年、当該協議会にて神山町・美波町に視察を実施した。</li> <li>・ お試し勤務企業としてこれまでに 10 社が体験済み。9 月中旬までにさらに 3 社が入居する予定。</li> <li>・ 福利厚生の一環としてテレワークを進める企業、また、IoT・農林水産業に係る実証実験を行う企業・学術機関等を対象に営業活動を実施して勤務企業を確保（セミナー・視察ツアー等は実施せず）。</li> <li>・ お試し勤務を通して、①入居者に与えるメリット（勤務ストレスの軽減）、②地域住民に与えるメリット（経済波及効果）の双方を定量化（見える化）し、今後の企業誘致材料とすることが最大の目的。<br/>                     ※①は広島大学と連携してエビデンス取得・分析中、②は入居者による観光消費額の情報等を収集・分析中</li> <li>・ 事業終了後も、継続して現お試し勤務地をお試し勤務環境として維持する方針。現状の主な課題は、お試し勤務企業に提供する住居が不足していること（空き家はあるもののオーナーがなかなか手放さない）。</li> <li>・ 錦江町が位置する大隅半島は年間 300 億円規模の一大農業生産地。また、鹿児島空港は台湾との直行路線もあり、地理的に IoT を推進する海外企業と連携することも比較的容易。この戦略的立地性を活かし、将来的には、錦江町を大隅半島全体のスマートアグリ事業を牽引する企業集積地とすることが目標。</li> </ul> |
| <b>お試し勤務<br/>企業</b> | VQS 株式会社 経営管理部 担当者  |
|                     | 主な業務内容：遠隔授業システムの企画・販売<br><利用契機・地域の選定要因><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般社団法人日本テレワーク協会の一員として自社社員のテレワークに加え、自社保有の遠隔授業システムの実証を行うフィールドを模索していたところ、ふるさとテレワークのポータルサイトを介してモデル事業の内容を把握した。</li> <li>・ テレワーク環境の充実度に加え、過疎地を対象とした遠隔授業システムの実証環境として適していた錦江町を選定した。</li> </ul> <オフィス利用状況><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ お試し勤務期間は 2 週間弱であり、前後半に分かれて 2 名ずつ錦江町に常駐している。（計 4 名が参加）</li> <li>・ 勤務期間中、地域の小中学生（参加希望者）に対し、大手学習塾と提携した双方向の遠隔授業を実施している。</li> </ul> <今後の拠点展開方針>  |

### 3 調査・分析結果

|  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ テレワークという働き方を応援する企業として、今後も教育面から、都市部企業のテレワークや都市部住人の地方移住を後押しする方針である。</li> <li>・ 具体的には、遠隔授業を介した都市部/過疎地の教育格差の解消や、ストレスフリーな過疎地に居住する塾講師から都市部受講者への遠隔授業等、教育分野における新たな働き方を模索・提唱していく方針である。</li> </ul> |
| <b>ヒアリングから得られた主な示唆・仮説</b>  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 基幹産業が農林水産業や土建業、医療・介護分野等に偏っている地方部において、IT分野は地元事業者と競合する可能性も少なく、新たなビジネス創出に繋がりやすいため、進出に際しての地元住民からの反発も比較的少ない。</li> <li>□ 行政の観点から、都市部企業の誘致に際しては、誘致施策や勤務・居住環境のPR以上に、新規サービスや商品開発に資する実証環境の提供（都市部には無い環境・人材・企業、海外企業と連携するための立地性等）を前面に出すことが有効である。</li> <li>□ 進出企業の観点から地方のサテライトオフィス開設に際しては、都市部同等の作業を行える環境であること、コスト的に有利である（住居・事務所賃料が安い、通勤コストが掛からない）ことは必須条件であり、さらにCSRの観点で明確なメリット（新しい働き方の実現による社員のストレス軽減、地域課題の解決）が打ち出せることやその地域でなければ実現できない業務戦略上のメリット（新たなサービス・商品開発、地元雇用の獲得）があること等の要素が必要である。</li> </ul> |   |

### 3 調査・分析結果

#### E) 事業成果

##### <お試し勤務の実績>

事業期間中における錦江町のお試し勤務の実績は以下のとおり。計 16 件のお試し勤務があった。都市部から遠方という地理条件に加え、地域と連携した実証実験や調査研究を行う企業も多く、全体的に入居期間は他のモデル団体と比べても長い。また、国外（台湾）の企業がいることも特徴的である。

| No | お試し勤務<br>企業名      | 業種・<br>主な事業                           | お試し<br>勤務地 | 入居期間                                  | 入居<br>者数 | 当該モデル団体における<br>お試し勤務の契機 |
|----|-------------------|---------------------------------------|------------|---------------------------------------|----------|-------------------------|
| 1  | 株式会社デンソー          | 自動車部品<br>メーカー                         | 旧神川中学校     | 平成 29 年 6 月 3 日～<br>平成 29 年 6 月 8 日   | 1        | 再委託事業者との連携による誘引         |
| 2  | 株式会社バンテック         | 輸送・運輸業                                | 旧神川中学校     | 平成 29 年 6 月 30 日～<br>平成 29 年 7 月 7 日  | 4        | 再委託事業者との連携による誘引         |
| 3  | 株式会社日立物流          | 輸送・運輸業                                | 旧神川中学校     | 平成 29 年 7 月 1 日～<br>平成 29 年 7 月 7 日   | 2        | お試し勤務企業からの紹介            |
| 4  | 株式会社コミュニティコム      | 自社保有メディア運営によるインターネット広告事業、コワーキングスペース運営 | 旧神川中学校     | 平成 29 年 7 月 14 日～<br>平成 29 年 7 月 19 日 | 4        | お試しサテライトオフィス交流セミナー参加    |
| 5  | 株式会社インサイトテクノロジー   | データベース関連サービス                          | 旧神川中学校     | 平成 29 年 7 月 22 日～<br>平成 29 年 8 月 4 日  | 4        | 再委託事業者との連携による誘引         |
| 6  | シスコシステムズ合同会社      | ネットワークシステム、ソリューションの販売等                | 旧神川中学校     | 平成 29 年 7 月 23 日～<br>平成 29 年 7 月 24 日 | 4        | 企業からの町への問合せ             |
| 7  | ChatWork 株式会社     | ビジネスチャットサービスの開発・運営                    | 旧神川中学校     | 平成 29 年 7 月 24 日～<br>平成 29 年 7 月 28 日 | 4        | モデル団体 Web サイト等          |
| 8  | 有限会社ジーアップ         | WEB システム開発                            | 旧神川中学校     | 平成 29 年 7 月 30 日～<br>平成 29 年 8 月 5 日  | 4        | マッチング調査                 |
| 9  | 日本マネジメント総合研究所合同会社 | 出版・経営指導等                              | 旧神川中学校     | 平成 29 年 8 月 11 日～<br>平成 29 年 8 月 17 日 | 1        | 再委託事業者との連携による誘引         |
| 10 | VQS 株式会社          | 遠隔授業システムの企画・販売                        | 旧神川中学校     | 平成 29 年 8 月 17 日～<br>平成 29 年 8 月 31 日 | 4        | ふるさとテレワークポータルサイト        |



### 3 調査・分析結果

| No | お試し勤務<br>企業名                              | 業種・<br>主な事業                     | お試し<br>勤務地 | 入居期間                                  | 入居<br>者数 | 当該モデル団体における<br>お試し勤務の契機 |
|----|---|---------------------------------|------------|---------------------------------------|----------|-------------------------|
| 11 | 株式会社<br>DMM. Make                         | ものづくり<br>のためのプ<br>ラットフォ<br>ーム運営 | 旧神川中学校     | 平成 29 年 9 月 1 日～<br>平成 29 年 9 月 4 日   | 2        | 町独自の誘致活動による誘<br>引       |
| 12 | S Bクリエイテ<br>ィブ株式会社                        | デジタルコ<br>ンテンツ事<br>業             | 旧神川中学校     | 平成 29 年 9 月 1 日～<br>平成 29 年 9 月 4 日   | 2        | 町独自の誘致活動による誘<br>引       |
| 13 | ボッシュ株式<br>会社                              | 自動車部品<br>製造販売                   | 旧神川中学校     | 平成 29 年 9 月 3 日～<br>平成 29 年 9 月 5 日   | 2        | アンバサダーからの紹介             |
| 14 | ラージットデー<br>タ有限会社 (台<br>湾企業)               | SNS マイ<br>ニングサー<br>ビス           | 旧神川中学校     | 平成 29 年 9 月 3 日～<br>平成 29 年 9 月 7 日   | 3        | 町独自の誘致活動による誘<br>引       |
| 15 | スマートアグ<br>リ・インテグ<br>レーション・サー<br>ビス (台湾企業) | IT 及びコン<br>サルティン<br>グ事業         | 旧神川中学校     | 平成 29 年 9 月 7 日～<br>平成 29 年 9 月 10 日  | 1        | 町独自の誘致活動による誘<br>引       |
| 16 | コクヨ株式<br>会社                               | オフィス家<br>具等製造・販<br>売            | 旧神川中学校     | 平成 29 年 9 月 13 日～<br>平成 29 年 9 月 16 日 | 3        | 町独自の誘致活動による誘<br>引       |

#### < 成果指標の達成状況 >

当初設定した成果指標の達成状況は以下のとおりであり、お試し勤務企業数の他、町独自に設定した ICT リテラシー向上型公営塾試験運用回数等の指標を達成した。

また、SO 進出する企業の確保までは至らなかったものの、お試し勤務企業 1 社について継続して正式進出に向けた協議を継続中である。

| No | 成果指標   | 目標値         | 実績値         | 備考                                 |
|----|--|-------------|-------------|------------------------------------|
| 1  | お試し勤務企業数   | 10 社 (40 人) | 16 社 (44 社) |                                    |
| 2  | 首都圏企業の下見・視察対応  | 10 回        | 4 回         |                                    |
| 3  | 町出身者の IT 系企業誘致アン<br>バサダー任命                           | 3 名         | 1 名         |                                    |
| 4  | ICT リテラシー向上型公営塾試<br>験運用回数                            | 5 回         | 6 回         |                                    |
| 5  | お試し勤務体験からの正式進<br>出決定                                 | 2 社         | 0 社         | 決定には至っていないが、1 社と正<br>式進出に向けた協議を継続中 |
| 6  | 大手 IT 系企業 Web ビジネスマ<br>ガジンと提携した首都圏での<br>PR 活動と進出意向調査 | 3 回         | 3 回         |                                    |
| 7  | 台湾シリコンバレーでの PR 活<br>動と進出意向調査                         | 1 回         | 1 回         |                                    |

### 3 調査・分析結果

#### <重点的取組への対応状況>

「2.3.4 分析・評価の手法」に示す重点的取組への錦江町の対応状況は以下のとおりとなる。

○：対応      △：部分的に対応      －：対応なし

| 重点的取組                       | 評価 | 対応状況概要  |
|-----------------------------|----|---|
| 1 地元事業者・住民への説明              | ○  | 町民に本事業への理解と将来世代につなぐ未来を考える機会としてもらうため、お試し勤務企業の協力のもと、「錦江町「MIRAI」塾」と総称し、地元事業者向けのセミナーを開催。（⇒総評において詳細を記載。） |
| 2 自地域の情報発信と都市部企業等とのネットワーク創出 | ○  | 再委託事業者の運営する Web マガジンの購読者に対する事業 PR 等を実施。   |
| 3 お試し勤務等企業のニーズの把握           | ○  | お試し勤務企業等や視察ツアーへの参加者に対するアンケート調査を行い、お試し勤務の目的、確認できた効果、地方進出（S0 開設）の可能性の他、勤務期間中の食費、支出についても聴取。            |
| 4 地元事業者・地元人材との交流・連携促進       | △  | 全てのお試し勤務企業に対し、行政担当者との交流会を行い、各企業の事業戦略や本町の課題との適合性などに関する意見交換を実施。                                       |
| 5 地元人材のニーズ等の把握              | △  | 地元事業者とお試し勤務企業が連携した研究（IoT×農業等）により、地域課題や地元事業者のニーズが部分的に整理された。  |
| 6 地域課題及び地元事業者のニーズの把握        | －  | 特筆すべき対応なし。  |
| 7 地域ビジネス創出に向けた研究会・実証実験の実施   | ○  | 地元学生や事業者とお試し勤務企業が連携した実証実験（遠隔授業）や研究（IoT×農業）を実施。（⇒総評において詳細を記載。）                                       |
| 8 域内遊休資産の実態調査               | ○  | 公共施設の稼働率調査と S0 への活用可能性の調査を実施。   |
| 9 域内遊休資産の活用に向けた環境整備         | －  | 特筆すべき対応なし。  |

### 3 調査・分析結果

#### F) 事業全体の総評

上記の整理内容を踏まえ、錦江町におけるモデル事業全体の総評を以下に整理する。

##### ーお試し勤務企業が志向するサテライトオフィスの類型ー

錦江町のお試し勤務地である「旧神川中学校」には、特定の企業が占有する個室と地元事業者・学生との交流等を目的とした交流スペース（コワーキングスペース）が用意されていた。前述のとおり、お試し勤務企業は他のモデル団体と比べて比較的長期間滞在するケースが多く、また、お試し勤務期間中、地元事業者や学生と積極的に連携して、自社の商品・サービス開発に係る実証実験や地域と連携した新たなビジネス創出に向けた調査研究を行う企業が多く、「図表 1-3 サテライトオフィス (SO) の類型」に示す「①プロジェクト拠点型」に近い活用形態と捉えられる。

また、お試し勤務企業へのストレスチェックの結果からは、オフィスとは別に、住環境の充実も重要な要素であるとの定量的な示唆が得られ、今後のサテライトオフィス誘致に向け、町として空き家を活用して宿泊環境の整備が必要との共通認識に至ったことも大きな成果と言える。

##### ー小規模自治体におけるサテライトオフィス誘致の理解促進ー

錦江町は、10 のモデル団体中最も人口が少なく、最も高齢化率が高い地域である。このような小規模自治体においては、都市部企業の進出が地域経済に与えるインパクトも大きいため、事前にサテライトオフィスの意義や効果、また、町としての将来像を明確に示し、地元事業者や住民の不安を払拭することが重要である。

その点で、錦江町では、お試し勤務企業と連携し、モデル事業への理解を促すための町内事業者向けのセミナーを開催するのに加え、町の地域課題解決に繋がる実証実験や調査研究を希望する企業を対象に誘引を行う、誘引体制に地元事業者や関連団体を巻き込むなど、丁寧に地元と連携し、効果的に地元の理解を得るような工夫が見られた。また、お試し勤務に伴う町内消費効果を測定するなど、お試し勤務企業、地元事業者・住民双方に与えるメリットを「見える化」したことが特徴的であった。

##### ー事業の進め方・成果ー

「A) 事業の概要」の「事業の実施体制」に示すとおり、錦江町では体制構築に際して、積極的に域外の人材・事業者（移住者を含む）を登用している。このように「外からの目」を有する者によって地域の資源や課題が客観的に評価され、それを地域コミュニティが受容することで、サテライトオフィス誘致の先に目指す将来像（地場産業と先端技術の融合による高付加価値ビジネスの創出）がより明確に整理されたものと推察する。

将来像が明確であればあるほど、お試し勤務企業や地元事業者・住民の賛同も得やすくなり、それが結果として、（都市部から遠隔に位置する地理的不便性を跳ね除け）お試し勤務企業による実証実験の実施や地元事業者との連携による新ビジネスの創出という取組・成果に繋がったものと捉えている。

### 3 調査・分析結果

#### 3.3 マッチング調査結果

本節においては、平成 29 年 4 月から 5 月にかけて総務省が実施したマッチング調査の結果を踏まえ、サテライトオフィス開設、地方進出等に係る都市部企業のニーズを整理する。

##### 3.3.1 マッチング調査の概要

マッチング調査の概要は以下のとおりである。

###### 1) 調査名称

「お試しサテライトオフィスのニーズ調査」（当該調査を「マッチング調査」と呼称している。「1.1 用語の定義」参照。）

###### 2) 調査実施機関

株式会社帝国データバンク ※総務省との請負契約に基づき実施

###### 3) 調査対象

サテライトオフィスの開設やモデル事業でのお試し勤務に関心を有する／モデル事業に係る継続的な情報提供を希望する都市部企業等<sup>7</sup>8,000 社（有効回答数：2,505 社）

###### 4) 調査期間

平成 29 年 4 月 1 日 ～ 5 月 12 日

###### 5) 調査手法

郵送及び Web 調査に加え、必要に応じてフォローコール（督促電話）を実施。

###### 6) 回答状況

調査手法別の標本数、有効回答数、回収率は以下のとおり。

図表 3-3 調査手法別の回答状況

| 調査手法        | 標本数     | 有効回答数   | 回収率   |
|-------------|---------|---------|-------|
| 郵送調査        | 4,434 件 | 1,197 件 | 26.9% |
| Web 調査      | 986 件   | 79 件    | 8.0%  |
| 郵送調査+Web 調査 | 2,580 件 | 1,229 件 | 47.6% |
| 合計          | 8,000 件 | 2,505 件 | 31.3% |

<sup>7</sup> 「設立：20 年未満、従業員数：2 以上 50 人未満」など、比較的新しい中小の株式会社、有限会社、合資会社、合名会社を対象とする。

### 3 調査・分析結果

#### 3.3.2 マッチング調査結果

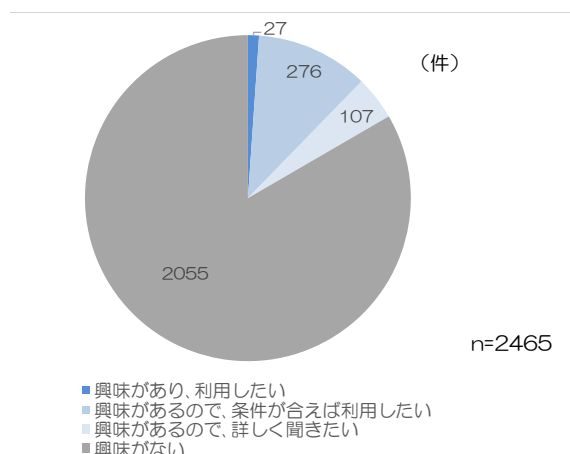
マッチング調査においては、全調査対象（企業）に対して、モデル事業への関心、お試し勤務を希望するモデル団体（最大3団体）、お試し勤務に係る要望事項等を聴取した（「A」モデル事業への関心について）参照）。

加えて、サテライトオフィスを既に導入している企業についてはその導入状況等（「B」現在のサテライトオフィスの導入状況について」参照）を、また、サテライトオフィス導入を検討している企業についてはその検討状況等（「C」今後のサテライトオフィスの導入方針について」参照）を聴取した。以下にその調査結果を示す。

##### 1) モデル事業への関心について

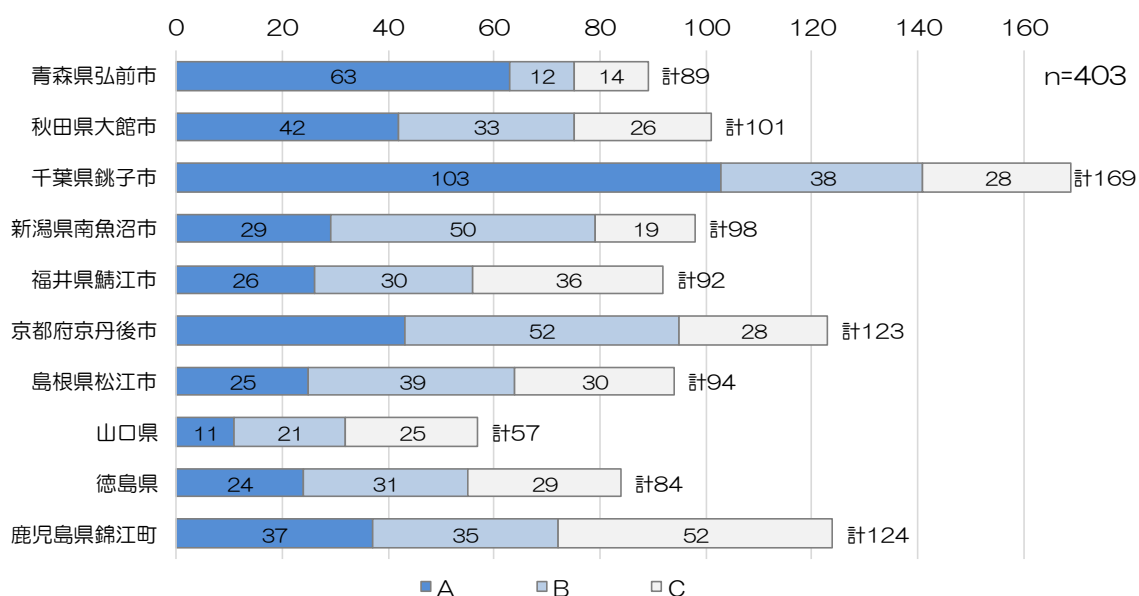
まず、「3.3.1 マッチング調査の概要」の「B) 調査対象」に示す都市部企業に対してモデル事業への関心やお試し勤務の対象となりうるモデル団体を尋ねたところ、全体の約2割がモデル事業への関心があると回答した。

図表 3-4 モデル事業への関心



図表 3-5 お試し勤務の対象となりうるモデル団体

※最大3団体(A~C)まで選択可能



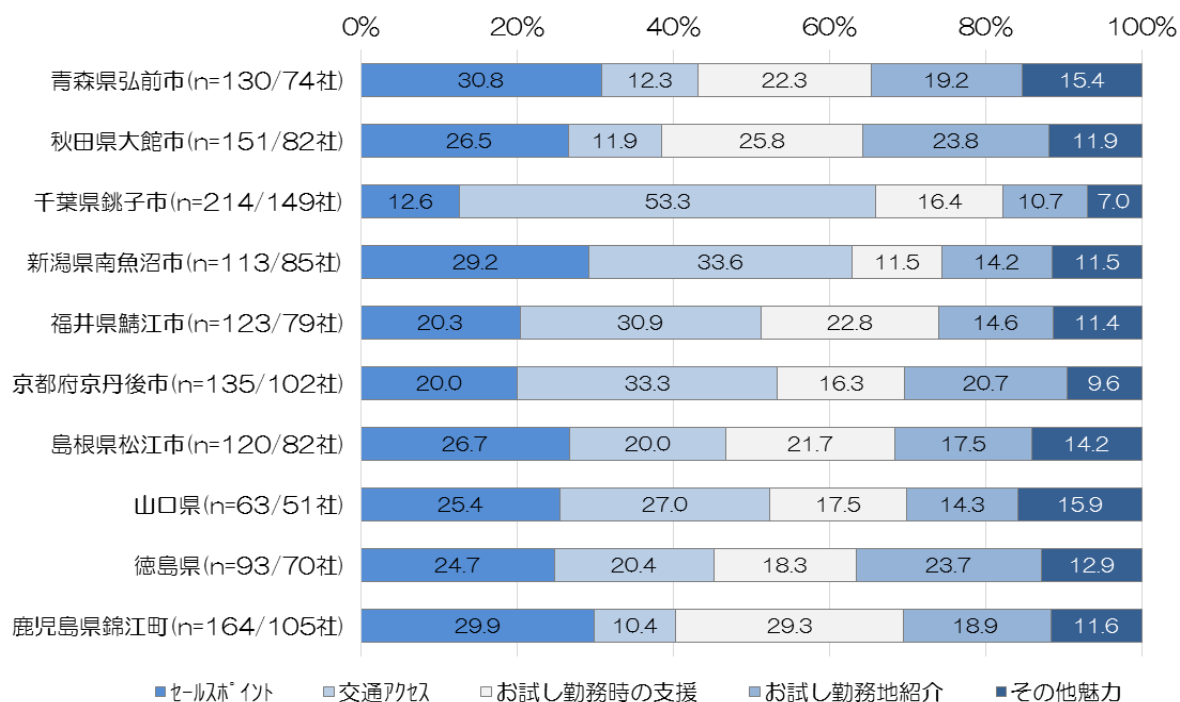
### 3 調査・分析結果

続いて、当該団体を選定した理由の結果より、以下の傾向が読み取れる。

- ・ 都市部に近い千葉県銚子市は、「交通アクセス」を上げる回答が特に多い。
- ・ 秋田県大館市や徳島県は、他のモデル団体に比べて「お試し勤務地紹介」を上げる回答が特に多い。
- ・ 秋田県大館市、鹿児島県錦江町など、都市部から離れたモデル団体は、「お試し勤務時の支援」を求める回答が多い。

図表 3-6 モデル団体を選定した理由

※お試し勤務の対象として選択した各モデル団体に対し、複数回答可能

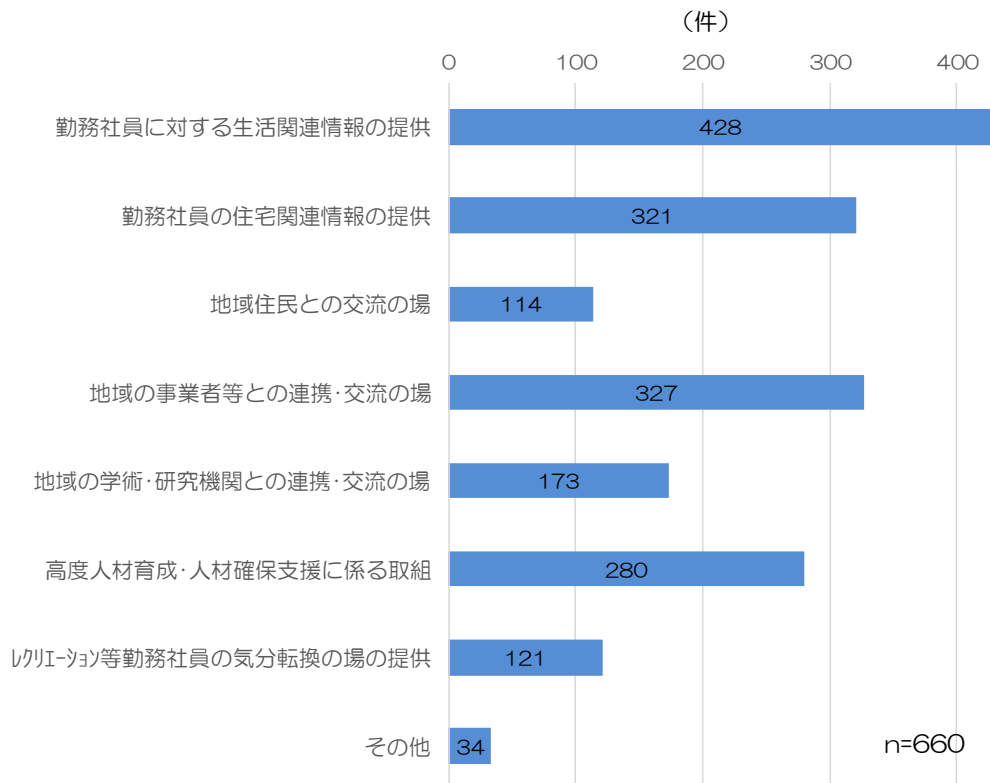


### 3 調査・分析結果

モデル団体への要望としては、「生活関連情報の提供」や「住宅関連情報の提供」が多く、地方で生活することに対する不安感がうかがえる。また、「地域の事業者との連携・交流の場」を望むも声も多く、事業戦略の観点から社外・地域と積極的に連携する意図がうかがえる。

図表 3-7 モデル団体への要望

※最大3つまで選択可能

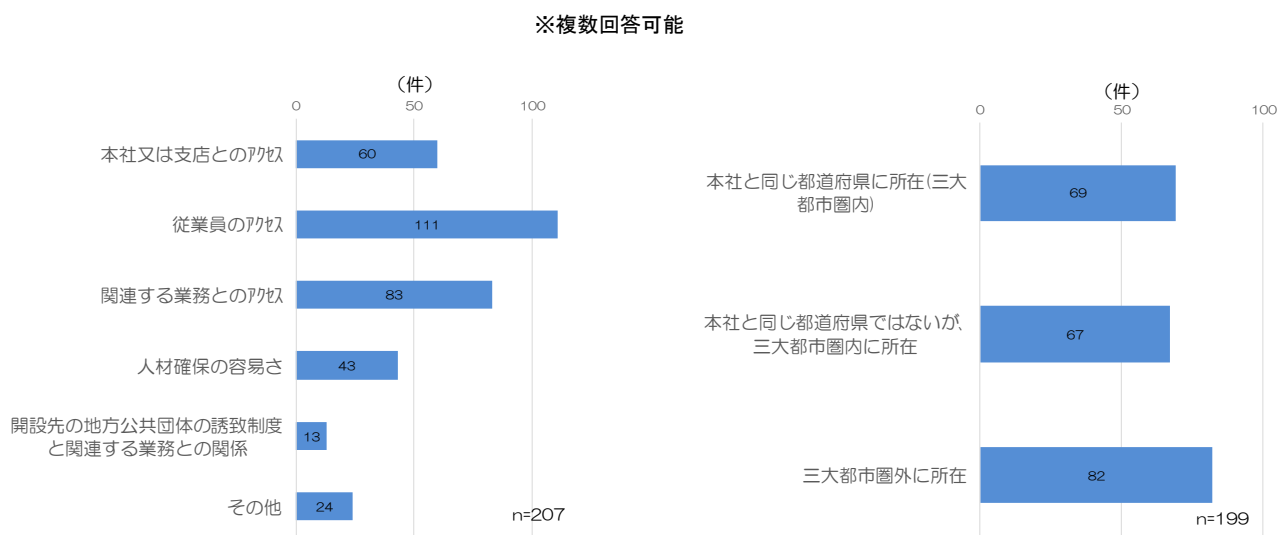


### 3 調査・分析結果

#### 2) 現在のサテライトオフィスの導入状況について

既に自社にてサテライトオフィスを導入（開設）している都市部企業に対し、導入時に最重要視した条件を尋ねると「従業員へのアクセス」や「関連する業務とのアクセス」との回答が多かった。また、一概に地方（三大都市圏外）に設置するのではなく三大都市圏内に設置するケースも多い。

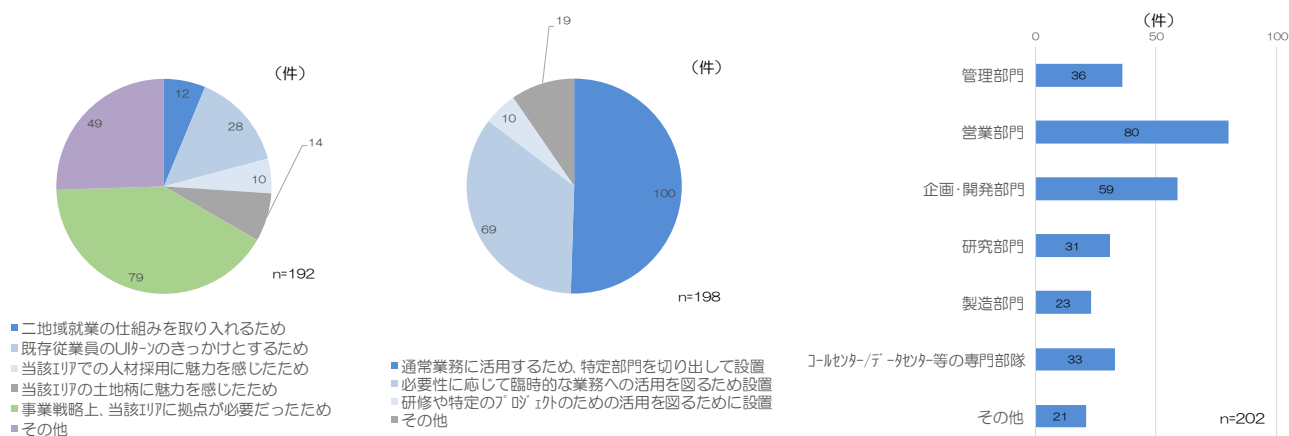
図表 3-8 左:SO 導入時に最重要視した条件／右:SO を導入した場所



次にサテライトオフィスの導入目的や導入形態、導入の効果が高いと考える部門等の回答結果を整理すると以下のとおりとなり、事業戦略の観点から、営業、企画・開発部門を配する定常的拠点としてSOを導入する傾向が強いことがうかがえる。

図表 3-9 左:SO 導入の目的／中:SO 導入の形態／右:SO 導入の効果が高いと考える部門

※右図「SO 導入の効果が高いと考える部門」のみ複数回答可能(他は択一式)





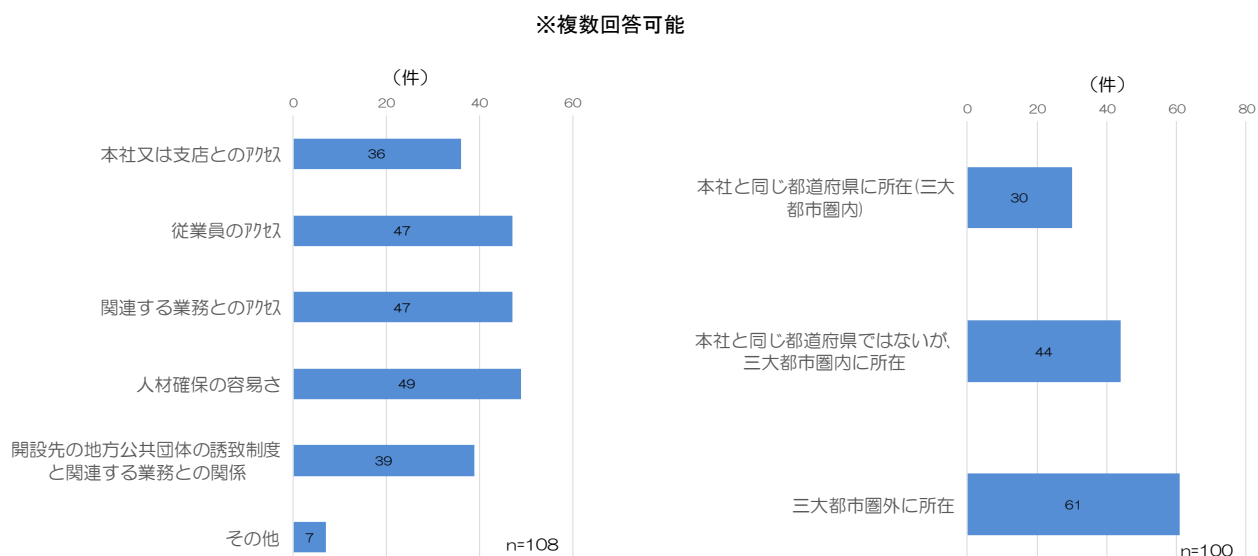
### 3 調査・分析結果

#### 3) 今後のサテライトオフィスの導入方針について

次に、サテライトオフィス導入を検討している都市部企業に対し、「B)現在のサテライトオフィスの導入状況について」に示す導入済の都市部企業同様に、導入時に最重要視する条件を尋ねると、同じく「従業員へのアクセス」や「関連する業務とのアクセス」との回答が多いが、「人材確保の容易さ」との回答が最も多くなる。

また、導入済の企業と比べて「三大都市圏外」での導入を志向する企業が多く、「地方での人材獲得」のツールとしてサテライトオフィスを活用する意図がうかがえる。

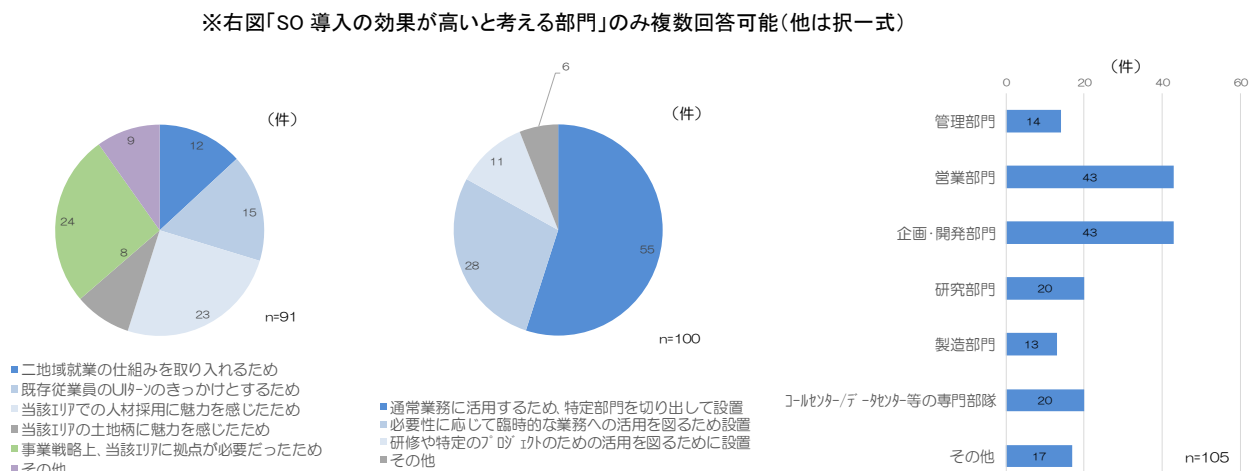
図表 3-10 左:SO 導入時に最重要視する条件/右:SO を導入する場所



同じく、サテライトオフィスの導入目的や導入形態、導入の効果が高いと考える部門等の回答結果を整理すると以下のとおりとなり、導入済の企業同様に事業戦略の観点から、営業、企画・開発部門を配する定常的拠点としてSO導入を志向する傾向が強いことがうかがえる。

また、若干ながらSO導入の目的として、「人材採用に魅力を感じた」との回答が多いことが特徴的である。

図表 3-11 左:SO 導入の目的/中:SO 導入の形態/右:SO 導入の効果が高いと考える部門



### 3.3.3 都市部企業のニーズ分析

「図表 2-9 成果分析の考え方」に則り、前項の「3.3.2 マッチング調査結果」を踏まえ、サテライトオフィス導入（開設）に係る都市部企業等のニーズ分析を試みる。

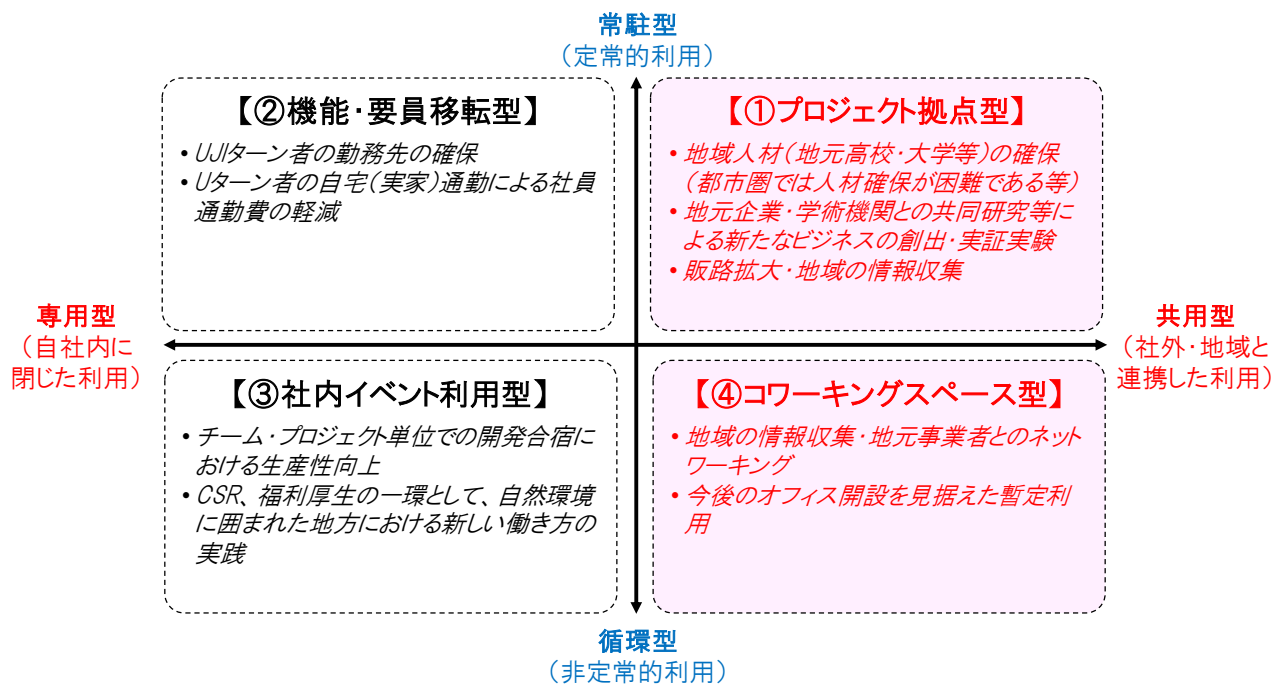
サテライトオフィスを導入済／検討中の都市部企業に共通して見られるのは、サテライトオフィスを、「事業戦略上の地方拠点として、特定部門（主に営業、企画・開発部門）を切り出して設置し、通常業務で用いる」という志向である

すなわち、地方でのビジネス創出に向けた営業・企画・開発の拠点として、積極的に社外・地域と連携するためのツールと位置づける傾向が強いものと推察する。「図表 1-3 サテライトオフィス (SO) の類型」に当てはめると、自社内利用で完結する「専用型」というよりは、社外・地域と連携する「共用型」としてサテライトオフィスを活用する（したい）傾向が強く、また、「通常業務」や「特定部門を設置」というキーワードを踏まえると、この「共用型」の中でも「常駐型（定常的利用）」、すなわち「①プロジェクト拠点型」としての活用を志向する傾向が強いものと考えられる。

また、特にサテライトオフィスを検討中の企業は、地方の人材獲得の拠点としてサテライトオフィスを位置づける傾向が強く、「3.2 モデル団体別の調査・分析結果」の「D)実態調査結果」にて把握したように、「都市部では中小 IT 企業の人材獲得競争が熾烈であり、地方人材の獲得に活路を見出す」という事象を裏付けるような結果が得られた。

マッチング調査結果の結果に加え、「3.2 モデル団体別の調査・分析結果」を踏まえると、サテライトオフィスの活用類型別の都市部企業のニーズは概ね以下のように整理できる。

図表 3-12 サテライトオフィス類型別の都市部企業の主なニーズ



### 3 調査・分析結果

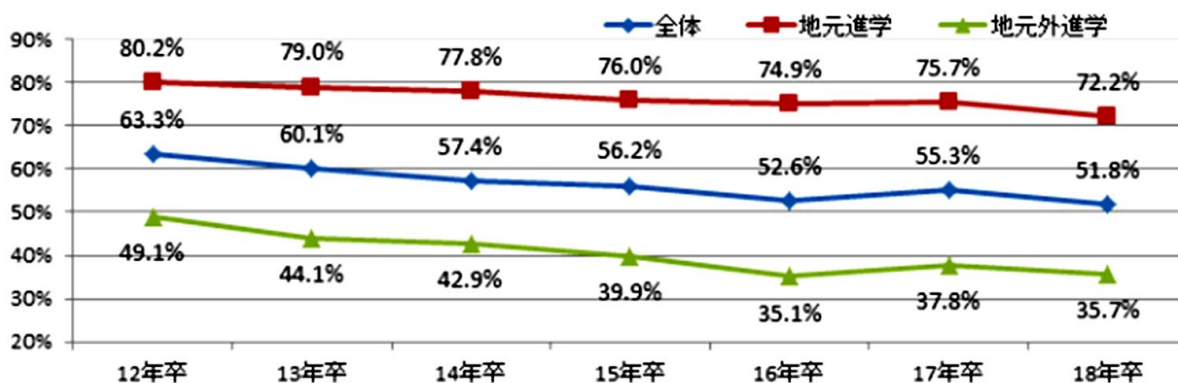
また、参考までに、株式会社マイナビが2018年卒業予定の学生を対象とした「2018年卒マイナビ大学生Uターン・地元就職に関する調査」を以下に示す。

地元就職希望率<sup>8</sup>は近年減少傾向にあるが、それでも全体で51.8%と高水準にあり、特に地元の大学・高専に進学した（地元進学）者においては、70%を上回る状況である。

マッチング調査の結果も踏まえると、ニーズとしては「地方の人材獲得を志向する都市部企業／地元就職を志向する大学生」が適合する関係にあるものの、例えば弘前市では「弘前大学の学生のうち青森県内企業に就職するのは30%弱」となっており、まだ実態とは乖離がある状態である。

サテライトオフィスには、このニーズと実態の間のギャップを解消し、両者をつなぐ機能を備えることが求められていると考える。

図表 3-13 地元就職希望率の推移



出典：2018年卒マイナビ大学生Uターン・地元就職に関する調査（株式会社マイナビ）

<sup>8</sup> 地元就職希望率：最も就職したい都道府県が卒業高校・大学等の都道府県に一致する割合。

### 3 調査・分析結果

#### 3.4 成果報告会の開催結果

##### 3.4.1 成果報告会の内容

モデル事業の終了後、各モデル団体の事業成果の共有とモデル事業全体の成果取りまとめを目的として、モデル事業全体の成果報告会を実施した。

また、成果報告会の開催に当たっては、モデル団体の採択の際に提案書の評価委員となっていた外部有識者3名にもご参加いただき講評等していただいた。

成果報告会の内容は以下のとおりである。

図表 3-14 成果報告会の内容

| 項目   | 内容   |
|------|--|
| 開催主旨 | モデル事業の関係者（総務省、モデル団体（事業に参画した民間事業者等を含む。）、請負事業者）間で、モデル事業全体の成果を共有する。<br>また、モデル事業全体の成果を取りまとめ、今後地方公共団体が取り組むべき方向性を整理する。   |
| 開催時期 | 平成 29 年 10 月 18 日（水） 14:00-17:00   |
| 主催   | 株式会社日本総合研究所（請負事業者）   |
| 会場   | 総務省中央合同庁舎 2 号館 1 1 階 第 3 特別会議室   |
| 参加者  | ・ 外部有識者（以下 3 名）※50 音順<br>特定非営利活動法人グリーンバレー 理事長 大南 信也 氏<br>法政大学 現代福祉学部 教授 関司 直也 氏<br>一般社団法人日本テレワーク協会 事務局長 富樫 美加 氏<br>・ モデル団体担当者<br>・ 総務省担当者<br>・ 株式会社帝国データバンク<br>・ 株式会社日本総合研究所 |
| 議事次第 | 1. 開会挨拶：総務省地域自立応援課長<br>2. モデル団体からの成果報告：各モデル団体<br>3. モデル事業の成果取りまとめ：日本総合研究所<br>4. 外部有識者からの全体講評：外部有識者<br>5. 閉会挨拶：総務省地域自立応援課長  |

##### 3.4.2 各モデル団体に対する講評等

各モデル団体からの成果報告及びモデル事業全体の取りまとめに係る報告を踏まえた外部有識者等からの主なコメント（講評等）や質疑応答は以下のとおりである。

なお、モデル事業の成果に係る各モデル団体の発表内容については「別紙 12 モデル団体の取組・成果」を、また、モデル事業の成果取りまとめに係る請負事業者（日本総合研究所）からの発表資料については、「別紙 13 モデル事業の成果取りまとめ」を参照のこと。

図表 3-15 各モデル団体に対する講評等

| 団体名 ※発表順 | 主なコメント（講評）<br>○：外部有識者 ◇：モデル団体  |
|----------|--|
| 青森県弘前市   | <p>○ 今後 S0 誘致を進める上で、弘前市単独では実施が難しい点、また、支援を求めたい点は何か（富樫氏）</p> <p>◇ 人材の育成はどうしても難しい。今後は近隣の市町村とも連携して、圏域単位で都市部からの若者の受入を図りたい。また、都市部企業の S0 開設時のイニシャルコストの支援については、今後県を巻き込みながら支援の拡充を図っていききたい。</p> <p>○ 弘前大学学生の就職の意向とお試し勤務企業のマッチングの可能性を高めていければよい。（図司氏）</p> <p>○ 受入体制が硬直しているような印象。もっと民間活力を取り込むべき。また、空き物件の紹介などお試し勤務企業と直接対応する業務について担当課が複数あり、S0 開設を検討する都市部企業からすると、都度ゼロから説明する必要があるストレスがある。可能な限り窓口を一本化してワンストップサービスを心がけるべき。（大南氏）</p> |
| 秋田県大館市   | <p>○ 情報発信としては大成功したモデル団体。（大南氏）</p> <p>○ フリーランスを集めたのはいいアプローチである。いきなり企業を呼び寄せるのは難しいが、企業に比べネットワークの軽いフリーランスが集まると、それがショーケースとなり企業の誘致にもつながりやすくなる。（大南氏）</p> <p>○ 報告にあった「高等教育機関との連携システム」とは具体的にどのようなものか。（大南氏）</p> <p>◇ 市内には看護系の大学に加え、厚労省管轄のものづくり系の短期大学があり、そこには情報系部門がある。例えば、そこで都市部企業等が講義等を行い、自社の人材確保につなげるというような仕組みを想定している。</p>  |
| 千葉県銚子市   | <p>○ モデル事業終了後に S0 開設を決定した企業があるとのことだが、そこに至るまでのポイントを詳細に整理すべき。（富樫氏）</p>   |
| 新潟県南魚沼市  | <p>○ お試し勤務期間を長期間としたことのメリット／デメリットは何か。（図司氏）</p> <p>◇ お試し勤務者と仲良くなれたことはメリットと感じる。今回のお試し勤務者はたまたま地元出身の方であったが、今後はこのような地元出身の人材を核にして、「人が人を呼ぶ」ような環境づくりを進めていきたい。デメリットは特に思いつかない。</p> <p>○ 「グローバル IT パーク南魚沼構想推進事業」はいつ頃スタートし、どのような経緯を経ているのか。（大南氏）</p> <p>◇ 平成 28 年 8 月 21 日に拠点がオープンし、現在に至るまで、インド企業が 1 社、スリランカ企業が 6 社の計 7 社が進出している。ブース自体は 16 個設けており、まだ空きがある状態のため、さらなる企業誘致に向けて市として各種支援を進めているところである。</p>                           |
| 福井県鯖江市   | —  |

### 3 調査・分析結果

| 団体名 ※発表順 | 主なコメント（講評）<br>○：外部有識者 ◇：モデル団体   |
|----------|---|
| 京都府京丹後市  | <p>○ お試し勤務の最長期間が「2泊3日」というのは何かしらの制約や理由があったのか。（大南氏）</p> <p>◇ 市としてはもっと長く期間を設けたかったものの、お試し勤務受入の開始時期が遅れ、5月中旬頃になってしまった経緯がある。また、お試し勤務地が1箇所のみであり、少しでも多くの企業に体験してもらうことを踏まえると、どうしても一企業あたりのお試し勤務期間を短くせざるを得なかった。</p> <p>○ 報告にもあったとおり、都市部企業にとっては「デュアルワーク」は相当ハードルが高い。元々の狙いは何か。（富樫氏）</p> <p>◇ 市内の農業人口が減少傾向にある中で、将来に向けた解決策として「デュアルワーク」が成立しうるのかを実証する狙いがあった。反省としては、担当課として、実際に「デュアルワーク」に取り組む立場の視点に立ち、農業をしていく上で具体的にどのような課題があるのかについて整理を事前にした上で都市部企業により詳細に説明するべきであった。</p> |
| 島根県松江市   | —   |
| 山口県      | <p>○ 都市部企業から見た場合に、県がS0誘致を主導した方が、間口が広がってやりやすいのか、あるいは市町の方が密に連携が取れて動きやすいのか、お試し勤務企業等の反応はどうであったか。（図司氏）</p> <p>◇ 都市部企業からは「県が誘致を主導するのは珍しい」との声も聞かれた。県が誘致を主導することで間口が広がるのに加え、近隣市町を含めた調整が必要な場合に、県が間に入ってくれるメリットに期待してお試し勤務を実施した企業もいた。</p>  |
| 徳島県      | —   |
| 鹿児島県錦江町  | —   |

#### 3.4.3 外部有識者からの講評

モデル事業全体に対する外部有識者からの講評はそれぞれ以下のとおり。

図表 3-16 外部有識者からの講評

| 有識者名<br>※50音順 | 主なコメント（講評）   |
|---------------|--|
| 大南 信也 氏       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 徳島県を例にとると、S0の集積に至るまでの過程は以下の3種に整理できる。             <ul style="list-style-type: none"> <li>①自生型：（徳島県神山町など）<br/>「人」単位のネットワークにより自然発生するパターン。</li> <li>②Uターン型：（徳島県美波町など）<br/>地元出身の都市部IT企業の経営者が地元でS0を開業し、自身のネットワークを活かして関係企業を集め始め、結果的にS0が集積していくパターン。</li> <li>③Iターン型：（徳島県にし阿波エリアなど）<br/>徳島県西部県民局と2市2町が一体となり、視察ツアー等により新たな関係を構築するパターン</li> </ul> </li> <li>・ 「行政主導では長続きしない」という見方もあるが、にし阿波のように行政主導でもうまく民間を巻き込んで軌道に乗っている事例はある。要は「何を誰がやるか」とい</li> </ul> |

3 調査・分析結果

| 有識者名<br>※50 音順 | 主なコメント（講評）   |
|----------------|--|
|                | <p>うことと「そのやり方」の問題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ S0 誘致では、まず一つの実例（ショーケース）を作ることが効果的である。土地を訪れるのみでは具体的なイメージが沸きづらいが、「都市部企業が実際にここで働いている」実例があるとイメージが具体的になる。特に今回のモデル事業期間中に進出企業を確保できなかったモデル団体については、まずは一つの実例を作ること目標に引き続き取組を推進して欲しい。</li> <li>・ 県の東京・大阪等の拠点（事務所）を活かして構築した都市部企業とのつながりを市町村につなぐことは、県の役割として重要である。また、そのつながりの「接点」となるポジションに有能な人材を配することが重要である。やはり「人は人の魅力に寄せられて集まってくる」というのが真理である。</li> <li>・ 今回のモデル事業は国費事業であり、都市部企業にとって「至れり尽くせり」の事業である。「往復交通費の負担がないから」と吸い寄せられてきた企業の中には、往復交通費の負担がかかるとなると交流が途絶えてしまうようなところもあるかもしれない。地域に対する想いのある企業を見極めて集めることが大切である。</li> <li>・ 人も企業も「可能性」を感じるところに集まるため、その「可能性」を魅力的に伝えて巻き込んでいく熱量をもった職員の活躍に期待したい。</li> </ul>   |
| <p>関司 直也 氏</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地方創生のトピックでは、これまで「移住・定住促進」が先行して注目を浴びていたが、「S0 誘致」も対象が企業ではあるものの、その構造は似通っており、移住・定住促進と同様に、都市部企業を地域の現場に呼び込み、「ウェット」なつながりを作ることがポイント。</li> <li>・ お試し勤務企業がモデル団体に赴く目的意識は、それほど明確なものではなかったのではないかと。最初は興味本位であったかもしれないが、それが現場に足を運ぶと短期間でも自治体職員、地元事業者等との交流の場があり、ビジネス連携の可能性を見出す等意義を実感した企業がいち早く S0 を開設しているのではないかと。</li> <li>・ 移住・定住促進、S0 誘致共に、「地域を拓いていく構えをどう作るのか」が論点となる。特にこれまでの移住・定住促進の議論においては、早くから都市/農村交流を進めていた農家を中心であったが、S0 誘致はより「シゴト」面の要素が大きく、地域の中で商工業やものづくりを担っている方々に誘致の主役になってもらうチャンスを与えるような取組である。そのような方々が都市部企業と繋がっていく場をどう設けるか、「ソーシャルイノベーションの場」としての可能性を都市部企業に感じてもらうことが重要である。</li> <li>・ 地方の中高生が、地元で都市部に本拠地のある企業の社員が生き活きと働く様子を見ること、その仕事が地域の魅力の向上につながっていることを実感することが、進学と同時に都市部に転出しても、将来の就職・転職の際にUターンを検討することにつながる</li> </ul> |
| <p>富樫 美加 氏</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ モデル事業の成果により、S0 誘致に向けた取組パターンが「見える化」され、体系的に整理されることを期待する。特に、これから S0 誘致に取り組む、又は、既に取り組んでいるが課題に直面している地方公共団体が、具体的にどのようなアクションを起こせば良いのかのヒントになるようなものとなれば重宝されるのではないかと。</li> <li>・ S0 誘致の効果として地元雇用の創出が挙げられるが、都市部企業で求められるスキルをもった人材が地元にはないと雇用には結びつかないので、職業訓練の取組とも連携することが重要ではないかと。</li> <li>・ 「縁があってスキルもある人を自地域に呼び、いかにしごとを産むか」を基本路線に据えたと、行政としても採るべき手立てが分かりやすく整理できるのではないかと。</li> </ul>  |

### 3 調査・分析結果

#### 3.4.4 参加者へのアンケート調査

成果報告会に参加したモデル団体担当者（事業に参画した民間事業者等を含む。）を対象に、アンケート調査を実施し、各モデル団体の成果発表内容に対する感想及び国や総務省に対する要望事項等を聴取した。

本節においては、当該アンケート調査の内容及び回答結果を整理する。

##### A) アンケート内容

アンケート調査においては主に以下3点の事項について参加者からの意見を収集した。なお、アンケート票の具体的な内容については、「別紙14 成果報告会アンケート票」を参照のこと。

##### ■成果報告会アンケートの構成（主な設問項目）

- ①参考になったモデル団体・取組内容
- ②上記（①）の取組を自団体に取り入れる方法・取り入れる際の課題
- ③サテライトオフィス誘致活動を継続するにあたり国や総務省に求める支援内容

##### B) アンケート調査の回答結果

「①参考になったモデル団体・取組内容」の結果より、主に秋田県大館市、福井県鯖江市、徳島県を参考になったモデル団体として上げる回答が多かった。

特に、徳島県については、参加者の半数が参考になったモデル団体として上げており、県、市町及び地元事業者等が一体となった誘引体制や戦略を参考にする（したい）との回答が多くあげられた。また、秋田県大館市については、SNSを駆使した都市部企業への情報発信の手法が、福井県鯖江市については、空き家を中心に据えたお試し勤務の誘引・S0誘致戦略が、参考になる取組として上げられた。

また、上記のような取組を自団体に取り入れる際の課題として、体制・予算不足を上げる回答が多く、徳島県のように近隣市町と連携した広域的な取組の強みや意義がうかがえる結果となった。

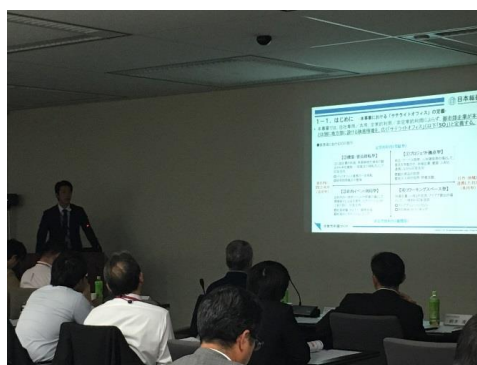
参加者からの具体的な回答内容については、「別紙15 成果報告会アンケート回答内容」を参照のこと。



### 3 調査・分析結果

#### 3.4.5 成果報告会の様子

##### 開会挨拶・各モデル団体からの成果報告・モデル事業の全体取りまとめ



##### 外部有識者からの全体講評



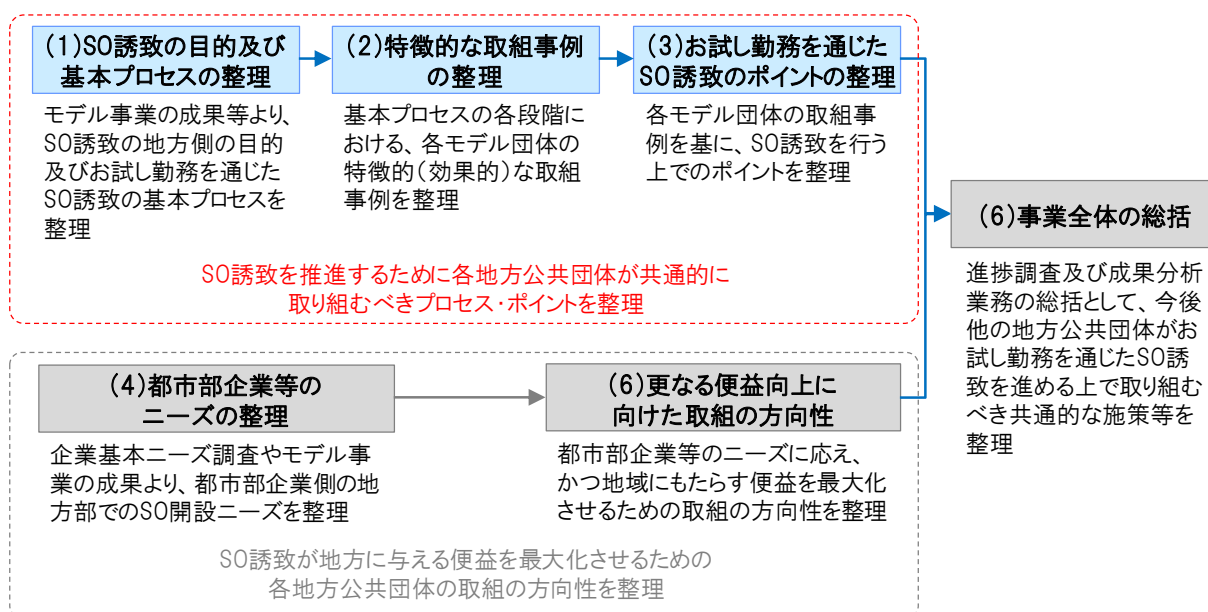
## 4 進捗調査・成果分析業務の総括

「3 調査・分析結果」で整理した内容を踏まえ、本章にて進捗調査・成果分析業務の総括を行う。

### 4.1 サテライトオフィス誘致を推進するために共通的に取り組むべきプロセス等

まずは、「図表 2-1 進捗調査・成果分析業務の実施手順概要」に倣い、モデル事業の成果等を基に、今後サテライトオフィス誘致を推進するために、各地方公共団体が共通的に取り組むべきプロセス等を整理する。

図表 4-1 進捗調査・成果分析業務の実施手順概要(再掲・一部加工)



#### 4.1.1 お試し勤務を通じたサテライトオフィス誘致の基本プロセス

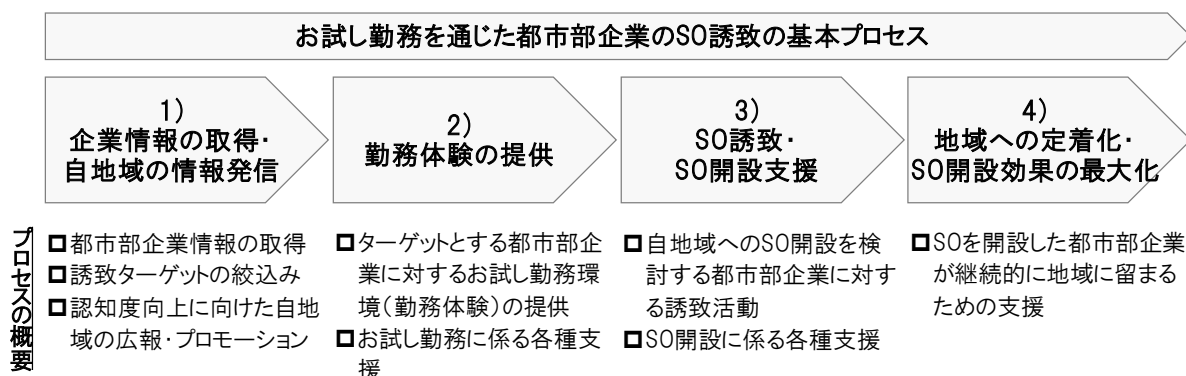
##### A) 基本プロセスの整理

各モデル団体が目指す当面の共通のゴールは、「サテライトオフィスの誘致」であるものの、各々の目的や実施方針を横串で確認すると、大館市のように、まずは都市部企業の認知度向上を掲げる団体から、徳島県のようにお試し勤務企業と地元事業者等の連携による具体的なビジネス創出を掲げる団体まで様々である。

また、モデル事業以前よりサテライトオフィス誘致に取り組んできた団体もあり、単に「サテライトオフィス誘致」といっても、その段階や熟度は様々である。

これを踏まえ、各モデル団体の目的、実施方針及び実際の取組内容より、お試し勤務を通じて都市部企業がサテライトオフィスを開設し、地域に定着するまでの基本プロセスを以下のように整理する。

図表 4-2 お試し勤務を通じたサテライトオフィス誘致の基本プロセス



B) 基本プロセスと重点的取組との関係性

サテライトオフィスを誘致する上で、各モデル団体が共通的に実施する代表的取組は、以下の「図表 4-4 重点的取組の概要（再掲）」に示すとおりである。

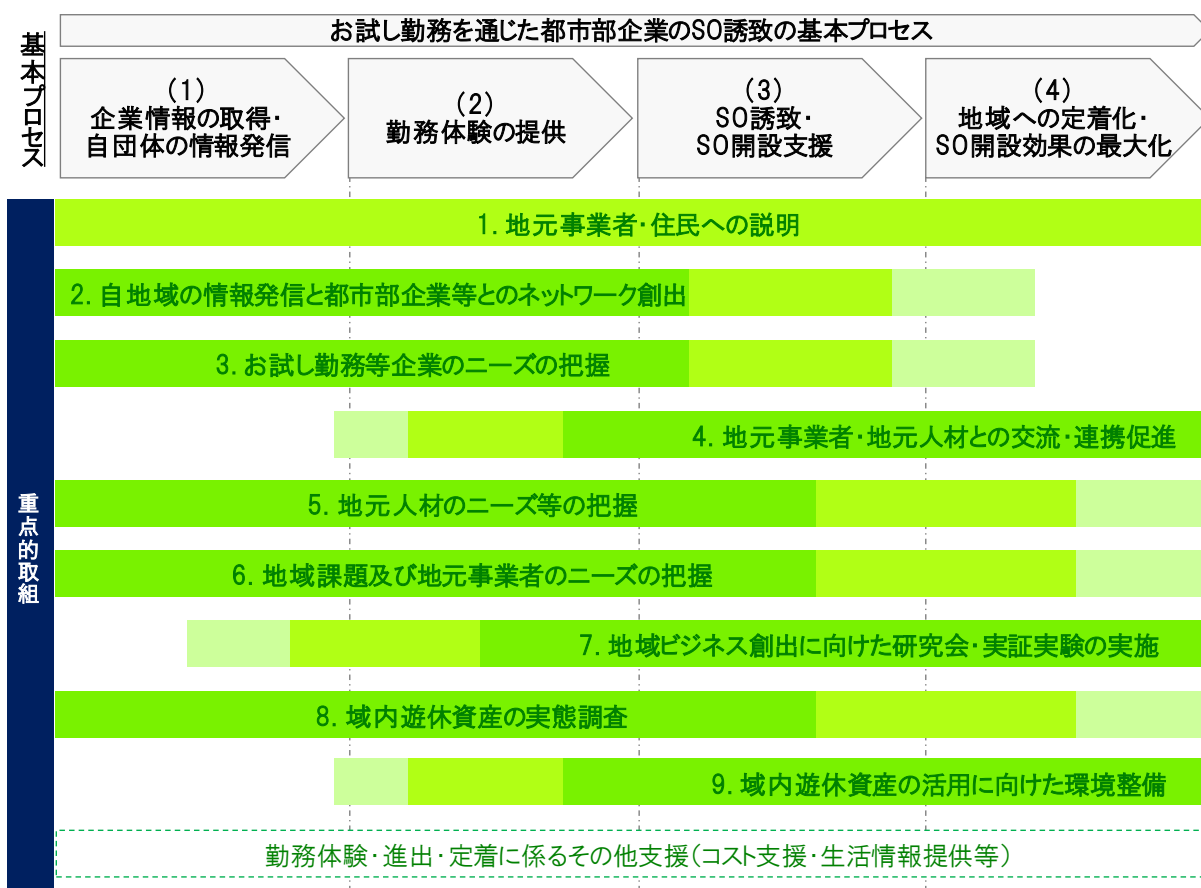
図表 4-3 重点的取組の概要(再掲)

| 重点的取組 |                           | 概要   |
|-------|---------------------------|--|
| 1     | 地元事業者・住民への説明              | 地元事業者・住民に対する、都市部企業等のサテライトオフィス誘致の意義や効果等の説明  |
| 2     | 自地域の情報発信と都市部企業等とのネットワーク創出 | 自地域の認知度向上に向けた都市部企業等への広報・プロモーション活動及び都市部企業等との接触による関係性の構築                                   |
| 3     | お試し勤務等企業のニーズの把握           | お試し勤務等企業のお試し勤務等の実態（お試し勤務の目的、お試し勤務期間中に実施した活動等）、お試し勤務の感想、サテライトオフィス開設意向及び開設のための隘路の具体的内容等の把握 |
| 4     | 地元事業者・地元人材との交流・連携促進       | サテライトオフィス開設を検討する、または開設した都市部企業等と、地元の事業者・人材との交流・連携の場の創出                                    |
| 5     | 地元人材のニーズ等の把握              | 地元教育機関（高校・大学等）の学生の就職動向及び就職ニーズ等の把握  |
| 6     | 地域課題及び地元事業者のニーズの把握        | 地域が抱える具体的課題及び地元事業者のニーズの把握  |

|   | 重点的取組                   | 概要   |
|---|-------------------------|--|
| 7 | 地域ビジネス創出に向けた研究会・実証実験の実施 | 地域の既存ビジネス等と都市部企業等のビジネスを掛け合わせた地域ビジネスの創出に向けた研究会・実証実験の実施        |
| 8 | 域内遊休資産の実態調査             | 空き家、空き公共施設等の域内の遊休資産の実態把握とサテライトオフィスへの活用可能性の調査                 |
| 9 | 域内遊休資産の活用に向けた環境整備       | サテライトオフィス開設を検討する、または開設した都市部企業のサテライトオフィス活用ニーズを踏まえた遊休資産の整備・改修等 |

また、「図表 4-2 お試し勤務を通じたサテライトオフィス誘致の基本プロセス」に順じ、その実施タイミングに応じて重点的取組を整理すると、以下のとおりとなる。

図表 4-4 基本プロセスと重点的取組との関係性



※重点的取組の色の濃淡は基本プロセスとの関係性の強さを示す。

### 4.1.2 特徴的な取組事例

次に、「3.2 モデル団体別の調査・分析結果」の内容を基に、重点的取組毎の各モデル団体の特徴的な取組事例を以下に整理する。なお、以下に示す事例はいずれも明確な目的を持ち（取組効果を想定し）、創意工夫に富んだ取組であるが、あくまで方法論であり、「その地域でなければできない取組」ではない。そのため、他の地方公共団体も取り入れることが可能なものと捉えている。

図表 4-5 重点的取組毎の特徴的な取組事例

| 主な取組団体 |                           | 事例概要  | 取組効果（仮説）   |
|--------|---------------------------|---|--|
| 1      | 地元事業者・住民への説明              | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 京丹後市</li> <li>✓ 錦江町</li> <li>等</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>地元事業者・住民に対し、新しい働き方として「テレワーク」が注目されていること、「テレワーク」により都市部企業が地方で仕事をすることが可能になること等を周知する説明会を実施（京丹後市）</li> <li>SO誘致の理解促進と地域の未来を考える機会の提供を目的として、お試し勤務企業と連携し、町内事業者向けのセミナーを実施（錦江町）</li> </ul>                                   | <p>都市部企業の進出による生活や既存市場への悪影響を危惧する地元事業者・住民の意識を変革させる（SO誘致に賛同してもらう）ことが期待できる。</p>  |
| 2      | 自地域の情報発信と都市部企業等とのネットワーク創出 | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 大館市</li> <li>✓ 松江市</li> <li>✓ 徳島県</li> <li>等</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>モデル事業専用ホームページ上にSNSへのリンクを設け、勤務者がSNSに投稿する勤務体験等をリアルタイムに発信（大館市）</li> <li>既存のRubyコミュニティのネットワークを活かした個別のSO誘致活動を実施（松江市）</li> <li>情報発信ツールによるデジタル的アプローチとヒトのつながりを意識したアナログ的アプローチの両面でネットワーク創出（徳島県）</li> </ul>    | <p>SNSや個別のネットワークを活用することで、行政から公式に発信される情報では得られない地域の具体的な魅力や取組等が拡散され、地域の認知度の大幅な向上に繋がる。</p>                               |
| 3      | お試し勤務等企業のニーズの把握           | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 鯖江市</li> <li>✓ 錦江町</li> <li>等</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>お試し勤務に先立ち、候補となる都市部企業に対し、お試し勤務地に求める立地条件や設備、移動手段等に対するニーズを聴取した上で環境整備（鯖江市）</li> <li>お試し勤務の感想・評価やSO開設の動向等に加え、勤務期間中における町内での消費状況についても定量的に把握（錦江町）</li> </ul>   | <p>事前にお試し勤務地に対するニーズを仔細に把握しておくことで、短期間でも効率的にお試し勤務を進めることができる。また、ニーズに加えて、お試し勤務に伴う効果を定量的に把握することで、地元へのSO誘致の意義の説明材料となる。</p> |
| 4      | 地元事業者・地元人材との交流・連携促進       | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 銚子市</li> <li>✓ 鯖江市</li> <li>✓ 徳島県</li> <li>等</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>お試し勤務企業との地元事業者・人材とのマッチングサイト（11月公開予定）を構築（銚子市）</li> <li>お試し勤務に関心のある都市部企業向けにモニターツアーを開催し、その過程で参加企業と地元事業者との交流・連携の場を創出（鯖江市）</li> <li>地域の民間企業、移住支援団体等をSO推進員として配し、個別ネットワークを活かして地元事業者の紹介等を実施（徳島県）</li> </ul> | <p>地元事業者・地元人材と都市部企業間で強固な関係が築かれることで、新たな地域ビジネスの創出に加え、「人が人を呼ぶ」ような、都市から地方への自走的なサイクルが生まれる。</p>                            |

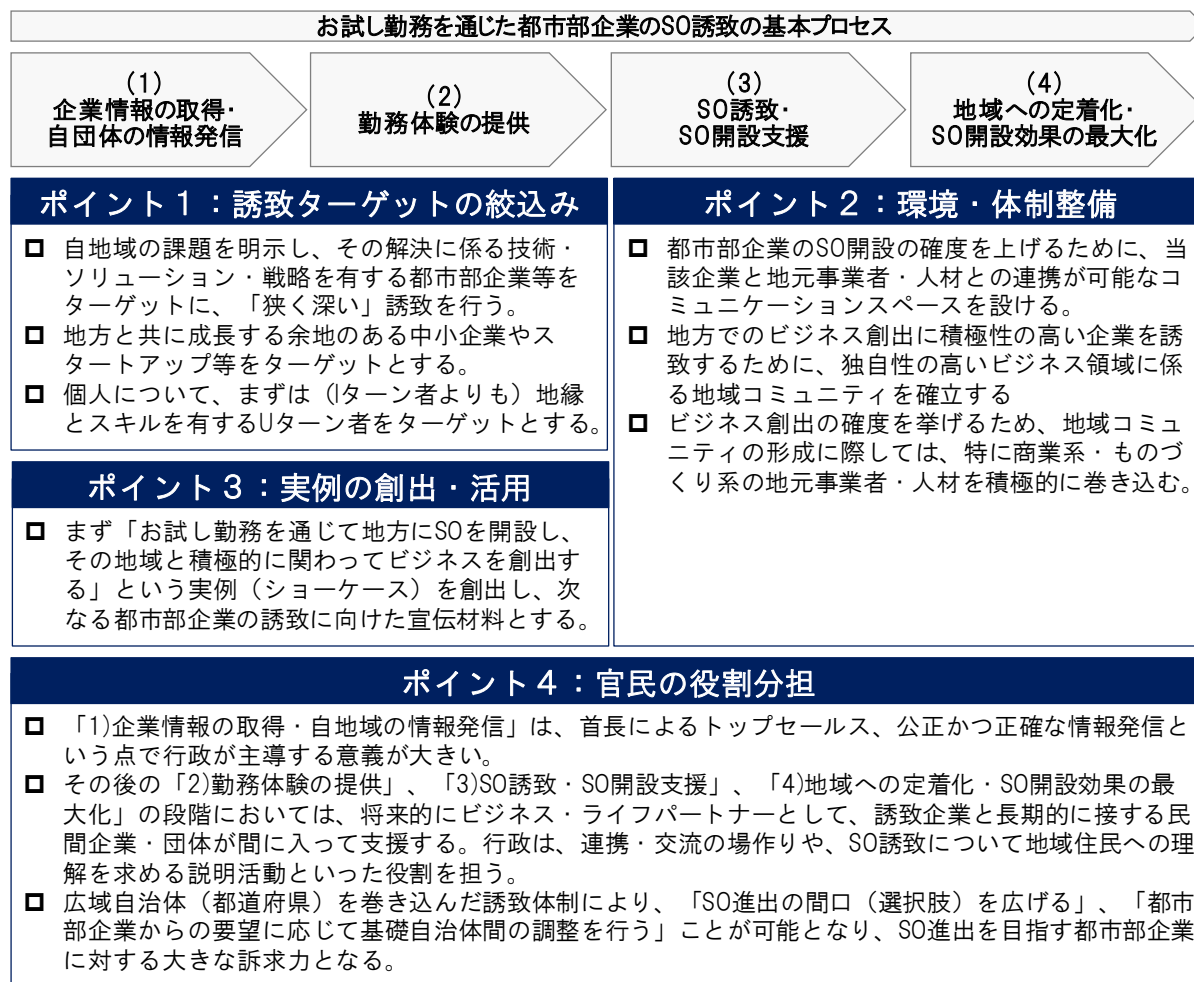
図表 4-5 重点的取組毎の特徴的な取組事例(続き)

|   |                                     | 主な<br>取組団体   | 事例概要   | 取組効果<br>(仮説)   |
|---|-------------------------------------|--|--|--|
| 5 | 地元人材の<br>ニーズ等の<br>把握                | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 弘前市</li> <li>✓ 松江市<br/>等</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地元人材(大学生等)へのニーズ調査を行い、そのニーズを踏まえ、事務系・IT系の業種をターゲットに都市部企業を誘致(弘前市)</li> <li>• SO誘致の戦略策定に向けて、地元学生やUIターン希望者に対するニーズ調査を実施(松江市)</li> </ul>  | <p>地元人材の実態やニーズに適応する都市部企業を予め把握しておくことにより、ミスマッチの軽減によるSO誘致活動の効率化と早期の雇用創出が図られる。</p>           |
| 6 | 地域課題及び<br>地元事業者の<br>ニーズの把握          | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 南魚沼市</li> <li>✓ 京丹後市<br/>等</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• お試し勤務企業や地元大学、地元関係者から構成される研究会を設置し、先進事例等を基に、地域課題の解決に向けた都市部企業との連携方法や役割分担等について議論(南魚沼市)</li> <li>• 「農業、観光分野における地元人材の不足」という地域課題を踏まえ、都市部企業が当該分野における「デュアルワーク」を試行できるお試し勤務プログラムを用意(京丹後市)</li> </ul> | <p>地域課題や地元事業者のニーズを明確に整理し、地方側から発信することで、地方での新たなサービス創出・市場開拓を目指す志向の高い企業を誘致できる。</p>           |
| 7 | 地域ビジネス<br>創出に向けた<br>研究会・実証<br>実験の実施 | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 南魚沼市</li> <li>✓ 錦江町<br/>等</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 上記の研究会において、参加者間で、地域ビジネスの国際展開に向けた議論を複数回にわたって継続的に実施(南魚沼市)</li> <li>• 地元学生・地元事業者とお試し勤務企業の連携による、地域の新たなビジネス創出に向けた実証実験(遠隔授業)や研究(IoT×農業)を実施(錦江町)</li> </ul>                                      | <p>お試し勤務期間中より、地元企業と都市部企業が連携した研究会・実証実験を進めることで、新たな地域ビジネスの創出のみならず、当該企業の進出(SO開設)の確度が高まる。</p> |
| 8 | 域内遊休資産<br>の実態調査                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 鯖江市</li> <li>✓ 山口県<br/>等</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 空き家マッチング事業の実績を基に宅建業者・建築士会と連携し、市内空き家の、SOとしての活用可能性調査を実施(鯖江市)</li> <li>• 事業実施に際し、市町と連携し、県下全域に亘る廃校、空き家、その他空き施設をリストアップし、お試し勤務地としての適正・改修の可否等を整理(山口県)</li> </ul>                                 | <p>都市部企業の進出(SO開設)により遊休資産の活用が図られる他、宿泊可能な空き家情報を提供により、「地方での常駐場所確保」という課題を抱える企業の進出確度が高まる。</p> |
| 9 | 域内遊休資産<br>の活用に向け<br>た環境整備           | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 大館市</li> <li>✓ 銚子市<br/>等</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「市街地等の利便性の高い場所のSOが必要」という都市部企業のニーズを踏まえ、事業期間中に新たにまちなか拠点を設置(大館市)</li> <li>• 地方勤務に関する多様なニーズに対応するために、多種多様なお試し勤務地を用意するとともに、利用実態を踏まえて、設備等を増強(銚子市)</li> </ul>                                     | <p>企業ニーズや利用実態に応じて、臨機応変に勤務環境等を整備することで、都市部企業の定着化が進むほか、SO勤務地としての地域全体の質が向上する。</p>            |

### 4.1.3 お試し勤務を通じたサテライトオフィス誘致のポイント

同じく、各モデル団体の取組・成果や成果報告会における外部有識者からの講評等を基に、基本プロセスを軸としたサテライトオフィス誘致の4つのポイントを以下に整理する。

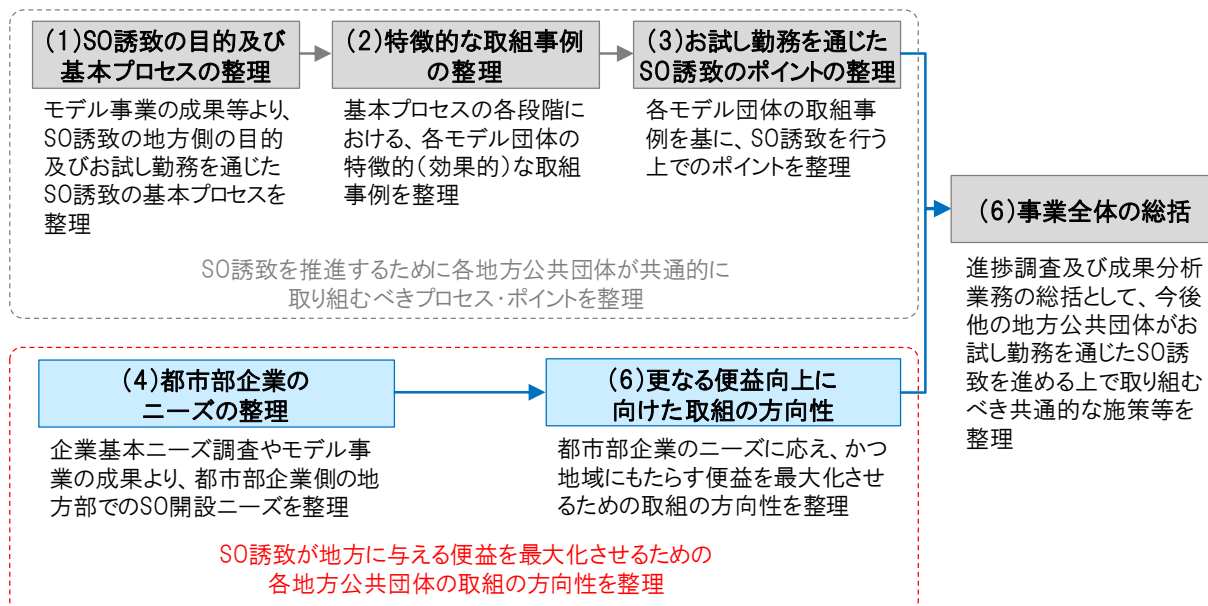
図表 4-6 お試し勤務を通じたサテライトオフィス誘致のポイント



## 4.2 便益を最大化させるための取組の方向性

続いて、「図表 2-1 進捗調査・成果分析業務の実施手順概要」に倣い、マッチング調査やモデル事業の実態調査等より把握した、サテライトオフィス開設に伴う都市部企業のニーズを踏まえ、サテライトオフィスが地方に与える便益を最大化させるための取組の方向性を整理する。

図表 4-7 進捗調査・成果分析業務の実施手順概要(再掲・一部加工)



「2.3.4A)サテライトオフィスの活用類型と推定効果」に示すように、サテライトオフィスの4種の活用類型のうち、最も地方に与える便益が大きい類型は「①プロジェクト拠点型」と位置づけられる。今回のモデル事業においても、例えば南魚沼市や錦江町等のように、お試し勤務企業が地域課題の解決や新たなビジネス創出に向けて、社外・地域と積極的に連携して実証実験・調査研究を行うような事例も見られた。

また、「3.3.3 都市部企業のニーズ分析」に示すように、中小の都市部企業においても、サテライトオフィス導入に際して、この「①プロジェクト拠点型」を志向する傾向が強く、サテライトオフィス誘致を通じて地方創生を目指す地方公共団体と、都市部企業のニーズがまさに「Win-Win」の関係にあると言える。言い換えれば、「都市部企業がこの「①プロジェクト拠点型」の形態でオフィスを活用できるような環境やコミュニティ等を用意した地方公共団体のもとに都市部企業が集積する」ということも考えられる。

一方で、「3.2 モデル団体別の調査・分析結果」の実態調査結果等からも得られたように、特に資力や要員の乏しい中小企業にとって、「①プロジェクト拠点型」のように自社要員の常駐が前提となる活用類型は、コスト面でのリスクが大きく、実現に際しての障壁が非常に高いことも事実である。そのため、行政として、「4.1 サテライトオフィス誘致を推進するために共通的に取り組むべきプロセス等」に示すプロセス等を踏まえ、まずは、(要員の常駐が不要であり)コスト面の負担が比較的少ない「③社内イベント利用型」、「④コワーキングスペース型」でのサテライトオフィスの活用促進を進めることで、都市部企業による事例(ショーケース)を創出すること、そ

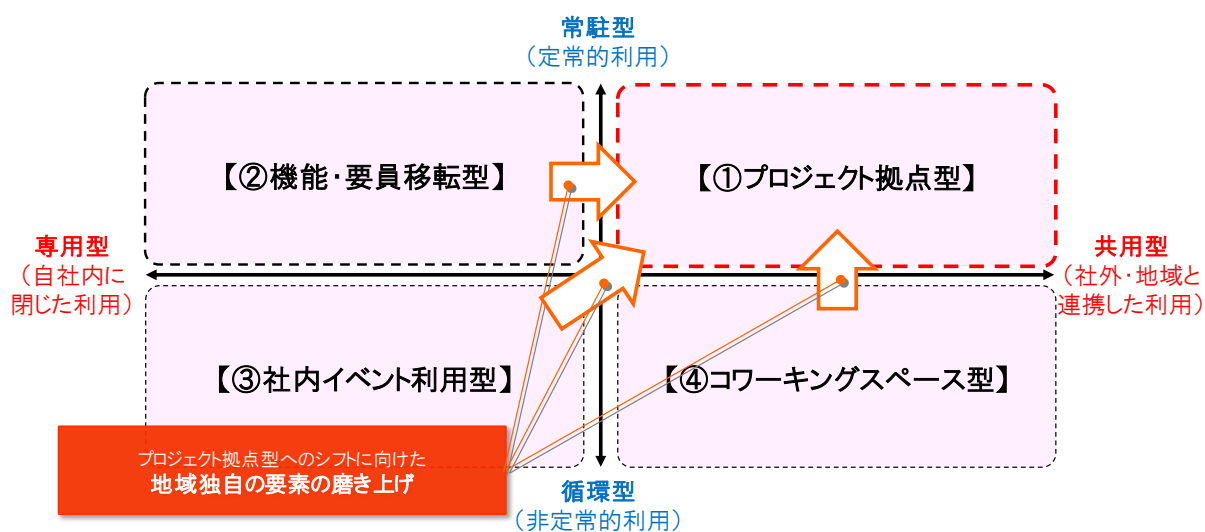


#### 4 進捗調査・成果分析業務の総括

の実例を用いて、都市部企業に対してサテライトオフィス開設の具体的なメリットを提示することで、「①プロジェクト拠点型」にシフトさせるような段階的なアプローチが有効と考える。

また、「①プロジェクト拠点型」へのシフトに際しては、以下に示すように、行政として、社外・地域の連携の基盤となる環境（イベント、コミュニティ、スペース等）を用意すること、前述のように実例（ショーケース）を創出して都市部企業に具体的なメリットを提示することに加え、多少のアクセス不便性やコスト負担が生じても「その地域と連携をしたい」と思わせるような地域独自の要素（資源、人材等）を磨き上げるような取組を行う必要がある。

図表 4-8 便益向上に向けた取組の方向性



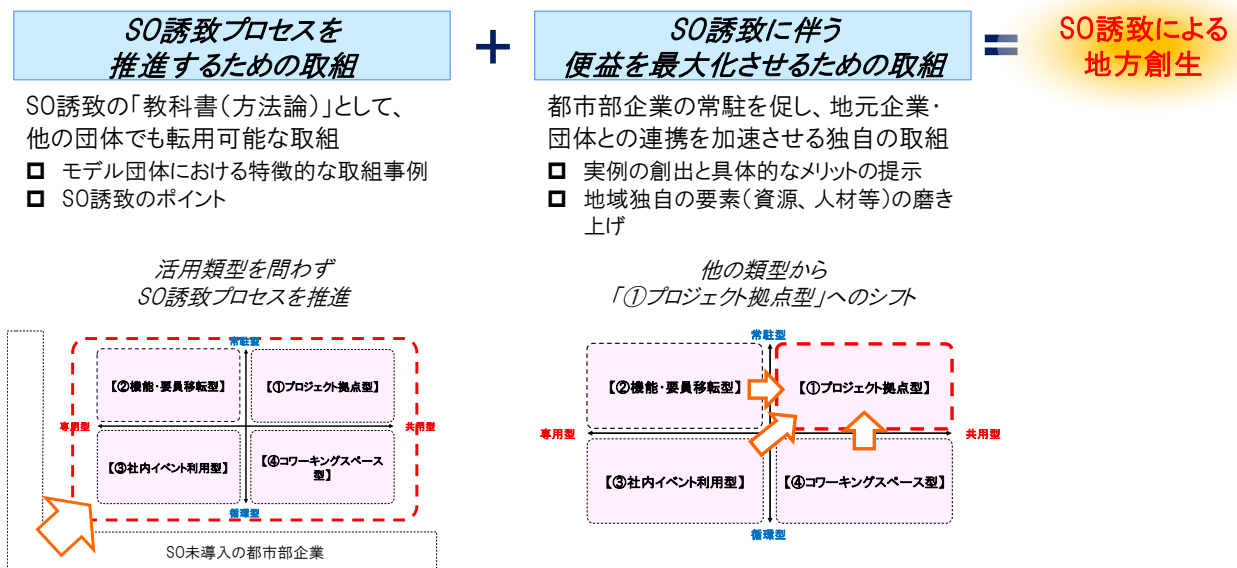
### 4.3 全体総括と今後の課題

「4.1 サテライトオフィス誘致を推進するために共通的に取り組むべきプロセス等」において、サテライトオフィス誘致に向けて各地方公共団体が共通的に取り組むべき内容を、また、「4.2 便益を最大化させるための取組の方向性」において、サテライトオフィス誘致に伴う便益を最大化させるための取組の方向性を整理した。

成果報告会での外部有識者からの講評にもあるとおり、今回のモデル事業は、お試し勤務地の環境整備・誘引活動から都市部企業のお試し勤務まで、一貫して国費負担の下で行われ、地方公共団体／都市部企業双方にとって「至れり尽くせり」の事業とも言える。しかしながら、本来サテライトオフィス事業は地方公共団体／都市部企業の双方に相応の負担を強いるものであり、将来的に両者に実利を与えることが見込めなければ立ち行かないモデルである。

すなわち、前述の「サテライトオフィス誘致に向けて各地方公共団体が共通的に取り組むべき内容」と「サテライトオフィス誘致に伴う便益を最大化させるための取組の方向性」は不可分の関係にあり、教科書的にサテライトオフィス誘致のプロセスを進めつつも、各地方公共団体個別に、自地域に与える便益を最大化させるための独自の取組を一体的（セット）に考える必要がある。

図表 4-9 サテライトオフィス誘致による地方創生のイメージ



なお、本書では、10のモデル団体をサンプルとしたモデル事業の成果等を基に、サテライトオフィスの誘致に向けた示唆・ノウハウを取りまとめたが、さらなるサテライトオフィスの誘致推進に向け、今後も以下の点を検討課題に据え、モデル事業を継続して実施する。

- <今後の主な検討課題>
- 重点的取組の質を高めるポイントの整理
  - 上記ポイントが踏まえられた実例の収集
  - お試し勤務企業等の全体的な分析

「お試しサテライトオフィス」モデル事業（平成 28 年度）調査報告書  
総務省地域力創造グループ地域自立応援課  
平成 29 年 10 月 発行  
（受託企業）  
株式会社日本総合研究所

